

科目名	松本大学と地域（総経）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL11101	研究室	学生セカ
担当者	住吉 廣行・向井 健		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C	～2018年度 2020年度～				
授業概要										
これからの松本大学での学びの基礎となる松本大学の理念や地域の基本的な概念・地域づくりの具体的な実践事例を学び、「地域とは何か」という理解を深めていくこととします。特に、本講義は地域について学ぶ入門的な講義であることを踏まえて、自分自身の経験や関心とのかかわりの中で地域のことを深く考えていくことが出来るようになることを目指します。またこれから地域と関わっていく上で重要となってくる視点についても学んでいきます。										
学修到達目標										
1.松本大学の教育に対する考え方、学修支援システムの種類や場所、その機能等について理解することができる。 2.地域の多様な実践について理解を深め、それらについて自分の考えをもつことが出来る。 3.講義全体を通して自分自身の今後の大学での学びと地域とのかかわりのあり方について考えようとする事が出来る。										
授業の進め方										
各教員からの講義内容や提示する関連資料を基にして、地域に関する理解を深めていきます。必要に応じてグループでディスカッションをし、その成果をフィードバックします。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	長野県、松本市等の特徴 大学設立の経緯と残留率 学校法人・大学の組織	本学が立地する松本市がどのような特色を持った地域であるか、地勢、文化、歴史の視点から概観する。県・松本市・学校法人松商学園が資金を出し合って本学が設立された経緯を述べる。				長野県や松本市の自然・文化を探索する。(2時間)				
2	松本大学の教育手法いくつかの具体例。理論化された帰納的教育手法の説明	本学における地域連携を取り入れた学習方法を具体例に基づいて紹介する。本学の各学科の特徴を活かした、アクティブ・ラーニングを取り入れた、PBL型・課題解決型教育のイメージを把握する。				本学のパンフレットを見る。学び終えた時点で、自分なら何が出来るか考える。(2時間)				
3	松本大学の学生支援システムのあり方の背景にある哲学を考える	学生生活、就職活動、クラブ活動など、松本大学の学生支援活動を概観する。入学前から卒業後までを時系列で追いかけると共に、どのような考え方でこの活動が実施されているかを紹介する。				事後学習：学友会室やキャリアセンターを訪問し、質問する。(2時間)				
4	松本大学と地域活性化 各種GP、COC、研究プラン ディング事業の採択の紹介	「人や経済の地域内循環」の実現に対し、大学が持っている人的資源、ハード的資源を活かして、外部団体や人材と協働することで活力ある地域社会の実現に貢献していることを理解する。基礎教育1回目。				本学の競争的資金獲得状況を調べる。事後に他大学も調べて見る。(2時間)				
5	各種センターの紹介 国際交流センター 健康安全センター	グローバル化対応を担う国際交流センター、English Cafe等について説明する。心と体の健康に対応する健康安全センターの現状と喫煙防止などを解説する。教職センターを紹介する。基礎教育センター2回目。				基礎教育センターを訪問する。事後に健康安全、教職センターを訪問する。(2時間)				
6	各種センターの紹介 地域づくり考房『ゆめ』 公務員講座委員会など	学生の地域活動の窓口である地域づくり考房『ゆめ』の活動を説明する。公務員試験対策の現状について報告すると共に、図書館の利用案内も実施する。基礎教育センター3回目。				考房『ゆめ』を訪問しておく。事後に興味ある部署を訪問・見学する。(2時間)				
7	ゲストによる特別講義	総合経営、人間健康それぞれの学部ゲストを招いて、これからの大学生活において前向きに取り組んでいけるようなテーマで講演していただく。				事前にゲストについて調べる。事後にゲストに質問する。(2時間)				
8	地域とどう向き合うか	本講義を履修する上で、一人ひとりが自分の問題として地域を考えるきっかけとして、担当教員の地域とのかかわりについて紹介します。あわせて、前半部分に関わる中間テストを行います。				自分自身の地域との向き合い方について考えをまとめる。(2時間)				
9	地域とはなにか～地域の概念と定義	地域の基本的な概念について学びます。				地域の基本的概念に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
10	地域の現状と課題～事例研究	地域の現状やその課題について、これまでの地域づくりの取り組みなどを事例として考えます。				地域の現状と課題に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
11	松本大学と地域～大学での学びにおける地域の意義	松本大学と地域とのつながりや大学における地域と連携する意義について、特に地元の新村地区とのこれまでの関係を中心に学びます。				松本大学の地域連携に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
12	学校教育と地域～地域で育つ子ども・若者	子どもや若者を育てるために地域が果たすべき役割や学校教育が地域で求められる役割について学びます。				学校教育と地域に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
13	地域づくりとはなにか～小さな経済の創出の取り組み	信州のむらづくりの事例を基に地域の風土を活かした小さな経済を創出するアプローチを学びます。				信州のむらづくりに関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
14	まちづくりについて考える～都市計画の観点から	県内外の事例をもとにまちづくりの目的や意義、問題や今後の課題について学ぶ。特に、都市計画のアプローチや長野県小布施町の取り組みなどを紹介します。				都市計画の内容に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
15	まとめ～大学の学びを通じて地域とどう関わるか	各学科の専門性を踏まえて、今後の大学での学びの中で、地域とどう関わっていくのかについて具体的な地域の事例を踏まえて考えます。				大学の学びを通して地域とどう関わるかを考える(2時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
講義用プリントが配布されます。			出席レポート：40% 定期試験：60% 講義回ごとに感想・質問などを記入して提出する出席レポートと、定期試験を総合して評価を行います。 <評価基準> S:授業内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に説明でき、自分自身の学びに生かせる。A:授業内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に説明できる。B:授業内容を理解し、説明できる。C:授業内容を理解している。							
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「まちが変わる 若者が育ち、人が元気になる 松本大学生がかかわった」白戸洋著（松本大学出版会） ISBN：4902915138 「小布施 まちづくりの奇跡」川向正人著（新潮社） ISBN：4106103540			これから松本大学での学びを深めていくうえで重要となる地域についての入門的な内容を扱う講義となります。本講義の内容と、自己の経験やこれから学びたいことを関連付けて下さい。皆さんの積極的な参加を求めます。							

科目名	地域史（地誌）			学年学期	1年後期	単位数	2	ナバ'リング	UL11102	研究室	W-22
担当者	木村 晴壽			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、火曜日1限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
<p>地域の歴史を正しく理解することは、地域の観光や福祉を考える場合にも有効だろうし、地域商工業の発展をはかるうえでも不可欠といえます。しかし地域史を学ぶ本当の意味は、歴史を見る際の勘所をおさえることにあります。松本地方の地域史は松本だけのことで他の地域とは全く関係がない、ということでは決してありません。皆さんが、他の地域の歴史を知ろうとするときに、どういったところに目をつけてその地域の歴史をたどったらよいか、ポイントを把握することになるのです。毎回、前回の内容をフィードバックします。</p>											
学修到達目標											
日本全体の歴史の中で、信州や松本地方の歴史はどこに特徴があるのかを理解することが目標です。											
授業の進め方											
基本的には教員からの説明を主体とした講義形式で進めます。アウトキャンパス等は計画していません。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	ガイダンスと講義全体についての基礎知識を説明					事前、テキスト1～3頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
2	中世の信州	戦国時代の信州と松本について概略的に解説する					事前、テキスト4～8頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
3	近世の地域（全国的傾向）	太閤検地を起点として日本近世の仕組みを概説する					事前、テキスト10～13頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
4	信州の年貢	近世において領主と農民の関係の基軸である年貢収受関係に関し、特に信州の各藩を取り上げ、年貢の実態を解説する					事前、テキスト14～18頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
5	江戸時代の松本	信州の中でも特に松本平に関し、その特徴を解説する					事前、テキスト18～20頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
6	“県”の成り立ち	明治期になって繰り返される県の合併について、詳述する					事前、テキスト22～29頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
7	「長野県」の誕生	初期の「長野県」および第二次「長野県」、そして現代の長野県が誕生するまでの複雑な経緯を詳述する					事前、テキスト30～33頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
8	市町村の整備	府県レベルの整備に続き、市町村の整備が展開する過程を詳述する。併せて町村合併が強行された事情にも触れる					事前、テキスト34～36頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
9	“市”の誕生	町村レベルの整備と併行して、わが国で初めて「市」が設定された経緯と、その実態について詳述する					事前、テキスト36～41頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
10	地域の商工業	地域に展開する商工業に関し、商工会議所を取り上げて解説する。特に松本商工会議所には特徴的な歴史があり、その点についても詳述する					事前、テキスト42～48頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
11	松本の製糸業と商工業	信州全土で盛んとなった製糸業について概説し、松本での製糸業の展開を、商工業全体の発展と関連づけて説明する					事前、テキスト42～48頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
12	信州の産業組合	信州で著しく発展した戦前の産業組合について、実態に即した説明をする					事前、テキスト50～58頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
13	地域の実業教育	松本市の誕生とともに始まる松本成成商業学校問題について、市議会資料にもとづいて解説する					事前、テキスト60～69頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
14	戦後の地域	戦前の歴史の上に、戦時中の特殊事情が加わり、どのように戦後の地域経済が形成されるのかを、概略的に説明する					事前、テキスト71～80頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
15	総括	地域の歴史を、政治・経済・社会という側面ごとに振り返り、総括する					事前、テキスト全体を通読(4時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「地域史（地誌）」木村晴壽著松本大学総合経営学部編(生協で購入してください。)					定期試験：100% 基本的には期末試験の結果を重視します。授業に出席するのが基本なので欠欠に関してはあまり重視しません。レポート：20%、定期試S:80%。S:授業内容を十分に理解し、日本の経済発展について解説できる。A:授業内容を理解している。B:授業内容をおおよそ理解している。C:授業内容を6割程度理解している。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「長野県史」長野県編 「松本市史」					本講義では「遅刻」という範疇はありません。時間通りに着席することが基本です。						

科目名	知の技法	学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL11103	研究室	A-16
担当者	守 一雄	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日5限、木曜日5限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)							
	A B C								
授業概要									
<p>教養ある大人となるための「知の技法」を実習します。「知の技法」は広範囲に及びますが、この授業では言語の活用技術に絞って「読み・書き・聞き・話す」という4つの技能について実習を通して学びます。具体的には、3冊の課題図書を読み、レポートを6回書き、本の内容について6回ディベート(聞き、話す)をします。なお、最終試験の受験資格が与えられるのは「ディベートに5回以上出席し、すべての読後レポートを提出」した者としてします。</p>									
学修到達目標									
<p>1) 本を決められた期間内に読めるようになる。2) パラグラフ・ライティングで文章が書けるようになる。3) ディベートで相手の主張を正しく聞き取ることができるようになる。4) ディベートで自分の意見を決められた時間内に話すことができるようになる。</p>									
授業の進め方									
<p>15回の授業のうち、6回を講義と実習、6回を小グループによるディベートにあてます。講義を聞くだけでなく、課題図書を読み、読後レポートを書き、ディベートで聞き、話すことで、言語の4つの機能をフル活用する授業となるようにします。</p>									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	この授業の進め方/ディベートのやり方と利点について説明し、学びます。				課題図書(1)を読む。(4時間)			
2	パラグラフライティング	レポートの書き方実習(三論点意見文章法)/パラグラフライティングについて説明し、学びます。				課題図書(1)の読書(4時間)			
3	ディベート	ディベート導入の是非についてディベートします。				読後レポート(1)の作成、提出(4時間)			
4	相互添削実習	レポート(1)の返却と相互添削実習 文章推敲の意義と方法について学びます。				レポート(1)の書き直し(4時間)			
5	ディベート	ディベート導入の是非について再度ディベートします。				レポート(1)の完成版提出(4時間)			
6	意見と感想	レポート(1)完成版返却とコメント 絶対評価と相対評価について学びます。				課題図書(2)の読書(4時間)			
7	ディベート	課題図書(2)に関するテーマについてディベートします。				課題図書(2)のレポート(3)提出(4時間)			
8	レポート(3)の相互添削実習	レポート(3)の相互添削実習/三論点文章法の応用について説明し、学びます。				読後レポート(3)の推敲、完成版作成(4時間)			
9	ディベート	課題図書(2)に関するテーマについてディベートします。				レポート(3)の書き直しと完成版(4)の提出(4時間)			
10	英語を学ぶことの意義	レポート(4)返却とコメント/科学的思考方法について説明し、学びます。				課題図書(3)の読書(4時間)			
11	ディベート	課題図書(3)に関するテーマについてディベートします。				課題図書(3)のレポート(5)提出(4時間)			
12	英語学習の実際	レポート(5)の相互添削実習/三論点文章法の応用について説明し、学びます。				読後レポート(5)の推敲、完成版(6)作成(4時間)			
13	ディベート	課題図書(3)に関するテーマについてディベートします。				読後レポート(6)の作成、提出(4時間)			
14	知の技法まとめ	レポート(6)を返却しコメントについて説明します。				総合的復習(4時間)			
15	最終試験・授業アンケート	最終試験(=定期試験)・解答について解説をします。				総合的復習(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
<p>「ザ・ディベート」茂木秀昭著(ちくま新書) ISBN:978-4480058928(生協で購入してください。) 課題図書 「残念ながら、その文章では伝わりません」山口拓朗著(たいわ文庫) ISBN:978-4479306597(生協で購入してください。) 課題図書 「英語を制するライティング」キム ジョンキユ著(講談社現代新書)(別途、指示します。) 課題図書</p>		<p>定期試験:100% S:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の3つ以上において優れた成果を示した。A:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の2つ以上において優れた成果を示した。B:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習において優れた成果を示した。C:課題すべてを基準レベルで達成した。なお、定期試験として行う最終試験では、知識を問うような試験はしません。</p>							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特になし。		<p>楽な授業ではありませんが、本を読む習慣が付き、文章を書く力がつくはずですが、また、ディベートを通して、自分の主張をわかりやすく話し、相手の主張をしっかりと聞き取れるようになると思います。</p>							

科目名	基礎ゼミナール（総経）		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL11104	研究室									
担当者	各教員		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー											
関連資格					履修条件													
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）												
			A	B	C	2020年度～												
授業概要																		
<p>大学での学生生活は高校までとは異なります。本講義では「高校生から大学生へ意識や行動を変えること」、「大学生としての基礎的資質を固めること」の2つを目的としています。これらは導入教育、初年時教育などと呼ばれるものです。上記の2つの目的を実現するために、本講義では「大学での学び方が身につく」、「教員や他の学生と関わりを持つことができる」、「自分の将来（職業）について考えられる」、「大学での学びに慣れる」ことを基軸に講義計画を立てています。</p>																		
学修到達目標																		
<p>学修態度の基礎が身につく、友人や教員との人間関係の基礎づくりができる。また、大学における学びをより実りあるものにするための具体的な行動をとることができる。</p>																		
授業の進め方																		
<p>配布資料を用いた授業のほか、グループワーク、講演会参加など皆さんの積極的な参加を求めます。皆さんの議論の成果を授業にフィードバックさせながら、ステップアップしていきます。e-learning システムを使った基礎学力の学修も行います。</p>																		
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。																		
回	テーマ	内容				事前事後学修												
1	アイスブレイキング	自己紹介、履修相談等				履修の手引きを読み、大学における4年間の学びの仕組みを理解し確認する。（4時間）												
2	コンピュータ指導	履修登録等に不可欠な本学のコンピュータシステムに関する実習等				本学独自のシステムを理解し、活用するため技術を確認する。（4時間）												
3	学内施設の見学	図書館、基礎教育センター、キャリアセンター等				配布資料を確認し、いろいろな大学施設を自ら積極的に活用してみる。（4時間）												
4	ノート・テイキング	大学での学びとノート・テイキング				配布プリント「大学での学び」の復習（2時間）「ノートテイキング」の予習（2時間）												
5	ノート・テイキング	実践的なノート・テイキング				配布プリント「ノートテイキング」の復習（4時間）												
6	キャリアセンターによる講演会	自己発見レポートのフォロー				「自己発見レポート」の復習（2時間）「大学での学びと情報検索」の予習（2時間）												
7	情報を集める	大学での学びと情報検索				「大学での学びと情報検索」の復習（2時間）「様々な情報源」の予習（2時間）												
8	情報を集める	様々な情報源				「様々な情報源」の復習（2時間）「大学での学びとリーディング」の予習（2時間）												
9	リーディング	大学での学びとリーディング				「大学での学びとリーディング」の復習（2時間）「様々な文章とその読み方」の予習（2時間）												
10	リーディング	様々な文章とその読み方				「様々な文章とその読み方」の復習（2時間）「読解のスキル」の予習（2時間）												
11	リーディング	読解のスキル				「読解のスキル」の復習（2時間）「大学での学びとライティング」の予習（2時間）												
12	学生委員会による講演会	防犯・防災に関する講習等				講習内容について、インターネットや図書を使い理解を深める（4時間）												
13	ライティング	大学での学びとライティング				「大学での学びとライティング」の復習（2時間）「レポートの基礎知識」の予習（2時間）												
14	ライティング	レポートの基礎知識				「レポートの基礎知識」の復習（2時間）「引用・注・参考文献表の書き」の予習（2時間）												
15	ライティング	引用・注・参考文献表の書き方				前期のまとめレポートの作成（4時間）												
テキスト		成績評価の方法・基準																
(別途、指示します。) プリントを配布します。		<p>出席レポート：40% レポートとは各種講習会への出席確認と記述内容、Web自習システムの利用成果。課題とは読書感想文とプレゼンテーションツールの作成状況およびスキルを指します。</p> <p>成績評価基準</p> <table border="1"> <tr> <td>「S」</td> <td>出席レポートと課題提出と内容のすべてが95%以上</td> </tr> <tr> <td>「A」</td> <td>80%以上</td> </tr> <tr> <td>「B」</td> <td>70%以上</td> </tr> <tr> <td>「C」</td> <td>60%以上</td> </tr> </table>									「S」	出席レポートと課題提出と内容のすべてが95%以上	「A」	80%以上	「B」	70%以上	「C」	60%以上
「S」	出席レポートと課題提出と内容のすべてが95%以上																	
「A」	80%以上																	
「B」	70%以上																	
「C」	60%以上																	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）																
随時指示します。		<p>本講義は、大学での学生生活を充実させる上で非常に重要な内容が盛り込まれています。「大学生としての基本」を学ぶつもりで、毎回、積極的に授業に臨んでください。</p>																

科目名	基礎ゼミナール（総経）		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL11105	研究室	
担当者	各教員		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C	2020年度～				
授業概要										
<p>大学での学生生活は高校までとは異なります。本講義では「高校生から大学生へ意識や行動を変えること」、「大学生としての基礎的資質を固めること」の2つを目的としています。これらは導入教育、初年時教育などと呼ばれるものです。上記の2つの目的を実現するために、本講義では「大学での学び方が身につく」、「教員や他の学生と関わりを持つことができる」、「自分の将来（職業）について考えられる」、「大学での学びに慣れる」ことを基軸に講義計画を立てています。</p>										
学修到達目標										
<p>学修態度の基礎が身につく、友人や教員との人間関係の基礎づくりができる。また、大学における学びをより実りあるものにするための具体的な行動をとることができる。</p>										
授業の進め方										
<p>配布資料を用いた授業のほか、グループワーク、講演会参加など皆さんの積極的な参加を求めます。皆さんの議論の成果を授業にフィードバックさせながら、ステップアップしていきます。e-learning システムを使った基礎学力の学修も行います。</p>										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	後期ガイダンス等	後期履修相談、前期の復習等				前期学習内容の復習と後期の学習内容の検討（4時間）				
2	プロジェクトマネジメント	各ゼミで主催する大学祭の企画に関する話し合い				大学祭企画の提案書の個人での作成（4時間）				
3	プロジェクトマネジメント	各ゼミで主催する大学祭の企画・実行に関する話し合い				大学祭企画のゼミとしての提案書の検討（4時間）				
4	健康安全センターによる講演会	AEDに関する講習				講習内容について、インターネットや図書を使い理解を深める（4時間）				
5	コミュニケーション力をみがく	コミュニケーション力をみがく				プリント「プレゼンテーションとは」の復習（2時間）「スピーチを鍛える」の予習（2時間）				
6	コミュニケーション力をみがく	スピーチを鍛える				「スピーチを鍛える」の復習（2時間）「ドキュメントを使ったプレゼンテーション」の予習				
7	コミュニケーション力をみがく	大学での学びと情報検索				「大学での学びと情報検索」の復習（2時間）「様々な情報源」の予習（2時間）				
8	情報を集める	ドキュメントを使ったプレゼンテーション				「ドキュメントを使ったプレゼンテーション」の復習（2時間）「ディスカッション」の予習（2時間）				
9	ディスカッション	大学での学びとディスカッション				「大学での学びとディスカッション」の復習（2時間）「ディスカッションの心得」の予習（2時間）				
10	ディスカッション	ディスカッションの心得				「ディスカッションの心得」の復習（2時間）「ディスカッションの種類と目的」の予習（2時間）				
11	ディスカッション	問題を共有するディスカッション				「問題を共有するディスカッション」の復習（2時間）「ディベートとは」の予習（2時間）				
12	学生委員会による講演会	防犯・防災に関する講習等				講習内容について、インターネットや図書を使い理解を深める（4時間）				
13	キャリアセンターによる講演会	大学生生活と就職活動について				講習内容について、インターネットや図書を使い理解を深める（4時間）				
14	ディベート	レポートの基礎知識				問題を共有するディスカッション」の復習（4時間）				
15	まとめ	基礎ゼミ全体のまとめ				一年生としての大学生活を振り返る（4時間）				
テキスト			成績評価の方法・基準							
(別途、指示します。) プリントを配布します。			<p>出席レポート：40% レポートとは各種講習会への出席確認と記述内容、Web自習システムの利用成果。課題とは読書感想文とプレゼンテーションツールの作成状況およびスキルを指します。</p> <p>成績評価基準 「S」出席レポートと課題提出と内容のすべてが95%以上 「A」 80%以上 「B」 70%以上 「C」 60%以上</p>							
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）							
随時指示します。			<p>本講義は、大学での学生生活を充実させる上で非常に重要な内容が盛り込まれています。「大学生としての基本」を学ぶつもりで、毎回、積極的に授業に臨んでください。</p>							

科目名	総合英語 (INT) Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤
担当者	イサー フィリップ	必修選択	必修	科目種別	講義	オイスアワ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C					
授業概要									
本授業では、実際に使える英語の習得を目指しコミュニケーションを重視しながら4技能をバランスよく身につけます。TED talksのプレゼンテーションを通じて単語学習、リスニング問題、ディスカッション、ライティング課題に取り組むことで、英語でのプレゼンテーション能力も養います。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。									
学修到達目標									
オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりして会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって淀みなく英語を発話することができる。4技能5領域においてCEFR A2レベル同等の知識とスキルを習得している。									
授業の進め方									
外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&A、グループでのディスカッション等、学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。中間、期末テストでは一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業ガイダンス	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。					自分に合った学習計画を立てロードマップに記入(1時間)		
2	Spending Habits	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)		
3	Spending Habits	テキストリーディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks 視聴					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)		
4	Spending Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills					単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)		
5	Career Paths	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write) (1時間)		
6	Career Paths	テキストリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep (1時間)		
7	Career Paths	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep					単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing (1時間)		
8	中間テスト Presentation	Presentation "Introducing someone you know"					Unit6 Challenges PRE- READING, UNDERSTANDING, VOVABULARY (1時間)		
9	Talents	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)		
10	Talents	テキストリーディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)		
11	Talents	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills					単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)		
12	Techonology	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write) (1時間)		
13	Techonology	テキストリーディング Questions for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep (1時間)		
14	Techonology	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep					単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing (1時間)		
15	Presentation	Presentation "Introducing a new piece of technology"					期末試験範囲の学習(4時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「Keynote 1 Student Book with My Keynote Online」David Bohke著(センゲ・ジラーニング) ISBN:9781337104104 (生協で購入してください。)		受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。		インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應ずる積極的に取り組んで下さい。							

科目名	総合英語 (INT) Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤
担当者	タチ イミ-	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
本授業では、実際に使える英語の習得を目指しコミュニケーションを重視しながら4技能をバランスよく身につけます。TED talksのプレゼンテーションを通じて単語学習、リスニング問題、ディスカッション、ライティング課題に取り組むことで、英語でのプレゼンテーション能力も養います。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。									
学修到達目標									
オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりして会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって淀みなく英語を発話することができる。4技能5領域においてCEFR A2レベル同等の知識とスキルを習得している。									
授業の進め方									
外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&A、グループでのディスカッション等、学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。中間、期末テストでは一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業ガイダンス	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。					自分に合った学習計画を立てロードマップに記入(1時間)		
2	Spending Habits	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読(1時間)		
3	Spending Habits	テキストリーディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks 視聴					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING(1時間)		
4	Spending Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills					単語 TED talksスクリプト音読 Writing(1時間)		
5	Career Paths	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write)(1時間)		
6	Career Paths	テキストリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep(1時間)		
7	Career Paths	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep					単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing(1時間)		
8	中間テスト Presentation	Presentation "Introducing someone you know"					Unit6 Challenges PRE-READING, UNDERSTANDING, VOVABULARY(1時間)		
9	Talents	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読(1時間)		
10	Talents	テキストリーディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING(1時間)		
11	Talents	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills					単語 TED talksスクリプト音読 Writing(1時間)		
12	Techonology	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write)(1時間)		
13	Techonology	テキストリーディング Questions for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep(1時間)		
14	Techonology	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep					単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing(1時間)		
15	Presentation	Presentation "Introducing a new piece of technology"					期末試験範囲の学習(4時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「Keynote 1 Student Book with My Keynote Online」David Bohke著(センゲ・ジラーニング) ISBN:9781337104104 (生協で購入してください。)		受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。		インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應ずる積極的に取り組んで下さい。							

科目名	総合英語（総経）Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤
担当者	中野 麻里	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
	A	B	C						
授業概要									
この授業では、基礎文法を復習しながら実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。海外の日常生活をドラマ仕立てにした動画を用いて、理解と活用練習を行います。ネイティブが話す英語の音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。異文化を題材にした100語程度の題材を使用し、リーディングの基礎力も養います。									
学修到達目標									
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法の知識を身に付けて海外で日常生活ができる程度の表現と理解ができる。 短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。									
授業の進め方									
ICT教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通し会話を修得します。ペア・グループでのやりとりを毎回行います。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。ブレイスメントテスト成績に基づく小人数クラス(原則20名以下)で行います。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。				自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード(1時間)			
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞、挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文				Scene1単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文、自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文				Scene2単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形、感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文				Scene3単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞、注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「Freshman 15」についての長文				Scene4単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞、お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文				Scene5単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
7	Scene6: Catching a cab 前置詞、場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文				Scene6単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
8	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト:ロールプレイ発表 残り時間:形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現				Scene7単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
9	中間テスト(筆記) Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べ	口述テストのフィードバック 中間テスト:筆記 助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現				Scene8単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文				Scene9単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「健康的な食」についての長文				Scene10単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了の使い方 聞き直すときの口語表現 「ブロードウェイ」についての長文				Scene11単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文				Scene12単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文				Scene13単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
15	まとめ	口述テスト 残りのユニットを確認				期末試験に向けての準備(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)		受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。		インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。							

科目名	総合英語 (総経) Bクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ'リング	UL12101	研究室	
担当者	中田 順		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
この授業では、基礎文法を復習しながら実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。海外の日常生活をドラマ仕立てにした動画を用いて、理解と活用練習を行います。ネイティブが話す英語の音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。異文化を題材にした100語程度の題材を使用し、リーディングの基礎力も養います。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法の知識を身に付けて海外で日常生活ができる程度の表現と理解ができる。 短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。										
授業の進め方										
ICT教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通し会話を修得します。ペア・グループでのやりとりを毎回行います。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。ブレイスメントテスト成績に基づく小人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。				自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード(1時間)				
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞、挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文				Scene1単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文、自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文				Scene2単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形、感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文				Scene3単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞、注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「Freshman 15」についての長文				Scene4単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞、お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文				Scene5単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
7	Scene6: Catching a cab 前置詞、場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文				Scene6単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)				
8	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト:ロールプレイ発表 残り時間:形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現				Scene7単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)				
9	中間テスト(筆記) Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べ	口述テストのフィードバック 中間テスト:筆記 助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現				Scene8単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文				Scene9単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「健康的な食」についての長文				Scene10単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了の使い方 聞き直すときの口語表現 「ブロードウェイ」についての長文				Scene11単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文				Scene12単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文				Scene13単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
15	まとめ	口述テスト 残りのユニットを確認				期末試験に向けての準備(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)				受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。						

科目名	総合英語（総経）Cクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤
担当者	山内 志野		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
この授業では、基礎文法を復習しながら実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。海外の日常生活をドラマ仕立てにした動画を用いて、理解と活用練習を行います。ネイティブが話す英語の音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。異文化を題材にした100語程度の題材を使用し、リーディングの基礎力も養います。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法の知識を身に付けて海外で日常生活ができる程度の表現と理解ができる。 短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。										
授業の進め方										
ICT教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通し会話を修得します。ペア・グループでのやりとりを毎回行います。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。ブレイスメントテスト成績に基づく小人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。					自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード(1時間)			
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞、挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文					Scene1単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文、自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文					Scene2単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形、感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文					Scene3単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞、注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「Freshman 15」についての長文					Scene4単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞、お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					Scene5単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
7	Scene6: Catching a cab 前置詞、場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文					Scene6単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
8	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト:ロールプレイ発表 残り時間:形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現					Scene7単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
9	中間テスト(筆記) Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べ	口述テストのフィードバック 中間テスト:筆記 助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現					Scene8単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文					Scene9単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「健康的な食」についての長文					Scene10単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了の使い方 聞き直すときの口語表現 「ブロードウェイ」についての長文					Scene11単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文					Scene12単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文					Scene13単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
15	まとめ	口述テスト 残りのユニットを確認					期末試験に向けての準備(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)					受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。					

科目名	総合英語（総経）Dクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	N-01
担当者	大石 文朗		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限、金曜日4限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
英語の基礎的な文法や語彙を復習することによって、英語に関する総合的基礎力の向上を目指します。また、毎回、実用英語技能検定の過去問に基づいた小テストを実施して、英語力の自己診断を行います。クラス編成は、プレイスメントテストの結果に基づいて行い、受講生の英語力に適した授業内容を実施します。										
学修到達目標										
主語と動詞と目的語、物の状態や時をどう表すか、そんな英語の基礎を完全に理解し、説明することができるようになる。										
授業の進め方										
1.実用英語技能検定に関する小テストを行います。2.前回授業の簡単な復習を行います。3.テキストの解説を行い、その後適宜、学生同士のペアワークにより知識を確認し合います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業の進め方、英語能力の確認テスト				テキストP14～19を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
2	文脈に合う適切な語句を補う	Unit 1 & Unit 2、学生同士のペアワーク				テキストP20～25を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
3	文脈に合う適切な語句を補う	Unit 3 & Unit 4、学生同士のペアワーク				テキストP26～31を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
4	語句の並び替え	Unit 5 & Unit 6、学生同士のペアワーク				テキストP32～37を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
5	語句の並び替え	Unit 7 & Unit 8、学生同士のペアワーク				テキストP38～43を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
6	空所に適切な語句を補う	Unit 9 & Unit 10、学生同士のペアワーク				テキストP44～49を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
7	空所に適切な語句を補う	Unit 11 & Unit 12、学生同士のペアワーク				テキストP14～49の授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
8	英語力の確認	中間のまとめと試験				テキストP50～55を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
9	長文の読解	Unit 13 & Unit 14、学生同士のペアワーク				テキストP56～61を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
10	長文の読解	Unit 15 & Unit 16、学生同士のペアワーク				テキストP62～67を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
11	リスニング	Unit 17 & Unit 18				テキストP68～73を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
12	リスニング	Unit 19 & Unit 20				テキストP74～79を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
13	リスニング	Unit 21 & Unit 22				テキストP80～82を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
14	リスニング	Unit 23				テキストP50～82の授業内容や英語表現などについて復習する。(1時間)				
15	まとめ	今までの授業の総まとめ				今まで行ったテキストの内容を再度確認する。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「First Primer」Tetsuzo Sato etc.著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17710-4(生協で購入してください。)				受講態度:30% 定期試験:50% 小テスト:20% (受講態度とは、授業中の発言回数を点数化して評価するものです) S:学修到達目標を十分に達成しており、期待以上に卓越している。A:学修到達目標を十分に達成しており、期待通りである。B:学修到達目標を十分に達成している。C:学修到達目標を達成している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				予習・復習は必ずしておいてください。						

科目名	総合英語 (INT) Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	イサー フィリップ		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
総合英語 で身につけた4技能を発展させ、自分の考えをさらに自由に表現できるようになることを目指します。前期に引き続きTed talksのプレゼンテーションを視聴しながらより掘り下げた内容でペアやグループでの意見交換を行います。また、より洗練された英語でのプレゼンテーションができるよう力をつけていきます。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。										
学修到達目標										
オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりしてスムーズに会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって英語を話すことができる。4技能5領域においてCEFR A2以上の知識とスキルを習得している。										
授業の進め方										
外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&A、グループディスカッション、意見を書き表す等の活動を通じて学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。授業内で一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	Confidence	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking				単語 Dialogue 音読トレーニング Pre-reading サイトラ・音読 (1時間)				
2	Confidence	テクスツリーディング Qns for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Writing Task メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)				
3	Confidence	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills Small Quiz#1				単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)				
4	Achievements	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 1				単語, Writing Task, PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)				
5	Achievements	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking. Presentation #1 Part 2				単語, TED talks視聴 Writing Tasks (1時間)				
6	Achievements	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation #1 Part 3				単語 TED talksスクリプト音読 Writing Task (1時間)				
7	Creative Cities	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 4				単語 re-reading スラッシュリーディング Writing Task・音読 (1時間)				
8	Creative Cities	テクスツリーディング Questions for deeper understanding. Small Quiz #2 Words & Phrases Critical Thinking				単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)				
9	Creative Cities	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases				単語, TED talks視聴 Writing Task (1時間)				
10	Healthy Habits	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Pre-reading, Writing Task (1時間)				
11	Healthy Habits	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation #2 part 1				単語, TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Writing Task (1時間)				
12	Healthy Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation #2 part 2				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task (1時間)				
13	Picture Perfect	Guess chapter, Critical Thinking activity, Listening				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task (1時間)				
14	Picture Perfect	テクスツリーディング Questions for deeper understanding, Critical Thinking				単語, Reading, Writing Task (1時間)				
15	Picture Perfect	TED talks視聴 Comprehension Questions, Small Quiz #3, Semester Review Activity				単語 TED talksスクリプト音読 Exam Study(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Student Book with My Keynote Online」David Bohlke著(センゲ-ジラニング) ISBN:9781337104104 前期のテキストを引き続き使用します。				受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應ずる積極的に取り組んで下さい。						

科目名	総合英語 (INT) Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	タチ イミ-		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
総合英語 で身につけた4技能を発展させ、自分の考えをさらに自由に表現できるようになることを目指します。前期に引き続きTed talksのプレゼンテーションを視聴しながらより掘り下げた内容でペアやグループでの意見交換を行います。また、より洗練された英語でのプレゼンテーションができるよう力をつけていきます。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。										
学修到達目標										
オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりしてスムーズに会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって英語を話すことができる。4技能5領域においてCEFR A2以上の知識とスキルを習得している。										
授業の進め方										
外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&A、グループディスカッション、意見を書き表す等の活動を通じて学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。授業内で一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	Confidence	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking				単語 Dialogue 音読トレーニング Pre-reading サイトラ・音読(1時間)				
2	Confidence	テクスツリーディング Qns for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Writing Task メッセージ訳・PREVIEWING(1時間)				
3	Confidence	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills Small Quiz#1				単語 TED talksスクリプト音読 Writing(1時間)				
4	Achievements	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 1				単語, Writing Task, PRE-READING サイトラ・音読(1時間)				
5	Achievements	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking. Presentation #1 Part 2				単語, TED talks視聴 Writing Tasks(1時間)				
6	Achievements	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation #1 Part 3				単語 TED talksスクリプト音読 Writing Task(1時間)				
7	Creative Cities	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 4				単語 re-reading スラッシュリーディング Writing Task・音読(1時間)				
8	Creative Cities	テクスツリーディング Questions for deeper understanding. Small Quiz #2 Words & Phrases Critical Thinking				単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING(1時間)				
9	Creative Cities	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases				単語, TED talks視聴 Writing Task(1時間)				
10	Healthy Habits	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Pre-reading, Writing Task(1時間)				
11	Healthy Habits	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation #2 part 1				単語, TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Writing Task(1時間)				
12	Healthy Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation #2 part 2				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task(1時間)				
13	Picture Perfect	Guess chapter, Critical Thinking activity, Listening				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task(1時間)				
14	Picture Perfect	テクスツリーディング Questions for deeper understanding, Critical Thinking				単語, Reading, Writing Task(1時間)				
15	Picture Perfect	TED talks視聴 Comprehension Questions, Small Quiz #3, Semester Review Activity				単語 TED talksスクリプト音読 Exam Study(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Student Book with My Keynote Online」David Bohlke著(センゲ-ジラニング) ISBN:9781337104104 前期のテキストを引き続き使用します。				受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應ずる積極的に取り組んで下さい。						

科目名	総合英語（総経）Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12102	研究室	N-01
担当者	大石 文朗		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限、金曜日3限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
カナダへの旅行を想定した内容のテキストを使用し、旅に必要な英語を旅行の順番通りに学ぶことができます。また、旅行英語だけではなく、旅行中に人と出会う際、自分のことについてどういう風に話せばよいのかも網羅しており、海外で役に立つ実践的な英会話表現を習得します。さらに、毎回、実用英語技能検定の過去問に基づいた小テストを実施して、英語力の自己診断を行います。										
学修到達目標										
海外旅行で使用する重要な英語表現を使いこなすことができる。										
授業の進め方										
1.実用英語技能検定に関する小テストを行います。2.前回授業の簡単な復習を行います。3.新出単語を音読し、意味、発音などの学習を行います。4.テーマごとの英文問題を解きながら、内容を把握して学生同士のペアワークによる会話の練習を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 現状の英語能力の確認	授業の進め方、英語能力の確認テスト				テキストP8～15を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
2	旅行目的地を尋ねる時の英語表現	Where are you heading?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP16～23を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
3	入国時の英語表現	May I see your passport?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP24～31を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
4	行き先を答える時の英語表現	Where to? に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP32～39を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
5	宿泊先での英語表現	I asked for a double?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP40～47を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
6	観光のおすすめ先を尋ねる時の英語表現	What would you suggest?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP48～49を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
7	Unit 5までの復習	Review を行う				テキストP8～49の授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
8	英語力の確認	中間のまとめと試験				テキストP50～57を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
9	レンタカーを借りる時の英語表現	Here are your keys.に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP58～65を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
10	道を探る時の英語表現	Turn left at the light.に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP66～73を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
11	買い物の時の英語表現	How much is this?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP74～81を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
12	予定を探る時の英語表現	Are you free tomorrow?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP82～89を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
13	レストランでの英語表現	I'll have the steak.に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP90～91を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
14	Unit 6～Unit 10までの復習	Review を行う				テキストP50～91の授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
15	まとめ	今までの授業の総まとめ				今まで行ったテキストの内容を再度確認する。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Encounters Abroad with CD」Michael P. Critchley著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17539-1(生協で購入してください。)				小テスト:25% 課題:25% 定期試験:50% S:学修到達目標を十分に達成しており、期待以上に卓越している。A:学修到達目標を十分に達成しており、期待通りである。B:学修到達目標を十分に達成している。C:学修到達目標を達成している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				予習・復習は必ずしておいてください。						

科目名	総合英語（総経）Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12102	研究室	非常勤	
担当者	久田 康子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)								
		A	B	C							
授業概要											
外国人観光客を街角などで「おもてなし」するための会話力とコミュニケーションスキルを向上させるとともに、フィールドワークでの体験をベースに、短いスキットをグループで製作して発表します。また、国内と海外の観光地事情を、主体的なアクティブラーニングを通じて学びながら、英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)を高めていきます。											
学修到達目標											
1.出席レポートを自宅で作成させて、動画や記事の英語情報の要点を把握し、グループ内で情報のシェアができる。 2.フィールドワークで、外国人観光客と英語でコミュニケーションをして交流しその内容をわかりやすく伝えることができる。 3.グループで『おもてなし英語』をテーマにしたスキットを制作して発表する。											
授業の進め方											
主にアクティブラーニングを中心とした演習形式の授業です。具体的には、各自のレポートのグループ発表、街頭インタビュー、クラスでのアイデアの共有とプレゼンテーション、ビデオ視聴、会話と音読のトレーニング等をしていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業の概要を体験します。(どこでも使える基本フレーズ他)					シラバスを読んで質問を用意し概要を把握しておきましょう。(30分)				
2	インタビューの準備	出席レポートの作成方法を確認します。また、プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて自分の担当部分についての出席レポート[1]の完成(1時間)				
3	インタビューの準備	各自の出席レポート[1]をグループでシェアします。プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[2]の完成(1時間)				
4	インタビューの準備	各自の出席レポート[2]をグループでシェアします。プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[3]の完成(1時間)				
5	インタビューの準備	各自の出席レポート[3]をグループでシェアします。プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[4]の完成(1時間)				
6	プレゼンテーション[1](課題)の原稿作成	各自の出席レポート[4]をグループでシェアします。プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[5]の完成(1時間)				
7	プレゼンテーション[1](課題)の原稿作成	各自の出席レポート[5]をグループでシェアします。プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					プレゼンテーション[1]の完成と発表練習。(1時間)				
8	プレゼンテーション[1](課題)の発表	プレゼンテーション課題[1]の発表をします。自己と相互でのフィードバックをしてプレゼンテーション課題[2]に役立てます。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[6]の完成(1時間)				
9	プレゼンテーション[2](課題)の準備『タイトル決定』	各自の出席レポート[6]をグループでシェアします。プレゼンテーション[2]のタイトルを決めます。音読練習とペアワークで会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[7]の完成(1時間)				
10	プレゼンテーション[2](課題)の準備『シナリオ(5W1H)』	各自の出席レポート[7]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてストーリーの展開(5W1Hと起承転結)を決めていきます。音読練習とペアワークで会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[8]の完成(1時間)				
11	プレゼンテーション[2](課題)の準備『シナリオ(起承転結)』	各自の出席レポート[8]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けて、シナリオの前半部分を完成させていきます。音読練習とペアワークで会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[9]の完成(1時間)				
12	プレゼンテーション[2](課題)の準備『シナリオ(完成)』	各自の出席レポート[9]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けて、シナリオの後半部分を完成させていきます。音読練習とペアワークで会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[10]の完成(1時間)				
13	プレゼンテーション[2](課題)の最終準備	各自の出席レポート[10]をグループでシェアし、プレゼンテーションの発表に向けて、詳細を決定した後に練習します。					プレゼンテーション[2](課題)の発表の準備。(1時間)				
14	プレゼンテーション[2](課題)の最終準備『リハーサル』	リハーサル					プレゼンテーション[2]の完成と発表練習。(1時間)				
15	プレゼンテーション[2](課題)の発表 定期試験の準備	プレゼンテーション課題[2]の発表とフィードバックをします。					英会話の試験準備。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
(講義にて配布します。) ニュースのテーマが変更される場合があります。		出席レポート:40% 課題:40% 定期試験:20% S:授業内容を高度に理解し実践力を身に付け批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み応用問題が解ける。A:授業内容を理解し実践力を身に付け積極的な探究姿勢をもって課題に取り組みみや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
「辞典(例:ジーニアス英和・和英辞典) 電子辞書を推奨します。」 英和・和英辞書を持参してください。		授業時間外に、フィールドワークがあります。実務経験のある教員が担当:国際線の客室乗務員として乗客サービス等に携わりました。									

科目名	総合英語（総経）Cクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	林 英美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
この講義の目的は、大学で学ぶ皆さんが、コミュニケーションの手段としての英語を楽しく学び、世界に自分の気持ちを発信できる英語を身につけることです。英語に興味はあるけれど、あまり得意ではない学生でも履修できるように、学び直しができる内容となっています。映像を用いた授業では4技能をバランスよく使いながら、英語だけでなく異文化についても学びます。										
学修到達目標										
コミュニケーションの手段としての英語を楽しく学び、世界に自分の気持ちを発信できる英語を身につけることを目的とします。										
授業の進め方										
海外旅行や生活で使える英語表現を学び、会話練習をします。Listening練習で自然な速度の英語に慣れるように練習します。また英語表現を通じて異文化理解を深めます。単語クイズ、会話テスト、定期試験を通じて包括的に評価します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。教科書の構成について説明をし、予習や復習の進め方を説明します。				Unit 1の予習をする。(1時間)				
2	Unit 1	be動詞について学習します。				Unit 1の復習とUnit 2の予習をする。(1時間)				
3	Unit 2	可算名詞、不可算名詞について学習します。				Unit 2の復習とUnit 3の予習をする。(1時間)				
4	Unit 3	一般動詞の現在時制について学習します。				Unit 3の復習とUnit 4の予習をする。(1時間)				
5	Unit 4	代名詞について学びます。				Unit 4の復習とUnit 5の予習をする。(1時間)				
6	Unit 5	一般動詞の過去時制について学びます。				Unit 5の復習とUnit 6の予習をする。(1時間)				
7	Unit 6	進行について学びます。				Unit 6の復習をする。(1時間)				
8	Unit 1からUnit 6のまとめ	Unit 1からUnit 6までの復習をします。				Unit 6までの復習、Unit 7の予習をする。(1時間)				
9	Unit 7	will/be going to~について学びます。				Unit 7の復習とUnit 8の予習をする。(1時間)				
10	Unit 8	助動詞について学びます。				Unit 8の復習とUnit 9の予習をする。(1時間)				
11	Unit 9	前置詞について学びます。				Unit 9の復習とUnit 10の予習をする。(1時間)				
12	Unit 10	現在完了について学びます。				Unit 10の復習をする。(1時間)				
13	校外学習準備	アウトキャンパススタディで行う英語インタビューの準備をする。				英語インタビューの準備を完成する。(1時間)				
14	アウトキャンパススタディ	外国人が多く訪れる観光地に出かけ、これまでに学習してきた事項を活用した街頭インタビューを実施し、日本への海外旅行者の動向について英語で調査する(松本城近辺予定)。				アウトキャンパススタディの事後レポートを作成する。(1時間)				
15	これまでの学習まとめ	Unit 6からUnit 10までのまとめ学習をします。				Unit 1~Unit 10までの総復習(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「We Love L.A.！」Robert Hickling, Misato Usukura著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4049-5(生協で購入してください。)				定期試験:40%、小テスト:20%、レポート:10%、出席レポート:30% 定期試験には、リスニング試験、筆記試験、会話試験が含まれます。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
英和辞典、和英辞典				会話の練習をたくさんして、使える英語の習得を目指します。これから英語圏へ出かけてみたい方、英語を仕事で使いたい方、英語を学び直したい方、ともに役立つ英語表現を実践的に学びましょう。						

科目名	総合英語 (総合経営学部)		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22103	研究室	非常勤	
担当者	久田 康子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
記事、映像、音声から生きた時事英語のインプットとアウトプットをすることで、英語の4技能(読む、書く、聞く、話す)を高めると共に、批判的思考によってメディアからの情報を見きわめる試みを行います。											
学修到達目標											
1.時事英語に関する10の出席レポートを完成させて、時事英語の要点を的確に把握できる。 2.ニュースに出てくる基本的な語いやフレーズを新たに習得するとともにメディアの情報を取捨選択する能力を高める。 3.二つのスピーチ(『メディアリテラシーについて』と『My News』)を作成して、聞き手に伝わるプレゼンテーションをすることができる。											
授業の進め方											
自主的に取り組むアクティブラーニングの形式で、自宅学習のグループ内発表、各自のプレゼンテーションと相互のフィードバック、ペアとグループでのディスカッションや音読トレーニングを行っていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	授業ガイダンスの説明を受けた後に、授業の概要を体験します。					シラバスをよく読んで質問を用意しておいてください。(30分)				
2	職業に関するニュース	出席レポートの内容確認。CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。5W1Hを含むストーリー作り。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[1]の完成(1時間)				
3	教育に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[1]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[2]の完成(1時間)				
4	宇宙科学に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[1]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[3]の完成(1時間)				
5	環境問題に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[1]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[4]の完成(1時間)				
6	シニア世代に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[1]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[5]の完成(1時間)				
7	プレゼンテーション[1](課題)発表のための準備	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア。プレゼンテーション[1]の準備(構成・プレゼン方法)。					プレゼンテーション[1](課題)発表のリハーサル				
8	プレゼンテーション[1](課題)の発表	プレゼンテーション[1](課題)の発表。自己と相互でのフィードバック。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[6]の完成(1時間)				
9	科学技術に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[2]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[7]の完成(1時間)				
10	伝統に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[2]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[8]の完成(1時間)				
11	食に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[2]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[9]の完成(1時間)				
12	接客サービスに関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[2]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[10]の完成(1時間)				
13	プレゼンテーション[2](課題)の発表のための準備	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア。プレゼンテーション[2](課題)の最終準備(構成・プレゼン方法)。					プレゼンテーション[2]のまとめ(1時間)				
14	プレゼンテーション[2](課題)の発表	プレゼンテーション[2]の発表・自己と相互でのフィードバック。					プレゼンテーション[2]の発表に向けたリハーサル(1時間)				
15	定期試験の準備	定期試験に向けて、授業で扱われたCNNニュース他の復習をします。ペアで音読練習をし、疑問点について学び合います。					定期試験に向けて、授業で扱われたCNN等のニュースの復習。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
(講義にて配布します。) 各回のテーマにあるニュースの内容は変更する場合があります。			出席レポート：40% 課題：40% 定期試験：20% S：授業内容を高度に理解し実践力を身に付け批判的思考力に基づく探究姿勢で課題に取り組み難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し実践力を身に付け積極的な探究姿勢で課題に取り組みやや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し実践することができ、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「辞典(例：ジーニアス英和・和英辞典)」 英和辞典を毎回持参してください。 電子辞書が便利です。			実務経験を持つ教員が担当。米国の中小企業に勤務中、顧客向けのプレゼンテーションを行ないました。								

科目名	総合英語（総合経営学部）		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22104	研究室	非常勤
担当者	久田 康子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>ビジネスの場で使える実践的な英語にアプローチするために、次の3つの演習に取り組みます。(1)最新のビジネスニュースについての映像を視聴して完成させる出席レポートをグループ内でシェアします。(2)ビジネスプレゼンテーションを完成させ発表します。(3)ビジネスの現場で役に立つ実用的な表現の演習をします。</p>										
学修到達目標										
<p>1. シンプルな英語を使って2つのプレゼンテーション(課題)を完成させて自分のアイデアを聞き手に効果的に伝えることができる。 2. 出席レポートと会話練習他の演習により、読む・書く・聞く・話すの4技能と英語学習への興味を現状レベルより高める。 3. 協働的に課題に取り組むことで、コミュニケーション能力と主体的に課題を解決する能力等を向上させる。</p>										
授業の進め方										
<p>自主的に取り組むアクティブラーニングの形式で、自宅学習後のグループ内発表、プレゼンテーションと相互でのフィードバック、ペアとグループでのディスカッションや教え合い、音読練習を行っていきます。</p>										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	イントロダクション	例題に取り組みながら具体的な授業の流れを把握します。					シラバスをよく読んで内容に関する質問を用意する。(30分)			
2	Presentation[1]課題：商品・サービスの紹介	出席レポートの作成方法を確認します。Presentation[1]で何を紹介したいか決めていきます。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[1]の完成。(1時間)			
3	Presentation[1]課題：商品・サービスの紹介『特徴』	各自の出席レポート[1]をグループでシェアします。プレゼンテーションで何を紹介したいか決めていきます。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[2]の完成。(1時間)			
4	Presentation[1]課題：商品・サービスの紹介『メリットとデメリット』	各自の出席レポート[2]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[3]の完成。(1時間)			
5	Presentation[1]課題：商品・サービスの紹介『商品・サービスの詳細』	各自の出席レポート[3]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてワークをします。また、動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[4]の完成。(1時間)			
6	Presentation[1]課題：商品・サービスの紹介『プレゼンテーションの完成』	各自の出席レポート[4]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[5]の完成。(1時間)			
7	Presentation[1]課題：商品・サービスの紹介『リハーサル』	各自の出席レポート[5]をグループでシェアします。プレゼンテーションのリハーサルをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					Presentation[1]の完成と発表練習。(1時間)			
8	Presentation[1]課題：商品・サービスの紹介『発表』	Presentation[1](課題)の発表して、自己と相互によるフィードバックをします。					出席レポート[6]の完成。(1時間)			
9	Presentation[2]課題：ビジネス・プロポーザル『テーマの決定』	各自の出席レポート[6]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてグループワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[7]の完成。(1時間)			
10	Presentation[2]課題：ビジネス・プロポーザル『問題の明確化』	各自の出席レポート[7]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてグループワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[8]の完成。(1時間)			
11	Presentation[2]課題：ビジネス・プロポーザル『課題の解決方法』	各自の出席レポート[8]をグループでシェアしプレゼンテーションの完成に向けてグループワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[9]の完成。(1時間)			
12	Presentation[2]課題：ビジネス・プロポーザル『プレゼンテーションの型』	各自の出席レポート[9]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてグループワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[10]の完成。(1時間)			
13	Presentation[2]課題：ビジネス・プロポーザル『面談と練習』	各自の出席レポート[10]をグループでシェアします。また、プレゼンテーションの完成に向けて、教師と面談をします。					Presentation[2]の発表に向けての原稿の完成。(1時間)			
14	Presentation[2]課題：ビジネス・プロポーザル『発表のリハーサル』	Presentation[2](課題)の発表のリハーサルをして相互にフィードバックをします。					Presentation[2]の完成と発表練習。(1時間)			
15	Presentation[2]課題：ビジネス・プロポーザル『発表』	Presentation[2](課題)の発表と、自己と相互によるフィードバックをします。定期試験に向けて、授業で扱われたビジネス英語の復習のための音読練習や疑問点の確認をペアやグループでします。					定期試験に向けての、授業で扱われたビジネス英語の復習。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
(講義にて配布します。)					<p>出席レポート：40% 課題：40% 定期試験：20%</p> <p>S：授業内容を高度に理解し実践力を身に付けて批判的思考力に基づく探究姿勢で課題に取り組み難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し実践力を身に付けて積極的な探究姿勢で課題に取り組みやや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおよそを理解し実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し実践することができ、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>					
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）					
「電子辞典（例：ジーニアス英和・和英辞典）」					実務経験を持つ教員が担当。米国の中小企業に勤務中、顧客や業者との対応交渉やサービスの改善に携わり、現在は企業研修の実施や社会人対象のビジネス英語の講師を務めています。					

科目名	英会話 Aクラス (総経・人間)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12105	研究室	非常勤
担当者	フレデリック 加ース	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
<p>さまざまな日常的话题について、英語を聞き、話すことを練習します。 We will practice listening and speaking English about a wide variety of everyday topics.</p>									
学修到達目標									
<p>日常的な英会話を修得し、自信を持ってコミュニケーションをとることができる。 Upon finishing this class, students will be able to communicate more confidently in English.</p>									
授業の進め方									
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。									
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class				Preparation for a test.(1h)			
2	Getting to know each other(1)	Get to know each other game				Write a self-introduction.(1h)			
3	Getting to know each other(2)	Teacher interview				Report on an English reading book.(1h)			
4	Dates and Ordinal Numbers(1)	Japanese holidays and events; Birthdays				Write Japanese holidays.(1h)			
5	Dates and Ordinal Numbers(2)	Describing weather around the world				Write about the weather in your hometown.(1h)			
6	Personal Information(1)	Ask and answer questions about yourself				Write about yourself.(1h)			
7	Personal Information(2)	Japanese celebrities				Write about a Japanese celebrity.(1h)			
8	Likes and Dislikes(1)	Ask about likes and dislikes				Write about something you like.(1h)			
9	Likes and Dislikes(2)	Interviews about likes and dislikes; favorites				Write about your favorite.(1h)			
10	Counters and Singular/Plural(1)	Ogui contest; Review singular/plural				Report on an English reading book.(1h)			
11	Counters and Singular/Plural(2)	Card activity to practice singular/plural				Write about "What 's in my refrigerator." (1h)			
12	Wh- Questions(1)	Question formation; Adverbs of frequency				Write about something you like.(1h)			
13	Wh- Questions(2)	Discussion about interests				Write about a T.V. show or movie you like.(1h)			
14	Can and Can ' t	Talk about abilities				Write about some of the things you can do.(1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination				Prepare for final examination.(1h)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「Talk a Lot, Starter Book, Second edition」David Martin著 (EFL Press) ISBN:4580244425068 (生協で購入してください。)		<p>課題 : 25% 定期試験 : 25% 授業への参加度 : 25% 努力点 : 25% Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude:25%, Assignments: 25%. S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>							
参考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)							
辞書 Any dictionary		いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.							

科目名	英会話 Bクラス (総経・人間)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12105	研究室	N-02
担当者	マレット ショーン	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度 (読替科目)							
	A B C								
授業概要 どんな状況でも自信を持って英語を使えるようにすることがこのコースの目的です。特に、物事を表現したり、意見を述べたり、説明やプレゼンの仕方を学びます。異文化コミュニケーション、クリティカルシンキング、ポキャブラリーの増強、正確な文法、流暢な会話を目指してください。									
学修到達目標 本コースではスピーキング力を伸ばすために、個人的かつ学術的に興味深いトピックについてディスカッションを行います。「TED Talks」からスピーチを学び、実際に自分のTED Talksを作り上げましょう。様々なトピックについて自然で文法的に正しい会話ができるような教材を準備しますので、教員の指示に従い、グループディスカッションやプレゼンで使用するツール持参してください。									
授業の進め方 積極的に授業に参加すること。教員およびクラスメートの話を注意して聞くこと。全ての授業に出席すること。クラスを休むと宿題が出ます。宿題の内容について教員または級友に連絡すること。予習をして遅刻をせずに授業に来ること。									
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション。	Orientation to this "English Speaking" class. Introduction to the evaluation of this class, as well as to the textbook.				Purchase the textbook, and then become familiar with its format. Study ユニット 1.			
2	ユニット 1- Friends and Family (Lesson 1)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson 1)				Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。			
3	ユニット 1- Friends and Family (Lesson2)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson2)				Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。			
4	ユニット 1- Friends and Family (Lesson3)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson3)				Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。			
5	ユニット 1- Friends & Family (Lesson 4)- Test.	ユニット 1- Friends & Family (Lesson 4)- Chapter Test.				Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。			
6	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 1)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 1)				Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。			
7	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 2)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 2)				Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。			
8	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 3)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 3)				Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。			
9	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 4)- Test.	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 4)- Chapter Test.				Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。			
10	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 1)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 1)				Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。			
11	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 2)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 2)				Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。			
12	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 3)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 3)				Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。			
13	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 4)- Test.	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 4)- Chapter Test.				Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。			
14	ユニット4: Possessions (Lesson 1)	ユニット4: Possessions (Lesson 1)				Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。			
15	ユニット4: Possessions (Lesson 2)	ユニット4: Possessions (Lesson 2) ~The final class of this semester .				Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「World English Intro: Combo Split A + My World English Online」 (Third Edition) John Hughes 著 http://cengagejapan.com/elt/CoreProgram/page/?no=15705065476uyku編 (National Geographic Learning - Cengage) ISBN:978-0-35-713027-8 (生協で購入してください。)		定期試験 : 30% 各回のプレゼンテーションに対する評価 70%							
参考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)							
「Any English language dictionary.」		Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.							

科目名	英会話 Aクラス (総経・人間)		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12106	研究室	非常勤
担当者	フレデリック ガース		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>さまざまな日常的话题について、英語を聞き、話すことを練習します。 We will practice listening and speaking English about a wide variety of everyday topics.</p>										
学修到達目標										
<p>英会話 で修得した英語能力をさらに向上させ、さまざまな日常的话题について自信をもってコミュニケーションをとることができる。 Upon finishing this class, students will be able to communicate more confidently in English.</p>										
授業の進め方										
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。										
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Preparation for a test.(1h)			
2	Simple Present and Describing Things(1)	Listen and guess the creature; Simple present					Report on an English reading book.(1h)			
3	Simple Present and Describing Things(2)	Describing food; Food crossword					Write a description of an animal or insect.(1h)			
4	Family(1)	Talk about relatives					Bring family pictures.(1h)			
5	Family(2)	Ask and answer questions about family and pets					Report on an English reading book.(1h)			
6	Simple Past: Questions and Stories(1)	Ask and answer questions about what you did yesterday, last weekend					Write about what you did last weekend.(1h)			
7	Simple Past: Questions and Stories(2)	Telling a story					Finish the story on page 33.(1h)			
8	Jobs(1)	Talk about jobs and what they are like					Report on an English reading book.(1h)			
9	Jobs(2)	Talk about jobs					Describe a job.(1h)			
10	Making Comparisons(1)	Study comparison forms, then play the Comparison Game					Write a comparison of two things.(1h)			
11	Making Comparisons(2)	Ask and answer comparison and superlative questions					Write about the most ____ in your life.(1h)			
12	Numbers(1)	Numbers: pronunciation, bingo, math game, tell time					Write about your daily schedule.(1h)			
13	Numbers(2)	Ask and answer questions about your daily schedule					Write about what you did today.(1h)			
14	Present and Past Progressive	Ask and answer questions about actions					Be ready to play the Action Game.(1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Talk a Lot, Starter Book, Second edition」David Martin著 (EFL Press) ISBN:4580244425068 (生協で購入してください。)					<p>課題: 25% 定期試験: 25% 授業への参加度: 25% 努力点: 25% Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude: 25%, Assignments: 25%。 S: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>					
参考書					履修上の注意 (学生へのメッセージ)					
辞書 Any dictionary					いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.					

科目名	英会話 Bクラス (総経・人間)	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12106	研究室	N-02
担当者	マレット ショーン	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
どんな状況でも自信を持って英語を使えるようにすることがこのコースの目的です。特に、物事を表現したり、意見を述べたり、説明やプレゼンの仕方を学びます。異文化コミュニケーション、クリティカルシンキング、ポキャブラリーの増強、正確な文法、流暢な会話を目指してください。									
学修到達目標									
本コースではスピーキング力を伸ばすために、個人的かつ学術的に興味深いトピックについてディスカッションを行います。「TED Talks」からスピーチを学び、実際に自分のTED Talksを作り上げましょう。様々なトピックについて自然で文法的に正しい会話ができるような教材を準備しますので、教員の指示に従い、グループディスカッションやプレゼンで使用するツール持参してください。									
授業の進め方									
積極的に授業に参加すること。教員およびクラスメートの話を注意して聞くこと。全ての授業に出席すること。クラスを休むと宿題が出ます。宿題の内容について教員または級友に連絡すること。予習をして遅刻をせずに授業に来ること。									
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	オリエンテーション。	Orientation to this "English Speaking II" class. Introduction to the evaluation of this second semester class, as well as to the latter half of the textbook.					Refresh yourself with the textbook. Study the latter half of ユニット 4.		
2	ユニット4: Possessions (Lesson 3)	ユニット4: Possessions (Lesson 3)					Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。		
3	ユニット4: Possessions (Lesson 4) ~ Chapter Test.	ユニット4: Possessions (Lesson 4) ~ Chapter Test.					Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。		
4	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 1)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 1)					Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。		
5	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 2)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 2)					Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。		
6	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 3)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 3)					Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。		
7	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 4) ~ Chapter Test.	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 4) ~ Chapter Test.					Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。		
8	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 1)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 1)					Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。		
9	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 2)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 2)					Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。		
10	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 3)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 3)					Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。		
11	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 4) - Chapter Test	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 4) - Chapter Test					Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。		
12	ユニット 7: Free Time (Lesson 1)	ユニット 7: Free Time (Lesson 1)					Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。		
13	ユニット 7: Free Time (Lesson 2)	ユニット 7: Free Time (Lesson 2)					Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。		
14	ユニット 7: Free Time (Lesson 3)	ユニット 7: Free Time (Lesson 3)					Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。		
15	ユニット 7: Free Time (Lesson 4) - Chapter Test.	ユニット 7: Free Time (Lesson 4) - Chapter Test.					Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「"World English 1: Combo Split A + My World English Online" (Third Edition)」John Hughes著 http://cengagejapan.com/elt/CoreProgram/page/?no=15705065476uyku編 (National Geographic Learning - Cengage) ISBN:978-0-35-713029-2 (生協で購入してください。)		定期試験 : 30% 各回のプレゼンテーションに対する評価 70%							
参考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)							
「Any English language dictionary.」		Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.							

科目名	英会話 (総合経営学部)		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバ'リング	UL22107	研究室	非常勤
担当者	ルデ'リック ガ-ス		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
ホテルで、あるいはレストランで使われる、基礎的で実践的な英語を学びます。働く時の英語コミュニケーション能力を高めるのがねらいです。 We will study the basic, practical English used in hotels and restaurants. Improve your ability to communicate in English when working.										
学修到達目標										
ホテルやホスピタリティ業界で働くための基礎英語力を身につけている。 After finishing the class, students will feel more confident with the English required to work in the hotel and hospitality industry.										
授業の進め方										
各単元はリスニングから始まり、次に役に立つ語彙や文法の学習へ移ります。練習は、最初は型にはまったものから次第に自由なものになります。また練習は、個人、ペア、小グループで行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Prepare to talk about an English reading book.(1h)			
2	Introductions	Names, nationalities and jobs at hotels					Prepare to talk about an English reading book.(1h)			
3	Check-in	Handling reservations					Write Personal Job File, p. 71.(1h)			
4	Hotel bedroom	Describing with "There is/are"					Draw a hotel bedroom and describe it.(1h)			
5	Hotel services	Talking about what the hotel can do for guests					Write Personal Job File, p. 73.(1h)			
6	Hotel facilities	Talking about hotel facilities					Write Personal Job File, p. 74.(1h)			
7	Room services	Responding to requests from guests					Write Personal Job File, p. 75.(1h)			
8	Problems and Solutions	Handling complaints; helping guests					Write Personal Job File, p. 8.(1h)			
9	Taking bar orders	Taking orders in the bar; describing drinks					Write Personal Job File, p. 77.(1h)			
10	In the restaurant (1)	Taking orders in the restaurant					Write Personal Job File, p. 78.(1h)			
11	In the restaurant (2)	Describing food					Write Personal Job File, p. 79.(1h)			
12	Enquiries	Handling questions from guests					Write Personal Job File, p. 80.(1h)			
13	Using the phone	Telephone procedures; being polite to guests					Write a telephone conversation.(1h)			
14	Check-out	Checking guests out; paying bills					Write a check-out conversation.(1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Be My Guest, English for the Hotel Industry」(Cambridge University Press) ISBN:978-0521776899 (生協で購入してください。)					授業への参加度25%、努力点25%、宿題25%、定期試験25% Assignments: 25%, Effort: 25%, Homework: 25%, Final examination: 25% S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
辞書 Any dictionary					いつでもメールで連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.					

科目名	英会話 (総合経営学部)	学年学期	2年後期	単位数	1	ナバ'リング	UL22108	研究室	非常勤
担当者	ルデ'リック ガース	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
<p>移動中、ホテルで、あるいはレストランで使われる、基礎的で実践的な英語を学びます。旅行の時の英語コミュニケーション能力を高めるのがねらいです。 We will study the basic, practical English used in transportation, at hotels, restaurants, etc. Improve your ability to communicate in English when traveling.</p>									
学修到達目標									
<p>旅行するための基礎英語力を身につけている。 When the class is finished, students will feel more confident using English in travel situations.</p>									
授業の進め方									
各単元はリスニングから始まり、次に役に立つ語彙や文法の学習へ移ります。練習は、最初は型にはまったものから次第に自由なものになります。また練習は、個人、ペア、小グループで行います。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Prepare to talk about an English reading book (1h)		
2	Introduction; Where are you from?	Talking about people and travel					Write about some place you'd like to visit (1h)		
3	On the airplane	Asking and answering requests on the airplane and at the airport					Listen to the CD and write the conversation (1h)		
4	Landing in a new country	Asking and answering questions at immigration					Write a conversation for "Activity." (1h)		
5	Talking about your family	Ask and answer questions about your family.					Bring some pictures of your family (1h)		
6	On a homestay	Ask and answer requests at the host's home					Write a conversation between host and guest (1h)		
7	Ordering at a restaurant	Conversations at a restaurant; describing food					Write a conversation for "Activity." (1h)		
8	Destination: the U.K.	Talk about the U.K.; Compare Japan and the U.K.					Write about your trip to the U.K. (1h)		
9	Directions	Asking for and giving directions					Give directions in New York (1h)		
10	Banking	Using ATMs; changing money					Write a conversation at the bank (1h)		
11	Staying at a hotel	Making reservations; checking in; requests at a hotel					Write a phone conversation for "Activity." (1h)		
12	Talking about minor medical problems	Conversations at a pharmacy					Write a conversation at the pharmacy (1h)		
13	Talking about countries	Talk about Japan and other countries					Write about your hometown (1h)		
14	Destination: New Zealand	Talk about New Zealand; Compare Japan and New Zealand					Write about your trip to New Zealand (1h)		
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination (1h)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「Passport to New Places: English for International Communication」 ISBN:978-0194575126 (生協で購入してください。)		<p>授業への参加度25%、定期試験25%、努力点25%、宿題25% Assignments: 25%, Effort: 25%, Homework: 25%, Final examination: 25% S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
辞書 Any dictionary		いつでもメールで連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.							

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	櫻井 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で500点以上の取得を目指します。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で450点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングで弱点克服や学習方法についてフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。				自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)				
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル				Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル				Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問かけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル				音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習				音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)				
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	
担当者	上條 美香		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で450点以上の取得を目指します。プレイスメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で400点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。				自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)				
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル				Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル				Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問かけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル				音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習				音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)				
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で420点以上の取得を目指します。プレイズメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で370点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。				自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)				
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル				Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル				Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問いかけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル				音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習				音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)				
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micuael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ`リング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で400点以上の取得を目指します。プレイズメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで340点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。				自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)				
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル				Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル				Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問いかけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル				音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習				音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)				
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micuael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。</p>										
学修到達目標										
<p>TOEIC Bridgeで55点程度取得できる。 自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。</p>										
授業の進め方										
<p>講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る				今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 模擬 98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル				音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習				音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3 (生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9 (生協で購入してください。)</p>				<p>受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Fクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	
担当者	中田 順		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。</p>										
学修到達目標										
<p>TOEIC Bridgeで50点程度取得できる。 自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。</p>										
授業の進め方										
<p>講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る				今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 模擬 98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル				音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習				音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)</p>				<p>受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。 TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Gクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	
担当者	小沼 さつき		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。</p>										
学修到達目標										
<p>TOEIC Bridgeで45点程度取得できる。 自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。</p>										
授業の進め方										
<p>講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る				今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 模擬98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル				音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習				音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)</p>				<p>受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Hクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	中野 麻里		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。</p>										
学修到達目標										
<p>TOEIC Bridgeで40点程度取得できる。 自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。</p>										
授業の進め方										
<p>講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る				今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 模擬98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル				音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習				音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3 (生協で購入してください。)</p> <p>「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9 (生協で購入してください。)</p>				<p>受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30%</p> <p>受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤	
担当者	宮坂 るみ		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で500点以上の取得を目指します。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&R で480点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える					学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習					音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習					音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル					音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関連語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル					音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル					音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける ミニ模試					音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル					音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ					音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習					音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習					音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&R TEST 標準模試 2」神崎 正哉、Daniel Warriner著(やどかり出版) ISBN:978-4-7946-0466-8(生協で購入してください。)			受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
授業内で紹介します。			受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。								

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室		
担当者	上條 美香		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で450点以上の取得を目指します。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&R で430点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える					学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習					音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習					音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル					音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関連語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル					音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル					音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける ミニ模試					音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル					音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ					音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習					音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習					音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&R TEST 標準模試 2」神崎 正哉、Daniel Warriner著(やどかり出版) ISBN:978-4-7946-0466-8(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。					受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で420点以上の取得を目指します。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で400点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える				学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習				音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習				音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関連語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル				音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける ミニ模試				音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ				音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習				音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習				音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。			受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。			受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。							

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で400点以上の取得を目指します。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で370点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える				学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習				音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習				音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関連語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル				音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける 関係代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ				音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習				音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習				音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
前期に引き続きTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeの更なるスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで60点程度取得できる知識・技能を身につけている。リスニングでは少し長めの会話やアナウンスを聞き概要が把握できる。リーディングでは長文のおおまかな概要をつかむことができ、詳細を問う問題にも対処することができる。基礎文法が理解できている。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC Bridgeの問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	模試の結果に基づきカウンセリングを行う				音読 Eラーニング(EL) 英単語初級U057~U060, テスト15 単語リスト 文法問題(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 1 Activities 品詞問題チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U061~U064, テスト16 単語リスト 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 2 Eating Out 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U065~U068, テスト17 単語リスト 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 3 Entertainment 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U069~U072, テスト18 単語リスト 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 4 Travel 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U073~U076, テスト19 単語リスト 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 5 Housing 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U077~U080, テスト20 単語リスト 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 6 School 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U081~U084, テスト21 単語リスト 文法問題(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 7 Health 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U085~U088, テスト22 単語リスト 文法問題(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 8 Shopping 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U089~U092, テスト23 単語リスト 文法問題(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 9 Family 動詞チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U093~U096, テスト24 単語リスト 文法問題(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 10 News 代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U097~U100, テスト25 単語リスト 文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 11 Job Hunting 前置詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U101~U104, テスト26 単語リスト 文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 12 Advertisements 接続詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U105~U108, テスト27 単語リスト 文法問題(1時間)				
14	リスニング模擬試験 文法演習	リスニング演習 Part1~4 関係代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U109~U112, テスト28 単語リスト 文法問題(1時間)				
15	リーディング模擬試験 まとめ	リーディング演習 Part1~3 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Practical TOEIC BRIDGE® L&R Tests」Alison Kitzman / 三原 京 / 田中 善紀 / 木村 博是著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17908-5(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC からの継続使用のテキストです。				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC Bridgeを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Fクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	
担当者	中田 順		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
前期に引き続きTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeの更なるスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで55点程度取得できる知識・技能を身につけている。リスニングでは少し長めの会話やアナウンスを聞き概要が把握できる。リーディングでは長文のおおまかな概要をつかむことができ、詳細を問う問題にも対処することができる。基礎文法が理解できている。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC Bridgeの問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	模試の結果に基づきカウンセリングを行う				音読 Eラーニング(EL) 英単語初級U057~U060, テスト15 単語リスト 文法問題(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 1 Activities 品詞問題チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U061~U064, テスト16 単語リスト 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 2 Eating Out 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U065~U068, テスト17 単語リスト 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 3 Entertainment 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U069~U072, テスト18 単語リスト 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 4 Travel 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U073~U076, テスト19 単語リスト 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 5 Housing 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U077~U080, テスト20 単語リスト 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 6 School 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U081~U084, テスト21 単語リスト 文法問題(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 7 Health 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U085~U088, テスト22 単語リスト 文法問題(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 8 Shopping 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U089~U092, テスト23 単語リスト 文法問題(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 9 Family 動詞チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U093~U096, テスト24 単語リスト 文法問題(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 10 News 代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U097~U100, テスト25 単語リスト 文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 11 Job Hunting 前置詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U101~U104, テスト26 単語リスト 文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 12 Advertisements 接続詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U105~U108, テスト27 単語リスト 文法問題(1時間)				
14	リスニング模擬試験 文法演習	リスニング演習 Part1~4 関係代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U109~U112, テスト28 単語リスト 文法問題(1時間)				
15	リーディング模擬試験 まとめ	リーディング演習 Part1~3 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Practical TOEIC BRIDGE® L&R Tests」Alison Kitzman / 三原 京 / 田中 善紀 / 木村 博是著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17908-5(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC からの継続使用のテキストです。				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC Bridgeを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Gクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	
担当者	小沼 さつき		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
前期に引き続きTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeの更なるスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで50点程度取得できる知識・技能を身につけている。リスニングでは少し長めの会話やアナウンスを聞き概要が把握できる。リーディングでは長文のおおまかな概要をつかむことができ、詳細を問う問題にも対処することができる。基礎文法が理解できている。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC Bridgeの問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	模試の結果に基づきカウンセリングを行う				音読 Eラーニング(EL) 英単語初級U057~U060, テスト15 単語リスト 文法問題(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 1 Activities 品詞問題チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U061~U064, テスト16 単語リスト 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 2 Eating Out 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U065~U068, テスト17 単語リスト 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 3 Entertainment 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U069~U072, テスト18 単語リスト 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 4 Travel 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U073~U076, テスト19 単語リスト 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 5 Housing 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U077~U080, テスト20 単語リスト 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 6 School 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U081~U084, テスト21 単語リスト 文法問題(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 7 Health 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U085~U088, テスト22 単語リスト 文法問題(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 8 Shopping 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U089~U092, テスト23 単語リスト 文法問題(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 9 Family 動詞チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U093~U096, テスト24 単語リスト 文法問題(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 10 News 代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U097~U100, テスト25 単語リスト 文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 11 Job Hunting 前置詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U101~U104, テスト26 単語リスト 文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 12 Advertisements 接続詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U105~U108, テスト27 単語リスト 文法問題(1時間)				
14	リスニング模擬試験 文法演習	リスニング演習 Part1~4 関係代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U109~U112, テスト28 単語リスト 文法問題(1時間)				
15	リーディング模擬試験 まとめ	リーディング演習 Part1~3 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Practical TOEIC BRIDGE® L&R Tests」Alison Kitzman / 三原 京 / 田中 善紀 / 木村 博是著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17908-5(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC からの継続使用のテキストです。				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC Bridgeを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	山浦 かおる		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで600点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで520点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。長めの文章の概要を把握でき、詳細情報を瞬時に読み取ることができる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とIP結果に基づくカウンセリング					Eラーニング(EL) 英単語中級 U001~U004, テスト01 学習計画を完成させてくる(1時間)			
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ					EL 英単語中級 U005~U008, テスト02 音読 問題演習(1時間)			
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ					EL英単語中級 U009~U012, テスト03 音読 問題演習(1時間)			
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ					EL英単語中級 U013~U016, テスト04 音読 問題演習(1時間)			
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ					EL英単語中級 U017~U020, テスト05 音読 問題演習(1時間)			
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ					EL英単語中級 U021~U024, テスト06 音読 問題演習(1時間)			
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ					EL英単語中級 U025~U028, テスト07 音読 問題演習(1時間)			
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ					EL英単語中級 U029~U032, テスト08 音読 問題演習(1時間)			
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ					EL英単語中級 U033~U036, テスト09 音読 問題演習(1時間)			
10	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ					EL英単語中級 U037~U040, テスト10 音読 問題演習(1時間)			
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL英単語中級 U041~U044, テスト11 音読 問題演習(1時間)			
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ					EL英単語中級 U045~U048, テスト12 音読 問題演習(1時間)			
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ					EL英単語中級 U049~U052, テスト13 音読 問題演習(1時間)			
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ					EL英単語中級 U053~U056, テスト14 音読 問題演習(1時間)			
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験試と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE」 番場 直之、小山 克明著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4090-7(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。					

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで550点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC &Rで420点程度取得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎文法が理解できる。やや長めの文章の概要が理解できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 グループごと学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel				Eラーニング(EL) 英単語中級 U001~U004、テスト01 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out				EL英単語中級 U005~U008、テスト02 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media				EL英単語中級 U009~U012、テスト03 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment				EL英単語中級 U013~U016、テスト04 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing				EL英単語中級 U017~U020、テスト05 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients				EL英単語中級 U021~U024、テスト06 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting				EL英単語中級 U025~U028、テスト07 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel				EL英単語中級 U029~U032、テスト08 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising				EL英単語中級 U033~U036、テスト09 音読 問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings				EL英単語中級 U037~U040、テスト10 音読 問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL英単語中級 U041~U044、テスト11 音読 (1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance				EL英単語中級 U045~U048、テスト12 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices				EL英単語中級 U049~U052、テスト13 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Daily Life				EL英単語中級 U053~U056、テスト14 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験試と解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	
担当者	三浦 藍子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで450点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC L&Rで390点程度取得できる。 リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 グループごと学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel				Eラーニング(EL) 英単語初級 U045～U048、テスト12、音読、問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out				EL英単語初級U049～U052、テスト 13、音読、問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media				EL英単語初級U053～U056、テスト 14、音読、問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment				EL英単語初級U057～U060、テスト 15、音読、問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing				EL英単語初級U061～U064、テスト 16、音読、問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients				EL英単語初級U065～U068、テスト 17、音読、問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting				EL英単語初級U069～U072、テスト 18、音読、問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel				EL英単語初級U073～U076、テスト 19、音読、問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising				EL英単語初級U077～U080、テスト 20、音読、問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings				EL英単語初級U081～U084、テスト 21、音読、問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL英単語初級U085～U088、テスト 22、音読、問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance				EL英単語初級U089～U092、テスト 23、音読、問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices				EL英単語初級U093～U096、テスト 24、音読、問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Daily Life				EL英単語初級U097～U100、テスト 25、音読、問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験試と解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで420点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学習到達目標										
「TOEIC L・」で学習した内容を復習しながら、TOEIC R&Lで360点程度取得できる。 リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 グループごと学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel				Eラーニング(EL) 英単語初級 U045～U048、テスト12、音読、問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out				EL英単語初級U049～U052、テスト 13、音読、問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media				EL英単語初級U053～U056、テスト 14、音読、問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment				EL英単語初級U057～U060、テスト 15、音読、問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing				EL英単語初級U061～U064、テスト 16、音読、問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients				EL英単語初級U065～U068、テスト 17、音読、問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting				EL英単語初級U069～U072、テスト 18、音読、問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel				EL英単語初級U073～U076、テスト 19、音読、問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising				EL英単語初級U077～U080、テスト 20、音読、問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings				EL英単語初級U081～U084、テスト 21、音読、問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL英単語初級U085～U088、テスト 22、音読、問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance				EL英単語初級U089～U092、テスト 23、音読、問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices				EL英単語初級U093～U096、テスト 24、音読、問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Daily Life				EL英単語初級U097～U100、テスト 25、音読、問題演習(1時間)				
15	まとめとリスニング	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組む				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC E クラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで380点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC330点程度修得できる。 リスニングでは、自然なスピードの会話を聞き、おおまかな内容が理解できる。文法事項において品詞問題が解ける。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで総合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel 名詞を学ぶ					Eラーニング 500点突破 Stage 1,2 U001, U002 単語初級U001, U002 音読 問題演習(1時間)			
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ					EL 500点 Stage 1,2 U003, U004 単語初級U003, U004 テスト1 音読 問題演習(1時間)			
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ					EL 500点 Stage 1,2 U005, U006 単語初級U005, U006 音読 問題演習(1時間)			
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U007, U008 単語初級U007, U008 テスト2 音読 問題演習(1時間)			
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U009, U010 単語初級U009, U010 音読 問題演習(1時間)			
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U011, U012 単語初級U011, U012 テスト3 音読 問題演習(1時間)			
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U013, U014 単語初級U013, U014 音読 問題演習(1時間)			
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U015, U016 単語初級U015, U016 テスト4 音読 問題演習(1時間)			
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U017, U018 英単語初級U017, U018 音読 問題演習(1時間)			
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U019, U020 単語初級U019, U020 テスト5 音読 問題演習(1時間)			
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL 500点 Stage1,2 U021, U022 単語初級U021, U022 音読 問題演習(1時間)			
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U023, U024 単語初級U023, U024 テスト6 音読 問題演習(1時間)			
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U025, U026 単語初級U025, U026 音読 問題演習(1時間)			
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Personnel 語彙の結びつき(名詞・形容詞)					EL 500点 Stage1,2 U027, U028 単語初級U027, U028 テスト7 音読 問題演習(1時間)			
15	まとめとリスニング	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組む					定期試験に向けて自己学習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST BEGINNER」早川幸治、岸 洋一著 著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4088-4(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。					

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤	
担当者	山浦 かおる		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで600点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&Rで550点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。長めの文章の概要を把握でき、詳細情報を瞬時に読み取ることができる。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とTOEIC IPの結果に基づくカウンセリング					EL 英単語中級U057~U060 テスト15 音読 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 人物の動作表現 品詞・代名詞					EL 英単語中級U061~U064 テスト16 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 疑問詞で始まる疑問文 態・分詞					EL 英単語中級U065~U08 テスト17 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 店・ホテルでの会話 読解の基礎を身に付ける					EL 英単語中級U069~U072 テスト18 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 留守番電話 詳細情報の特定					EL 英単語中級U073~U076 テスト19 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 物に関する描写 話の展開を読み取る					EL 英単語中級U077~U080 テスト20 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Yes/No疑問文・選択疑問文 接続詞・前置詞					EL 英単語中級U081~U084 テスト21 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 日常生活における会話 内容把握問題に挑戦する					EL 英単語中級U085~U088 テスト22 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 アナウンス・宣伝 語彙問題・その他					EL 英単語中級U089~U092 テスト23 音読 問題演習(1時間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL 英単語中級U093~U096 テスト24 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 ステートメント・付加疑問文 時制・代名詞・語彙					EL 英単語中級U097~U100 テスト25 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 オフィスでの会話 マルチプルバッセージ					EL 英単語中級U101~U104 テスト26 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 トーク(会議・イベント) Part 5の復習					EL 英単語中級U105~U108 テスト27 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Officeでの会話 つなぎ語・文選択					EL 英単語中級U109~U112 テスト28 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「Mastery Drills for the TOEIC L&R Test All in one advanced (Target 650)」早川幸治著(桐原書店) ISBN:978-4-342-55022-5(生協で購入してください。)(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。							

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤	
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで550点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&Rで460点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。やや長めの文章でも大まかな意味を把握できる。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とIPの結果に基づくカウンセリング					EL英単語中級 U057~U060, テスト15 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ					EL英単語中級 U061~U064, テスト16 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ					EL英単語中級 U065~U068, テスト17 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ					EL英単語中級 U069~U072, テスト18 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ					EL英単語中級 U073~U076, テスト19 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ					EL英単語中級 U077~U080, テスト20 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ					EL英単語中級 U081~U084, テスト21 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ					EL英単語中級 U085~U088, テスト22 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ					EL英単語中級 U089~U092, テスト23 音読 問題演習(1時間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL英単語中級 U093~U096, テスト24 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ					EL英単語中級 U097~U100, テスト25 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ					EL英単語中級 U101~U104, テスト26 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ					EL英単語中級 U105~U108, テスト27 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ					EL英単語中級 U109~U112, テスト28 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE」 番場 直之、小山 克明著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4090-7(生協で購入してください。)(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。						

科目名	TOEIC Cクラス			学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	
担当者	三浦 藍子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで450点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&Rで420点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。やや長めの文章でも大まかな意味を把握できる。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とTOEIC IPの結果に基づくカウンセリング					EL 英単語中級U001~U004, テスト1 音読 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ					EL 英単語中級U005~U008, テスト2 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ					EL 英単語中級U009~U012, テスト3 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ					EL 英単語中級U013~U016, テスト4 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ					EL 英単語中級U017~U020, テスト5 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ					EL 英単語中級U021~U024, テスト6 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ					EL 英単語中級U025~U028, テスト7 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ					EL 英単語中級U029~U032, テスト8 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ					EL 英単語中級U033~U036, テスト9 音読 問題演習(1時間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL 英単語中級U037~U040, テスト10 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ					EL 英単語中級U041~U044, テスト11 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ					EL 英単語中級U045~U048, テスト12 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ					EL 英単語中級U049~U052, テスト13 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ					EL 英単語中級U053~U056, テスト14 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説					定期試験に向けて自己学習(1時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE」溝口 優美子 柳田 真知子著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4089-1 (生協で購入してください。)						受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。						今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。					

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤	
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで420点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&Rで390点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。やや長めの文章でも大まかな意味を把握できる。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とTOEIC模試の結果に基づくカウンセリング					EL 英単語中級U001~U004, テスト1 音読 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ					EL 英単語中級U005~U008, テスト2 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ					EL 英単語中級U009~U012, テスト3 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ					EL 英単語中級U013~U016, テスト4 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ					EL 英単語中級U017~U020, テスト5 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ					EL 英単語中級U021~U024, テスト6 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ					EL 英単語中級U025~U028, テスト7 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ					EL 英単語中級U029~U032, テスト8 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ					EL 英単語中級U033~U036, テスト9 音読 問題演習(1時間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL 英単語中級U037~U040, テスト10 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ					EL 英単語中級U041~U044, テスト11 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ					EL 英単語中級U045~U048, テスト12 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ					EL 英単語中級U049~U052, テスト13 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ					EL 英単語中級U053~U056, テスト14 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE」溝口 優美子 柳田 真知子著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4089-1 (生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数や意欲等を評価します。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。						

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで400点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで360点程度修得できる。 リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要をおおまかに把握できる。基礎的な文法問題にある程度対処できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成と模試の結果に基づくカウンセリング				Eラーニング(EL) 500点コース U001,U002 Stage3 英単語初級 U029~U030 (1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 1 オフィスで 自動詞と他動詞				EL U003,U004 Stage3 英単語初級 U031~U032 テスト8 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 買い物 形容詞・副詞・前置詞				EL U005,U006 Stage3 英単語初級 U033~U034 音読 問題演習 (1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 食事 名詞と冠詞				EL U007,U008 Stage3 英単語初級 U035~U036 テスト9 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 4 観光 進行形				EL U009,U010 Stage3 英単語初級 U037~U038 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 5 宣伝・広告 完了形				EL U011,U012 Stage3 英単語初級 U039~U040 テスト10 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 数字 不定詞				EL U013,U014 Stage3 英単語初級 U041~U042 音読 問題演習 (1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 日常生活 動名詞				EL U015,U016 Stage3 英単語初級 U043~U044 テスト11 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 8 エンターテイメント 関係代名詞と関係副詞				EL U017,U018 Stage3 英単語初級 U045~U046 音読 問題演習(1時間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL U019,U020 Stage3 英単語初級 U047~U048 テスト12 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ				EL U021,U022 Stage3 英単語初級 U049~U050 音読 問題演習 (1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ				EL U023,U024 Stage3 英単語初級 U051~U052 テスト14 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ				EL U025,U026 Stage3 英単語初級 U053~U054 音読 問題演習 (1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ				EL U027,U028 Stage3 英単語初級 U055~U056 テスト14 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 350」田辺 正美/湯本 久美子 /Geoffrey Tozer /George W. Pifer著(センゲージ・ラーニング) ISBN:978-4-8-86312-257-4 (生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は授業中の発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。						

科目名	中国語（基礎）（総合経営学部）	学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22113	研究室	非常勤	
担当者	中島 暉	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
	A B C									
授業概要										
本講義は中国語の発音と簡単な会話を学び、中国語の基礎を身に付けることを目的とします。本講義はテキストを用いて、その内容を「聴く、話す、読む、書く」という練習を繰り返すことによって、標準的な発音および会話能力の定着をはかります。										
学修到達目標										
受信するだけでなく発信にも使えるような基礎的な文法と会話表現を身に付けることを目標とします。										
授業の進め方										
声を出すことを大切に、ロールプレイ形式で練習します。授業に合わせて中国の食文化、習慣などを紹介していきます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス、中国語とは	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明をします。中国語の特徴を紹介します。					テキストP6とP7を事前に予習する。（1時間）			
2	発音「単母音」、声調	中国語の発音（ピンイン）と声調（四声）について説明をします。発音練習を行います。					前回授業内容について復習をする。（1時間）			
3	発音「子音」、挨拶	発音「子音」と簡単な挨拶について説明をします。発音練習を行います。					テキストP9を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）			
4	発音「子音」、自己紹介	発音「子音」と名前の言い方について説明をします。発音と会話練習を行います。					テキストP9とP14を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）			
5	発音「複合母音」、自己紹介	発音「複合母音」と「出身地、職業」の言い方について説明をします。発音と会話練習を行います。					テキストP14とP15を事前に読み、P16の問題練習をする。（1時間）			
6	発音「複合母音」、物事の尋ね方（指示代名詞、疑問詞）	発音「複合母音」と「これは何ですか？」の使い方について説明をします。発音と会話練習を行います。					テキストP19を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）			
7	発音「鼻母音」	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。					テキストP10とP18を事前に読み、P20の問題練習をする。（1時間）			
8	動詞の文	「動詞の文」について説明をします。会話練習を行います。					テキストP22とP23を事前に読み、P24の問題練習をする。（1時間）			
9	量詞、形容詞の文、買い物	「量詞」、「形容詞の文」と「買い物」をする時に使う表現について説明をします。会話練習を行います。					教科書P26とP27を事前に読み、P28の問題練習をする。（1時間）			
10	数字、日付、時刻	「数字」、「日付」と「時刻」の使い方について説明をします。会話練習を行います。					教科書P30とP31を事前に読み、P32の問題練習をする。（1時間）			
11	完了、助動詞、食事	「完了」、「助動詞」と「食事」の時に使う表現について説明をします。小テストを行います。					テキストP33～P35を事前に読み、P36問題練習する。（1時間）			
12	所在	「所在」を表す表現について説明をします。「～は～にある・いる」と「～したい」を使い、会話練習を行います。					テキストP35を事前に読み、授業内容について復習する。（1時間）			
13	介詞、反復疑問文、家族名称	「介詞」、「反復疑問文」と「家族名称」の呼び方について説明をします。					教科書P39を事前に読み、授業内容について復習する。（1時間）			
14	存在、家族構成	「存在」と「家族構成」の言い方について説明をします。会話練習を行います。					教科書P38を事前に読み、P40の問題を練習する。（1時間）			
15	講義全体まとめ	これまで学習した内容をまとめます。					テキストP8～P40の内容について目を通し、全体の復習をする。（1時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「中国語はじめの一步」竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅著（白水社） ISBN:978-4-560-06925-7（生協で購入してください。） 必要に応じて、プリントを配布します。		小テスト：30% 定期試験：40% 受講態度：30% S:各回の授業内容を十分理解するとともに、自ら意欲的に課題を取り組み、授業で学んだことを95%以上ができる。A:各回の授業内容を理解するとともに、積極的に課題を取り組み、授業で学んだことを80%以上ができる。B:授業内容について概ね理解し、課題を取り組み、授業で学んだことを70%以上ができる。C:授業内容について理解し、授業で学んだことを60%以上ができる。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
特にありません		授業中恥ずかしがらずに声を出して、練習をしましょう。予習と復習を行ってください。								

科目名	中国語（展開）（総経・人間）		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22114	研究室	非常勤
担当者	中島 暉		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件	中国語 を修得していること				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
本講義では、学習した中国語 をベースに、さらに具体的、実践的な場面での会話能力を習得します。本講義はテキストを用い、その内容を「聴く、話す、読む、書く」という練習を繰り返すことによって、標準的な発音および会話能力の習得を目指します。										
学修到達目標										
受信するだけではなく発信にも使えるような会話能力を身に付けることを目標とします。										
授業の進め方										
声を出すことを大切に、ロールプレイ形式で練習することを重視します。中国文化についても紹介し、異文化への理解を深めていきます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、発音（ピンイン）の確認	授業概要、学習目標、授業の進め方、成績評価の仕方について説明をします。発音（ピンイン）の確認をします。				学習した「中国語」の内容について復習をする。（1時間）				
2	時間量、助動詞、介詞	「時間量」、「助動詞」と「介詞」について説明をします。				テキストP43を事前に読む。授業内容について復習をする。（1時間）				
3	アルバイト	前回学習した内容を使い、「一週間に何回アルバイトがありますか？」などの会話練習を行います。				テキストP41とP42を事前に読む。P44の問題を練習する。（1時間）				
4	過去型、強調	「過去形」と「強調」について説明をします。				テキストP47を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
5	介詞、応用	「介詞」、「～したことがある」と「～が～に」の使い方について説明をします。				テキストP47を事前に読み、P48の問題を練習する。（1時間）				
6	旅行	「あなたは旅行が好きですか?」、「アメリカに行った事がありますか?」などの会話練習を行います。				テキストP46を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
7	動作の様態、助動詞	「動作の様態」と「助動詞」について説明をします。				テキストP51を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
8	動詞の重ね型	「動詞の重ね型」について説明をします。				テキストP51を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
9	できる（能力的・条件的・習得する）	「できる」を使い、会話練習を行います。				テキストP50を事前に読み、P52の問題を練習する。（1時間）				
10	動作の進行、選択疑問	「動作の進行」と「選択疑問」について説明をします。				テキストP55を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
11	趣味	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。小テストを行います。				テキストP53～P55を事前に読み、P56の問題を練習する。（1時間）				
12	比較、2つの目的語をもつ文	「比較」と「2つの目的語をもつ文」について説明をします。				テキストP59を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
13	予定	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。				テキストP57～P59を事前に読み、P60の問題を練習する。（1時間）				
14	作文（自己紹介）	学生自身が実際に中国語で「自己紹介」の作文を書いてみます。				テキストP61を事前に読んでください。（1時間）				
15	講義全体まとめ	これまで学習した内容をまとめます。				テキストP43～P60の内容について復習をする。（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「中国語ははじめの一步」竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅著（白水社） ISBN:978-4-560-06925-7（生協で購入してください。） ・必要に応じて、プリントを配布します。				受講態度：30% 小テスト：30% 定期試験：40% S:各回の授業内容を十分理解するとともに、自ら意欲的に課題を取り組み、授業で学んだことを95%以上ができる。A:各回の授業内容を理解するとともに、積極的に課題を取り組み、授業で学んだことを80%以上ができる。B:授業内容について概ね理解し、課題を取り組み、授業で学んだことを70%以上ができる。C:授業内容について理解し、授業で学んだことを60%以上ができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
特にありません。				授業中恥ずかしがらずに声を出して、練習を行いましょう。予習と復習を行ってください。						

科目名	ハングル（基礎）（総合経営学部）		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22115	研究室	非常勤
担当者	林 英美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
ハングルとは、元来朝鮮半島で使われている言語（韓国語・朝鮮語）を表記するために用いられている文字のことを示しますが、この授業では科目の名称として使用しています。この科目では韓国語・朝鮮語の文字と発音を習得します。また、韓国語の文章が読めるようになり、簡単な日常会話を身につけることを目的とします。										
学修到達目標										
履修生は、ハングルの文字の発音の基礎について学び、読み書きができるようになることを目的とします。また、韓国語の文章が読めるようになり、簡単な日常会話を話せるようになることを目的とします。										
授業の進め方										
主にテキストの内容に沿って授業を進めます。書き取り・聞き取り・カードゲームなど様々なミニテストを実施し、会話練習にも取り組みます。ハングル歌・映画・ドラマ等を紹介するほか、朝鮮半島の文化風習についても紹介します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス ハングル・韓国語・朝鮮語について	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。ハングルで用いられている記号の説明をし、韓国語・朝鮮語がどのような言語であるのかを紹介します。				テキスト第1課1と2を読んで、授業内容の復習をする。(1時間)				
2	単母音、ヤ行	単母音、ヤ行について学びます。				テキストP10～18の復習と予習をする。(1時間)				
3	ワ行	ワ行について学びます。				テキストP14～17の復習と予習をする。(1時間)				
4	平音	平音について学ぶ。				テキストP18～25の復習と予習をする。(1時間)				
5	激音・濃音	激音と濃音について学ぶ。				テキストP18～27の復習をする。(1時間)				
6	有声音化	平音の有声音化について学ぶ。				テキストP26～32の復習をする。(1時間)				
7	これまでのまとめ	テキスト第1課と第2課のまとめをする。				テキストP10～32の復習をし、P33～35までの予習をする。(1時間)				
8	パッチム(1)	鼻音について学ぶ。				テキストP33～39の復習と予習をする。(1時間)				
9	パッチム(2)	流音について学ぶ。				テキストP33～39の復習と予習をする。(1時間)				
10	パッチム(2)	口音について学ぶ。				テキストP36～39の復習と予習をする。(1時間)				
11	日本語のハングル表記	日本語のハングル表記について学ぶ。				テキストP36～39の復習と予習をする。(1時間)				
12	発音規則(1)	連音化について学ぶ。				テキストP40～41の予習と復習をする。(1時間)				
13	鼻音、流音、口音、流音のまとめ	鼻音、流音、口音、流音化を復習する。				テキストP33～41の復習をする。(1時間)				
14	メディア学習	メディア学習を通じて韓国語とそれにまつわる文化的理解を深める。				メディア学習に関するレポートを書く。(1時間)				
15	講義全体まとめ	前期で学んだ事項を復習する。				テキストP10～49の復習をする。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「おはよう韓国語1」崔柄珠著（朝日出版社） ISBN:978-4-255-55632-1（生協で購入してください。）				小テスト：20% レポート：10% 定期試験：40% 出席レポート：30% S：授業内容を高度に理解しており、成績評価の合計が100%である。 A：授業内容を理解しており、成績評価の合計が80%～99%である。 B：授業内容を概ね理解しており、成績評価の合計が70%～79%である。 C：授業内容の60%程度を理解しており、成績評価の合計が60%～69%である。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「おはよう韓国語1」崔柄珠著（朝日出版社） ISBN：978-4-255-55632-1 適宜お知らせいたします。				常日頃から韓国や朝鮮のドラマ・映画、ニュースに興味を持ち、ハングルに親しみましょう。この科目は受講人数を四十名に制限します。						

科目名	ハングル (展開) (総経・人間)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22116	研究室	非常勤	
担当者	林 英美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格					履修条件	ハングル を修得していること					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
前期に学んだハングルの文字と発音のルールをベースにして、今期では主に簡単な会話表現・文法について学ぶことを目的とします。											
学修到達目標											
ハングルの基本的な読み書きを習得している受講生が、語彙、文法、発音に関する知識を深め、日常会話に役立つ表現を学ぶことを目的とします。ハングル能力検定試験5級及び韓国語能力試験1級受験相応の知識習得を目標とします。											
授業の進め方											
対話練習を重視し、語彙・文法・発音を身につけられるようにします。会話・筆記試験を定期的実施し、習得状況を確認します。映画鑑賞や異文化学習、アウトキャンパススタディによる実践練習を取り入れた楽しい学習方法を伝授します。											
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス、文字と発音	文字と発音について学びます。					テキストP10-41を復習する。(1時間)				
2	第5課自己紹介(1)	第5課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。					テキストP58~67を復習する。(1時間)				
3	第5課自己紹介(2)	第5課のまとめ学習をする。第4課発音規則「2」を学習する。					テキスト42~43を予習し、P58~67を復習する。(1時間)				
4	第6課~ではありません(1)	第6課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。第4課発音規則「3」を学習する。					テキストP44~45を予習し、P68~77を復習する。(1時間)				
5	第6課~ではありません(2)	第6課のまとめ学習をする。					テキストP68~77を復習する。(1時間)				
6	第5~6課のリスニングと会話	第5~6課のリスニングと会話学習をする。第4課発音規則「4」を学習する。					テキストP46~47を予習し、P58~77を復習する。(1時間)				
7	第7課~が好きです(1)	第7課の発音と語彙、文法について学ぶ。第4課「5」について学ぶ。					テキストP48~49を予習し、P78~91を復習する。(1時間)				
8	第7課~が好きです(2)	第7課の重要表現について学ぶ。第4課「6」について学ぶ。					テキストP50を予習し、P78~91を復習する。(1時間)				
9	第7課~が好きです(2)	第7課のまとめ学習をする。第4課「7」について学ぶ。					テキストP50を予習し、P78~91を復習する。(1時間)				
10	第8課お誕生日(1)	第8課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。第4課「8」について学ぶ。					テキストP52~53を予習し、P92-105を復習する。(1時間)				
11	第8お誕生日(2)	月と曜日、時を表す語を学ぶ。第4課「9」について学ぶ。					テキストP54~56を予習し、P92-105を復習する。(1時間)				
12	第8お誕生日(2)	へヨ体を学び、第8課のまとめ学習をする。					テキストP92-105を復習する。(1時間)				
13	第9課予定と時間	固有数詞と時刻について学ぶ。					テキストP110-114を復習する。(1時間)				
14	アウトキャンパススタディ	学習理解を深めるためのアウトキャンパススタディを松本市近郊で実施する。					アウトキャンパススタディ参加レポートを作成する。(1時間)				
15	全体のまとめ	第5課から第9課を復習する。					テキストP58~114を復習する。(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「おやよう韓国語1」崔柄珠著(朝日出版社) ISBN:978-4-255-55632-1(生協で購入してください。)					小テスト:30% 定期試験:30% レポート:10% 受講態度:30% S:授業内容を高度に理解しており、成績評価の合計が100%である。 A:授業内容を理解しており、成績評価の合計が81%~99%である。 B:授業内容を概ね理解しており、成績評価の合計が71%~80%である。 C:授業内容の60%程度を理解しており、成績評価の合計が61%~70%である。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
適宜お知らせいたします。					ハングルIIを履修する学生は、ハングルIを受講していることが条件です。今期から受講を希望する場合、文字の読み書きができることが必須条件です。						

科目名	情報処理 (WORD) (総合経営学部)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12201	研究室	非常勤
担当者	内川 小百合	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C					
授業概要									
<p>情報処理を学ぶことは、ひとつはコンピュータ・リテラシーを学ぶこと、つまりコンピュータを使いこなしていくことです。文字を入力することは、その基礎です。さまざまな文書をコンピュータで作成し、編集し、そして保存し、また再利用することは、現代社会の中で、必須の技能といえるでしょう。本講義では、ワープロソフトWordを使った正しく速い入力技術の習得、ビジネス文書・図形・表などを作成していくための機能、クラウド上の文書管理やビジネスメールの送り方を学んでいきます。</p>									
学修到達目標									
<p>正しいキータッチを習得し、ワープロソフトWordを使ってビジネス文書・表作成・図形挿入・クリップアートや写真の挿入と編集ができ、日本情報処理検定協会ワープロ検定3級～2級を取得できる力を身につけます。Office365の機能を習得し、ファイルの送受信などビジネスで使えるスキルを身につけます。</p>									
授業の進め方									
<p>演習形式で進めます。特に正確で素早いキータッチの技術を身につけるために、毎回スピードテストを行います。Wordの機能を知り、その機能を使いこなせるように多くの演習をこなしていきます。</p>									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	Office365の概要	Office365の機能と操作方法を学びます。Office365でメールを送る手順を学び、テストメールを送受信します。				Office365の操作方法、メール機能について復習する。(1時間)			
2	レポート送信、クラウド機能	レポート送信の手順やマナーについて学び、送信練習をします。クラウド機能について学びます。				レポート送信方法について復習する。(1時間)			
3	キータッチについて	Wordの画面構成について学習します。正しいキータッチについて学び、英語文章の入力を練習します。				テキスト第1講のキータッチ練習、英文入力を練習する。(1時間)			
4	日本語入力基礎	日本語変換モード、IMEパッド、ファンクションキーについて学習します。キータッチ練習・日本語の入力練習を行います。				テキスト第1講のキータッチ練習、日本語入力を練習する。(1時間)			
5	漢字変換について	漢字変換(変換、文節区切り、文字の修正)について学び、短文入力・記号の入力を練習します。				キータッチ練習、テキスト第2講の短文入力を練習する。(1時間)			
6	特殊文字の入力	特殊文字の入力を学びます。アルファベット、カタカナ、特殊文字を含む文章の入力演習を行います。				テキスト第2講の特殊文字入力、第2講、第3講の短文入力を練習する。(1時間)			
7	文書の保存・編集機能	文書の保存、読み込み、再保存について学びます。文字の修正、移動、コピーの方法を学び、日本語および英語文章の入力を練習します。				テキスト第1講～第4講の入力を練習する。(1時間)			
8	文字の書式	文字の書式(フォント・サイズ・ボールド体・イタリック体・下線・囲み・網掛け)について学び、入力練習を行います。				テキスト第5講の練習問題を行う。(1時間)			
9	文字の書式	文字の書式(拡大縮小・下付き文字・上付き文字・取り消し線・影付きなど)について学び、入力練習を行います。				テキスト第5講の練習問題を行う。(1時間)			
10	ページレイアウト	ページ設定と右詰め、中央揃え、インデント、段落番号、箇条書きなどについて学び、ビジネス文書を作成します。				テキスト第6講の文書入力を練習する。(1時間)			
11	表作成	罫線機能、表挿入、線種変更、列幅行高変更、セルの結合と分割、列や行の挿入と削除について学びます。				テキスト第7講の表入力を練習する(1時間)			
12	ビジネス文書	前付けや本文、付記事項のほか時候のあいさつ・敬称のつけ方などを学び、ビジネス文書を作成します。				テキストの検定練習問題を入力し、保存してレポートを提出する。(1時間)			
13	図形描画	図形描画機能および図形の塗りつぶしや線などの編集について学びます。図形機能を使った地図の作成を練習します。				テキスト第9講の練習問題を行う。(1時間)			
14	画像編集	画像の挿入(ワードアート、スマートアート、オンライン画像)について学び、画像の入った文書を作成します。				テキスト第10講の画像を含む文書の入力を練習する。(1時間)			
15	ビジネス文書	会社見学礼状や、内定時の礼状など、学生として出す文書の作成と留意点について学びます。				さまざまな文書を自分の立場で作成してみる。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
<p>「Wordの基礎」内川小百合著(丸の内ハイデ出版)(生協で購入してください。) ISBNコードなし 「日本語ワープロ検定問題模擬問題集」(日本情報処理検定協会)(生協で購入してください。)</p>		<p>受講態度:40% 定期試験:60% 受講態度は、授業への参加度(授業への取組、発言等)で評価します。 S:9割以上の理解度+授業への参加度+実技点が100点。 A:8割以上の理解度+授業への参加度+実技点が80点以上。 B:8割程度の理解度+授業への参加度+実技点が70点以上。 C:8割程度の理解度+授業への参加度+実技点が60点以上。</p>							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
<p>「逆引き Wordパワーテクニック601+66Tips」西上原裕明著(技術評論社) ISBN:4774171158,978-4774171</p>		<p>コンピュータの入力技術は本講義でしっかりと身につけてください。講義以外の時間を利用してできるだけキーボードに慣れ、Wordの機能についてよく復習してください。日本語ワープロ検定をぜひ受験しましょう。</p>							

科目名	情報処理 (EXCEL初級) (総合経営学部)	学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12202	研究室	W-32	
担当者	小林 俊一・駒村 明子・花里 育恵・永田 綾子・松澤 みわ子・河西 文子	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
総 観										
授業概要										
本講義は、表計算2級の検定合格を目標とします。Excelを用いた数値情報の加工・分析は、大学における研究分野のみならず、ビジネスシーンでも幅広く用いられています。身の回りの数値データを的確に処理し、自分に必要な情報として加工する道具としてExcelを使いこなせるようにしていきます。入力や計算式の作り方の基本から、セル参照の種類やよく使う算術・論理関数、グラフ作成、印刷設定などについて学びます。										
学修到達目標										
日本情報処理技能検定協会が実施している「表計算検定2級」の資格取得、またはそれと同等の実力を養い、Excelを用いて素早く数値データの集計・加工ができるようになることを目標としています。										
授業の進め方										
講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法についてクラス分けのため、Excelの基本操作(表計算検定4級レベル)を行います。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)			
2	基本操作と計算式	表計算検定4・3級レベルで必須とされる、文字・数値の入力、列幅変更、計算式、合計、平均関数等について解説します。					基本操作と計算式の内容を予習し、復習する(4時間)			
3	基本書式と印刷処理	表計算検定4・3級レベルで必須とされる、罫線処理、表示形式、文字揃え、印刷について解説します。					基本書式と印刷処理の内容を予習し、復習する(4時間)			
4	判断文と絶対参照・構成比	表計算検定3級レベルで必須とされる、IF関数による条件判断、セルの相対参照・絶対参照、構成比率の計算について解説します。					判断文と絶対参照・構成比の内容を予習し、復習する(4時間)			
5	端数処理と順位付け	表計算検定3級レベルで必須とされる、数値の端数処理や順位付け、並べ替えについて解説します。					端数処理と順位付けの内容を予習し、復習する(4時間)			
6	多重判断文と表検索	表計算検定2級レベルで必須とされる、IF関数のネストを使った多重判断文とVlookup関数を用いた表検索について解説します。					多重判断文と表検索の内容を予習し、復習する(4時間)			
7	グラフ作成とセル証明	表計算検定2級レベルで必須とされる、グラフ作成とセル証明について解説します。					グラフ作成とセル証明の内容を予習し、復習する(4時間)			
8	論理演算子を使った判定	表計算検定2級レベルで必須とされる、AND関数、OR関数を理解し、IF関数と組み合わせた処理について解説します。					論理演算子を使った判定の内容を予習し、復習する(4時間)			
9	日付や時刻の計算	表計算検定2級レベルで必須とされる、日付や時刻の計算について解説します。					日付や時刻の計算の内容を予習し、復習する(4時間)			
10	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)			
11	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)			
12	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)			
13	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)			
14	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)			
15	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「情報処理技能検定模擬問題集・表計算2級」日本情報処理技能検定協会編(生協で購入してください。)		定期試験：60% 課題：40% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「Excel 最強の教科書[完全版]」(SBクリエイティブ) ISBN: 978-4797388701		必ず資格取得に挑戦してください。定期試験は検定試験と同等の内容を予定しています。収集した数値データや膨大な情報を、Excelを使って効率よく取り扱えるかで、今後の問題解決のスピードが大きく変わります。								

科目名	情報処理 (EXCEL上級) (総合経営学部)	学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22203	研究室	非常勤	
担当者	河西 文子・駒村 明子	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度 (読替科目)								
		A	B	C						
授業概要										
Microsoft Excelの本格的な使い方を身につけ、研究・調査やビジネスシーンで実際に活用できるようにしましょう。身の回りに溢れたビッグデータの集計、解析にExcelは欠かせない道具です。「情報処理」では登場しなかった文字列関数や特殊関数、データベース関数、並べ替え(ソート)や抽出(フィルター)についても学びます。										
学修到達目標										
日本情報処理検定協会が実施している「表計算検定1級」の資格を取得する。または、それと同等の実力を養い、Excelを用いて複雑な条件を指定しながら、数値データの集計・加工ができる。										
授業の進め方										
講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。資格取得のためには、作業スピードがかなりのウエイトを占めます。時間外にも繰り返し操作練習が必要です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 基本操作の復習	授業の進め方、評価方法について説明し、確認します。 Excel操作の確認と表計算3級~2級レベルの復習を行います。					2級レベルに不安がある場合は、同じ問題を何度も繰り返し練習する。(2時間)			
2	多重判断文の復習	2級レベルのIF関数とAND関数を組み合わせた多重判断の復習を行います。また新しくIF関数とVLOOKUP関数のネストについて学びます。					IF関数とVLOOKUP関数のネストについて復習をする(2時間)			
3	データベース関数	表全体から指定した条件に一致するデータだけを計算対象とするデータベース関数について学びます。セルの絶対参照についても復習します。					データベース関数と絶対参照について、類似問題で復習しておく(1時間)			
4	データベース関数	DSUM関数、DAVERAGE関数などの具体的なデータベース関数の活用方法を学びます。					DSUM関数、DAVERAGE関数を、類似問題で復習しておく(1時間)			
5	データベース関数	DMAX関数、DMIN関数、DCOUNT関数などの具体的なデータベース関数の活用方法を学びます。					DMAX関数、DMIN関数、DCOUNT関数を、類似問題で復習しておく(1時間)			
6	データベース関数	様々な場面で利用できるデータベース関数ですが、集計表の形式以外に文章で条件が指定された場合の使い方について学びます。					文章で条件が指示されたデータベース関数を、類似問題で復習しておく(1時間)			
7	VLOOKUP関数の応用	計算式内でVLOOKUP関数を用いたり、列番号の指定に計算式を用いるなど、VLOOKUP関数の応用的な使い方を学びます。					VLOOKUP関数の列番号の指定方法を、類似問題で復習しておく(1時間)			
8	高度な抽出と並べ替え	膨大なデータから必要なものだけを抽出するフィルター機能や、高度な並べ替え処理について学びます。					フィルター機能と高度な並べ替えについて、類似問題で復習しておく(1時間)			
9	文字列関数	セルから特定の文字を取り出すLEFT関数やRIGHT関数について新しく学びます。					文字列関数について、類似問題で復習しておく(1時間)			
10	文字列を連結する演算子	セル同士を連結して1つの情報として扱う"&"演算子について新しく学びます。					連結演算子について、類似問題で復習しておく(1時間)			
11	絶対値を求める関数	セルの値が負であってもそこから絶対値を取り出すABS関数について新しく学びます。					絶対値を取り出すABS関数について、類似問題で復習しておく(1時間)			
12	表計算検定1級対策	過去問題を使って既定時間内に解答できるように練習します。					1級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく。(2時間)			
13	表計算検定1級対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるように練習します。					時間を計りながら課題を解き、次回授業で提出する。(1時間)			
14	表計算検定1級対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるように練習します。					時間を計りながら課題を解き、次回授業で提出する。(1時間)			
15	表計算検定1級対策	時間内に解答を行うためのポイントや試験の注意事項を説明します					時間を計りながら課題を解き、次回授業で提出する。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「情報処理技能検定模擬問題集・表計算1・準1級編」日本情報処理技能検定協会編 ISBN:978-4-900086-26-6 (生協で購入してください。)					定期試験:80% 課題:20% S:課題に誠実に取り組むとともに、検定において上位級を取得した。 A:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において8割程度の技能が認められる。 B:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において7割程度の技能が認められる。 C:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において6割程度の技能が認められる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「カラー図解Excel「超」効率化マニュアル」立山 秀利著(講談社) ISBN:978-4062579995 なし					定期試験は、表計算検定1級と同等の問題を予定しています。「情報処理」を履修する学生は「情報処理」を履修し、2級を取得していることが望ましい。Excelの幅広い分野への応用力を養いましょう。					

科目名	情報処理（パワーポイント）（総合経営学部）			学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22204	研究室	非常勤
担当者	駒村 明子・永田 綾子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
プレゼンテーションは、研究発表や教育現場、ビジネスシーンなどで幅広く用いられています。本講義ではプレゼンテーションの特色をよく理解し、企画立案の段階から訴求力の高い視覚資料の作成、内容が伝わる発表技法など、プレゼンテーション全般を扱います。											
学修到達目標											
効果的なプレゼンテーションのために一連の作業（企画立案～視覚資料の作成～発表まで）ができる。また、PowerPointの操作技能としては、デザインに重点を置き、視覚効果を多様した資料作成ができる。日本情報処理検定協会が実施している「プレゼンテーション作成検定2級」に合格する。											
授業の進め方											
講義は主にパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。使用ソフトは「Microsoft PowerPoint」です。検定試験の日程によっては、授業計画の順番が前後することがあります。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明します。PowerPointの基本的な機能を使用して、プレゼンテーション資料の作成方法を確認します（プレゼンテーション作成検定4級レベル）。					シラバスの内容を事前に確認する。事後は類似問題で復習を行うこと（1時間）				
2	プレゼンの企画立案	プレゼンテーションの初期段階で最も重要な企画立案について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料の企画立案を進める（1時間）				
3	わかりやすいストーリー構成	論理的でわかりやすいストーリー構成の組み立て方や情報収集の手法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のストーリー構成を考える（1時間）				
4	レイアウト・デザイン	視覚資料のデザイン決定において重要なことや、テーマの活用方法を学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のチャート化を進める（1時間）				
5	視覚に訴えるチャート化	目に見えない概念や考え、手順などを説明する際にチャートを活用する方法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のカラー化を進める（1時間）				
6	訴求力を上げるカラー化	カラーの基礎知識や配色の基本テクニック、カラー化によってプレゼン資料の訴求力を上げるためのポイントを学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のカラー化を進める（1時間）				
7	数値のビジュアル化とイメージ伝達	数値を目的に合わせてビジュアル表現するため、表やグラフの活用方法や具体的なイメージを伝える手段について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のビジュアル化を進める（1時間）				
8	効果的なアニメーション	アニメーション効果、画面切り替えなど特殊効果の活用方法と、事前に行っておくべきさまざまな準備作業について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料の特殊効果設定を進める（1時間）				
9	プレゼン3級対策	プレゼンテーション作成検定3級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードを向上させます。					類似問題を配布するので、次回までに復習しておく（1時間）				
10	プレゼン3級対策	プレゼンテーション作成検定3級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードを向上させます。					3級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく（2時間）				
11	プレゼン2級対策	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、デザインに重点を置いた、アニメーションや画面切り替えなどの視覚効果を多用した資料作成の技術を高めます。					類似問題を配布するので、次回までに復習しておく（1時間）				
12	プレゼン2級対策	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードの向上と適切なスライド作成技能を磨きます					類似問題を配布するので、次回までに復習しておく（1時間）				
13	プレゼン2級対策	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードの向上と適切なスライド作成技能を磨きます					2級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく（2時間）				
14	プレゼン準備とリハーサル	実際にプレゼンする場合、その当日までに必要な準備や配布資料、発表者用ノートの印刷方法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料の配布資料の準備を進める（1時間）				
15	発表スキルと質疑応答	内容を効果的に相手に伝えるための様々なテクニックや質疑応答の進め方について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料課題を完成させ、期限までに提出する（2時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「情報利活用 プレゼンテーション PowerPoint 2016対応」山崎 紅著（日経BP社） ISBN:9784822297978（生協で購入してください。） 教科書は全員が購入してください。				課題：40% 定期試験：60% S:課題に誠実に取り組むとともに、検定において上位級の取得を行った A:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において8割程度の技能が認められる B:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において7割程度の技能が認められる C:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において6割程度の技能が認められる							
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「プレゼンテーション検定模擬問題集1・2級編」（日本情報処理技能検定協会） 検定受験を予定している方は購入をしてください。				プレゼンテーションとPowerPointの精通することで、円滑なコミュニケーション能力の向上も期待できます。他の授業などでも積極的にプレゼン資料の作成や発表の機会を得るように心がけてください。							

科目名	情報処理（ホームページ）（総合経営学部）	学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12205	研究室	非常勤	
担当者	松澤 みわ子・河西 文子・駒村 明子・永田 綾子	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
		A	B	C						
授業概要										
ホームページは情報の取得と発信の強力なツールであり、高度情報社会における重要な情報メディアと言えます。本講義では、ホームページ作成における初中級レベルの知識と技術を習得することを目的とします。ホームページの基礎であるHTML・CSSを学び、さらにホームページ内で用いるWebコンテンツ（画像、ロゴ、アニメーション）の作成についても学びます。										
学修到達目標										
ホームページビルダーを使った一連の作業（サイト作成～Webページやコンテンツ類作成まで）ができる。日本情報処理検定協会が実施している「ホームページ作成検定2級」に合格する。										
授業の進め方										
本講義はコンピュータ教室での実習となります。使用ソフトは「ホームページ・ビルダー」、「Webアートデザイナー」、「Webアニメーター」です。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明します。ホームページビルダーを使って初歩的なホームページの作り方を学びます。まずはホームページ作成検定4級レベルの内容を見ていきます。					4級の類似問題を配布するので、復習をしておくこと（1時間）			
2	ホームページビルダー基本操作	ホームページビルダーの基本操作を習得します。この回はホームページ作成検定3級レベルの内容を紹介します。					3級の類似問題を配布するので、復習をしておくこと（1時間）			
3	ページの属性	教科書に従い、トップページの作成、およびページ属性について学びます。また、ホームページ作成検定3級の出題範囲について学習します。					ページの属性に関する復習をしておくこと（1時間）			
4	書式の設定	教科書に従い、さまざまな書式設定やWebで扱うカラーや画像の特徴について学びます。また、ホームページ検定3級の出題範囲について学習します。					書式設定や画像の特長について復習をしておくこと（1時間）			
5	表の作成	教科書に従い、表挿入や表編集の方法を学びます。この回からホームページ検定2級に挑戦します。					表の作成や編集方法について復習をしておくこと（1時間）			
6	リンクの設定	教科書に従い、各ページにリンクを設定する方法を学びます。また、ホームページ検定2級の出題範囲について学習します。					リンク設定の基本について復習をしておくこと（1時間）			
7	リンクの応用	教科書に従い、ラベルリンク、ロールオーバー、イメージマップなど、リンクの応用を学びます。また、ホームページ検定2級の出題範囲について学習します。					リンク設定の応用について復習をしておくこと（1時間）			
8	HP作成検定2級対策	よく出題されるプロパティを含むHP2級の問題の解き方の手順を学習します。					2級の類似問題を配布するので、復習をしておくこと（1時間）			
9	HP作成検定2級対策	ボーダーなどのプロパティを含むHP検定2級の問題の解き方の手順を学習します。					2級の類似問題を配布するので、復習をしておくこと（1時間）			
10	HP作成検定2級対策	ラベルリンクなどを用いた難易度の高いHP検定2級の問題の解き方の手順を学習します。					2級の類似問題を配布するので、復習をしておくこと（1時間）			
11	HP作成検定2級対策	検定模擬を実施し、弱点の抽出を行います。					時間を計りながら課題を解き、次の授業で提出する（1時間）			
12	HP作成検定2級対策	検定模擬を実施し、弱点の抽出を行います。					時間を計りながら課題を解き、次の授業で提出する（1時間）			
13	Webコンテンツの制作	Webアートデザイナーを利用し、写真の加工や合成の方法、タイトルロゴやボタンなど、個人課題で使用する素材を制作していきます。					課題の中で利用するオリジナル素材をWebアートデザイナーを用いて作成する（2時間）			
14	Webコンテンツの制作	Webアニメーターを利用した文字バナー広告など、個人課題で使用するアニメーション素材を制作します。					課題の中で利用するオリジナル素材をWebアニメーターを用いて作成する（2時間）			
15	Webコンテンツの制作	ホームページ「京都物語」に対して、各自で作成したオリジナルの画像コンテンツを配置し、課題を完成させます。HP作成検定2級に関する復習も行う予定です。					Web用の画像コンテンツ課題を期限までに提出する（2時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「よくわかるホームページ・ビルダー19」（FOM出版） ISBN:978-4-86510-207-9（生協で購入してください。）教科書に従って演習を進めていきますので、必ず購入してください。		課題：40% 定期試験：60% S:課題に誠実に取り組むとともに、検定において上位級の取得を行った A:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において8割程度の技能が認められる B:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において7割程度の技能が認められる C:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において6割程度の技能が認められる								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
「ホームページ作成検定試験模擬問題集2級編」日本情報処理検定協会編 検定試験を受験する方はできる限り購入してください。		パソコン操作に慣れていることが前提ですが、複雑な操作は多くありませんので誰でも受講可能です。今後、「ホームページ実践」の履修、またはHP作成検定1級取得を目指す人はぜひ履修をしてください。								

科目名	日本語入門（異文化理解基礎）		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12301	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	【外国人留学生限定科目】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>大学で学ぶためには、講義を理解し、教科書、参考文献を読み、レポートを作成する能力が必要です。本講義は教科書、参考文献を読むための読解力、レポート作成のための基礎を学びます。まず、論理的な文章に触れ、読解力を養います。それとともにレポートの文体、論理的な文章構成、論理的な表現を学びます。最後に学んだことをもとにテーマを決めて、レポートを作成します。</p>										
学修到達目標										
<p>1、論理的な文章の読解、レポートの作成ができるようになる。2、語彙、表現の幅を広げ、文章の構成、段落の構成に配慮できるようになる。3、学生同士でレポートをチェックすることで、互いの意見を理解し、自分の意見を表明できるようになる。</p>										
授業の進め方										
<p>読解に必要な技能、表現などを演習形式で学んでいきます。さらに、レポートを書くために必要な文体、構成、表現について講義をし、実際に学んだことを基にレポートを作成してもらいます。作成後、学生同士で互いの文を評価し合い、フィードバックを受けます。</p>										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	読解：語のまとめり 作文：表記の仕方 作文「国の有名人」	読解のストラテジーとして、語を意味のまとめりでもとらえる観点を学びます。作文では、縦書き、横書き、文体と書き言葉について学び、実際に「国の有名人」について作文を書いてもらいます。				文体、書き言葉に注意し、作文を書く(1時間)				
2	読解：語のまとめり復習 作文：段落の構成	読解は前回と別の文を使い、語のまとめりでもとらえるエクササイズをします。また、作文では段落の構成について学びます。中心文、支持文について説明します。				「使役」について復習をし、教科書のP8～15までを読んで、予習をする(1時間)				
3	読解：使役 作文：助詞相当語 作文「国の有名人」	読解は使役、使役受身、授受表現に注意し、「する」側、「される」側の関係をつかむストラテジーについて学びます。作文は助詞相当語について学びます。作文の合評会を行い、フィードバックを受けます。				使役、使役受身、授受表現を含んだ他の文の読解をする(1時間)				
4	読解：使役復習 作文：引用表現	「する」側、「される」側の関係をつかむストラテジーを使って、読解練習をします。作文は「引用表現」について学びます。最後に引用表現文型を使って「各国の国民性」についての作文を書きます。				「各国の国民性」についての作文を完成させる。小テストに備え、復習をする(1時間)				
5	読解：文の構造 小テスト	読解では文の修飾関係を正しく理解するストラテジーについて説明します。さらに今までの読解、作文の書き方について小テストを行い、フィードバックをします。				小テストの結果のフィードバックをもとに理解できていない点を復習する(1時間)				
6	読解：文の構造復習 作文：間接疑問 作文「日本人の不思議」	読解は文の構造の復習をします。作文は間接疑問文について作り方を確認したあと、その文を使って、作文「日本人の不思議」について書いてもらいます。「各国の国民性」のフィードバックをします。				作文「各国の国民性」の清書。作文「日本人の不思議」を完成させる(1時間)				
7	読解：前件と後件 作文：接続表現	読解は前件と後件の関係をつかむことを学びます。作文は接続表現について学びます。小テストに備えて、前回までの復習をします。				小テストに備えて該当箇所を復習する(1時間)				
8	読解：前件と後件の復習 作文：「日本人の不思議」合評会、小テスト	読解は前件と後件の復習を行います。作文は「日本人の不思議」の合評会とフィードバックです。また読解と作文の小テストを行います。				小テスト結果フィードバック、理解できていない点を復習する。作文の清書をする(1時間)				
9	読解：指示詞 作文：レポート作成 レポート文を読む	読解は指示詞のさすものを見つけるストラテジーを身につけます。作文は調査をもとにしたレポート作成の準備をします。まず、参考になるレポート文の読解をし、到達目標をつかみます。				インターネット、図書館を利用して、レポートのテーマを考える(1時間)				
10	読解：指示詞復習 作文：資料の引用	読解は指示詞の復習を行います。作文は資料の引用の仕方について、説明します。また、参考文献の書き方についても学んでもらいます。				インターネット、図書館を利用して、レポートのテーマを考える(1時間)				
11	読解：省略 作文：レポートのテーマ 決定・構成	読解は省略されているものはなにかを見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートのテーマの決定、構成を練ります。図表の書き方も学びます。				レポートのテーマについて図書館、インターネットを利用し、調査する(1時間)				
12	読解：「省略されているもの」復習 作文：文献調査	読解は省略されているものはなにかを見つけるストラテジーの復習をします。作文は仮アウトラインを作ります。仮説も立てます。				レポートのテーマについて、調査する。レポート下書きをする(1時間)				
13	読解：関連のある言葉 作文：レポート下書チェック	読解は関連のある言葉を見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートの下書きをして、チェックを受けます。				レポートを執筆する(1時間)				
14	読解：関連ある言葉復習 作文：レポート校正	読解は関連ある言葉を見つけるストラテジーの復習をします。作文はレポートの校正を行います。				レポートを完成させる(1時間)				
15	レポート合評会	レポートの合評会を行い、学生同士の作文から様々な視点を学びます。フィードバックを受けて、さらに校正を行います。				レポートを清書する(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
<p>「留学生の日本語 作文編」アカデミック・ジャパニーズ研究会編著（アルク） ISBN:4-7574-0500-6（別途、指示します。） 「留学生のための読解トレーニング」石黒圭他著（凡人社） ISBN:978-4-89358-780-0（別途、指示します。）</p>		<p>受講態度：15% 小テスト：25% 課題：60% 受講態度(合評会などでの発言回数と内容) S:適切な表現で論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、適切かつ正確に伝えられる。A:書き言葉で論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、適切に伝えられる。B:ほぼ適切な表現である程度論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、ほぼ適切に伝えられる。C:ある程度論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、伝えられる。</p>								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
<p>「留学生のための論理的文章の書き方」二通信子著（スリーエーネットワーク） ISBN：978-4-88319-257-1</p>		<p>作文は時間外にやらなければならないことが多いです。講義計画に沿って準備してきてください。質問はオフィスアワーに対応します。</p>								

科目名	日本語応用(異文化理解応用)		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12302	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	【外国人留学生限定科目】				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本授業は、大学のテキスト、参考文献を理解するための読解力を養うことと、場面に合わせた文章を作成することを扱います。具体的には、手紙文、スピーチ原稿、自身および母国の状況をテーマにした作文を扱い、最後に社会問題に関するレポートを作成をします。また、必要な語彙、表現、文法なども学んでいきます。										
学修到達目標										
1、場面に合わせた適切な文章を作成することができるようになる。2、文章の目的に合わせて、適する語彙、表現の選択のほか、文体、構成にも配慮できるようになる。3、互いの作文のチェック、ディスカッションを通して、様々な視点を学び、自分の意見を表明できるようになる。										
授業の進め方										
読解と作文を行います。読解は読解のためのストラテジーを学んでいきます。作文は事例に触れながら、様々な文章の特徴を理解してもらい、その特徴を踏まえ、様々な文章を作成してもらいます。作成後、学生同士、フィードバックも行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 読解:筆者の意見 作文:はがきの書き方	授業の目的、概要、評価の仕方を説明します。読解では文末に注意し、筆者の意見を見抜くストラテジーを学びます。作文では、eメール、はがきの書き方について学び、実際に書く練習をします。				実際にeメールを教員に出す。また、はがきは実際に書き、投函する(1時間)				
2	読解:「筆者の意見」復習 作文:手紙文の書き方	読解は筆者の意見を見抜くストラテジーについて復習をします。作文は手紙文の書き方を学び、実際に書く練習をします				手紙文の下書きをしてくる(1時間)				
3	読解:筆者の立場 作文:スピーチ原稿	読解は筆者の立場を見分けるストラテジーを学びます。作文は過去の留学生の書いたスピーチ原稿を参考にし、ブレインストーミングをします				スピーチのテーマを考え、下書きをする(1時間)				
4	読解:「筆者の立場」復習 作文:スピーチ原稿の発表の仕方	読解は筆者の立場を見分けるストラテジーの復習をします。作文はスピーチ原稿の下書きをチェックし、フィードバックをします。よいスピーチとは何かを考えます。				スピーチ原稿の清書、スピーチの練習をする(1時間)				
5	読解:大切なことのサイン 作文:スピーチ発表会	読解は大切なことのサインをつかむストラテジーを学びます。スピーチの発表をし、他学生、教員からフィードバックを得ます。				小テストに備え、復習をする(1時間)				
6	読解:「大切なことのサイン」復習 作文:アジア賞応募原稿構成	読解は「大切なことのサイン」の復習をします。作文はアジア賞に向けて、テーマを考え、構成を練ります。前回のアジア賞応募原稿を読み、到達目標を把握します。				アジア賞の応募原稿の下書きを書く(1時間)				
7	読解:速読 作文:アジア賞応募原稿作成	読解は速読のストラテジーを学びます。作文は、作文評価の観点の説明を受けたのち、アジア賞応募原稿の下書きを学生同士、チェックします				アジア賞応募原稿の清書をする(1時間)				
8	読解:「速読」復習 作文:アジア賞応募原稿完成、合評会	読解は速読の復習、作文はアジア賞原稿の合評会を行い、学生同士、互いの考え方を理解します。				アジア賞応募原稿校正をする(1時間)				
9	読解:話題を見抜く 作文:調査をしてレポートを書く	読解は文章の話題を見抜くストラテジーを身につけます。作文は社会問題もとにしたレポートの作成をします。テーマ決定のためのブレインストーミングを行います。				インターネット、図書館などを利用して、レポートのテーマを考える(1時間)				
10	読解:「文章の話題を見抜く」復習 作文:仮アウトライン	読解は「文章の話題を見抜く」ストラテジーの復習をします。作文はレポートのテーマ、構成を決め、仮アウトラインを作成します。				小テストのための復習をする。レポートのテーマについて調べる(1時間)				
11	小テスト 読解:ストーリーを読む	小テストをします。読解はストーリーを読むためのストラテジーを学びます。作文は仮アウトラインにのっとって、下書きをします。				レポートの下書きを完成させる(1時間)				
12	読解:「ストーリーを読む」復習 作文:賞状の書き方	読解は「ストーリーを読む」の復習をします。作文は賞状の書き方について学びます。				レポートの下書きを完成させる(1時間)				
13	読解:読み間違いを見つける 作文:下書きチェック	読解は読み間違いを見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートの下書きを学生同士観点に沿って、チェックし、フィードバックを得ます。				フィードバックをもとにレポートの校正、清書をする(1時間)				
14	読解「読み間違いを見つける」復習 作文:レポート合評会	読解は「読み間違いを見つける」ストラテジーの復習をします。作文はレポート合評会を行い、学生同士、互いの考え方を理解し、ディスカッションを行います。				定期試験に備え、復習をする(1時間)				
15	総復習 作文:合評会	定期試験に備え、総復習をします。作文はレポートの合評会の続きを行い、学生同士、考え方を理解しディスカッションを行います。				定期試験に備え、復習をする(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「留学生のための読解トレーニング」石黒圭著(凡人社) ISBN:978-4-89358-780-0(別途、指示します。)日本語入門と同じ教科書です。				受講態度:15% 小テスト:20% 課題:45% 定期試験:20% 受講態度(合評会などでの発言回数と内容)S:場面に合わせた文章を適切、かつ正確に作成できる。自分の意見を適切かつ正確に表明できる。A:場面に合わせた文章を適切に作成できる。自分の意見を適切に表明できる。B:場面に合わせた文章をほぼ適切に作成できる。自分の意見をほぼ適切に表明できる。C:場面に合わせた文章を作成できる。自分の意見を表明できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「日本語Eメールの書き方」築晶子他著(ジャパンタイムズ) ISBN:4-7890-1184-4				留学生の物の見方、考え方を表明する場でもありますので、日頃より見聞を広げてほしいと思います。質問はオフィスアワーで対応します。						

科目名	日本事情（異文化理解基礎）		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	UL22303	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	【外国人留学生限定科目】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
この授業は日本人学生と留学生が共に学び合い、異文化コミュニケーションを実践する授業です。地域のグローバル化に伴って、異文化の人との円滑なコミュニケーション力の養成は重要な課題となっています。この授業では、理論として異文化コミュニケーションの特徴、異文化コミュニケーションに対する態度を学び、さらにトレーニング、実際の異文化交流を通して、異文化に対する意識の変革を目指します。										
学修到達目標										
1、異文化コミュニケーションの特徴、異文化コミュニケーションに対する態度を学び、実際に異文化の人との円滑なコミュニケーションをとれるようになる。 2、テーマに沿ってディスカッション、発表をし、留学生と日本人学生が互いの意識改革を行い、多文化共生社会の礎を築く。										
授業の進め方										
講義形式で異文化コミュニケーションに関する理論を説明します。その理論をもとに様々な事例を取り上げ、日本人学生と留学生がディスカッション、発表をし、互いの考え方、価値観、文化が理解できるようにします。また、国際交流活動に参加してもらいます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 異文化を理解する	授業の目的、概要、評価の仕方を説明します。異文化コミュニケーションとは何かを考えます。				身近にあった異文化コミュニケーションの経験をレポートにまとめる(2時間)				
2	異文化体験発表 新しい常識の発見	異文化体験を発表し、異文化が身近であることを理解します。異文化の人と常識が違うことを様々な例を用いて説明します。自分の価値観を絶対正しいと思わない態度を身につけます。				自分の体験で、異文化でなくても、常識の通じなかった経験をレポートにまとめる(2時間)				
3	常識が通じなかった体験発表 ステレオタイプ	常識の通じないというのは異文化だけではないことを理解します。ステレオタイプの定義、要因、そして自らのステレオタイプを考えます。さらに自分、自分の国がどう見られているかを考えます。				世界の様々な国のステレオタイプを調べて、レポートにまとめる(2時間)				
4	「ステレオタイプ」発表 文化とコミュニケーション	ステレオタイプについて発表を行い、ステレオタイプの弊害について考えます。文化とコミュニケーションについて考え、誤解を受けるメカニズムを考えます。				誤解を受けた経験を客観的に振り返り、その要因を分析し、レポートにまとめる(2時間)				
5	「誤解」レポート発表 コミュニケーションスタイル - 誘い方と断り方	人間がコミュニケーションをとるとき、異文化ならずとも誤解がおこることをメカニズム的に理解します。さらに、コミュニケーションスタイルの違う文化では誤解が起こりやすいことを学びます。				誘い方と断り方の自分のコミュニケーションスタイルについて、分析的に考え、まとめる(2時間)				
6	「誘い方と断り方」発表 コミュニケーションスタイル - 謝罪と感謝	自分の誘い方と断り方のコミュニケーションスタイルを客観的に知る。謝罪と感謝のコミュニケーションスタイルの文化による相違について考える。				スタイルが異なるとどんな摩擦が起きやすいかをレポートにまとめる(2時間)				
7	松本国際ふるさと祭り 「こいこい松本」への参加準備	「こいこい松本」の目的、概要を説明します。松本の外国籍住民についての理解を深め、自分なりのスタッフ参加の目的を決めます。				スタッフ会議も含め当日スタッフとして参加する。参加後、レポートを書く(16時間)				
8	「こいこい松本」に参加して学んだことを発表	「こいこい松本」に参加しての自分の目的に合わせた成果を発表します。発表の後、ディスカッションをします。				ディスカッションの内容も含め、レポートをまとめ直す(4時間)				
9	非言語コミュニケーション タッチング・空間距離	非言語コミュニケーションとは何か。非言語の文化的影響を説明します。本授業ではタッチング、空間距離の文化的差異を取り上げます。				他者を観察し、非言語を使ったコミュニケーションの実例をレポートにまとめる(4時間)				
10	非言語コミュニケーション 表情・アイコンタクト・ジェスチャー	非言語コミュニケーションの表情、アイコンタクト、ジェスチャーを取り上げ、文化的差異について説明します。最後に非言語コミュニケーションが摩擦を生む例について考えていきます。				非言語コミュニケーションを分類し、摩擦の多いタイプは何かをレポートにまとめる(4時間)				
11	多文化共生の意義と課題	多文化共生の意義、課題を考えます。まず、カナダ、日本の実例について紹介します。課題についてディスカッションをします。				多文化共生の意義と課題について調べてレポートにまとめる(4時間)				
12	多文化共生の意義と課題 - 発表	多文化共生の意義、課題について調べてきたことを発表します。お互いの発表を聞いて、ディスカッションをします。				外国人(異文化の出身者)にインタビューする。テーマを考える(4時間)				
13	外国人にインタビュー	学習してきたことをもとに自分でテーマを決めて、外国人にインタビューします。本授業ではテーマについて理解を深め、調査項目を決定します。				仮調査票を完成させる(4時間)				
14	外国人にインタビュー - パイロット調査	調査項目をもとにパイロット調査を行います。学生同士質問をし合い、調査項目を見直します。				調査票を完成させ、調査を行い、PPTでスライドを作る(4時間)				
15	発表原稿チェック 発表シミュレーション	お互いに発表原稿のチェックをします。よい発表の観点を説明し、シミュレーションを行います。				シミュレーションでのフィードバックをもとに発表原稿を完成させ、発表練習をする(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「異文化コミュニケーション・ワークブック」矢代京子他著(三修社) ISBN:978-4-384-01851-6(講義にて配布します。)				受講態度:30% レポート:40% 発表30% 受講態度(ディスカッションでの発言回数と内容)S:異文化コミュニケーションの特徴を深く理解し、円滑なコミュニケーションがとれる。A:異文化コミュニケーションの特徴を理解し、円滑なコミュニケーションがとれる。B:異文化コミュニケーションの特徴をほぼ理解し、のコミュニケーションがとれる。C:異文化コミュニケーションの特徴をある程度理解し、コミュニケーションができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「異文化理解入門」原沢伊都夫著(研究社) ISBN:978-4-327-37734-2				異文化の人と交流をして互いの価値観を知り、理解できるようにしてください。質問はオフィスアワーで対応します。						

科目名	日本事情（異文化理解応用）		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL22304	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	【外国人留学生限定科目】				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
地域のグローバル化にともない、日本の事情を客観的に知ること、さらにそれを他に伝えることが必要となっています。この授業はまず日本を大きく3つの地域に分け、その文化、歴史、宗教等を学んでいきます。そして、地域ごとに自分が興味を持ったテーマを見つけ、発表します。発表は3回行います。留学生と日本人学生がともに日本事情について学ぶことにより、互いの文化、歴史、宗教等を比較し、日本事情の特徴に対する理解を深めます。										
学修到達目標										
1、日本の事情を知り、さらにそれを他に伝えられるようになる。 2、日本と留学生の母国との比較により、それぞれの文化に対する理解を深める。 3、発表のスキルを学ぶ。										
授業の進め方										
授業の前半は講義形式で、地域ごとの文化、歴史、宗教等を学びます。後半は学生がテーマを選び、発表します。その内容について学生同士質問したり、話し合ったりしてもらいます。最後に発表のコメントを書き、提出します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 日本の地理 北部（北海道）について	授業の目的、授業概要、授業評価について説明を受けます。日本の地理の概要をつかんだ後に、北海道について学びます。北海道は主にアイヌの歴史について学びます。					復習及び発表準備（2時間）			
2	北部（岩手県）について	柳田國男の「遠野物語」を中心に学びます。日本の民俗学について理解を深めます。方言についても考えます。					復習及び発表準備（4時間）			
3	北部（仙台、奥の細道）について	東北の3大祭りについて学びます。さらに俳句について学び、「奥の細道」について理解を深めます。また句会の準備をします。					俳句を実際に作る。 復習及び発表準備（4時間）			
4	句会 北部（福島・茨城）について	句会を体験します。さらに東日本大震災について学びます。また、白虎隊、日光東照宮についてそれぞれの歴史についても理解を深めます。					発表準備まとめ。北部小テスト準備（6時間）			
5	中部（東京・富士山）について 学生発表 小テスト（北部）	東京、下町文化、富士山とそこから生まれた芸術について、学びます。東北地方に関する小テストを受け、知識を定着させます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					発表準備（2時間）			
6	中部（信州）について 学生の発表	桜と日本人の美意識について学びます。また、江戸時代の人々の暮らしについて絵島事件を通して学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					日本人の美意識に対する本を読み、レポートを書く（4時間）			
7	中部（奈良、京都） 学生の発表	奈良時代、平安時代を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					復習及び発表準備（4時間）			
8	中部（滋賀、大阪） 学生の発表	戦国時代を中心に学びます。また、茶道の概要、精神についても学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					発表準備 茶道の歴史と茶掛けを調べる。（4時間）			
9	茶道体験	茶道を体験します。その際茶道の精神がどのように実際に活かされているかを探ります。					茶道体験をレポートにまとめる。 発表準備 小テスト準備（6時間）			
10	南部（島根県出雲・松江）について 小テスト（中部）	神話、怪談などを中心に学びます。また、中部地方について知識定着のための小テストを行います。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					神話、怪談の中から、好きなものを選び、あらすじをまとめる。（4時間）			
11	南部（岡山・広島）について 学生の発表	日本の城、および安芸の宮島を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					復習及び発表準備（4時間）			
12	南部（四国）について 学生の発表	坂本竜馬、正岡子規を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					復習及び発表準備（4時間）			
13	南部（福岡・長崎・大分）について 学生の発表	原爆、鎖国、温泉を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					復習及び発表準備（4時間）			
14	南部（熊本・鹿児島）について 学生の発表	熊本、鹿児島島の自然、歴史を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					復習及び発表準備（4時間）			
15	沖縄について 学生の発表	戦争、自然、歴史を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					小テスト（南部）準備及び発表準備（4時間）			
テキスト					成績評価の方法・基準					
(講義にて配布します。) パワーポイントによる資料を配布					受講態度：10% レポート：20% 小テスト：20% 発表50% S:授業内容の高度な理解の上に立ち、自らテーマを発見、探求し、他に伝えることに優れている。A:授業内容を理解し、自らテーマを発見、探求し、他に伝えることができる。B:授業内容をほぼ理解し、テーマにそって探求し、他に伝えることができる。C:授業内容の60%程度を理解し、テーマについて他に伝えることができる。					
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）					
「日本人と日本文化」司馬遼太郎 ドナルド・キーン著（中公新書 285） ISBN：4-12-100285-7					日本人学生、留学生が互いの国の事情を積極的にし合うことが必要です。質問はオフィスアワーで対応します。					

科目名	健康管理論（総経・人間）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13101	研究室	S-19
担当者	中島 節子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
生活習慣病や高齢化などを背景に、健康志向の考え方が社会に広がっています。このような時代背景にいったいどんな健康を害する要素が潜んでいるのか、健康の現状と関連要因を学びながら「健康ではない状態」を回避するため、または、改善するために何をすべきなのかについて考えていきます。										
学修到達目標										
「健康」の概念を理解し、「健康」を害する要因と「健康」を維持するための方法について学び、説明することができる。										
授業の進め方										
講義形式で、基本的な事項については、配布プリントに沿って説明します。現代社会の健康関連要因などについて、統計を分析した結果や健康施策について個々の考え方をまとめ、お互いにディスカッションし、発表します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	社会と健康	健康の定義、概念を理解する。生活習慣と健康との関係や環境が健康に及ぼす影響について理解し、公衆衛生とその歴史について学びます。				健康の定義や、健康と生活習慣、環境との関係についてまとめます。（4時間）				
2	疫学	疫学の定義と疫学のさまざまな指標、疫学的研究方法について学びます。				データの見方、統計を分析してまとめます。（4時間）				
3	人口統計	統計の基本事項について学び、人口統計、国勢調査、平均寿命、健康寿命について学びます。				人口統計を読み取り、考察してまとめます。（4時間）				
4	健康づくり	日本の健康づくり施策（第一次健康づくり対策からの歴史的意義、運動指針）、食生活関連施策、運動関連施策について学びます。				健康づくりの施策について調べてまとめます。（4時間）				
5	健康管理	健康管理の原則と考え方、健康教育の定義とその方法、その計画と実施、事例について学びます。				健康管理の方法や生活習慣病の予防についてまとめます。（4時間）				
6	生活習慣と健康	生活習慣病、メタボリックシンドロームについて学び、特定健診、保健指導について学びます。				自己の生活習慣、健康管理について見直します。（4時間）				
7	生活習慣病の疫学、予防、健康管理 1	循環器疾患、糖尿病、脂質異常、がんとその予防について学び、運動による予防効果と運動を始める前のメディカルチェックの重要性と検査項目、基準値について学びます。				運動と健康の関連についてまとめます。（4時間）				
8	生活習慣病の疫学、予防、健康管理 2	骨粗鬆症、慢性閉塞性肺疾患、ロコモティブシンドロームについて学び、運動による予防効果と運動を始める前のメディカルチェックの重要性と検査項目、基準について学びます。				自分の健康管理について確認し、まとめます。（4時間）				
9	地域の保健予防システム	保健所の歴史とその役割、保健師の役割、災害・危機管理対策、感染症法について学びます。				地域の保健予防システムについてまとめます。（4時間）				
10	社会保障制度	社会保障の概念、医療制度、福祉制度について学びます。				現代の社会保障制度の現状を調べます。（4時間）				
11	高齢者の健康管理	高齢者の医療確保に関する法律、健康増進事業、介護保険法と制度、認知症、サルコペニアについて学びます。				高齢者の健康課題をまとめ、考察します。（4時間）				
12	母子の健康管理	母子保健事業、保健指導、児童虐待、子育て支援制度について学びます。				母子保健について健康課題をまとめ、考察します。（4時間）				
13	学校の健康管理	健康診断と保健指導、学校給食、児童生徒の問題行動について学びます。				学校における健康管理についてまとめ、考察します。（4時間）				
14	職場の健康管理	一般健康診断、職業病と特殊健康診断、メンタルヘルスについて学びます。				職場の健康管理の方法についてまとめ、考察します。（4時間）				
15	健康づくり	講義の中での学びから、さまざまな対象、場所における健康づくり対策について考えまとめます。				現代の健康課題について整理し、解決策を考えまとめます。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要に応じて資料を配布します。				定期試験：90% 出席レポート：10% S:授業内容を高度に理解するとともに、探究心をもって積極的に健康課題に取り組み、応用問題が解ける。出席レポートに学びが丁寧に書かれている。A:授業内容を理解し、積極的に課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。出席レポートの内容に学びが書かれている。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、自分の意見を持つことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、身近な健康課題を理解することができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「基礎から学ぶ健康管理概論(改訂第4版)」柳川 洋 (編集), 尾島 俊之 (編集) 編 (南江堂) ISBN: 978-4524254750 「社会・環境と健康 健康管理概論 第3版(栄養科学シリーズNEXT)」東 あか				自己の健康管理を実践しながら、健康についてさまざまな角度から考えられるように情報のアンテナを高めてください。この講義は、実務経験のある保健師が担当します。						

科目名	こころと体の健康			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ・リング	UL13102	研究室	S-02
担当者	青木 雄次・廣田 直子・中島 節子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A B C									
授業概要											
<p>大学生生活を送る上で、また卒業後の社会生活を送る上で、学生自身が自分の心や体について十分な知識を持ち、健康で安全な日常生活を営むことが必要です。そのため、健康日本21の標語にもなっている「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、5にクスリ」のそれぞれに対応して、専門的な視点からその基礎的知識を学び、自らの生活に結びつけて実践し、健康で安全な学生生活が送れることを目的とします。</p>											
学修到達目標											
<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活を送るために必要な運動、栄養、休養の必要性について理解し、実践できる。 ・生活習慣病の発症について理解し、予防策を説明することができる。 ・安全な生活を送るために必要な知識と技術を説明することができる。 											
授業の進め方											
各専門分野の教員がオムニバス形式で進めます。講義、演習・実習を含めて実施します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション 健康とは	講義の進め方のオリエンテーションを行います。健康の概念、健康日本21の取り組みについて学びます。健康長寿についてDVDを上映します。					健康の概念について予習復習する。(4時間)				
2	飲酒、喫煙について がんの発症と予防	飲酒、喫煙のからだへの影響について学び、がんなどの病気との関連について学びます。					飲酒、喫煙、がんについて予習復習する。(4時間)				
3	生活習慣に関連する病気	生活習慣と関連の深い高血圧、高脂血症について、疾病の症状や要因、予防方法、治療方法について学びます。					生活習慣病について予習復習する。(4時間)				
4	生活習慣病 とまとめ	糖尿病、肥満など異常の早期発見のための健康診断の必要性や項目について学びます。1~4回のまとめのプリントを配布します。					健康診断や検査について予習復習する。(4時間)				
5	メンタルヘルス	代表的な精神疾患の特徴について学び、それらの対応について学びます。					精神疾患について予習復習する。(4時間)				
6	メンタルヘルス	現代社会の精神的な課題やストレスへの対応などを学び、予防と相談方法について学びます。					メンタルヘルスについて予習復習する。(4時間)				
7	栄養・食生活	栄養についての基礎知識を学び、健康的な食生活について考えます。					栄養・食生活について予習復習する。(4時間)				
8	健康と食生活	食生活と疾病との関連を学び、食事についての現代的な課題について解決策を考えます。					食生活と疾病についてレポートを作成する。(4時間)				
9	健康と食生活 休養	健康的な食生活について考えます。健康づくりのための休養指針について学び、健康づくりのための休養について考えます。					休養について予習、復習する。(4時間)				
10	健康づくりと運動	運動と健康の関連について学びます。					運動と健康との関連について予習復習する。(4時間)				
11	健康づくりと運動の実際	運動不足に起因する生活習慣病を予防するために必要な体力要素について学びます。					体力測定項目について予習復習する。(4時間)				
12	健康づくりと運動の実際	効果的な運動についての課題と対応策を考え、健康づくりのための運動を行います。					健康づくりのための運動について予習復習する。(4時間)				
13	安全と救急法について	安全について考え、けがの予防と応急手当について学びます。救命救急法について学び、演習を行います。					けがの予防と応急手当、救急法について予習復習をする。(4時間)				
14	生と性について	生と性について考えます。性の多様性LGBT、妊娠、出産について学びます。					生と性について予習復習する。(4時間)				
15	感染症と予防について	感染症と感染予防について学びます。					感染症について予習復習する。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
必要な資料をその都度配布します。		<p>定期試験：100% S：授業内容を高度に理解し、自己の健康課題を解決する方法に応用することができる。 A：授業内容を理解し、自己の健康課題を明確にし、解決する方法を見出すことができる。 B：授業内容のおおよそを理解し、自己の健康課題を明確にすることができる。 C：授業内容の60%は理解でき、健康の重要性を説明できる。</p>									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
「大学生の健康ナビ キャンパスライフの健康管理 2018」山本真由美著(岐阜新聞社) ISBN: 978-4877972240		<p>大学生生活を健康で安全に送る基礎を学び、実践に結びつけられるように努力してください。この講義は、医師、臨床心理士、管理栄養士、健康運動指導士、保健師等それぞれ実務経験のある教員が担当します。</p>									

科目名	哲学			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	UL23103	研究室	非常勤
担当者	護山 真也			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
私たちの常識的な世界の見方に対して、一歩ひいたところから、その価値を疑い、批判的な考察をくわえることで、その真価を見極めていくことが「哲学」の実践です。そのような哲学は、古今東西、さまざまな場所、さまざまな時代で行われてきました。この授業では、西洋哲学のみならず、東洋哲学にも目を配り、それらに共通するテーマを設定し、それに対する異なるアプローチの仕方を学んでいきます。											
学修到達目標											
哲学・倫理学・宗教学で問われる諸問題を理解し、それらに対して批判的に考えることのできる力を身につける。											
授業の進め方											
プリントを用いて講義形式で進めます。映像資料を利用する回もあります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	哲学への招待	授業全体の見取り図を示し、授業のガイダンスを行います。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
2	プラトンと愛の哲学	プラトンの『饗宴』を素材として、ギリシア哲学の特質について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
3	キリスト教の愛とフロムの『愛するということ』	キリスト教のアガペーとフロムが説く愛の技法について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
4	アリストテレスと幸福の哲学	アリストテレスの思想と幸福についての考え方を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
5	デカルトが見出した自己	デカルトの思想とコギトの哲学について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
6	観念論の系譜	ロックの観念論とパークリの観念論について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
7	マトリックスの世界	観念論の世界を描いた映画『マトリックス』を通して観念論の復習をします。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
8	カントとコペルニクスの転回	カントの認識論についてコペルニクスの転回を中心に学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
9	ニーチェのニヒリズムの思想	ニーチェのニヒリズムの思想とデカルト以来の哲学への批判を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
10	現代哲学の課題 自己	現代の哲学的課題として、人格の同一性(アイデンティティ)の問題を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
11	現代哲学の課題 自由	現代の哲学的課題として、決定論と自由意志の問題を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
12	現代哲学の課題 心のありか	現代の哲学的課題として、AIに心は宿るのか、心の謎について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
13	ブッダの教えたこと	仏教思想の基礎をブッダの言葉から学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
14	『般若心経』と空の思想	大乘仏教の空の思想を『般若心経』から学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
15	日本哲学の可能性	西田幾多郎の思想を中心に日本哲学の可能性を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
授業中にプリントを配布します。					定期試験:90% 受講態度:10% 定期試験で授業の理解度を問います。試験の論述では、(1)与えられた哲学的問題を正しく理解し、(2)自らの考えを、(3)論理的に、(4)独自の考察を加えて、表現することができる。(1)のみはC、(2)まででB、(3)まででA、すべて満たせばS評価とします。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
『愛するということ』エーリッヒ・フロム著(紀伊国屋書店) 『しぶん・この不思議な存在』鷲田清一著(講談社) 『観念論の教室』富田泰彦著(筑摩書房)					今学期の最後の13-15の3回分は補講で開講します。授業計画については初回で説明します。						

科目名	生命倫理		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL23104	研究室	C-7
担当者	福島 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
生命をめぐる倫理(道徳・規範)的諸問題をさまざまな視点から考察し、医療領域における今日的かつ具体的問題に対処できる思考力を養います。生命倫理学の歴史的背景と今日の課題について理解し、具体的な倫理的問題を包括的な観点から把握することを目標とします。1960年代以降、医療領域において生じた倫理的諸問題を個別に取り上げ考察します。										
学修到達目標										
生命科学、医療領域における具体的な倫理的問題に、一個人として対峙し、個別の倫理的判断を導き出せるようになること。										
授業の進め方										
授業内容に応じてグループ報告、グループ討論を実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	生命倫理学の成立背景	生命倫理学の歴史と現状について概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
2	健康と病気	健康と病気、正常と異常、それぞれの概念について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
3	治療と人体実験	医療の目的と人体実験の歴史について学びます。					事前配布資料を読んで下調べをする。(4時間)			
4	Quality of LifeとSanctity of Life	Quality of Life(生命の質)とSanctity of Life(生命の神聖性)について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
5	生殖技術	生殖技術の発展とそれに伴う倫理的問題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
6	脳死と臓器移植	脳死と臓器移植の関係について、現状と課題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
7	安楽死と尊厳死	安楽死・尊厳死と治療停止の現状と課題について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
8	ケアの倫理	医療福祉分野におけるケアの倫理について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
9	医師 患者関係	医師-患者関係の変容と今日的課題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
10	インフォームド・コンセントと情報開示	インフォームド・コンセントの歴史と医療領域における情報開示について概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
11	医療資源の配分	医療資源の配分における公正さと正義について考えます。					事前配布資料を読み、下調べをする。(4時間)			
12	パーソン論	パーソン(人格)とは何かについて学びます。					配布資料の要点をまとめる。(4時間)			
13	老人介護と世代間倫理	少子高齢化と介護問題について概説します。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
14	生命倫理学の比較考察	諸外国と日本における生命倫理学の比較をします。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
15	まとめ	講義全体のまとめ。					総復習。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
学生が選択するグループディスカッションのテーマによって、使用テキストは異なりますので個別に指定します。					受講態度:20% 出席レポート:20% レポート:30% 受講態度にはグループディスカッションへの参加状況が含まれます。 S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「生命倫理とは何か」市野川容孝編(平凡社) 「生命倫理学を学ぶ人のために」加藤尚武・加茂直樹編(世界思想社)					ひとつひとつの事例について、学生自身考えることが要求されます。毎回の講義終了前に、次回講義の概要について説明します。予習の指示がある場合は、必ず予習をしてから講義に臨んでください。					

科目名	生活習慣病と予防			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL23105	研究室	S-02
担当者	青木 雄次			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
食事・運動をはじめとする生活習慣は、さまざまな病気の発症に深くかかわっています。生活習慣を見直すことで、病気の発症を防ぎ健康長寿を達成することも可能となります。本講義では、生活習慣が関係して発症するさまざまな疾患について学び、生活習慣病を防ぐための生活習慣改善の実践や指導法について体験しながら学習します。											
学修到達目標											
自分の生活習慣と健康状態を知り、自らの生活習慣病のリスクを把握することによって、より健康的な学生生活を送ることができ、かつ、生活習慣病とそれを予防するための知識を教えることができるようになることです。											
授業の進め方											
教科書、プリント、スライド、DVDを使いながら授業を進めます。質問票や動画を適宜利用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	生活習慣病とは? 成人病から生活習慣病へ 生活習慣病の低年齢化について学びます。					教科書13-36ページを読んで、自分の生活習慣を考えてください。(4時間)				
2	肥満と肥満症	ヒトはなぜそんなに食べるのか? 肥満の定義とBMI の計算方法について学びます。					教科書37-72ページを読んでください。(4時間)				
3	糖尿病(1)	糖尿病の定義、分類(1型、2型)、血糖値とHbA1c測定の意義について学びます。グルコーススパイクとその意義について学びます。					教科書73-87ページを読んでおいてください。(4時間)				
4	糖尿病(2)	糖尿病の合併症、運動療法、食事療法について学びます。					教科書88-102ページを読んでおいてください。(4時間)				
5	脂質異常	脂質異常症の種類と原因、動脈硬化との関係、脂質異常の予防法について学びます。					教科書125-130ページを読んでおいてください。(4時間)				
6	メタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームの定義とその意義について学びます。国別基準のプリントを配布します。					メタボリックシンドローム国別の基準の違いをみておいてください。(4時間)				
7	高血圧と臓器障害	高血圧、動脈硬化、臓器障害の関係を学びます。					教科書103-124ページを読んでおいてください。(4時間)				
8	虚血性心疾患、まとめ1	虚血性心疾患の分類(狭心症、心筋梗塞)、運動療法について学びます。1~8回のまとめのプリントを配布します。					教科書133-158ページを読んでおいてください。(4時間)				
9	アンチエイジング医学(1)	理想の予防医学としてのアンチエイジング医学について学びます。					アンチエイジング医学について調べておいてください。(4時間)				
10	アンチエイジング医学(2)	アンチエイジングと抗酸化栄養やホルモン補充について学びます。					アンチエイジングについて調べておいてください。(4時間)				
11	呼吸器疾患	慢性閉塞性肺疾患(COPD)と禁煙指導について学びます。					禁煙指導について調べておいてください。(4時間)				
12	がん	がんの成因、がん検診と一次予防について学びます。がんの予防のプリントを配布します。					がん検診について調べておいてください。(4時間)				
13	運動器疾患	変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症についてとその予防と運動について学びます。骨密度の測定方法の種類とその特徴を学ぶ。					教科書233-256ページを読んでおいてください。(4時間)				
14	ロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドロームの構成概念、サルコペニアやフレイルの定義、高齢者の運動障害の特徴について学びます。					ロコチェックとロコトレについて調べておいてください。(4時間)				
15	認知症、まとめ2	認知症の病態、認知症症状と症状に対する運動療法(コグニサイズ)について学びます。9~15回のまとめのプリントを配布します。					教科書211-232ページを読んでおいてください。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「Q & A 生活習慣病の科学 Neo」中尾 一和編(京都大学学術出版会) ISBN:978-4-8140-0050-0(別途、指示します。) 希望者のみ購入(授業で説明します)。					定期試験:100% 評価の基準 S:積極的に課題に取り組み、授業内容をよく理解し定期試験が90点以上。A:積極的に課題に取り組み、授業内容をよく理解し定期試験が80点以上。B:与えられた課題に取り組み、授業内容を理解し定期試験が70点以上。C:与えられた課題に取り組み、授業の内容を理解し定期試験が60点以上。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「健康読本もっと、もっと健康!ず~っと元気!」日本人間ドック検診協会編(日本人間ドック検診協会) ISBN:4-9901978-1-X					毎日の生活習慣が病気の発症に影響し、栄養・運動・睡眠・ストレスの自己管理が大切であることを学びましょう。						

科目名	文学		学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリノ	UL33106	研究室	非常勤	
担当者	中西 満義		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
旅の文学(俳諧紀行文学)をとおして、古人における旅の意義を考察していきます。古典文学の世界に親しみつつ、その豊饒な表現世界を理解することを目標とします。松尾芭蕉『おくのほそ道』を取り上げ、松尾芭蕉の人と文学についての考察の後、序章・旅立から終着地大垣まで、主要な章段を講読していきます。											
学修到達目標											
古文を読解することができること、古典文学の表現世界を理解することができること。松尾芭蕉の思念、思想を汲み取ることができること。											
授業の進め方											
芭蕉、ならびに俳諧に関する理解を得たところで、『ほそ道』のすぐれた表現を鑑賞していきます。適宜割愛しつつ、主要な章段の解釈と鑑賞を試みます。また、作品中の日光、平泉に関連して世界遺産についての理解も深めます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	文学の意義	講義ガイダンス(世界遺産の文学)『おくのほそ道』を知る					様々な文学に触れ、文学的関心の発掘をしておく(2時間)。従前の古典学習を振り返る(2時間)。				
2	旅と文学	紀行文学の系譜 旅の文学について理解する					授業での解説を振り返り、古典の旅を理解する(2時間)。「更科紀行」の知識を得る(2時間)。				
3	文学史の中の俳諧	俳諧についてジャンルを理解する					授業での解説を振り返り、日本の詩歌文学の特質を理解する(4時間)。				
4	松尾芭蕉の作品	松尾芭蕉の旅と文学 芭蕉における旅の意義					授業での解説を振り返り、芭蕉の俳諧紀行文の理解をする(4時間)。				
5	『おくのほそ道』講読	序章、旅立ち 構成を理解する					冒頭文の暗誦と鑑賞を試みる(2時間)。日光についての知識を得る(2時間)。				
6	『おくのほそ道』講読	日光 章段の構成を理解					文章構成と世界遺産に対する理解を深める(4時間)。				
7	『おくのほそ道』講読	那須野、黒羽、雲巖寺 下野の伝承を知る					授業での解説を振り返り、地域伝承に対する理解を深める(4時間)。				
8	『おくのほそ道』講読	殺生石、遊行柳、白川の関 陸奥への玄関口					授業での解説を振り返り、文体の理解を深める(2時間)。東北地方について理解する(2時間)。				
9	『おくのほそ道』講読	須賀川-武隈の松 陸奥の歌枕を理解する					講義での解説を振り返り、陸奥の歌枕を調べる(4時間)。				
10	『おくのほそ道』講読	宮城野、壺の碑 芭蕉の行動を考える					講義での解説を振り返り、「風流」を理解する(2時間)。日本三景について知る(2時間)。				
11	『おくのほそ道』講読	末の松山、塩竈、松島 風景描写を学ぶ					講義での解説を振り返り、旅の目的の再確認をする(2時間)。「歌枕」についての復習(2時間)。				
12	『おくのほそ道』講読	瑞巖寺、石の巻 表現の仕方を学ぶ					「松島」から「平泉」への接続を理解する(2時間)。源義経について知る(2時間)。				
13	『おくのほそ道』講読	平泉 高館(義経の最期)・中尊寺					世界遺産について調べ、理解を深める(課題・4時間)。				
14	『おくのほそ道』講読	象潟 風景描写を理解する					「松島」との比較をしておく(2時間)。風景描写を学ぶ(2時間)。				
15	『おくのほそ道』講読	越後、北陸道-大垣(まとめにかえて)					後半、各章段のテーマを理解する(2時間)。全巻通読を試みる(2時間)。				
テキスト			成績評価の方法・基準								
「新版 おくのほそ道」(角川ソフィア文庫) ISBN:4-04-401004-8(生協で購入してください。)			課題:20% 定期試験:60% 受講態度:20% S:授業内容を高度に理解するとともに、対象を追究する研究的姿勢で課題に取り組む。 A:授業内容を理解し、積極的に課題に取り組む。 B:授業内容をおおよそ理解し、課題にも誠実に取り組む。 C:授業内容の過半を理解し、課題にも取り組む。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特に指定しませんが、公共図書館や附属図書館を活用して参考文献を参照してください。			世界(文化)遺産登録地が二箇所も登場する注目の作品で、「観光」の在り方を考えるにも有効な学習内容だと思います。ほそ道本文は、各自、事前に読んでおくようにしてください。								

科目名	生涯スポーツ（集团的スポーツ）Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL13107	研究室	S-16
担当者	伊藤 真之助	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
<p>本授業では、バスケットボールを通じてスポーツを楽しむ能力を育むことを目的とします。スポーツは継続することが重要であるといわれていますが、継続するためには「楽しさ」を体験することが重要であると考えられます。本授業では、チーム内でのそれぞれの役割を自覚し、助け合い、声を掛け合うなどのチームワークを育むことを念頭に「スポーツを楽しむ」ことを学んでいきます。</p>									
学修到達目標									
<p>(1)バスケットボールにおける基本的技術を習得し、ゲームにおいて実践できること (2)チーム内でのそれぞれの役割を自覚し、助け合ってゲーム展開ができること (3)参加している全員が楽しめるように工夫できること</p>									
授業の進め方									
前半は、バスケットボールに必要な基礎体力や能力などの基礎的な技術の習得を目指します。後半では、身につけた基礎的な技術を実践(ゲーム)形式にて行う事やゲーム形式の中でのチームワークを高める能力を高める事を行っていきます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業の進め方、内容、評価方法、留意点について解説します				事前にシラバスを読む。事後にはバスケットボールのルールを確認する(1時間)。			
2	基本的技術の習得(1)	チームに分かれて基本的な動きを体験します。				事前にバスケットボールに必要な動きを調べる。事後には必要な動きを復習する(1時間)。			
3	基本的技術の習得(2)	チームごとにパスの技術の習得方法を考え、それを実践します。				事前にパスについてを調べる。事後にはパスについて復習する(1時間)。			
4	基本的技術の習得(3)	チームごとにラン&パスの技術の習得方法を考え、それを実践します。				事前に動きやパスの方法を再確認しておく。事後には復習する(1時間)。			
5	基本的技術の習得(4)	チームごとにゴール下でのシュート技術の習得方法を考え、それを実践します。				事前にシュートについて調べる。事後はシュートについての注意点を復習する(1時間)。			
6	基本的技術の習得(5)	チームごとにレイアップシュートや3ポイントシュートの技術習得方法を考え、それを実践します。				事前にシュートについて調べる。事後はシュートについての注意点を復習する(1時間)。			
7	基本的なルールの理解と審判技術の習得	審判技術の基本を確認し、ミニゲームにて実践します。				事前にルールと審判について調べる。事後は審判をする際の注意点を復習する(1時間)。			
8	リーグ戦	授業前半で習得した基本的技術や審判技術を発揮するために、チーム対抗の試合を実施します。				事前にチームごとに作戦を練る。事後にはチームごとに試合を振り返る(1時間)。			
9	リーグ戦	チーム対抗の試合を実施し、試合後にはチームごとに振り返りを行い、次戦に向けた目標設定をします。				事前にチームごとに作戦を練る。事後にはチームごとに試合を振り返る(1時間)。			
10	リーグ戦	設定した目標を確認し、チーム対抗の試合を実施します。試合後にはチームごとに振り返りを実施します。				事前にチームごとに作戦を練る。事後にはチームごとに試合を振り返る(1時間)。			
11	チーム内でのリーグ戦の振り返り	前半リーグ戦を振り返り、チーム内での各自の役割を再確認し、必要に応じて戦術を整理する。				事前にチーム内での各自の役割を考える。事後には、チーム戦術を再確認する(1時間)。			
12	リーグ戦	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術と前半リーグ戦から得た経験を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します。				事前にチーム内での自身の役割を確認する。事後にはチームごとにゲーム分析をする(1時間)。			
13	リーグ戦	チーム対抗の試合を実施する中で、チーム内での各々の役割を再確認し、試合プランを再構築します。				事前にチーム内での自身の役割を確認する。事後にはチームごとにゲーム分析をする(1時間)。			
14	リーグ戦	チーム対抗の試合を実施する中で、チーム内での役割はもちろん、審判の役割を把握し、試合を円滑に進行する為のそれぞれの役割を実践し学習します。				事前にチーム内での自身の役割を確認する。事後にはチームごとにゲーム分析をする(1時間)。			
15	体験型チーム編成	これまでのリーグ戦で組んだチームメイト以外とチームを編成し、試合を実施します。				事前にバスケットボールを実施する上でのアピールポイントを考える。事後には、本授業のレポート			
テキスト		成績評価の方法・基準							
必要に応じて資料を配布します。		出席レポート：60% 実技：20% レポート：20% S：現在の改善すべき課題に積極的に取り組み、習得した基本的技術をもってチームメイトと楽しくゲームを実践できる。A：現在の改善すべき課題に比較的積極的に取り組み、習得した基本的技術をもってチームメイトと楽しくゲームを実践できる。B：習得した基本的技術をもってチームメイトと楽しくゲームを実践できる。C：習得した基本的技術を実践できる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特に指定しません。		スポーツウエア(上下)とスポーツシューズを着用して参加してください。							

科目名	生涯スポーツ（集团的スポーツ）Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL13107	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	月曜日5限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C					
授業概要									
本授業では、バレーボールを通じてスポーツに親しむ資質を身につけることを目的とします。スポーツに親しむには、なによりスポーツの楽しさを体験することが重要であると考えられます。本授業では、チームごとに「楽しい」という気持ち、感覚、雰囲気、表情等について考え、「楽しいバレーボール」を探求します。									
学修到達目標									
(1)バレーボールの基本的技術を習得し、ゲームに活かすことができる (2)チームメイトと協力し、ゲームを展開することができる (3)楽しくゲームを進行するために工夫することができる									
授業の進め方									
基本的に本授業は、チーム単位(グループワーク)で「課題の設定 課題を解決する練習方法の決定と実施 ミニゲームの実施 ミニゲームの振り返り 課題の見直しと再設定」というサイクルで進めていきます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします				事前：シラバスを読む/事後：本授業のルールと6人制ルールを確認する(1時間)			
2	攻守の基本的技術の習得1	チームごとにパスの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：パスについて調べる/事後：パスをする際の注意点を復習する(1時間)			
3	攻守の基本的技術の習得2	チームごとにサーブの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：サーブについて調べる/事後：サーブをする際の注意点を復習する(1時間)			
4	攻守の基本的技術の習得3	チームごとにレシーブの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：レシーブについて調べる/事後：サーブをする際の注意点を復習する(1時間)			
5	攻守の基本的技術の習得4	チームごとにスパイクの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：スパイクについて調べる/事後：スパイクをする際の注意点を復習する(1時間)			
6	攻守の基本的技術の習得5	チームごとにブロックの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：ブロックについて調べる/事後：ブロックをする際の注意点を復習する(1時間)			
7	基本的なルールの理解と審判技術の習得	6人制ルールとその審判技術の基本を確認し、それを簡易ゲームで実践します				事前：6人制ルールと審判について調べる/事後：審判をする際の注意点を復習する(1時間)			
8	リーグ戦1-1	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術を発揮する場としてチーム対抗の試合をします				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
9	リーグ戦1-2	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを再考する/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
10	リーグ戦1-3	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを再考する/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
11	基本的技術及びチームプレーの確認	チームごとにリーグ戦1を振り返り、基本的技術及びチームプレーをミニゲームを通して確認します				事前：チームごとに課題を整理する/事後：チームプレーを再確認する(1時間)			
12	リーグ戦2-1	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
13	リーグ戦2-2	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
14	リーグ戦2-3	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにリーグを振り返る(1時間)			
15	9人制バレーボールの体験	6人制との違いを体感するために9人制バレーボールの試合を実施します				事前：9人制のルールを確認する/事後：これまでを振り返り6人制と9人制の違いを考える(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
特に指定せず、必要に応じて資料を配布します。		出席レポート：60% 実技：20% レポート：10% 受講態度：10% S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトと楽しくゲームを展開することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術を実践することができる							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特に指定しません。		履修者数を抽選により調整する場合があります、36名程度の予定です。							

科目名	生涯スポーツ（集团的スポーツ）Cクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL13107	研究室	S-15	
担当者	山本 薫	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日3限、火曜日4限			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件								
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
ソフトボールは「打つ」「捕る」「投げる」「走る」といった運動の基本動作が盛り込まれた競技スポーツであり、その手軽さから老若男女問わず学校や職場、地域で盛んに実施されている生涯スポーツでもあります。本授業ではソフトボールの基本的な技術や戦術を概説し、またゲーム中の個々の役割について練習やゲームを通してそれらを習得します。さらに審判の実施方法なども体験します。その他、生涯スポーツとして実施するための展開方法、安全管理について習得します。										
学修到達目標										
ソフトボールにおける基本的技術や戦術の習得およびそのためのドリルを学習し実践できるようになること。 チームメートとの関わりの中で積極的にプレーしチームプレーを身につけること。 生涯スポーツとして行うにあたり、リスク管理ができるようになること。以上を目標とします。										
授業の進め方										
ほぼ全てをソフトボールの実技を行い、前半は体力づくりと基礎的技術の習得および実践ミニゲーム、後半はゲームを通してチームワークを磨きます。雨天時には室内での学習もしくは別集団スポーツを予定していますので準備してください。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	概要・スケジュール説明。場所、道具準備片付け手順確認、種目紹介、経験の有無確認。					ソフトボールの映像を見てレポートを作成する。			
2	基礎能力技術測定	基礎体力・能力測定(遠投力、送捕球、打力)					ソフトボールの技術についてテキストや参考書等で予習する。			
3	基本練習1	キャッチボール・トスバッティング:送捕球と打撃					送捕球と打撃の基本についてテキストや参考書等で予習する。			
4	基本練習2	キャッチボール・ロングティーバッティング:中距離打撃と送捕球					打撃と送捕球について映像等で予習する。			
5	基本練習3	ロングティーバッティングと守備:打撃と捕球					ソフトボールの打撃と守備についてテキストや参考書等で予習する。			
6	応用練習1、確認ゲーム	シートバッティングとミニゲーム:打撃と守備					ソフトボールの打撃、守備についてテキストや参考書等で予習する。			
7	応用練習2、確認ゲーム	シートバッティングとミニゲーム:打撃と守備					ソフトボールの打撃、守備についてテキストや参考書等で予習する。			
8	応用練習3、確認ゲーム	シートバッティングとミニゲーム:バント、内外野の連携練習					ソフトボールのバント、守備の連携についてテキストや参考書等で予習する。			
9	実践(ゲーム)形式(1)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(1)					ソフトボールの試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。			
10	実践(ゲーム)形式(2)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(2)					ソフトボールのリーグ戦形式についてテキストや参考書等で予習する。			
11	実践(ゲーム)形式(3)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(3)					ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。			
12	実践(ゲーム)形式(4)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(4)					ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。			
13	実践(ゲーム)形式(5)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(5)					ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。			
14	実践(ゲーム)形式(6)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(6)					ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。			
15	プレー評価、まとめ	自己プレー評価、他者プレー評価、まとめ					前回までの自分のプレー、他者のプレーについて振り返る。			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「いちばんわかりやすいソフトボール入門:ワイド版」宇津木妙子著(大泉書店)(別途、指示します。)					受講態度:90% レポート:10% 取り組む姿勢、積極性を評価します。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「わかりやすいソフトボールのルール」吉村正著(成美堂出版)					安全管理上、体調が急変した場合は教員へ速やかに伝えること。活動し易い服装、帽子やタオル、飲料などを持参すること。遅刻者はウォーミングアップ不十分で怪我防止のため授業参加を認めない場合もある					

科目名	生涯スポーツ（個人的スポーツ）Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL13108	研究室	S-16
担当者	伊藤 真之助	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
<p>本授業では、テニスとフィットネスを通じてスポーツの持つ魅力を経験しスポーツを楽しむ能力を育むことを目的とします。スポーツは継続することが重要であるといわれていますが、継続するには「楽しさ」を体験することが重要であると考えられます。授業内で、ラケット球技であるテニスを体験し、そこで知り得た自分自身の身体的な特徴を改善・向上するためにフィットネスを実施し、スポーツによる自身の変化を楽しむ事を学んでいきます。</p>									
学修到達目標									
<p>(1)テニスにおける基本的技術を習得し、ゲームにおいて実践できること (2)自身の身体的特徴をゲームの中で探求すること (3)フィットネスにおいて改善・向上を実感できること</p>									
授業の進め方									
前半は、テニスにおける基礎的な技術を習得し、ゲーム形式で実施します。後半はテニスを通じて知り得た身体的な特徴をフィットネスにて改善・向上するための方法を学んでいきます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業の進め方、内容、評価方法、留意点について解説します。				事前にシラバスを読む。事後には、テニスのルールを確認する(1時間)。			
2	基本的技術の習得(1)	ウォーミングアップのためのテニスコート内での動きをレクリエーションを交えて楽しみます。ラケットにてボールを打ってみます。				授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
3	基本的技術の習得(2)	障害予防のためのストレッチを実施後、コート内でラリー、サーブ練習を行います。				授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
4	基本的技術の習得(3)	障害予防のためのストレッチを実施後、前回に引き続き、コート内でラリー、サーブ練習を行います(各自の苦手な部分の練習)。				授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
5	テニスのゲーム形式	テニスのルールの再確認をし、シングルスゲームを実施します。				授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
6	テニスのゲーム形式	テニスにおける審判の役割、ボール運びなどのゲーム遂行に必要な役割の確認をし、シングルスゲームを実施します。				授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
7	テニスのゲーム形式	テニスのサーブ、ボレー、スマッシュの練習を実施し、ダブルスゲームを実施することを通じて、ダブルスゲームのルールやシングルスゲームとの違いを学習します。				授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
8	テニスのゲーム形式	テニスのサーブ、ボレー、スマッシュの練習を実施し、前回の授業内で実施したダブルスゲームでの反省点を活かし、パートナーとの連携を深め、再度ダブルスゲームを実施します。				これまでの授業内で気づいた自分の身体的特徴について小レポートにまとめる(1時間)。			
9	身体評価(1)	肩甲骨、骨盤、立位姿勢の評価を実施し、テニス実践時に感じた身体的な特徴と比較してみます。				授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
10	身体評価(2)	GJLを用いて、全身の関節弛緩性を評価します。				授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
11	身体評価(3)	動的アライメント(肩関節、胸郭、腰部、骨盤帯)を評価します。				授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
12	身体評価(4)	動的アライメント(股関節、膝関節、足関節)を評価します。				授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
13	エクササイズ(1)	身体評価結果をもとにエクササイズを実施します。				授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
14	エクササイズ(2)	エクササイズの方法を再確認し、テニスの動作と比較します。				授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
15	エクササイズ(3)	テニス継続の為に最適なエクササイズをまとめます。				本授業におけるレポートを作成し提出してもらいます。			
テキスト		成績評価の方法・基準							
必要に応じて資料を配布します。		出席レポート：60% 実技：20% レポート：20% S：現在の改善すべき課題に積極的に取り組み、習得した基本的技術を持って楽しく参加できる。A：現在の改善すべき課題に比較的積極的に取り組み、習得した基本的技術を持って楽しく参加できる。B：習得した基本的技術を持って楽しく参加できる。C：習得した基本的技術を実践できる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特に指定しません。		スポーツウェア(上下)とスポーツシューズを着用してください。							

科目名	生涯スポーツ（個人的スポーツ）Bクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL13108	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加	必修選択	選択	科目種別	講義	アイスア-	火曜日5限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
本授業では、バドミントンを通じてスポーツに親しむ資質を身につけることを目的とします。スポーツに親しむには、なによりスポーツの楽しさを体験することが重要であると考えられます。本授業では、ペア・チームごとに「楽しい」という気持ち、感覚、雰囲気、表情等について考え、「楽しいバドミントン」を探求します									
学修到達目標									
(1)バドミントンの基本的技術を習得し、ゲームに活かすことができる (2)ペア・チームで協力して、ゲームを展開することができる (3)楽しくゲームを進行するために工夫することができる									
授業の進め方									
基本的に本授業は、ペア・チーム単位(グループワーク)で「課題の設定 課題解決のための練習方法の決定と実施 ミニゲームの実施 ミニゲームの振り返り 課題の見直しと再設定」というサイクルで進めていきます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします				事前：シラバスを読む/事後：バドミントンのルールを確認する(1時間)			
2	攻守の基本的技術の習得1	グループごとにストロークの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：ストロークについて調べる/事後：ストロークをする際の注意点を復習する(1時間)			
3	攻守の基本的技術の習得2	グループごとにサービスの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：サービスについて調べる/事後：サービスをする際の注意点を復習する(1時間)			
4	攻守の基本的技術の習得3	グループごとにショット(スマッシュ)の技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：スマッシュについて調べる/事後：スマッシュをする際の注意点を復習する(1時間)			
5	攻守の基本的技術の習得4	グループごとにショット(クリアー)の技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：クリアーについて調べる/事後：クリアーをする際の注意点を復習する(1時間)			
6	攻守の基本的技術の習得5	グループごとにショット(ドロップ)の技術の習得方法を考え、それを実践します				ドロップについて調べる/事後：ドロップをする際の注意点を復習する(1時間)			
7	基本てきなルールの理解と審判技術の習得	ルールと審判技術の基本を確認し、簡易ゲームで実践します				事前：ルールと審判について調べる/事後：審判をする際の注意点を復習する(1時間)			
8	リーグ戦1-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
9	リーグ戦1-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
10	リーグ戦1-3	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
11	基本的な技術と戦術の確認	チームごとにリーグ戦1を振り返り、基本的な技術と戦術をミニゲームを通して再確認します				事前：チームごとに課題を整理する/事後：チーム戦術を再確認する(1時間)			
12	リーグ戦2-1	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする			
13	リーグ戦2-2	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする			
14	リーグ戦2-3	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする			
15	レクリエーション	討議により設定した特別ルールのもと試合を実施します				事前：楽しくゲームができる特別ルールを考える/事後：本授業のレポートを作成する			
テキスト		成績評価の方法・基準							
特に指定せず、必要に応じて資料を配布します。		出席レポート：60% 実技：20% レポート：10% 受講態度：10% 評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトと楽しくゲームを展開することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術を実践することができる							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特に指定しません。		履修者数を抽選により調整する場合があります、36名程度の予定です。							

科目名	生涯スポーツ（個人的スポーツ）Cクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL13108	研究室	非常勤
担当者	寺平 美樹	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C					
授業概要									
本講義はバドミントンとボクササイズという全く違うスポーツを体験することで、個の運動習慣を生産的に継続できるようにすることを目的とします。									
学修到達目標									
生涯スポーツに結び付けられるよう、仲間と楽しむ。									
授業の進め方									
前半はバドミントン、後半は音楽に合わせてボクササイズを行います。(講義内容は変更する場合があります)									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション ウォーミングアップの重要性	授業時の注意点、講義への向き合い方、進め方の説明。 正しいストレッチの方法を修得します。レクリエーションも行います。				基礎体力がつく運動にはどのようなものがあるか考えてみる。 (1時間)			
2	体力づくりレクリエーション バドミントン基礎	ウォーミングアップを兼ね、レクリエーションを楽しみ体力づくり。 バドミントンのラリー、サーブ練習。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
3	ストレッチ バドミントン	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 バドミントンのラリー、スマッシュ練習、シングルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
4	ストレッチ バドミントン	バドミントンのラリー、スマッシュ、ヘアピン練習、シングルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
5	ストレッチ バドミントン	バドミントンのルールを再確認。 シングルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
6	ストレッチ バドミントン	バドミントンの審判などゲーム運営の確認。 シングルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
7	ストレッチ バドミントン	バドミントンのラリー、スマッシュ、ヘアピンの練習。 ダブルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
8	ストレッチ バドミントン	バドミントンのラリー、スマッシュ、ヘアピン練習。 ダブルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
9	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害の予防と、パフォーマンス向上のため全身のストレッチを行います。 ジャブ、ストレート動作を音楽に合わせて動きます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
10	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 ジャブ、ストレート動作にフックを加えて動いてみます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
11	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 ジャブ、ストレート、フック動作にアッパーを加えて動きます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
12	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 上肢の動きに加え、前蹴りの動作を行います。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
13	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 相手を想定した構成で動いてみます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
14	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 単純な動きから複雑な動きにチャレンジしてみます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
15	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 複雑な動きをよりバワフルに動いてみます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「なし」		S:遅刻、早退、欠席がなく、私語を慎み、前向きに授業が受けられる。 A:遅刻、早退がない。欠席は1回程度。前向きに授業が受けられる。 B:遅刻、早退、欠席が2回程度。前向きに授業が受けられる。 C:遅刻、早退、欠席が3回程度。前向きに授業が受けられる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「なし」		スポーツウェア(上・下)、スポーツシューズは必ず着用してください。 大学の備品はていねいに扱うようにしてください。							

科目名	日本国憲法（総合経営学部）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13201	研究室	W-04
担当者	眞次 宏典		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
日本国憲法の基本的な枠組、背景、その意義などを理解するために、近代憲法の基本原理（基本的人権の保障と権力分立制）、日本における二つの憲法（明治憲法と日本国憲法）の異同、日本国憲法の基本原理（国民主権、基本的人権の尊重、平和主義）などを明かにした上で、具体的な政府の仕組みと人権保障のあり方についての基本論点を検討しながら理解を深めて行くことにします。										
学修到達目標										
日本国憲法を近代立憲主義の歴史の中に位置づけた上で、日本における憲法学説・判例を手がかりにしながら、日本国憲法の人権および統治機構（政府の仕組み）の基本的なあり方を理解する。										
授業の進め方										
講義は、六法（毎時間必携）で条文（憲法、関連諸法令）を参照しながら進めていきます。なお、ほぼ毎時間、講義テーマまたは人権、憲法に関連した新聞・雑誌などの記事を配布し、解説を加えることにします。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	近代憲法の成立と構成	ガイダンス、憲法の諸概念					講義内容の復習（4時間）テキストUnit1を読む			
2	統治総論と国民主権	二つの憲法の比較、日本国憲法制定過程、基本原理					テキストUnit2を読む（4時間）			
3	国民主権と天皇	日本国憲法の成立過程とその評価					テキストUnit3,4を読む（4時間）			
4	選挙制度と選挙権	選挙制度、選挙権、法の下での平等					テキストUnit5を読む（4時間）			
5	国会1	議院と議員					テキストUnit6を読む（4時間）			
6	国会2	活動と地位					テキストUnit7を読む（4時間）			
7	内閣	内閣、首相、国務大臣					テキストUnit8を読む（4時間）			
8	司法権と裁判所	司法権、裁判所の組織					テキストUnit9を読む（4時間）			
9	違憲審査制	違憲審査制と重要判例					テキストUnit10を読む（4時間）			
10	基本的人権1	人権保障のしくみ、幸福追求権					テキストUnit13を読む（4時間）			
11	基本的人権2	法の下での平等					テキストUnit27を読む（4時間）			
12	思想・良心の自由と信教の自由	思想・良心の自由、信教の自由、政教関係					テキストUnit14を読む（4時間）			
13	表現の自由	表現の自由、知る権利					テキストUnit17を読む（4時間）			
14	経済的自由	財産権、職業選択の自由					テキストUnit21,22を読む（4時間）			
15	社会権	生存権、教育を受ける権利					テキストUnit24を読む。半期講義の復習（4時間）			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「一歩先への憲法入門」片桐直人・井上武史・大林啓吾著（有斐閣） ISBN:978-4641131965（生協で購入してください。） 「ポケット六法 令和2年度版」（有斐閣） ISBN:ISBN 978-4-641-00920-2（生協で購入してください。）					定期試験：90% 受講態度：10% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）					
なし					講義の中では、授業の受け方、ノートの取り方、六法の使い方など大学で学ぶために必要な技術についても教えます。学生諸君は、講義内容そのものだけでなく、学ぶための技術についても学ぶよう心がけてください。					

科目名	地域課題研究Aクラス			学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13202	研究室	W-34
担当者	白戸 洋			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：金曜日3限 後期：金曜日3限		
関連資格						履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>学生が地域の直面する課題について、その現状を学ぶとともに、実験的なまちづくりの実践活動を通じて具体的に課題解決を図るうえで重要なことを理解し、履修者同士で議論を行い、今後の地域における取り組みのきっかけづくりを目的とします。</p>											
学修到達目標											
<p>地域課題について理解をするとともに、実験的な実践活動の成果を分析・評価し、その成果を踏まえて具体的な解決にむけたアクションを自ら計画し実施する技術及び能力を身に付ける 活動を通じコミュニケーション能力や課題解決能力、社会的課題に対する関心、地域に向き合う意識などを身に付ける グループで議論を行いまちづくりに関すな視点や価値観の中で自らの視野を広げていく</p>											
授業の進め方											
<p>地域についての講義、実態把握のための調査、その解決を図るための実験的な実践活動、成果に関するディスカッションによって構成されます。テーマとなる地域課題については履修学生が決定した後、それぞれの問題意識を踏まえて教員と相談して設定を行います。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	講義の内容及び進め方を説明し履修者シートの作成し、各自の問題意識を共有します。					小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
2	地域課題に関する講義	まちづくりをめぐる地域課題について講義します。					小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
3	地域課題に関する講義	まちづくりと高齢者の問題(買い物弱者問題など)について講義します。					高齢者の問題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
4	地域課題に関する講義	まちづくりと子育て・子どもをめぐる問題について講義します。					子育て・子どもをめぐる問題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
5	地域課題に関する講義	居場所とまちづくりについて講義します。					居場所とまちづくりについて小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
6	地域課題に関する講義	その他のまちづくりに関わる地域課題について講義します。					まちづくりに関わる地域課題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
7	地域課題の把握	地域での実態の把握(現地踏査)を行います。					現地踏査について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
8	地域課題の把握	地域での実態の把握(現地踏査)を行います。					地域での実態の把握について復習				
9	地域課題の把握	地域における課題を整理し、地域課題を把握します。					地域課題に関する小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
10	地域課題解決事業の実施準備	地域課題について討論し実験的のイメージを考えます。					実験的のイメージについて小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
11	地域課題解決事業の実施準備	地域において実施する実験的の事業について検討を行います。					実験的の事業について検討し小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
12	地域課題解決事業の実施準備	地域において事業を実験的の事業について準備を行い、地域において実験的の事業を実施します。					事業の報告の小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
13	地域課題解決事業の実施準備	地域において事業を実験的の事業について準備を行います。					事業の概要について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
14	地域課題解決事業の実施	地域において実験的の事業を実施します。					事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
15	地域課題解決事業の実施	地域において実験的の事業を実施します。					事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
16	地域課題解決事業の実施	地域において実験的の事業を実施します。					事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
17	地域課題解決事業の実施	地域において実験的の事業を実施します。					事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
18	地域課題解決事業の実施	地域において実験的の事業を実施します。					小レポートを含む事後学習を1時間行う。				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	事業の中間評価	実験的な事業についてその成果等について振り返りを行います。	事業の中間評価 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
20	事業の中間評価	事業について地域住民にインタビューし成果と課題を把握します。	事業の中間評価 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
21	事業の中間評価	実験的な事業についてディスカッションを通じて評価し今後の計画を策定します。	事業の中間評価 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
22	地域課題解決事業の実施	事業の内容を見直し今後の取り組みについて検討を行い計画を策定します。	事業の内容を見直しについて小レポートを含む事後学習を1時間行う。
23	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
24	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
25	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
26	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
27	事業の成果分析	対象地区等での成果と課題の把握（ヒアリング調査等）を行います。	ヒアリング調査等について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
28	事業の成果分析	対象地域における事業の効果の検証を行い今後の取り組みを検討します。	小対象地域における事業の効果の検証を行い今後の取り組みについて事後学習を1時間行う。
29	講義全体の振り返り	ディスカッションを通じて講義での全体の成果と課題を検討します。	全体の成果と課題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
30	まとめ	個人別学修達成目標の評価を行います。	個人別学修達成目標の評価について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
テキスト		成績評価の方法・基準	
「買い物難民を救え!移動スーパーとくし丸の挑戦」村上 稔著（緑風出版） ISBN:978-4-8461-1411-4（生協で購入してください。）		レポート：60% 課題：40% S:講義の成果を活かして持続的に課題解決のために具体的な活動を行うことができる A:実践活動を通じて地域課題を把握し有効な解決策を提言し解決を試みた B:実践活動を通じて地域課題を把握し有効な解決策を提言 C:実践活動を通じて地域課題を把握し概ね具体的な解決策を提言	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
そのつど資料配布します。		PBL（問題解決）型の授業として、みなさんの身近な社会問題に対して実践的にアプローチし、解決方法を学びます。積極的に参加してください。	

科目名	地域課題研究Bクラス			学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13202	研究室	C-5
担当者	廣田 直子			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-	前期：水曜日3限 後期：水曜日3限		
関連資格						履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
この授業では地域全体を学びの場とし、フィールド活動により地域課題を見出し、その解決に向けて皆でディスカッションし、提案という形にまとめます。Bクラスでは人の一生を「健康」の視点で概観し、まずは、乳幼児期、学童・青年期、壮年期、高齢期といったライフステージごとの特徴をとらえます。その上で、地域活動に参画して生活者である地域の人々が直面する健康課題を発見し、グループ討議を経て解決に向けて考え合い、提案をまとめます。											
学修到達目標											
フィールド活動において学習課題に応じて対象者を観察する力、課題について自らの考えをまとめ、積極的にディスカッションする力の修得をめざします。健康を栄養と運動、社会生活の視点からとらえ、近隣社会の現状を踏まえて地域が抱える健康問題・課題への認識を深めて自分たちの提案をまとめることを具体的到達目標とします。											
授業の進め方											
前半はオムニバス形式で、講義を中心に進めます。後半は、周辺地域で行なわれている「健康」への取り組みを、実習体験を通じて学び、グループで地域課題に向けた解決法を探り、提案をまとめます。(履修者数を制限することがあります。)											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の進め方と、後半に行く実習参加について実習先や実習内容の説明をします。決定している範囲で参加実習の情報を提示します。					各自で、予定されている実習に参加するための日程を調整し、参加意欲を高める。(1時間)				
2	社会生活と健康	4~5人のグループをつくります。自己紹介に加え、自身の健康観について自由に語ることで互いの考えを知り、その後「社会生活と健康」を考える次回以降の講義の意味について学びます。					健康観について、自身の健康に対する受け止め方や考え方をまとめて記述する。(1時間)				
3	ライフステージと健康 (1) 乳幼児期	乳幼児期の発育発達の大枠を捉え、生涯にわたって健康な生活を送るための基盤となる育ちの環境について、栄養・運動の両面から学びます。					身近に暮らす乳幼児に関心を寄せ、乳幼児期に重要な育ちの環境についてまとめます。(2時間)				
4	ライフステージと健康 (2) 学童・青年期	長野県内の児童の生活習慣の実態について学びます。生活習慣が子どもの発育発達に及ぼす影響について県内の実態からとらえ、改善に向けた栄養と運動両面からの支援の可能性を探ります。					学童期の生活時間、生活習慣の実態を知り、問題の所在について考えレポートを作成する。(2時間)				
5	ライフステージと健康 (3) 壮年期	体力をはじめ諸機能の衰えを感じ始めるのが壮年期です。健康上の様々な問題を感じるようになるこの年代は、健康への関心が高まる時期でもあります。栄養・運動の両面からの指導や支援の表情を学びます。					身近な大人との会話から、働き盛り世代の健康への意識・関心を聞き取りまとめます。(2時間)				
6	ライフステージと健康 (4) 高齢期	元気な高齢者、支援が必要な高齢者など、「高齢期」とひとくくりにしてもその幅は広く、人生における喜・哀のイベントが健康に影響を及ぼす年代でもあります。様々な観点から健康維持について学びます。					高齢期に生じる体の生理的衰えを知り、健康であることの価値について考え、まとめます。(2時間)				
7	地域課題 (健康と栄養)	これまでの学習で得た知識を基に、地域に目を向けます。実際に行われている栄養指導の場面やその内容、また対象に関する地域の実情を知り、アウトキャンパスでの学習目標に向けて考えます。					これまでの学習内容を振り返り、生活実態に合った「食」のあり方を考え、まとめます。(2時間)				
8	地域課題 (健康と運動)	これまでの学習で得た知識を基に、地域に目を向けます。実際に行われている運動指導の場面やその内容、また対象に関する地域の実情を知り、アウトキャンパスでの学習目標に向けて考えます。					これまでの学習内容を振り返り、生活実態に合った「運動」の必要性を考え、まとめます。(2時間)				
9	松本市の健康づくりの取り組み	健康寿命延伸都市松本の制度や健康づくりに関する様々な取り組みについて知り、若者(学生)の視点からの行政への要望・提案についてディスカッションし、その中から自分たちで対応可能な課題を発見します。					市の活動内容をまとめ、行政が取り組みにくい課題に関するレポート執筆の準備をする。(3時間)				
10	市民運動としての健康づくりの取り組み	NPOや地域の自主運営による健康の取り組みについての実態を学びます。実際の事業例を参考に、健康に関する地域課題について考えます。					前回に続き、地域の健康課題を、実際の事例からとらえてレポートを作成させる。(3時間)				
11	情報収集の方法	これまでに学習した健康に関する様々な情報を、さらに幅広く収集するための方法とその活用方法について学びます。その際、今後の活動で必要とされるルール、マナーについても学修します。					以後の報告や発表資料に役立てるための健康情報、地域情報などの情報を収集する。(3時間)				
12	プレゼンテーションの方法	本講義後半では、グループで「地域における健康課題(仮)」を発表するので、収集した資料や実習での体験をまとめる際に必要となるプレゼンテーションの方法として、パワーポイントの作成技法を学びます。					パソコンの操作に慣れ、パワーポイントを活用し、プレゼンファイル作成の練習をする。(3時間)				
13	地域課題を探る	3~4人のグループになり、健康観について話し合いを持ちます。初回講義でそれぞれが感じていた健康観を振り返り、あらためて地域の健康課題について考え、ディスカッションを通してメンバーと共有します。					グループで共有した問題について地方紙などから情報を収集し、次回講義時に持ち寄ります。(2時間)				
14	地域課題を提起1	前回授業に続き、KJ法やブレインストーミングなどで情報を出しあい、グループワークを通してグループの関心事をまとめて発表します。グループで収集した地域課題について問題の所在を探ります。					グループで決めたテーマを咀嚼し、実習の際のモチベーションの向上を図る。(1時間)				
15	地域課題を提起2	グループで決めた地域課題(テーマ)を再確認します。何が問題で、どうしていくことが求められるのか、自分たちにはできることは何かなど具体化させ、グループワークを通してグループの意思決定を図ります。					後期に行う実習を意味あるものにするため、積極的に必要な準備を整える。(3時間)				
16	オリエンテーション(後期)	グループワークにより進めます。前半の学習やグループの課題・目標を再確認します。今後実施する実習参加について説明を受けます。実習記録ノートを配布します。					実習記録ノートを確認し、実習参加の準備と心構えを確固としたものにする。(1時間)				
17	実習事前指導	実習の事前指導を受けます。実習に臨む姿勢、記録の取り方、事後報告について理解するとともに、実習先や対象者によって参加時の配慮や参加姿勢が異なることを理解します。					実習先について事前に情報収集し(1時間)、実習ごとの目標を定めて臨みます。(1時間)				
18	実習(栄養指導場面1)	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。					実習記録ノートをまとめます。(3時間)				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	実習（栄養指導場面1-2）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
20	実習（栄養指導場面1-3）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
21	実習を振り返る（栄養）	グループ毎、体験から得た学びを共有します。互いの実習記録を振り返り、それぞれの場面での気づきを話題提供し、地域社会に求められている健康づくりの課題を探ります。	実習での振り返りや気づきを次回実習に活かすために、自身の課題目標を明確にする。（1時間）
22	実習（運動指導場面1）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
23	実習（運動指導場面1-2）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
24	実習（運動指導場面1-3）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習での振り返りや気づきを報告会に活かすため、自分の考えや意見をまとめる。（2時間）
25	実習を振り返る	前期講義で得た学びや地域活動での実習体験をふまえ、グループで話し合い、報告会での発表を前提にした討議をします。地域社会に求められている健康づくりの課題と解決方法を探ります。	自分の考えや意見を、体験と理論の両面から語れるように準備を進める。（2時間）
26	報告会の準備	グループワークにより、お互いの実習記録を振り返り、各場面での気づきとして話題提供し、地域社会に求められる健康づくりの課題とその解決方法に向けた提案をまとめ、報告会での発表資料を作成します。	発表の準備・練習（2時間）、自分の考えや意見を体験と理論の両面から語れるようにする。
27	実習報告会（1）	互いの報告・発表を聞き、自分の実習体験と重ね、他のグループの発表に対して質問や感想を述べるなど、関心を持って聞き、互いに学び合います。	「健康問題」を、個人の問題としてではなく、地域が抱える課題として再考する。（2時間）
28	実習報告会（2）	互いの報告・発表を聞き、自分の実習体験と重ね、他のグループの発表に対して質問や感想を述べるなど、関心を持って聞き、互いに学び合います。	「健康問題」を、個人の問題としてではなく、地域が抱える課題として再考する。（2時間）
29	実習報告会のまとめ	報告会での発表を受けて、地域課題解決に向けた方途についてグループディスカッションをします。	ディスカッションを踏まえて地域課題解決のための方途についてまとめる。（3時間）
30	地域課題 まとめ	一人ひとりが本講義の学びをまとめ、それをお互いに聴取し合い多様な考えがあることを知ります。それを通して個々の学生が大学生活及び将来の健康課題について、地域という視点で考え続ける姿勢を培います。	記録ノートや発表から、地域社会における健康課題解決の方途に関するレポートを作成する。（3時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
(別途、指示します。) 配布資料(プリント)で進めます。		出席レポート：50% 課題：50% S:積極的な地域活動参加を通し、多角的な観察による気づきや提案を的確に文章表現できる。集団討議ではリーダーシップを発揮できる。A:積極的な地域活動での観察から、気づきや提案を文章表現できる。集団討議での確かな意見を述べる事ができる。B:地域活動での観察による気づきを文章表現できる。集団討議で自分の意見を述べる事ができる。C:地域活動に参加して学修した内容を文章表現できる。グループワークで自分の意見を述べる事ができる。	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
配布資料で進めます。		学生だから体験できる地域社会との交流を通じ、誰もが大切にしたい「健康」への認識を深め、自身の健康についても考えください。また、地域に目を向け、学修を通して社会の健康課題と向き合い、その解決方法を考えましょう。	

科目名	地域課題研究Cクラス			学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13202	研究室	W-19
担当者	矢崎 久			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：月曜日5限、火曜日3限		
関連資格						履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
買い物難民、老老介護、孤独死など高齢化社会に共通した課題に加えて、豪雨や地震など近時増加する自然災害への対処など地域が抱える課題は少なくありません。これら諸課題から今年度は「防災」「減災」をテーマとして、地域における防災の現状と課題について学ぶとともに、具体的な活動を通じた課題解決能力の獲得を図ります。											
学修到達目標											
地域における「防災」をテーマに、課題の発見、解決目標の設定、目標達成にむけた実践計画の立案と実行、評価までの流れを学修します。											
授業の進め方											
火災、地震、豪雨などの災害や防災初動組織と地域連携のありかたについての座学、グループワーク、減災や防災と社会資源の活用、災害支援ボランティア体験、さらに自治防災組織に関わることで「防災士」としての実践力を涵養します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	地域課題とはなにか	地域社会とはなにか、地域社会の課題とは何かを学びます。					事前：配布資料(地域社会と課題)を講読する(2時間)事後：研究の概要をまとめる(2時間)				
2	地域と防災	地域社会における防災の意義、その現状と課題を学びます。					事前：配付資料(地域防災)を講読する(2時間)事後：課題を作成する(2時間)				
3	地域と防災	地域社会における防災の実情を知り、その課題を抽出します。					事前：実情を調査する(3時間)事後：課題抽出表を作成する(3時間)				
4	地域課題としての防災	抽出された地域社会における防災の課題と、その解決策を検討します。					事前：解決目標を絞り込む(2時間)事後：解決計画を検討する(2時間)				
5	地域課題としての防災	課題ごとの解決策の決定、解決策を実践するための計画を作成します。					事前：課題の整理と解決策を研究する(4時間)事後：実践計画案を作成する(2時間)				
6	防災と社会資源	地域防災に求められる資源とはなにかを調べます。					事前：求められる資源を調査する(4時間)事後：資源マップを作成する(2時間)				
7	防災と社会資源	地域災害の想定規模を知り、災害発生時に活用可能な資源を調べます。					事前：災害想定を調査する(3時間)事後：社会資源を調査する(3時間)				
8	災害と危機管理	危機管理とはなにか。何を、どのように管理すべきなのか。そのポイントを学びます。					事前：危機管理について調べる(3時間)事後：管理ポイントを整理する(2時間)				
9	災害と危機管理	災害の予防、災害の状況把握、防災と減災の対策検討、対策の実施計画を策定します。また実施計画書の実現可能性を検討します(図上訓練の準備)。					事前：訓練の手順を調査する(4時間)事後：訓練計画書を作成する(4時間)				
10	災害と危機管理	実施計画書に基づいた図上訓練を実施します。					事前：訓練手順を確認する(2時間)事後：訓練報告書を作成する(3時間)				
11	地域住民の防災意識	地域に住む人々の防災意識を知るための調査準備(アンケート作成)について学びます。					事前：アンケートの内容を検討する(4時間)事後：アンケートの作成と調査依頼をする(5時間)				
12	地域住民の防災意識	地域住民の防災意識を知るためのアンケート調査をおこないます。					事前：アンケート手順表を作成する(5時間)事後：結果の分析と集計をおこなう(5時間)				
13	地域住民の防災意識	アンケート調査の結果集計と分析をおこないます。					事前：集計と分析をおこなう(5時間)事後：報告書を作成する(5時間)				
14	地域防災組織との交流	アンケートの集計結果に基づいた地域防災組織の必要性、果たす役割、望まれる体制、防災訓練の実際について学びます(消防団の見学準備・訪問依頼)。					事前：消防団を調べる(4時間)事後：報告書を作成する(3時間)				
15	地域防災組織との交流	消防団を訪問して防災訓練の実際を学びます。					事前：見学依頼書を作成し依頼する(4時間)事後：報告書を作成する(3時間)				
16	地域防災組織との交流	消防団以外の地域防災組織、自治防災組織について学びます。					事前：防災組織を調査し報告書を作成する(4時間)事後：調査結果をまとめる(3時間)				
17	防災訓練	地域防災組織、自治防災組織による防災訓練に企画段階から参画します。					事前：訓練企画に参画する(5時間)事後：訓練計画案を作成する(3時間)				
18	防災訓練	防災訓練との協働と防災訓練に係る部門との調整について学びます。					事前：計画案を修正する(3時間)事後：計画書を作成する(3時間)				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	防災訓練	防災訓練計画書に基づいた防災訓練を実施します。	事前：訓練計画を確認する（2時間）事後：報告書を作成する（3時間）
20	災害とボランティア	被災後の地域で何が求められるのかを調べます。	事前：調査をおこなう（5時間）事後：報告書を作成する（3時間）
21	災害支援とボランティア	被災地のニーズに基づいた災害支援ボランティア活動の実際を学びます（東日本大震災派遣松本大学ボランティア活動）。	事前：実践報告書を読む（2時間）事後：ボランティア活動をまとめる（3時間）
22	災害支援とボランティア	日本各地の被災地支援がどのようにおこなわれたのかを調べます。	事前：実践報告書を読む（4時間）事後：報告書を作成する（3時間）
23	災害支援とボランティア	被災地支援ボランティアを体験します（参加可能な場合）。	事前：支援を準備し活動計画書を作成する（5時間）事後：活動報告書を作成する（3時間）
24	災害と自治防災組織	防災士の果たす役割、地域防災組織との連携・協働による地域防災をありかたを調べます。	事前：地域防災組織を調査する（5時間）事後：報告書を作成する（3時間）
25	災害と自治防災組織	地域防災における防災士の果たす役割とそのあり方を研究します。	事前：防災士の役割を検討する（3時間）事後：役割をまとめる（3時間）
26	自治防災組織と防災士	自治防災組織と防災士の連携について研究します。	事前：連携を研究する（3時間）事後：防災組織案を作成する（3時間）
27	災害と地域防災組織1	災害時に機能する地域防災組織のあり方、防災訓練のあり方を研究します。	事前：地域防災組織と活動案を作成する（4時間）事後：防災訓練計画書を作成する（4時間）
28	災害と地域防災組織2	地域防災組織と協働した防災訓練（図上・実践）を実施し、その結果を分析します。	事前：訓練計画書の見直しと確認をおこなう（3時間）事後：実施報告書を作成する（3時間）
29	実践の検証	地域課題の解決にむけた一連の学び・実践を検証します。	事前：報告書を見直す（4時間）事後：研究報告書を作成する（4時間）
30	実践の検証	これまでの地域課題研究の成果をまとめます。	事前：研究報告書を作成する（4時間）事後：まとめ（5時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
適宜配布します。		出席レポート：30% 実技：30% 定期試験：40% 「防災士」資格の理念である自助・共助・協働の姿勢があるか、演習および訓練に求められる知識と技能を發揮しているかを総合的に判定します。 成績評価基準「S」レポート、演習と実技、定期試験のすべてが90%以上 「A」 " 80%以上 「B」 " 70%以上 「C」 " 60%以上	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
適宜プリントを配布します。		履修は「防災士養成講座」を受講し認証試験に合格している者、あるいは地域防災に関心があり「防災士」の取得を目指している者に限定します。	

科目名	地域課題研究Dクラス			学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13202	研究室	A-02
担当者	大蔵 真由美			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：火曜日5限、水曜日3限		
関連資格						履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
地域社会を支える人材の育成は地域社会の存続や発展にとって大きな課題です。地域の様々なひとづくり(教育)に関わる活動に参加することを通して、地域が抱える教育課題を発見することを目的とします。さらに、現在そして将来にわたり、教育を巡る課題の解決のためにできることは何かを考えることも目的とします。											
学修到達目標											
1.地域のひとづくり(教育)の活動に参加し、コミュニケーション力を高めようとする事ができる。2.地域のひとづくり(教育)の実際を知り、その意義や役割、特徴を理解することができる。3.地域のひとづくり(教育)を巡る課題について考えることができる。4.地域のひとづくり(教育)を巡る課題の解決に向けた取り組みの方法を考え、実行に結びつけていくことができる。											
授業の進め方											
講義とフィールドワークで学んだ内容を基にして課題を発見し、グループワークでは課題解決に向けた取り組み方法について考え、それらを実行に結び付けていきます。またプレゼンテーションや報告書などを通して学んだ内容を発信することも重視していきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス1	授業内容及び授業の進め方を説明します。					シラバスを読み、授業全体のイメージを持つ(1時間)。				
2	地域とひとづくり(1)	松本市の地域における教育活動の現状について学びます。					松本市のHPを読む(1時間)。				
3	地域とひとづくり(2)	地域教育の意義や役割、特徴について学びます。					前時の復習、関連する資料を読む(1時間)。				
4	地域とひとづくり(3)	地域教育の意義や役割、特徴について体験を通して理解を深めます。					前時の復習、体験のまとめ(1時間)。				
5	地域とひとづくり(4)	地域のひとづくりを巡る課題について考察します。					前時の復習、課題のまとめ(1時間)。				
6	地域とひとづくり(5)	地域のひとづくりに関わる環境と歴史について学びます。					関連する資料を読む、学習内容をまとめる(1時間)。				
7	地域とひとづくり(6)	地域のひとづくりに関わる環境と歴史について学んだことをまとめ、考察を深めます。					前時の復習、関連する資料を読む(1時間)。				
8	地域とひとづくり(7)	地域と学校、家庭の連携の実践例を調べます。					前時の復習、実践例をまとめる(1時間)。				
9	地域とひとづくり(8)	信州型コミュニティ・スクールの実践例を調べます。					前時の復習、実践例をまとめる(1時間)。				
10	地域とひとづくり(9)	これまでに学んだことをもとに地域のひとづくりを巡る課題について考えを深め、今後の学習課題について話し合います。					これまでの学習内容をまとめる。(1時間)。				
11	地域とひとづくり(10)	地域のひとづくりを巡る課題の解決に向けた取り組み方法を考えます。					前時の復習、課題解決の方法をまとめる(1時間)。				
12	活動参加の準備(1)	地域のひとづくりを巡る課題の解決に向けた取り組みの準備をします。					前時の復習、準備が十分にできたかどうかの確認する(1時間)。				
13	活動参加の準備(2)	活動に参加する時に配慮する事項について学びます。					前時の復習、配慮事項についての確認する(1時間)。				
14	地域の自然環境を生かした取り組み(1)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。					活動の事前設定と片づけを行う(1時間)。				
15	地域の自然環境を生かした取り組み(2)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。					お礼状の作成と送付、活動メモの作成をする。(1時間)。				
16	地域の文化資源を生かした取り組み(1)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。					活動の事前設定と片づけ(1時間)。				
17	地域の文化資源を生かした取り組み(2)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。					お礼状の作成と送付、活動メモの作成(1時間)。				
18	中間報告の準備	これまでの活動内容についてまとめ、プレゼンテーションの準備をします。					前時の復習、プレゼンテーション内容の確認(1時間)。				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	中間報告会	これまでの活動内容についてまとめたことを発表します。	プレゼンテーションの役割分担、発表の振り返り(1時間)。
20	地域とひとづくり(11)	地域のひとづくりの巡る課題についての聞き取り調査を行います。	聞き取り調査を行うための注意点の確認、調査メモの整理(1時間)。
21	地域とひとづくり(12)	聞き取り調査の内容についてグループでまとめます。	前時の復習、調査内容のまとめ(1時間)。
22	活動参加の準備(3)	地域のひとづくりを巡る課題の解決に向けた取り組みの準備をします。	体験の振り返り(1時間)。
23	地域の伝承文化を生かした取り組み(1)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。	活動の事前設定と片づけ(1時間)。
24	地域の伝承文化を生かした取り組み(2)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。	活動の事前設定と片づけ(1時間)。
25	地域の伝承文化を生かした取り組み(3)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。	お礼状の作成と送付、活動メモの作成(1時間)。
26	報告書作成に向けた準備	これまでに地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなど、報告書にまとめる内容を考えます。	これまでの活動メモや調査メモの整理、報告書作成の見直しをもつ(1時間)。
27	報告書の作成(1)	地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなどを報告書にまとめます。	報告書作成作業の進捗確認(1時間)。
28	報告書の作成(2)	地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなどを報告書にまとめます。	報告書作成作業の進捗確認(1時間)。
29	報告書の作成(3)	地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなどを報告書にまとめ、完成させます。	報告書作成作業の進捗確認、点検作業(1時間)。
30	まとめ	完成した報告書を読みあい、これまでの授業を総括します。	これまでの授業の復習(1時間)。
テキスト		成績評価の方法・基準	
必要に応じて適宜資料を配布します。		受講態度：50% 課題：50% 受講態度(授業・活動への意欲、理解度)、課題(中間報告、報告書等)を総合して評価します。 <評価基準> S:授業や体験に意欲的に参加し、地域の教育課題とその解決方法について自分なりの考えを論理的に説明できる。A:授業や体験に意欲的に参加し、地域の教育課題を説明できる。B:授業や体験に積極的に参加し、体験で学んだことを整理して説明できる。C:授業や体験に参加し、体験で学んだことを説明できる。	
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)	
「まちが変わる 若者が育ち、人が元気になる 松本大学がかかわった」白戸洋著(松本大学出版会) 「ローカルメディアのつくりかた」影山裕樹著(学芸出版社)		地域の教育に関する課題を解決する方法などについて、体験を通して考える授業ですので、意欲的な授業参加を期待しています。	

科目名	経済入門A (総経)			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	研究室	W-14	
担当者	佐藤 嘉晃			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
経済活動や近年の経済政策を理解するうえで重要となる金融・貨幣に関する経済学の基礎的な理論について講義します。また近年議論されている経済政策を紹介・検討していきます。											
学修到達目標											
金融・貨幣に関する経済学の理論の基礎的な知識を獲得し、経済活動の金融・貨幣面の仕組みを理解することによって、現実の経済政策に関する諸問題を主体的に分析することができる。											
授業の進め方											
教科書に沿って講義します。また各回において学生同士が講義のテーマに関する題材についてディスカッションを行います。学生からのフィードバックをもとに講義の内容・進捗を調整します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	導入	講義の概要を説明します。					教科書の第1章の内容を把握する(4時間)。				
2	金融・貨幣市場の役割	将来の経済の状態が現在の資産価格や物価水準にどのように反映されるのかを議論します。					教科書の第15章1節の内容を把握する(4時間)。				
3	債券とは	金融市場で取引されている有価証券である債券について説明します。					教科書の第15章2節の内容を把握する(4時間)。				
4	割引の考え方	債券価格の決定メカニズムについて考えるうえで重要な割引(discount)と呼ばれる概念について説明します。					教科書の第15章2節の内容を把握する(4時間)。				
5	利子率と債券価格の関係	利子率と債券価格の決定のモデルについて説明します。					教科書の第15章2節の内容を把握する(4時間)。				
6	株式とは	金融市場で取引されている有価証券である株式について、債券との違いを踏まえて説明します。					教科書の第15章3節の内容を把握する(4時間)。				
7	ファンダメンタルズと資産価格バブル	どのような状況で株価に資産価格バブルが生じるのかについて議論します。					教科書の第15章3節の内容を把握する(4時間)。				
8	貨幣の役割	貨幣市場のメカニズムについて説明します。					教科書の第15章4節の内容を把握する(4時間)。				
9	中央銀行はどのように貨幣を供給するのか	準備預金制度や短期金融市場について説明します。					教科書の第15章4節の内容を把握する(4時間)。				
10	公開市場操作と金利決定メカニズム	日本銀行が準備預金制度を通じて、銀行間で資金の貸借が行われているコール市場の金利をどのように目標水準に誘導するのかについて説明します。					教科書の第15章5節の内容を把握する(4時間)。				
11	金利と貨幣供給	貨幣市場の需給調整を通じて金利がどのように決まるのかについて説明します。					教科書の第15章5節の内容を把握する(4時間)。				
12	貨幣供給と物価の関係	長期的な視点から名目金利・物価水準・名目貨幣供給の相互関係について議論します。					教科書の第15章5節の内容を把握する(4時間)。				
13	財政支出の調達手段としての通貨発行	中央銀行の通貨発行収入と財政政策との関係性に関する議論について検討します。					教科書の第15章6節の内容を把握する(4時間)。				
14	マイルドなデフレーションのもとでのマイナス金利政策	中央銀行が実施する金融政策とマイナス金利現象について議論します。					教科書の第15章6節の内容を把握する(4時間)。				
15	総括	講義全体の内容を整理して統一的に説明します。					講義で扱われた教科書の該当章の内容を再度把握する(4時間)。				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「マクロ経済学〔新版〕」齊藤誠・岩本康志・太田聡一・柴田章久著(有斐閣) ISBN:978-4-641-05384-7(生協で購入してください。)					レポート:50% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。 C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義中に紹介します。					特になし。						

科目名	地理学			学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	UL13204	研究室	W-21
担当者	古川 智史			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格	中一(社会)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本講義では、現代社会の様々な事象、課題を地理学の観点から検討することを通して、地理学の諸概念、アプローチ方法を身につけます。まず、地理学とはどのような学問であるのか、その成り立ちを概説した上で、地理学において重要なツールである地図の利活用について理解を深めます。次に、地理学の諸分野について、具体的な事例を取り上げながら、地理学の基礎的な視点、概念、アプローチ方法について解説します。そして、身近な地域や世界の国・地域を取り上げながら、地誌的なアプローチについて解説します。</p>											
学修到達目標											
<p>地理学の基礎概念を理解し説明できる。 主題図などの資料を的確に読み取ることができる。 現代社会の様々な事象に対して地理学の視点からアプローチできる。</p>											
授業の進め方											
<p>レジュメをもとに講義を進めますが、グループワーク(数回)、エクスカージョン(松本市内)を実施する予定です。受講者には毎回コメントシートの提出を求めます。そのうち主な意見・質問に対して次回の授業の冒頭でフィードバックします。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション:地理学とはどのような学問か	地理学の概要とともに、本講義の進め方等について説明します。					「地理」をキーワードに調べる。地理学を構成する分野について整理する(4時間)				
2	地理学の系譜	地理学という学問の歩みについて説明します。					地理学という学問の歩みについて整理する(4時間)				
3	地図の活用と地理情報システム	地図の活用やその留意点、地理情報システムの概要について説明します。					普段の生活における地図との接点を考える。地図の利活用について整理する(4時間)				
4	気候の多様性	気候とその規定要因、人々の暮らしとの関係などを取り上げます。					複数の地域の気温・降水量等を調べる。気候因子、気候区分について整理する(4時間)				
5	地形と自然災害	地形の成り立ち、自然災害とその対策などを取り上げます。					身近な地域のハザードマップを調べる。地形の成り立ち、自然災害について整理する(4時間)				
6	環境問題の諸相	環境問題とその対策、アプローチ方法などを取り上げます。					環境問題について調べる。環境問題に対するアプローチ方法を考える(4時間)				
7	農業の空間構造	農業立地の基礎を解説した上で、現代の農業立地について考えます。					複数の農産物の産地について調べる。チューネンの農業立地論について整理する(4時間)				
8	工業の空間構造	工業立地の基礎を解説した上で、現代の工業立地について考えます。					複数の業種を取り上げ、工場立地を調べる。ウェーバーの工業立地論について整理する(4時間)				
9	商業立地と流通システム	商業立地の基礎を解説した上で、現代の商業立地について考えます。					複数の業態を取り上げ店舗の立地を調べる。クリスタラーの中心地理論について整理する(4時間)				
10	都市の地理	都市システム、都市の内部構造を取り上げます。					都市内部の土地利用の違いを調べる。都市システム、都市内部構造について整理する(4時間)				
11	公共サービスと立地	公共サービスの供給に地域差が生じる要因、公共施設の立地などを取り上げます。					公共施設の立地を調べる。公共サービスの供給のあり方について考える(4時間)				
12	身近な地域の地誌	松本を事例に、身近な地域の変化を読み解きます。					自身の身近な地域の変化を調べ、まとめる(4時間)				
13	日本のすがた	具体的な地域を取り上げながら、日本地誌へのアプローチ方法について説明します。					複数の都道府県を取り上げ、何らかの観点から比較し、その結果をまとめる(4時間)				
14	世界の諸地域	具体的な国・地域を取り上げながら、世界地誌へのアプローチ方法について説明します。					世界の任意の国・地域を調べる。地誌的なアプローチについて整理する(4時間)				
15	総括	これまでの内容を振り返りながら、講義全体を総括します。					配付資料および各自のノートをもとに、授業内容全体を復習すること(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
毎回レジュメを配付します。					<p>受講態度:30% 定期試験:70%</p> <p>「受講態度」では、調べ学習などの事前学習、コメントシートの提出状況およびその内容、小テストの結果を総合的に評価します。</p> <p>S:積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A:積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B:与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C:与えられた課題に取り組み、授業内容の60%程度を理解している。</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義中に適宜紹介します。					高校時に使用した地図帳を持参してください。						

科目名	社会学		学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	UL13205	研究室	W-30
担当者	今村 篤史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格	社会福祉士、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
この講義は社会学の基本的な知識を体系的に学ぶとともに、その知識と理解をもとに現実の社会を捉え、考察する力を養うことを目的とします。										
学修到達目標										
社会学における基本的な諸概念について理解できる。 をもとに社会を社会学的視点から考察することができる。										
授業の進め方										
レジュメを用いて講義形式で授業を進めます。その際、関連する新聞記事やニュースなどを取り入れ、考察していきます。また、出席レポートを通じてフィードバックも行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	イントロダクション	社会学とはどのようなものか				講義の内容をノートにまとめる。(4時間)				
2	社会を見る	社会を観察する方法				事前に前回の内容を復習し、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
3	「私」について	相互行為と自我				事前に前回の内容を復習し、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
4	家族と性について	家族とその変化、ジェンダーとセクシュアリティ				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
5	生きること	労働・産業・消費とその変化				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
6	環境と災害	人間と自然環境、災害				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
7	医療と福祉	社会学から医療・福祉を見る				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
8	教育	社会学から教育を見る				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
9	社会構造と社会問題	逸脱行動、社会病理、社会問題				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
10	格差	階層、階級、社会的不平等				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
11	地域社会について	生活の場である地域社会、コミュニティ				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
12	グローバル社会について	グローバリゼーションとエスニシティ				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
13	宗教とは	文化、表象、宗教				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
14	社会の中のメディア	メディア・コミュニケーション・情報				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
15	国家と社会運動	国家・政治・権力、社会運動・NPO・NGO				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
特にありません。レジュメ、プリントを用意します。				定期試験：70% 出席レポート：30% S：定期試験の得点、出席レポートへの取組みと内容の達成度において90%以上 A：定期試験の得点、出席レポートへの取組みと内容の達成度において80%以上 B：定期試験の得点、出席レポートへの取組みと内容の達成度において70%以上 C：定期試験の得点、出席レポートへの取組みと内容の達成度において60%以上						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「社会学入門<多元化する時代>をどう捉えるか」稲葉振一郎著(NHK出版) ISBN：978-4-14-091136-5				社会におけるさまざまな出来事に目を向けてください。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：社会福祉法人においてソーシャルワーカーとして勤務した。						

科目名	芸術文化		学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	UL13206	研究室	W-26	
担当者	山根 宏文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、金曜日1限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
日本と海外の伝統文化を育んだ地域とともに学びます。日本人の美意識、芸術文化を京都から、さらに、ヨーロッパ諸国、アメリカ合衆国の特色ある芸術文化に視点を置いて学びます。日本との文化の違いを学び、異文化に対する広い視野と深い洞察力を養い、国際的な視野も身につけてもらうのが講義の到達目標です。											
学修到達目標											
日本の伝統文化、美意識について学び、暮らしの中にある多くの文化芸術について気づき、理解できるようになること。さらに海外での文化芸術、芸術振興を学び異文化に対する広い視野を身につけることができることが目標です。											
授業の進め方											
市販のテキストは用いず、独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。教室での講義のみになります。毎回フィードバックを行い理解度を深めます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。					15回の講義テーマについて関心のあるテーマについて予復習する。(事前事後4時間)				
2	日本人の美意識	日本の芸術文化 日本人の美意識と伝統文化					暮らしに使用されているもので美しいもの、伝統文化を復習する。(事前事後4時間)				
3	日本の食文化	日本の食文化 無形文化遺産 日本食の魅力とは					日本食の魅力、食材について復習する。(事前事後4時間)				
4	地域と芸術振興	地域と芸術文化 フランスの芸術振興策 「パリがなぜ芸術の都と言われるのか」					パリの芸術振興と日本の芸術振興の比較を学修する。(事前事後4時間)				
5	地域と食文化	地域と芸術文化 イタリアの食文化 「イタリアがなぜグルメの国と言われるか」					イタリアの食文化について学修する。(事前事後4時間)				
6	現代アート都市	地域と芸術文化 「アメリカ合衆国と現代アート 現代アート都市 ラスベガス」					現代アートを活かしたラスベガスの都市政策を学修する。(事前事後4時間)				
7	地域と庭園文化	地域と芸術文化 英国の庭園文化と田園 「なぜ英国のカントリーサイドは美しく活気があるのか」					日本の田園風景について学修する。(事前事後4時間)				
8	ハワイ文化とアロハ	地域と芸術文化 ハワイの伝統文化フラ(ダンス)とアロハスピリット つくられたリゾートとハワイアン歴史					ハワイ文化の基本アロハの精神について学修する。(事前事後4時間)				
9	民藝と朝鮮時代の美	地域と芸術 民藝と手仕事・李朝(韓国)の美について					民藝について学修する。(事前事後4時間)				
10	世界のデザイン	地域と芸術 スカンジナビアデザインの特色と世界のデザイン					身の回りにあるデザインについて学修する。(事前事後4時間)				
11	大衆芸術	大衆芸術 ポップカルチャーとポップカルチャー 「世界一 日本のアニメ」の魅力とは					個々の好きな大衆芸術を選び、その要因を考える。(事前事後4時間)				
12	芸術文化振興(音楽)	「なぜウィーンは音楽の都と言われるのか。」 ウィーンの音楽振興策について					芸術文化の楽しみ方を復習する。(事前事後4時間)				
13	文化情報と発信	文化と観光 文化情報と発信 ディスカバリージャパンから「そうだ京都行こう」まで。心に残る情報発信とは					様々な文化芸術情報について学修する。(事前事後4時間)				
14	芸術文化とまちづくり	芸術文化によるまちづくりについて40の事例とともに成功要因を解説します。					芸術文化による街づくりの事例を復習する。(事前事後4時間)				
15	まとめ	まとめ 14回の講義内容を要点を解説し、芸術文化の魅力についてまとめをします。					15回の講義ノートを再度読み直してください。				
テキスト				成績評価の方法・基準							
講義ごとに概要を説明したレジメを配ります。				出席レポート:30% 定期試験:70% S:授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。 A:授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。 B:授業内容をおおよ理解し探究心、提案力がある。 C:授業内容をおおよ理解し、探究心、提案力が60%程度である。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
なし				芸術文化は講義だけでなく、日々の暮らしを豊かにするために必要です。暮らしの中にある芸術文化を探してみてください。【実務経験のある教員が担当】 内容:旅行会社に勤務、企画・経営・マーケティング・アテンドに携わった。							

科目名	新聞に見る社会の動き			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	UL23207	研究室	非常勤
担当者	江成 康明			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>新聞を使って社会の動きを考えていきます。インターネットの普及により活字離れが目立ち、読書や手書きの習慣が薄れてきました。一番身近なはずの新聞も無読層の増加によって、読まれなくなっています。新聞には政治、経済、外交や社会の動向などが凝縮されており、情報の収集だけでなく、どう読みこなすかが必要になってきます。記事の内容を読み、理解したうえで自分の考えをまとめるという習慣をつけるための授業です。乱れ始めた日本語の良さや文章の作り方も授業の中で実施していきます。</p>											
学修到達目標											
<p>4年間の大学生活中に就職活動という社会人への第一歩が始まります。社会の動きを知っていることは企業側へ有利な評価を与えるとともに、面接でも自信を持って臨むことができます。情報収集、読解力、理解力、筆記力を高め、最終的には学生自らがひとつのテーマを選んで「私の考察」をまとめられることが可能になります。</p>											
授業の進め方											
<p>主に新聞のコピーを資料とします。新聞にはニュースの情報発信のほか解説、コラムなども掲載されており、一つの出来事に対して幅広い知識が得られます。今起きているニュースの問題点や価値判断などの理解度が深まります。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	総論 新聞の価値と役割	新聞には多くの情報が詰まっています。1面から最終面までにどのようなものが載っているかなど新聞の全体像を紹介しながら、トップ記事の意味やベタ記事、焦点、解説、コラム記事とは、などを説明します					この1週間の新聞の中から興味があったニュースを取り上げ、感想を書く。(4時間)				
2	新聞を読む必要性	ネット社会の中で、新聞は不要という若者が多くいます。しかし、ネット情報だけだと偏りがちで、幅広い知識は得られません。社会を知る意味では新聞を読み、「なぜ」「どうして」を考えることが必要です。					疑問の沸いたニュースを選び、疑問を持ちながらまとめてみる。(4時間)				
3	各論 硬派記事についての考察	政治、経済、国際外交などは硬派記事と呼ばれます。授業のころに起きている問題を取り上げ、硬派面を騒がしているニュースを検証します。					この日に取り扱った記事の感想や意見を書く。(4時間)				
4	各論 軟派記事についての考察	社会の動きやスポーツ、暮らしなどを軟派記事と呼びます。社会ではいったい何が起きているのかを新聞をもとに検証します。					この日の話題に対して、どう思ったかをまとめる。(4時間)				
5	グループ討論	ひとつのテーマについての新聞記事を読み、そのあとのグループ討論でその話題について話し合ってみましょう。自分の気付かなかったことを知るはずです。					グループ討論を経験して、という内容でレポートを提出する。(4時間)				
6	グループ討論	5回目と違ったテーマで、同様に進めます。考えながらしっかり読むことは、書くことが上達に必ずつながります。					読んだ記事に対してどう感じたかをレポートに書き、提出する。(4時間)				
7	新聞社見学	地元紙で伝統のある信濃毎日新聞社(予定)を訪ね、編集局などを見学。政治(県政担当)、社会部記者などの話を聞き、新聞作りに携わる人たちの意識などを学びます。					見学の感想や意見を書く。(4時間)				
8	日本語の美しさ	最近は日本語が乱れている、と言われます。若者が普段使っている言葉が正反対の場合もあります。正しい日本語の意味を考えてみましょう。					テキストにある例と普段の自分の言葉が適切かどうか考える。(4時間)				
9	文章の書き方	新聞は中学生にも理解できるような平易な言葉で書いてあります。文章を書くときには難しい言葉はいりません。相手が読みやすいような文章を書くにはどうしたらよいかを学びます。					気に入ったコラムを探してみる。(4時間)				
10	特別講演	2012年、年間でただ一人に送られる「日本記者クラブ大賞」に輝いた毎日新聞・萩尾信也氏を招き、講演していただきます。記者として頂点に立った取材力、執筆力に興味はわくはずです。					事前配布の萩尾氏の記事を読み、質問を考えておく。(4時間)				
11	社会現象の自由研究	過去1年間の政治、経済、国際、社会問題などの動きの中で、自身が最も注目すべき課題をひとつ決めて下さい。どうしてそれを選んだのかをグループ討論で意見発表しましょう。					自分の選んだテーマの記事を集める。(4時間)				
12	社会現象の自由研究	新聞に書いてあることを鵜呑みにするのではなく、疑問や幅広い考え方を持って問題点を探して下さい。いくつもの新聞や新聞コピーを読んでまとめる力をつけましょう。					800字にまとめられるように準備と整理をする。(4時間)				
13	社会現象の自由研究	自分のテーマについて、800字にまとめてみましょう。問題を深く掘り下げて書く習慣を身につけるだけでなく、しっかりとした言葉遣いも重要なポイントです。					自分の書いた文章を思い出し、再考してみる。(4時間)				
14	自由研究の成果と課題	受講生がまとめた内容についての考察をします。同じテーマで臨んだ人々たちによるグループ討論も行い、足りなかった点などさらにテーマを深めることに努めて下さい。					この科目に対する感想を書く。(4時間)				
15	まとめ	新聞の役割や機能と必要性をもう一度再確認します。ネット社会に慣れていても、「新聞を読む習慣」を持ち続けてほしいものです。					15回目のまとめのテキストを熟読する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
毎回、テキストを配布します。				<p>受講態度：20% 定期試験：50% 課題：30%</p> <p>S:授業内容の理解度、考察力、文章の読解力、書き力が秀でている。A:積極的に授業に臨み、課題に対しても自分の意見をしっかりと書ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に対しても自らの主張ができる。C:授業内容を60%ほど理解でき、与えられた課題にも誠実に取り組んでいる。</p>							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
毎回、テキストを配布します。				<p>毎回の授業で感じるものが必ずあるはず。受講票には名前だけでなく、感想や意見を書いて下さい。書き慣れることが頭の整理につながります。図書館などで普段から新聞に接するようにしましょう。</p>							

科目名	地方自治論	学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	UL23208	研究室	非常勤	
担当者	松田 清	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格	中一(社会)、高一(公民)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C						
授業概要										
日本の地方自治制度のしくみを理解するために、国の制度、中央地方関係、地方公共団体のしくみなどについて講義します。併せて、テキストを読み込む力、理解したことを文書にする力(理解力、説得力)を高めるために、国語力=論理的思考力を高める訓練も行います。										
学修到達目標										
この講義は、日本の政府システムの中での地方自治、都道府県・市町村の仕組みと活動、国と都道府県・市町村の関係、自治体と住民の関係についての理解を得る。										
授業の進め方										
指定のテキストを使用し、適宜プリント等を配布します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	イントロダクション	ガイダンス 高校政治経済の地方自治の復習					配布プリントを読む(4時間)			
2	地方自治の本旨1	団体自治、住民自治					配布プリントを読む(4時間)			
3	地方自治の本旨2	民主主義、自由主義との関係					配布プリントを読む(4時間)			
4	国のしくみ1	三権分立、立法、行政、司法					配布プリントを読む(4時間)			
5	国のしくみ2	4回のつづき					配布プリントを読む(4時間)			
6	中央地方関係と地方自治の本旨	国と地方公共団体の関係まとめ					テキストを読む(4時間)			
7	地方公共団体の制度としくみ	地方公共団体の種類、地方公共団体の機関					テキストを読む(4時間)			
8	地方公共団体と住民	国民権と住民自治					テキストを読む(4時間)			
9	地方公共団体の事務	自治事務と法定受託事務					テキストを読む(4時間)			
10	地方公共団体の長と議会	都道府県・市町村の長と議会					テキストを読む(4時間)			
11	住民参加	住民参加の諸制度					テキストを読む(4時間)			
12	地方公共団体の合併	地方公共団体の数の推移、平成の大合併					テキストを読む(4時間)			
13	地方分権	地方分権の意義と動向					テキストを読む(4時間)			
14	道州制	道州制の意義と動向					テキストを読む(4時間)			
15	まとめ	地方自治の価値を考える					テキストを読む(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「当初は配布プリントを使います。適当な時期にテキストは指定します。」(生協で購入してください。) 説得力と理解力を高めるための国語力=論理的思考力を高める訓練を、授業の中でおこなっていきます。したがって、試験は小論文形式で行います。		定期試験：80% 出席レポート：20% S：授業内容を高度に理解するとともに、論理的思考力に基づく理解、表現ができる。 A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし		地方自治の基礎知識を学ぶ機会としてこの講義を活用してください。								

科目名	日本文化		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13401	研究室	W-26	
担当者	山根 宏文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日1限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
<p>本授業では、日本で培われてきた芸能・文化芸術・自然観・食生活・住生活・建築・武道・宗教などを全般にわたって学び、日本文化の基礎知識を総合的に養います。ジャポニズムからディスカバージャパン、クール・ジャパンなど日本文化ブームになっています。一過性ではなく、総合的に日本文化の豊かさ、真の魅力の理解を深めていきます。</p>											
学修到達目標											
<p>日本の文化、美意識を学び、暮らしの中に息づいている多くの文化に気付き、それを享受でき、説明することができる。さらに、日本人としての誇りを感じ、外国人にも伝えることができる。</p>											
授業の進め方											
<p>授業の最初に前回の講義のフィードバックをし理解を深めます。市販のテキストは用いず、独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。教室での講義になります。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価について案内します。					日本文化で魅力を感じるものとその要因について考える。(4時間)				
2	日本の美(自然・建築)	後世に残したい日本の美について扱います。(自然・建築・伝統文化・工芸など)					後世に残したい日本の美について考える。(4時間)				
3	日本の美(伝統文化)	後世に残したい日本の美について扱います。(自然・建築・伝統文化・工芸など)					後世に残したい日本の美について考える。(4時間)				
4	日本の伝統文化 華道	いけばなと日本人の自然観について述べます。					日本の伝統芸能についてどのようなものがあるか考える。(4時間)				
5	日本の伝統文化 茶道	「茶の文化 利休の心・42の教え」とホスピタリティについて述べます。					茶道から学ぶおもてなしの心について考える。(4時間)				
6	日本の伝統工芸と民藝	日本の工芸品と柳宗悦によって提唱された民藝運動について述べます。					身の周りにある生活雑器を探し、魅力を考える。(4時間)				
7	和食「和食の魅力とは」	古代から現在までの食文化と食生活を解説します。					食生活についての課題について考える。(4時間)				
8	日本の宗教 仏教と神道	仏教と神道についての考え方や日々の暮らしにある宗教行事について解説します。					各家庭の宗教と教えについて考える。(4時間)				
9	江戸文化と武士道	武士道と城下町・国宝の城について講義します。武士道では、今も息づいている日本人の精神性についてあるいは、ビジネスに活かせる宮本武蔵の思考を説明します。					武士道と言われ思いつくもの考える。(4時間)				
10	浮世絵とジャポニズム	なぜ、西洋画家が浮世絵を愛したのか 日本の美と文化にいて、モネやゴッホやエミール・ガレの作品をみながら解説します。					モネ・ゴッホについて調べる。(4時間)				
11	現代の日本文化 大衆文化	大衆文化として漫画文化について歴史から読み解きます。					漫画の魅力を考える。(4時間)				
12	現代の日本文化 農村文化	現代日本の生活文化 農村文化の魅力 について理解を深めます。					日々の生活文化について考える。農村文化の魅力について考える。(4時間)				
13	現代の日本文化 芸術振興 (文化)	文化の活かし方、楽しみ方について解説し、暮らしの中で文化芸術が活きるための施策について解説します。					自分自身の暮らしの中に活きている文化芸術についてあるもの考える。(4時間)				
14	現代の日本文化 芸術振興 (芸術)	文化の活かし方、楽しみ方について解説をし、暮らしの中で文化芸術が活きるための施策について解説します。					自分自身の暮らしの中に活きている文化芸術についてあるもの考える。(4時間)				
15	まとめ	日本文化の魅力についてのまとめをします。					全講義の復習をする。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
特になし。			<p>定期試験：70% 課題：30%</p> <p>S：授業内容を高度に理解し、提案力が特に優れている。</p> <p>A：授業内容を高度に理解し、探究心・提案力が優れている。</p> <p>B：授業内容をおおよそ理解し、探究心・提案力がある。</p> <p>C：授業内容をおおよそ理解し、探究心・提案力が60%程度である</p>								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特になし。			<p>あたりまえのような暮らしの中に、日本人の美意識が宿っています。この講義でそれらの多くからいくつかを選択して日本人としての美しい心と伝統芸能、伝統工芸について講義します。皆さんも日本の魅力を探してください。</p>								

科目名	異文化理解		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13402	研究室	A-08	
担当者	和田 順一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
本授業では、自分自身の文化と他者の文化を比べ、それらを意識することによって、どのように文化間において差が見られるか、英文等を通して理解していきます。その際に、それらの異文化間での違いについての事象を分類化して理解したり、その事象を具体化して自分自身のケースと比較することで理解していきます。これらにより、自身の文化をさらに意識していくと共に、他の文化に対し自文化の観点からのみ理解していくことを避ける考え方を身につけます。授業は全て英語で行われます。											
学修到達目標											
異なる文化においてお互いを理解しあうために、英語で様々なことが理解できる。また文化を理解するために、自分自身の文化を考えながら、それとは異なる文化を知り、その価値観等を理解できる。											
授業の進め方											
学習内容に応じ、グループワークや講義形式、英語による発表など様々な形態で行います。また授業は英語で行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス・文化とは	授業の進め方、異文化理解の考え方について。					異文化理解の概要について理解する。(4時間)				
2	文化とは 1	英文を読み、文化におけるMaterial CultureとNon-Material Cultureを理解します。					自身の文化におけるのNon-Material cultureについて具体的に理解を深める。(4時間)				
3	文化とは 2	英文を読み、文化におけるMaterial CultureとNon-Material Cultureを理解し、まとめます。					自身の文化におけるのNon-Material cultureについて具体的に理解を深める。(4時間)				
4	文化のルールと許容される行動 1	文化におけるnormsの考え方とその変化について例を取り上げ理解します。					自身の文化のNormsについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
5	文化のルールと許容される行動 2	文化におけるnormsの考え方とその変化について例を取り上げ理解し、まとめます。また調べたものについて発表します。					自身の文化のNormsについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
6	ステレオタイプ 1	ステレオタイプとはどのようなものであるかを例等から理解します。					ステレオタイプについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
7	ステレオタイプ 2	ステレオタイプとはどのようなものであるかを例等から理解し、まとめます。					ステレオタイプについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
8	メディアと文化 1	メディアによる考え方への影響について理解します。					メディアの自身の考え方、文化への影響を深く理解する。(4時間)				
9	メディアと文化 2	メディアによる考え方への影響について理解し、まとめます。					メディアの自身の考え方、文化への影響を深く理解する。(4時間)				
10	非言語コミュニケーション 1	非言語によるコミュニケーションの例を取り上げ、その影響等について理解をします。					非言語コミュニケーションの自文化と多文化の違いを深く理解する。(4時間)				
11	非言語コミュニケーション 2	非言語によるコミュニケーションの例を取り上げ、その影響等について理解をし、まとめます。					非言語コミュニケーションの自文化と多文化の違いを深く理解する。(4時間)				
12	時間の考え方 1	文化において時間に対する考え方が違うということについて例を取り上げ理解します。					文化間での時間の感覚の違いを深く理解する。(4時間)				
13	時間の考え方 2	文化において時間に対する考え方が違うということについて例を取り上げ理解し、まとめます。					文化間での時間の感覚の違いを深く理解する。(4時間)				
14	接触と空間 1	文化における空間と取り方や身体的接触について例を考え理解します。					身体的接触と空間の使用の仕方の文化差について深く理解する。(4時間)				
15	接触と空間 2	文化における空間と取り方や身体的接触について例を考え理解し、まとめます。					身体的接触と空間の使用の仕方の文化差について深く理解する。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「This Is Culture」梶浦麻子・Gregory Goodmacher著TA/YK編(南雲堂) ISBN:978-4-5231-7489-9(生協で購入してください。)					受講態度:10% 課題:20% 小テスト:20% 定期試験:50% S:授業を高度に理解し、テーマに関し探究し課題に取り組み、教科書より難しい英語とテーマが理解できる。A:授業をよく理解し、テーマに関し探究し課題に取り組み、教科書よりやや難しい英語とテーマが理解できる。B:授業を概ね理解し、課題を誠実にやり、教科書レベルの英語やテーマが理解できる。C:授業が理解でき、課題を誠実にやり、教科書の英語とテーマが理解できる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
特になし。					授業は全て英語で行われます。復習とまとめ課題をして下さい。異文化の例等に対し偏見を持たないようにして下さい。原則、欠席は2回までです。授業では自分の意見を英語で言うなど積極的に取り組んでください。						

科目名	比較文化		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL13403	研究室	E-18
担当者	松原 健二		必修選択	選択	科目種別	講義	ワイズア-			
関連資格					履修条件	履修者が100名を大きく超えた時は抽選となる場合があります				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読書科目)				
			A	B	C					
授業概要										
アメリカ文化を代表とする欧米文化と日本文化を比較することによって、欧米的な考え方や欧米文化への理解を深めると共に、我々が親しんでいる日本文化を客観的に見直していくことをめざします。題材として、贈答・挨拶・食事・住居・買物など、日常生活上の身近なものを取り上げて進めていきます。										
学修到達目標										
自分たちが慣れ親しんでいる日本文化が、唯一絶対のものではないことを理解できる。また、言葉と文化の密接なつながりや、言葉の探求によって人々の生活様式や文化を類推できる。										
授業の進め方										
まず、「日米異文化間適応訓練」のクイズに取り組みます。その後、プリント教材を用いて講義を進めていきます。学習内容の理解を助けるために、スライドやビデオなどの視聴覚教材も利用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	文化とは/贈答習慣	人々の暮らしの中で、贈答というものが人間関係の潤滑油として機能している実態を学びます。そして日本人に多く見られる旅行土産について、その歴史的な成立過程を踏まえて考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)			
2	おごりと食事習慣	「おごる」行為の背後にある人間関係について考えます。また日常生活の中で非常にありふれた食事習慣の中に、異文化が潜んでいる事実を検証します。食器とプライバシーについても、考察します。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)			
3	挨拶	挨拶というものが、文化により、性別により、また時代により違いが認められるものであることを学びます。日本語と英語の挨拶言葉の違いから、その背後にある、社会における人間関係の違いを考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)			
4	客/人格構造の比較	社会における人間関係や、家族間の人間関係を、「人間関係のベクトル」の観点から考えます。そして三重の同心円のモデルを使って、日本人とアメリカ人の人格構造の違いを比較します。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)			
5	家と住まいの文化論	アメリカ開拓史についてその概要を学び、17世紀初頭に開拓者たちがどのようにして住宅建築をしたのかを学びます。そして、伝統的な日本の住宅とどのような違いがあるのかを、検証して行きます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)			
6	家と住まいの文化論	建築工法や建築材料によって、窓の造形に違いが生まれることを学びます。石造りの建築においてアーチ様式が生まれた理由や、ドームへの発展、気候風土と建築様式の関連性についても考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)			
7	エチケット/羞恥心	羞恥心の感じ方は、文化の影響を受けていることを学びます。そしてその違いがエチケットという社会規範に影響していることを検証して行きます。中国に生まれた纏足という珍しい文化についても考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)			
8	事故と謝罪(1)	謝罪言葉と責任の所在という問題について、日米を比較しながら考えます。題材として「えひめ丸事故」を取り上げ、米側からの謝罪がなぜ長い期間行われなかったのかという問題を、文化的視点から考えます。					えひめ丸事故について調べる/授業プリントの復習(4時間)			
9	事故と謝罪(2)	謝罪行動の日米での違いを、「ファイアストンタイヤ破裂事故」を題材にして考えます。フォード社とプリヂストン社の対応の違いは、深い文化的な問題に根ざすものであることを学びます。					「ファイアストンタイヤ破裂事故」について調べる/授業プリントの復習(4時間)			
10	結婚と離婚の国際比較	初婚年齢や婚姻率の国際比較から、結婚というものを取り巻く諸文化を学びます。また日本における結婚は伝統的に「家と家」の結びつきである歴史が長かった実態も検証します。また離婚についても考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)			
11	おつりの比較文化論	日本では、おつりは引き算で渡されますが、欧米では足し算で渡されていることを学びます。そしてこの社会習慣の違いの背景には、売り手と買い手の間の信用関係が深く関係していることを検証して行きます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)			
12	決済方法の比較文化論	決済方法の選択にも、売り手と買い手の間の信用関係が深く関係していることを学びます。そして、この問題が小切手や口座振替の普及率と密接に関連していることを検証して行きます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)			
13	広告の比較文化論	同じメーカーの洗顔クリームを題材にして、日米の広告を比較します。広告の仕方やキャッチフレーズの違いの背景には、売り手側の会社と買い手側の消費者との人間関係の捉え方の違いがあることを学びます。					Culture Assimilatorの予習/同一商品の広告を、日米で比較する。(4時間)			
14	個人と集団の関係	童話「アリとキリギリス」を題材に、日本では従来、異文化的改変が施された翻訳が広く読まれていた実態を検証します。そして、社会における個人と集団の関係が、日本と欧米では大きく異なることを学びます。					家にあるインソップ童話を調べる/意図的な改変が施された翻訳事例を調べる。(4時間)			
15	まとめ	今までの14回の講義の中で最も印象に残った講義の一つを取り上げ、「講義前の考え」「講義で学んだこと」「講義の後の考え」という構成でまとめる。					授業で配布されたプリントを見直し、半期で学んだことを整理しておく。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
独自のプリント教材を作成し、毎回の授業で配布します。					受講態度:30% レポート:70% S:探求心を持って授業に参加し、各回の講義で学んだことを正しく理解し、課題に対して自分なりの解決方法を見つけ出すことができる。A:探求心を持って授業に参加し、各回の講義で学んだことを正しく理解し、課題に対して解決方法を見つけ出すことができる。B:授業に参加し、各回の講義で学んだことを理解し、課題に対して解決方法を考えることができる。C:授業に参加し、講義で学んだことを理解し、課題に対して解決方法を探ることができる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
なし					この講義では、異文化衝突の場面において、どのような問題があり、いかなる解決方法があるかを考えてもらいます。「課題解決能力」					

科目名	文化人類学		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL33404	研究室	C-7
担当者	福島 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
異文化を知ることで自らを確認し、その上で両者を相対化しうる感受性を多少でも身につけること。これが本講義のめざすところです。あたりまえの世界を疑い、文化とは何かを考えます。文化人類学は難しい学問ではありません。抽象度の高い理論についても触れますが、基本的には身近にある(「理由はわからないけど、そうなっている」)事例を捉えなおして試みるのが重要です。内容については講義計画を参考にしてください。										
学修到達目標										
自身が属する集団(地域社会、日本)の文化を理解し、異文化を学ぶことで自文化を相対化できる。										
授業の進め方										
講義形式で行います。講義で学んだ視点から各自の生活を振り返ってもらうため、講義後に小レポートを課す場合があります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	文化人類学とは	文化人類学とは何か概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
2	文化相対主義と自文化中心主義	文化の捉え方である文化相対主義と自文化中心主義について概説します。					事例研究として各自リサーチする。(4時間)			
3	文化相対主義とFGM	事例研究としてFGM(Female Genital Mutilation)を取り上げます。					ドキュメンタリー映像に対する意見をまとめる。(4時間)			
4	神話(1)	神がこの世を作る話である神話(物語)の構造について学びます。					具体的な神話を取り上げ、調べる。(4時間)			
5	神話(2)	神話の具体的事例を紹介します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
6	信仰と世界観(1)	世界宗教と民族宗教、一神教と多神教など、宗教の分類について学びます。					配布資料を読み、下調べをする。(4時間)			
7	信仰と世界観(2)	呪術とは何か、その定義、分類、目的を学びます。					配布資料を読み、下調べをする。(4時間)			
8	信仰と世界観(3)	妖術とは何か、その定義、分類、目的を学びます。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)			
9	信仰と世界観(4)	日本人の宗教観の特徴について概説します。					配布資料の要点をまとめる。(4時間)			
10	通過儀礼	人が一生のうちに経験する通過儀礼とは何かを学びます。					授業中に配布する課題プリントを取り組む。(4時間)			
11	文化と身体(1)	葬送儀礼について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
12	文化と身体(2)	事例研究として特定の地域の葬送儀礼を取り上げます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
13	病気と治療の文化人類学：総論	病気と治療をテーマとした文化人類学について概説します。					授業中に配布する課題プリントを取り組む。(4時間)			
14	病気と治療の文化人類学：各論	特定の地域の治療実践を、文化人類学の観点から紹介します。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
15	まとめ	講義全体のまとめ					総復習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
さまざまな具体的事例を通して考えるという科目の特性からテキストは指定せず、プリントと資料を配布します。					定期試験：60% 課題：40% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「文化人類学」波平恵美子編(医学書院)					同一テーマで講義が続いている場合は欠席しないように心がけてください。毎回の講義終了前に、次回講義の概要について説明します。予習の指示がある場合は、必ず予習をしてから講義に臨んでください。					

科目名	音楽の歴史と鑑賞		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	UL33405	研究室	A-19
担当者	安藤 江里		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日5限、木曜日2限、木曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
西洋音楽史を中心にどのように音楽文化が発展してきたのか、また日本の伝統文化や西洋から影響を受けた現代日本の音楽界の現状について各回のテーマを取り上げます。邦楽と洋楽の音律や様式、楽器の違いなど、講義と鑑賞及び実演体験を通して音楽の多様性について理解し感じ取り学んでいく授業です。さらにグループで興味ある作曲家や楽曲を紹介し合い共有します。										
学修到達目標										
各回のテーマに沿ってそれぞれの時代や地域を代表する楽曲を鑑賞したり演習したりしながら、時代の流れと共に音楽がどのように発展し人間の生活と関わっているのかについてまとめレポートすることができることです。また自分の興味のある作曲家や楽曲について紹介することができることです。										
授業の進め方										
毎回テーマに沿ってパワーポイントで時代背景や楽曲様式の特徴、聴く観点等を説明し、課題ワークシートにキーワードを記入しながら鑑賞します。歌ったり楽器に触れたり能動的な活動も取り入れます。作曲家新聞の作成とプレゼンテーションを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス 音楽の始まり	授業の進め方についての説明と自己紹介を含めたアンケートを記入します。音楽の始まりとして古代ギリシャから中世、ルネッサンスの音楽を紹介し、グレゴリア聖歌を歌います。				自分の生活における音楽の意味について考えてくる。(4時間)				
2	バロックの音楽	楽器の発達やバロック期の作曲技法について学び、ビバルディ、バッハ、ヘンデルの楽曲を取り上げ鑑賞します。				バロック音楽を聴き感想をまとめる。(4時間)				
3	ウィーン古典派の音楽	ハイドン、モーツァルトの器楽曲からソナタ形式について学びます。またオペラについても触れます。				ウィーン古典派の音楽を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
4	古典派の音楽～交響曲	ベートーベンの交響曲を鑑賞し、第九の合唱部分をドイツ語で歌います。				第九の練習と古典派の音楽を聴き感想をまとめる。(4時間)				
5	ロマン派の音楽～歌曲	ロマン主義について取り上げシューベルト、シューマン等の歌曲を中心に鑑賞します。				ロマン派の歌曲を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
6	ロマン派の音楽～器楽曲	標題音楽と交響詩や、サロン文化などに触れ、ブラームス、リスト、ショパン等の器楽曲を中心に鑑賞します。				ロマン派の音楽を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
7	オペラ	イタリアオペラからワーグナーの楽劇までを概観します。				作曲家新聞の構想を練り資料を集める。(4時間)				
8	バレエ音楽	チャイコフスキーの3大バレエ曲を中心に鑑賞します。				作曲家新聞を作成する。(4時間)				
9	国民楽派その他	様々な国を代表する国民楽派や民族主義の作曲家と代表曲を紹介します。作曲家新聞をグループで発表します。				国民楽派の音楽を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
10	印象派 フランス音楽	ドビュッシーを中心に、フォーレ、ラベルの楽曲を絵画や文学と関連させて鑑賞します。作曲家新聞をグループで発表します。				印象派の音楽を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
11	20世紀の音楽 無調音楽	新ウィーン楽派やストラヴィンスキーなどから調性の崩壊と12音技法の音楽を紹介し、				現代音楽を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
12	アメリカ音楽	ジャズ、ポップ、ロック、ラテン音楽を鑑賞し体験します。				ジャズやロックを聴き、感想をまとめる。(4時間)				
13	日本の伝統文化について (1)古代から安土桃山	雅楽、能、狂言と宗教や政治との関わりについて概観し鑑賞します。笙、箏などの和楽器体験や謡いにも挑戦します。				最終レポートの準備、資料を集める。(4時間)				
14	日本の伝統文化について (2)江戸時代	琴、尺八、三味線などの和楽器の体験と共に文楽や歌舞伎を鑑賞し簡単な場面の演習を行います。				最終レポートを作成する。(4時間)				
15	現代の日本音楽とまとめ	明治以降の西洋音楽の影響を受けた日本の音楽教育や現代曲を鑑賞し、総括します。				総復習と最終レポートを完成させる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
適宜プリントを配布します。				受講態度：50% レポート：50% S:意欲的に課題に取り組み、学習内容をすべて理解し文章表現できる。A:意欲的に課題に取り組み、学習内容を概ね理解し文章表現できる。B:意欲的に課題に取り組み、学習内容をまとめることができる。C:課題に取り組み学習内容をまとめることができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「音楽史を学ぶ 古代ギリシャから現代まで」久保田慶一 他著久保田慶一編(教育芸術社) ISBN: 948-4-87788-788-9 「もう一度学びたいクラシック」西村理 監修著(西東社)				CDやDVDを鑑賞しながら、実際歌ったり演奏もします。私語を慎み、意欲的に読んでください。毎回プリントを配布しますので自己管理してください。						

科目名	海外研修		学年学期	1・2・3・4年通年	単位数	2	ナパリング	UL13406	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	前期：火曜日3限 後期：火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業は、事前学修、現地研修、事後学修から構成されています。事前学修では、「研修目的」、「研修先調査」、「わが町紹介」の3つのテーマでのプレゼンや英語集中学修（Survival English）を行います。なお、プレゼンは日本語と英語で行います。現地研修先は、神奈川県湘北短期大学との共催によるニューカッスル大学（オーストラリア）での語学・文化体験研修です。また、授業外学修では「English Cafe」や「E-Learning」での学修、現地研修終了後の事後学修では報告書とレポートを作成します。</p>										
学修到達目標										
<p>学修到達目標は、異文化について学び、異文化の相手を尊重しつつ自分の考えを明確に相手に伝えることができる。また、プレゼンテーションや英語学修を通して、コミュニケーション能力を育成する、です。</p>										
授業の進め方										
<p>事前学修と事後学修は、座学による授業と双方向型授業を組み合わせで行います。また、授業日時は不規則で、外部講師による土曜・日曜授業もあります。下記の授業計画は参考です。現地研修の内容や費用は開講時に提示しますが、人数制限をする場合があります。</p>										
<p>授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要と現地研修先の紹介	本授業の特徴と、現地研修先であるオーストラリアのニューカッスル大学のプログラムに関して説明します。				各自の留学目標や抱負についてまとめ、プレゼンテーションの準備をします。（1時間）				
2	プレゼンテーション（留学の目標）	履修者各自の留学の目標を設定し、整理する。また、各自の留学目標をレポートにまとめるとともに、パワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。（1時間）				
3	プレゼンテーション（留学の抱負と期待）	履修者各自の留学への抱負を整理する。また、各自の留学の抱負と期待をレポートにまとめるとともに、パワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。（1時間）				
4	プレゼンテーション（研修先の政治・経済）	各自で研修先の政治、経済などについて調べ、10分程度の報告に整理してパワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。（1時間）				
5	プレゼンテーション（研修先の社会・文化）	各自で研修先の社会や文化などについて調べ、10分程度の報告に整理してパワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。（1時間）				
6	渡航準備と危機管理	渡航の準備状況を確認し、渡航時と留学先での様々なリスクについて説明します。				外務省のホームページで海外のリスク状況を確認し、「たびレジ」等に登録します。（1時間）				
7	プレゼンテーション（日本社会の紹介）	10分程度で日本社会についてを英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。				各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。（1時間）				
8	プレゼンテーション（長野県の紹介）	10分程度で長野県の産業や文化について英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。				各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。（1時間）				
9	プレゼンテーション（わが町紹介）	10分程度、自分が住んでいる町を英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。				各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。（1時間）				
10	サバイバル・イングリッシュ（挨拶）	挨拶などの会話能力をアクティブラーニングにより育成します。また、英語によるコミュニケーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。（1時間）				
11	サバイバル・イングリッシュ（買い物）	アクティブラーニングを通して、買い物の際に必要な会話を学修します。また、英語によるコミュニケーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。（1時間）				
12	サバイバル・イングリッシュ（交通）	アクティブラーニングを通して、目的地に行くための会話について学修します。また、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。（1時間）				
13	サバイバル・イングリッシュ（病気）	アクティブラーニングを通して、病気になった場合の会話について学修します。また、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。（1時間）				
14	サバイバル・イングリッシュ（各種テーマ）	アクティブラーニングを通して様々なテーマで会話し、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。（1時間）				
15	体験報告	日誌、報告書の提出と、それに基づく各自の課題・研修目的、成果についてのパワーポイントでの発表。相互に評価をおこない、発表力の向上を図ります。				日誌、報告書の提出準備と発表準備。体験報告を英語で準備する。（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
開講時に指示します。また、適宜、プリント等の資料を配布します。				<p>受講態度：50％ レポート：30％ 実技：20％ 「受講態度」にはプレゼンテーション等、「レポート」には課題レポートや報告書、「実技」には現地研修の修了書が含まれます。また、評価「S」は、外国語と日本語で円滑なコミュニケーションや発表ができる。評価「A」は、外国語と日本語で伝えたいことを明確に伝えることができる。評価「B」は、外国語と日本語で伝えたいことを伝えることができる。評価「C」は、外国語と日本語で簡単な内容を伝えることができる。以上が目安です。</p>						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
現地の教室で配付されるプリント、各種案内パンフレットなどを使用します。				<p>本授業では、海外での研修も行われることから多くのリスク（危険）が想定されます。そこで、現地研修の参加の可否については、受講状況に加えて、必要に応じてゼミ担当教員や語学教員等の意見を参考に決定します。</p>						

科目名	海外研修		学年学期	1・2・3・4年通年	単位数	2	ナパリング	UL13407	研究室	
担当者	各教員		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要 本授業は、興味のある学外の留学プログラムなどに参加し、その内容が単位認定として妥当なプログラムの場合に教務委員会において単位認定を行う科目です。したがって、受講者は、事前に参加する留学プログラムを教務委員会に報告し、その留学プログラムに参加後、教務委員会に「成績証明書」や「修了書」等を添えて単位認定の申請をします。教務委員会がプログラムの内容と成果によって審議し、単位認定が可能な場合に単位が認定されますので、単位認定の可否は事後的に判断されます。										
学修到達目標 異文化について学修し、異文化の相手を尊重しながら自分の考えを明確に伝えることができる。また、外国人との交流を通してプレゼンテーション力やコミュニケーション力の向上も教育目標とし、企業が求めるグローバル・コンピテンスの育成をする。										
授業の進め方 留学プログラムを主催する業者の事前説明会や事前学習会に参加し、帰国後は「修了書」や「成績証明書」などを提出します。また、留学プログラムの内容は参加するプログラムにより異なります。以下の「授業計画」では一般的な計画を提示します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	プレースメント・テスト	開講式とクラス分けのプレースメント・テストが実施されます。また、必要に応じて面接試験を行います。その後、各クラスに分かれて、授業内容の説明を行います。					プレースメント・テストの見直しとプログラム参加目的を整理します。(1時間)			
2	語学学習(自己紹介)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。					テキストの予習と復習をします。(1時間)			
3	語学学習(文法)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。					テキストの予習と復習をします。(1時間)			
4	語学学習(文法)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。					テキストの予習と復習をします。(1時間)			
5	語学学習(エピソード)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。					テキストの予習と復習をします。(1時間)			
6	語学学習(エピソード)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。					テキストの予習と復習をします。(1時間)			
7	語学学習(エピソード)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。					テキストの予習と復習をします。(1時間)			
8	社会活動(アウトキャンパス・スタディ)	キャンパスを離れての活動です。地域の博物館や美術館を訪問します。					事前に訪問する博物館や美術館について調べます。(1時間)			
9	語学学習(文法)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。					テキストの予習と復習をします。(1時間)			
10	語学学習(エピソード)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。					テキストの予習と復習をします。(1時間)			
11	語学学習(エピソード)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。					テキストの予習と復習をします。(1時間)			
12	語学学習(文法)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。					テキストの予習と復習をします。(1時間)			
13	社会活動(アウトキャンパス・スタディ)	キャンパスを離れての活動です。留学先で盛んな現地のスポーツを体験します。					事前に留学先で盛んなスポーツについて調べます。(1時間)			
14	現地の学生との交流	留学先の大学生との交流を通して、現地の文化や習慣、伝統などについて学びます。					事前に留学先の歴史などを調べ、現地の文化や習慣について整理します。(1時間)			
15	総復習・修了式	2~5週間の留学の成果について振り返ります。また、クラスメイトとの会話で語学力を高めます。					自分の文化について報告する準備をします。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
開講時に指示します。また、適宜、プリント等の資料を配布します。					実技：100% 「実技」は研修先での評価です。この「海外事情」は研修先で取得した修了証と成績証明書、プログラムの時間数と内容などで成績評価をします。評価「S」は、外国語で円滑なコミュニケーションや発表ができる。評価「A」は、外国語で伝えたいことを明確に伝えることができる。評価「B」は、外国語で伝えたいことを伝えることができる。評価「C」は、外国語で簡単な内容を伝えることができる。以上が目安です。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
現地の教室で配付されるプリント、各種案内パンフレット					本授業では、海外での研修も行われることから多くのリスク(危険)が想定されます。そこで、現地研修の参加の可否については、受講状況に加えて、必要に応じてゼミ担当教員や語学教員等の意見を参考に決定します。					

科目名	海外事情	学年学期	1・2・3・4年前期	単位数	2	ナバリング	UL13408	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
<p>本授業は、海外の協定校等の教員が、自国の政治・経済・社会・文化などについて講義する授業です。今年度は、中山大學(中華人民共和國)の先生、義守大学(台湾)の先生が講義する予定です。現代社会は、他国との相互依存関係が政治的にも経済的にも、また文化的にも深化してきていますので、隣国の社会や日本とのかかわりを理解することはとても重要です。開講時期は8月5日(月)~10日(土)を予定しています。また、授業内容の詳細は開講時に提示します。</p>									
学修到達目標									
<p>本授業の到達目標は、「国際社会に目を向け、国際社会の一員としての日本の立場について学ぶとともに、特に中国や韓国などのアジア地域における日本の立場について自分の意見を説明できる」ことです。授業では、毎回簡単なレポートを提出しますので、文章力や表現力、「論理的思考」や「コミュニケーション力」の育成も図ります。</p>									
授業の進め方									
<p>授業は日本語による集中講義形式で行われます。また、時期は夏休みの1週間程度を予定しています。授業は、授業計画に従って進められますが、担当者や内容、順番等については変更になる可能性があります。変更等については随時連絡します。</p>									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	授業の概要	授業の概要説明と講師紹介、並びに協定校の嶺南師範学院と台湾の協定校の義守大学、韓国の東新大学等の紹介を行います。				ICTを活用し、指示されたプリントで講義内容を予習すること。(4時間)			
2	中国社会(歴史)	前半の7回は「中国の事情」を講義します。ここでは、中国社会の現状を歴史的な視点を含めて解説します。				配布プリント等を参考に中国近代史について把握する。(4時間)			
3	中国社会(現状)	ここでは、中国社会の現状を説明します。特に、生活、流行、等、文化的な面を取りあげます。				配布プリントやインターネット等により授業内容の理解を深め、発表の準備する。(4時間)			
4	中国経済(現状)	中国の経済状況について説明します。中国の経済は成長著しい状況にありますが、格差の問題等、様々な経済的な問題を抱えています。これらについて説明します。				配布プリントやインターネット等により授業内容を確認し、日本の状況も整理する。(4時間)			
5	中国経済(将来)	中国の人口は今後減少に転じ、日本以上の少子高齢化社会になることが懸念されています。ここでは、中国経済の将来について考えていきます。				現存する日中間の課題について調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
6	中国の教育(制度)	中国の教育制度について解説します。また、中国の高等教育改革の現状について説明します。				わが国の高等教育についてその課題を調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
7	日中の教育比較	中国と日本の教育制度や教育内容の比較を通して、高等教育の在り方を考えます。また、受講者にも学生時代に何をしておくべきかを考えてもらいます。				受講者各自が、学生生活に関するレポートを作成する。(4時間)			
8	まとめ	これまでの講義のまとめを行います。また、質疑応答を通して中国の実情の理解を深めます。				中国について理解したこと、考えたことについてレポートにまとめる。(4時間)			
9	台湾の歴史	台湾と日本との関係史について講義します。また、台湾と中国との関係についても言及します。				配布プリント等で授業内容を確認し、理解を深める。(4時間)			
10	日本統治以後の台湾	日清戦争以後の台湾の歴史について概観し、日本との結びつきについて考えます。				台湾社会の歴史について調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
11	台湾社会の現状と将来	戦後の対中関係を踏まえた歴史について概観し、今後を展望します。				台湾と中国との関係について調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
12	台湾の社会と教育	現代の台湾社会や若者の動向について概観するとともに、台湾の教育について整理する。				台湾は親日派が多い国として有名だが、その理由について考える(4時間)			
13	多様性の台湾	台湾は10を超える部族が共存する社会であるが、このような他部族国家台湾の部族政策等について考える。				台湾部族の独自性の維持、保護・支援政策について調べ、整理する(4時間)			
14	台湾の文化と宗教	台湾は原住民の文化、日本の文化、中国の文化が混在する国であるが、台湾文化の独自性や生活に溶け込んでいる宗教観について調べ、整理する。				日本のアイヌ民族や沖縄の問題について調べ、レポートに整理する。(4時間)			
15	日台中の諸問題	これまでの授業内容を参考にして、中国、台湾、日本の教員と学生諸君がいくつかのテーマを出し合い、議論をします。				議論内容をレポートとして提出する。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
プリント等を配布します。		<p>出席レポート：50% レポート：20% 受講態度：30%</p> <p>本授業での受講態度は、留学生等との積極的な意見交換や、自分の意見の発表を含みます。評価の目安は次のようになっています。「S」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて論理的に整理した内容で意見交換ができる。「A」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて意見交換ができる。「B」は、授業内容を理解し、自分の意見を述べるができる。「C」は、授業内容をある程度理解して、自分の意見を述べるができる。</p>							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
プリント等を配布します。		<p>本授業は海外の大学の教員との連携授業です。従って、本務校の事情や本学の学生の事情により、お願する講師の変更や開校日の日程が変更になることもあります。日程変更等は掲示等で随時連絡します。</p>							

科目名	海外事情	学年学期	1・2・3・4年後期	単位数	2	ナパリング	UL13409	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C					
授業概要									
<p>本授業は、本学の教員と海外の協定校等の教員が、自国の政治・経済・社会・文化などについて講義する授業です。今年度は、協定校である台湾の義守大学の教員2名が担当する予定です。授業は、1名が観光関連の内容の授業を英語で、1名が台湾の歴史や文化、社会についての授業を日本語で行います。英語での授業は、ゆっくりとした分かりやすい授業で、必要に応じて英語の言い回しや文法等も学修します。</p>									
学修到達目標									
<p>本授業の到達目標は、「国際社会に目を向け、国際社会の一員としての日本の立場について理解することと、日本と国際社会の関係について自分の意見を持ち、これを表現できること」です。また、アジアの諸国の歴史を通して米国や欧州の知識を深め、興味を持つことも目標としています。授業では、毎回簡単なレポートを提出しますので、「論理的思考」の育成も図ります。</p>									
授業の進め方									
<p>授業は集中講義形式で行われます。また、時期は2月上旬の1週間を予定しています。授業は、授業計画に従って進められますが、担当者や内容、順番等については変更になる可能性があります。変更等については随時連絡します。</p>									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	台湾の歴史(概論)	原住民時代、オランダ占領時代、明鄭統治時代、滿清支配時代、日本統治時代、中華民国統治時代、南京国民政府、台湾国民政府、民主化後について説明します。				講師が所属する国や大学、台湾の歴史等について調べ、整理します。(4時間)			
2	日本統治後の台湾	台湾が本格的に開発された日本統治時代以降について説明します。特に、「農業は台湾、工業は日本」と分担することを目的にした台湾農業振興策について説明します。				授業内容を整理し、レポートにまとめるとともに、日本と魚地時代を調べます。(4時間)			
3	台湾社会の現在と将来	台湾は日本以上の少子高齢化が進んでおり、その対策として多くの外国人労働者を受け入れてきた。現在は中国の影響が増してきており、国際的な独立国としての存続が難しくなっている。				台湾社会を調べ、他国との国際関係について整理します。(4時間)			
4	台湾の教育	台湾の教育制度について説明します。台湾では172大学院校が高等教育を提供しており、毎年14万人が1~2月の全国統一試験を経て高等教育を受けます。このような台湾の現状を説明します。				台湾の教育制度と状況を調べ整理します。(4時間)			
5	多様性の台湾	台湾は移民国家です。多くの台湾人は、400~500年もの間助け合い、互いに学びあう精神移民の精神を大切に、原住民と共に「フォルモア(癒しの島)」を築いてきました。これを説明します。				台湾の原住民について調べ、整理します。(4時間)			
6	台湾の文化と宗教	台湾では、様々な民族が共存していることから多くの宗教があり、また多くの文化が根づいています。授業では、台湾の様々な宗教と文化について説明します。				台湾の宗教について調べ、整理します。(4時間)			
7	総まとめ	これまでの授業内容である、台湾の歴史と文化、民族多様性について再整理し、台湾についての印象等、受講者相互で発表し、意見交換します。				これまでの授業を振り返り、自分の意見をまとめます。(4時間)			
8	観光とホスピタリティ	観光とホスピタリティについて概念的な説明をします。				観光業とホスピタリティについて調べ、整理します。(4時間)			
9	台湾の観光地と世界遺産	世界遺産について考えます。問題点、課題について整理するとともに台湾の観光地を紹介します。				世界遺産の制度について調べ、整理します。(4時間)			
10	台湾の観光地の魅力	台湾の観光地の魅力を写真、スライドなどを使用して説明します。				台湾の観光地について調べ、整理します。(4時間)			
11	台湾の原住民と博物館	台湾には10を超える原住民が暮らしています。原住民の文化を知らせる博物館などの施設は台湾の文化を理解するうえで大変重要です。授業では、台湾の博物館や美術館について説明します。				台湾の原住民について調べ、整理します。(4時間)			
12	台湾の博物館と美術館	台湾には中国大陸の文化を継承した文化が台湾の北部を中心に残っています。授業では、台湾における中国大陸の文化を継承している博物館や美術館について説明します。				大陸文化の継承について、台湾北部の博物館や美術館について調べ、整理します。(4時間)			
13	台湾の寺院と宗教	台湾は多宗教社会であり、様々な寺院が混在しています。この寺院も重要な観光資源です。授業では、このような台湾を代表する寺院について説明します。				台湾の宗教と寺院の特徴について調べ、整理します。(4時間)			
14	台湾の映画産業と観光	台湾には映画撮影で使用されたり題材になる場所が数多くあります。授業では、そのような場所と観光について整理します。				どのような映画で台湾が使用されたのかを調べ、整理します。(4時間)			
15	総まとめ	これまでの授業を振り返り、再度ポイントを整理します。				議論内容についてレポートに整理する。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
プリント等を配布します。		<p>出席レポート：50% レポート：20% 受講態度：30%</p> <p>本授業では、提出された出席レポートを中心に総合的に評価します。評価の目安は次のようになっています。「S」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて論理的に整理した内容で意見交換ができる。「A」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて意見交換ができる。「B」は、授業内容を理解し、自分の意見を述べるができる。「C」は、授業内容をある程度理解して、自分の意見を述べるができる。</p>							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
プリント等を配布します。		<p>本授業は、台湾の義守大学の教員2名が担当する授業です。授業は英語と日本語で実施されますので、台湾や海外に興味があり、留学前や留学後で英語のスキルアップを図りたい学生は是非参加してください。</p>							

科目名	自然と産業		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13501	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日2限、水曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>私たちの暮らしは豊かな自然の上に成り立っています。祖先が自然とともにどのように暮らし、そしてどのように自然を開発してきたか。この先に高齢化や人口減少を迎える中、地域の産業発展には自然環境といった地域資源を活かした地域づくり人づくりが求められています。本講義では、自然の各循環と基本的なしくみ、そして産業との関わりを理解し、国内外の事例をみながら自然環境を取り巻く現代的課題について考えます。</p>										
学修到達目標										
<p>「自然と産業」とは何かを理解するとともに、自然資源の循環と廃棄や資源活用のしくみについて考え、それらの意義について論じることが出来るようになることを目指します。</p>										
授業の進め方										
<p>各回の講義は新聞記事などの事例を用い、課題を図式化したり、映像を投影したりして、想像を膨らませながら進めます。各回、課題をワークシートに記入しディスカッションします。ワークシートの内容は授業時にフィードバックを行います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。					シラバスの理解と授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)			
2	自然のしくみ1 水と大気	水と大気の循環(水資源、浄化作用)と、それに関する身近な地域課題を学びます。					水と大気の循環について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)			
3	自然のしくみ2 岩石	岩石の循環と地質(道路、開発)と、それに関する身近な地域課題を学びます。					岩石の循環と地質について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)			
4	自然のしくみ3 生態系	生物の循環と生態系(生態系サービス)、それに関する身近な地域課題を学びます。					生物の循環と生態系について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)			
5	自然と産業の基礎1 里地里山の定義	里地里山は、農林水産業などの人間の営みにより長い年月にわたって維持されてきた二次的自然地域です。里地里山に関する基礎的なことを学びます。					里地里山の定義について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)			
6	自然と産業の基礎2 里地里山と新炭エネルギー	地域の自然資源の利用の歴史的変遷について学びます。					松本の自然エネルギーについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)			
7	自然と産業の基礎3 アウトキャンパス	田植えなどの自然に関する産業を体験し、人間の暮らしのまわりの身近なところにある水辺・湿地環境について学びます。					身近な松本の農業について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)			
8	自然と産業の展開1 自然と観光	地域の自然資源を活用した持続可能な観光などの新しい観光のあり方を探ります。					自然資源を活用した観光について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)			
9	自然と産業の展開2 人と自然の共生	「共生」の概念についての理解を深めるとともに、自然環境保全の視点から学びます。					松本の身近な野生生物について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)			
10	自然と産業の展開3 グローバリゼーション	グローバリゼーションが生む産業が資源や環境、私たちの生活に与える影響について、環境問題の視点から学びます。					グローバリゼーションとは何か事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)			
11	自然を活用する具体的な提案1 地方創生と持続可能性	地域づくりを進めるための自然資源の活力向上について考えるとともに、現状と課題を見つめます。					地域づくりについて指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる(4時間)			
12	自然を活用する具体的な提案2 生物多様性保全と農業	具体的な事例(野生生物の野生復帰と環境創造型農業等)をもとに、自然環境を考える農業の取組について学ぶとともに、現状と課題を見つめます。					生物多様性について指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる(4時間)			
13	自然を活用する具体的な提案3 野生動物管理と産業	里地里山の衰退と急増する野生動物を踏まえて地域づくりにおける野生動物(管理)を考えるとともに、現状と課題を見つめます。					有害鳥獣駆除について指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる(4時間)			
14	自然を活用する具体的な提案4 自然災害と復興	自然災害からの復興の事例をもとに、自然環境保全と市民参加を通じた地域産業の新たな構築を考えるとともに、現状と課題を見つめます。					自然災害について指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる(4時間)			
15	総括と補論	自然の開発と保護の観点から持続可能な成長を志向した新たな産業のあり方を探ります。					自分の意見を小レポートとしてまとめる(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
教科書は指定しません。					<p>受講態度：40% 定期試験：60%</p> <p>受講態度は、授業中にワークシートを配り提出回数とその内容を評価に加味します。S:授業内容を自主学習から深く探求した上で、実際の社会現象に対して課題と解決の視点を明確かつ現実的に述べることができる。A:授業内容を理解し、社会現象に対する課題抽出および解決の意見を明確に述べることができる。B:授業のおおよそを理解し、その課題と解決策を述べることができる。C:授業内容の6割を理解し、課題が何か述べるができる。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。					1年生の皆さんにとって大学の講義は時間が長いうえ、内容も正解がひとつでなく複雑で深い学びとなります。身近な事例や時事問題を扱いますので、日頃より地理的理解を深め、普段からニュースを見ましょ。					

科目名	環境問題A（総経）			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL13502	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限、火曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
地球環境問題は全ての人々が被害者であり加害者である、とても複雑に絡み合った問題です。特に近年の地球温暖化、人口爆発、生物種の減少は、地球の歴史上類を見ないスピードで進んでおり、環境の急激な変化が人の生活へ与える影響がとても大きいとされます。本講義では、はじめに本来の自然の生態系のしくみを理解し、次にグローバルな視点からデータを基に環境の現状を捉えつつ、最後に組織や個人が何をすべきかという課題を取り上げます。											
学修到達目標											
さまざまな環境問題に対して私たちは今一体何をしたらよいかについて、自身の生活や経験と関連付けながら考えることが出来るようになることを目指します。											
授業の進め方											
テキストを横断的に使用し、補足としてレジュメ程度の配布資料（参考資料）、プレゼンテーションや映像動画などの各種教材を使いながら講義を進めます。試験学習はテキストを利用してください。レポートの内容は授業時にフィードバックを行います。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	今なぜ環境の時代か	環境問題が世界的なテーマとして議論され久しいですが、全ての人に関わる問題としてどのような視点から学ぶか説明します。					テキスト第1章を読む。配布資料を復習する（4時間）				
2	データから見る地球環境問題	21世紀になり地球環境問題に関するデータを多くの人が見ることが出来る時代となりました。その傾向と課題について学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
3	地球温暖化	急激な気候変動という不安定さをもたらす地球温暖化問題について、原因や対策を考えます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
4	地域環境問題	地域環境問題とは何か、1970年代に日本が公害先進国として名をはせた事例に基づき、地球環境問題との違いと関連性について学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
5	森林破壊、水資源や海洋環境	世界規模の森林破壊、水資源や海洋環境に関する問題等を学び、国際社会が協働して解決すべき環境問題について学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
6	生物多様性の減少	生物の循環システムを学ぶとともに、著しく生物多様性が減少している現代の問題についてデータをもとに考えます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
7	廃棄物問題	日本の廃棄物処理の現状について、データをもとにその問題と解決方法について学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
8	エネルギー問題	日本のエネルギー自給率は世界的にみると低く、エネルギーがもつ性質や問題点、対策について学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
9	震災関連・放射性物質	東日本大震災以降、災害廃棄物の処理、原発事故で放出された放射性物質による環境汚染の現状と課題、その対処を学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
10	農と食料、地球資源の枯渇	グローバルな時代において、安心安全の食への課題や、魚や植物などの資源の枯渇が課題となっていることを学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
11	解決に向けて1 国際的な環境への取組み	1970年以降、世界会議が10年に1度行われるなど、国を超えた環境への取り組みがあることを学び、我が国の姿勢を考えます。					第3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
12	解決に向けて2 企業・社会の環境への取組み	産官学民が進める環境への対応について例を挙げ、知識を得るとともに、今後の課題について考えます。					第3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
13	解決に向けて3 ライフスタイルと環境	個人でできる、家族で取り組む身近な環境対策のあり方について紹介し、取り組み方法を考えます。					第4章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
14	解決に向けて4 環境教育と持続可能な開発のための教育	環境問題を解決するための方法の一つとして教育がありますが、持続可能な開発のための教育とは何かを、環境教育と合わせて学びます。					第4章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
15	まとめ	日本および長野県における環境問題を再度整理し、地球環境問題との関連や今後の課題について学びます。					小レポートを作成する（4時間）				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「ECO検定公式テキスト改訂新版」東京商工会議所編著（日本能率協会マネジメントセンター）各自で購入してください。テキストを用いて授業を進めますので必ず購入ください。						定期試験：70% レポート：30% S：内容を高度に理解し、実社会での出来事と地球規模の課題を関連付け、批判的な視点を持ちながら、正確に文章で表現することができる。A：探求姿勢を持って課題に取り組み、内容を正確に理解し、各要素を関連付けた視点で、正確に文章で表現することができる。B：内容をおおむね理解し、要素を関連付けた視点で、文章化できる。C：授業の内容を6割以上理解し、自分の意見を文章化できる。					
参考書						履修上の注意（学生へのメッセージ）					
必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。						受講する人は普段から新聞を読んだり、ニュースを見たりするよう心がけてください。					

科目名	基礎統計学（総合経営学部）		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL23503	研究室	W-18	
担当者	林 昌孝		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
本講義は、データの客観的な分析手法について学ぶことを目的とします。はじめに、量的なデータおよび質的なデータを整理して検討する方法について講義します。次に、データを集約して全体像を把握する方法について学びます。また、集約された数値の見方と意味について考えます。さらに、サンプルデータを調べる事により全体像となる母集団を把握する手法について基本的な考え方と手法を学びます。											
学修到達目標											
対象となるデータの統計的な特性値を算出することができる。また、特性値をもとにデータの母集団の変化を検証する方法を修得する。											
授業の進め方											
データの整理検討をする分野では、データの分析手法の講義と演習を中心とした内容になります。データから全体像を把握する手法については講義を中心に進め、実践的な問題を解きながらフィードバックして理解を深めます。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	尺度とデータについての基礎知識を説明します。					シラバスとテキストのはじめページを読んでください(4時間)。				
2	量的データの整理	数値で表すことのできるデータの整理と表現方法を学びます。					テキスト（量的データの整理）を読んでください(4時間)。				
3	質的データの整理	数値で示すことのできないデータの整理と表現方法を学びます。					テキスト（質的データの整理）を読んでください。復習問題があります(4時間)。				
4	データを代表する値	データを集約して代表値として表す方法を学びます。					テキスト（統計学のキーワード・分布の特性値）を読んでください(4時間)。				
5	平均と標準偏差	平均と標準偏差の持つ意味と計算方法を学びます。					テキスト（統計量の計算）を読んでください(4時間)。				
6	統計量の計算練習	いろいろな統計量の計算方法の確認と練習をします。					テキスト（分布の特性値と計算練習・問題）を読んでください(4時間)。				
7	正規分布	データの持つ規則性を知ることによりデータの形式が変化することを説明します。					テキスト（確率と確率分布）を読んでください(4時間)。				
8	数値表の使い方	確率分布に従うデータの性質を数値表を用いながら学びます。					テキスト（一様分布と正規分布）を読んでください。復習問題があります(4時間)。				
9	信頼係数と有意水準	統計的有意性について説明して、信頼係数と有意水準の表し方を学びます。					テキスト（信頼係数と有意水準）を読んでください(4時間)。				
10	母集団と標本の定理	母集団と標本間の性質について定理をまじえて説明します。					テキスト（母集団と標本）を読んでください(4時間)。				
11	母平均の推定	標本平均から母平均を知る（推定する）方法について説明します。					テキスト（母平均の推定）を読んでください(4時間)。				
12	t分布を用いた推定	データに制約がある場合の推定方法について説明します。					テキスト（t分布と推定）を読んでください。復習問題があります(4時間)。				
13	仮説検定	統計的な仮説検定の原理と基本手順について説明します。					テキスト（仮説検定）を読んでください(4時間)。				
14	t分布を用いた仮説検定	データに制約がある場合の検定方法について説明します。					テキスト（検定の例題）を読んでください(4時間)。				
15	まとめ	よく使われる統計的仮説検定の方法について説明します。また、今後の発展分野についてまとめます。					テキスト（いろいろな統計的検定）を読んでください。復習問題があります(4時間)。				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「基礎統計学テキスト」林昌孝編著（松本大学）（生協で購入してください。）					定期試験：80% 出席レポート：20% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「はじめての統計学」鳥居康彦著（日本経済新聞社）ほか適時紹介します。					数学が苦手な人でも統計的な考え方は必要です。コンピュータ室を利用する都合上履修制限する場合があります。企業に所属し経営管理部門での経験を活かしています。						

科目名	ごみ処理と循環型社会		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL23504	研究室	S-24
担当者	丸山 文男・木藤 伸夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
持続可能な社会にするために、地球科学を学び、環境問題を科学的に学びます。さらに、一番身近な環境問題であるごみ問題を考えます。										
学修到達目標										
人間生活と環境の関りを科学的に理解し正しく対処できることを目標とします。										
授業の進め方										
教科書と配布資料を用いて授業を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	地球環境をどうとらえるか	自然と人間の関係を整理します。				教科書1章の問題を解き復習します。(4時間)				
2	物質の循環と資源	ミクロな世界から宇宙に至る自然の組み立てを理解し、固体地球の姿を学びます。				教科書3章の問題を解き復習します。(4時間)				
3	地球と月について	地球と月のユニークな関係を学びます。				配布資料を復習します。(4時間)				
4	惑星について	太陽系天体が液体を持つ条件を学びます。				配布資料を復習します。(4時間)				
5	松本市のごみ処理施設	松本市の一般廃棄物の中間処理施設(松本クリーンセンター)と最終処分場(エコトピア山田)について学びます。				中間処理施設と最終処分場の設置の目的と現状を整理します。(4時間)				
6	ごみ処理施設整備の課題について	ごみ処理施設整備の問題と課題について学びます。				ごみ処理施設整備に対する問題点を調べます。(4時間)				
7	エネルギーと環境	エネルギーの種類とその役割を学びます。				教科書4章の問題を解き復習します。(4時間)				
8	生命の誕生と環境形成	地球上で生命が誕生し、現在の環境ができるまでを概説します。生物の進化と共に地球環境も変わってきたことを学びます。				教科書第2章を予習するとともに、配布資料を復習する。(4時間)				
9	生態系と物質循環	生態系はどのように構成されているか学び、生態系で行われる物質循環やエネルギー循環について具体的に学修します。				教科書81~84ページを予習し、配布資料を復習する。(4時間)				
10	環境問題と物質循環	これまで問題になった公害や、現在の環境問題を素材とし、物質循環の停滞や障害が、地球に生きる様々な生物の外になることを学修します。				教科書128~136ページを予習し、配布資料を復習する。(4時間)				
11	ごみや産業廃棄物の処理	ごみや産業廃棄物の処理について、物質循環の視点からもう一度見直します。自分たちが今日から取り組める活動について考えてみましょう。				自分が今行っている環境に関わる取り組みを考えてみましょう。(4時間)				
12	水と大気循環	地球規模の大気循環や気候の変化を学びます。				教科書5章の問題を解き復習します。(4時間)				
13	光と環境	太陽光と環境との関りを学びます。				教科書6章の問題を解き復習します。(4時間)				
14	人間活動と環境問題	地球温暖化問題について学びます。				教科書7章の問題を解き復習します。(4時間)				
15	核エネルギー	原子力の問題を学びます。				教科書8章の問題を解き復習します。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「地球と環境の科学」木下紀正 八田明夫著(東京教学社) ISBN:ISBN978-4-8082-5014-0(生協で購入してください。)教科書は必ず購入してください。必要に応じて資料を配布します。				定期試験:80% レポート:20% S評価は、定期試験、レポートが特に優秀な場合です。A評価は、成績評価の合計が80以上の場合で、レポートが良好な場合です。B評価は、成績評価の合計が70以上80未満の場合で、C評価は、成績評価の合計が60以上70未満の場合です。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「絵でわかる地球温暖化」渡部雅浩著(講談社)				循環型社会を構築するために、私たちが何をなすべきがしっかり考えてみましょう。叡智を結集して青く美しい地球とともに生き延びる努力をしなければいけません。						

科目名	地域環境と生態			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	UL33505	研究室	S-03
担当者	木藤 伸夫・丸山 文男			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
この講義の前半では、地球の環境がどのように形成されたか、現在の地球環境問題はどのような原因で生じているかなどを解説します。さらに、生態系の構成と、生態系がどのように維持されているかを学修し、環境の維持に微生物が果たす役割について考えます。後半では人間活動と環境問題を考えます。人間活動が原因で進む地球温暖化問題をじっくり考えていきます。さらに、異常気象のしくみを理解するために、大気と海洋の相互作用、テレコネクションについても学びます。											
学修到達目標											
前半では、地球における物質循環を理解するとともに、それに関わる微生物が地球環境の維持にいかに関与しているかという点に気がつく。後半では、天気や気候の変化における大気と海洋の役割を理解し、人間の活動と地球環境の変化の関係を理解します。											
授業の進め方											
配布資料に基づいて講義形式で授業を行います。講義内容を理解するには物理学、化学、生物学、地学などの理系基礎科目の知識が必要です。毎回小テストを行い、授業の理解度を確認します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	生物の進化と環境形成	46億年前に誕生した地球の環境がどのように変化して現在の環境になったかを解説します。「地球と生命の共進化」ともよばれる、地球環境の変化と生物進化の密接な関係を理解します。					配布資料を復習する。(4時間)				
2	地球環境の変化	近年問題になっている地球環境の変化、すなわち地球温暖化や、水質、大気、土壌などの環境汚染の原因物質は何か、汚染はどのようにして起こるのかを学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
3	生態系と環境の維持	生態系がどのように構成されているか、生態系による物質循環やエネルギー循環が環境保全にいかに関与するか学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
4	物質循環と微生物	地球レベルでの物質循環を知るために、炭素循環と窒素循環を取り上げて解説します。物質循環には生物が関与しない無機物的な循環と、生物が関与するものがあります。違いを明確に理解します。					配布資料を復習する。(4時間)				
5	極限環境微生物	微生物は地球上の様々な環境に生息していますが、特に変わった環境(高温、強酸・強アルカリなど)で生きている微生物がいること、私達の日常生活でこれらの微生物がどのように利用されているか学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
6	微生物による有害物質除去・分解の原理	微生物を使った環境浄化の方法、特に排水処理法、重金属汚染や有機塩素化合物などの除去、分解法などを理解します。					配布資料を復習する。(4時間)				
7	バイオレメディエーション	微生物による環境浄化(バイオレメディエーション)について学習します。原油や界面活性剤の汚染除去への応用、土壌や地下水の汚染除去が実際どのように行われているか学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
8	確認テスト	第1回~7回までの内容の理解度を筆記試験で確認します。					これまでに配布された資料などに基づき、講義内容を振り返っておく。(6時間)				
9	太陽系の中の地球	地球大気の起源と進化について学びます。					配布資料を復習する。課題を課し提出を求める場合があります。9回~15回まで。(4時間)				
10	大気の鉛直構造	対流圏、成層圏とオゾン層、中間圏、熱圏について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
11	地球のエネルギー収支	地球のエネルギー収支を理解し温室効果について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
12	地球をめぐる大気の流れ	風の吹き方を理解し大気の大循環を学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
13	海水の循環	海水の流れを理解し海洋と気候について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
14	気候変動	エルニーニョ、異常気象について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
15	地球環境	都市気候、酸性雨、地球温暖化について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「絵でわかる地球温暖化」渡部雅浩著(講談社) ISBN:978-4-06-511946-4(生協で購入してください。)					定期試験:100% 地球環境を決める複数の要因をあげることができればC、それらが地球環境にどのような影響を与えるか説明できればB、地球における物質循環やエネルギー収支について説明できればA、現代起こっている様々な環境問題や環境保全、環境改善などについて、自分の考えを述べることであればS。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「地球環境46億年の大変動史」田近英一著(化学同人) ISBN:978-4-7598-1324-1 他にも講義の内容に合わせて適当な参考図書を紹介いたします。					物理、化学、生物学、地学のどれか1科目でも良いので、高校で学んだ理系科目を復習しておいて下さい。						

科目名	環境社会学		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL33506	研究室	非常勤
担当者	江成 康明		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
人々が生きて行くうえで欠かせないのは周囲の環境です。一番身近な家族や仲間、そして自治体や日本、世界、宇宙と環境は広がっていきます。それらと関連しながら生活するには、世の中の動向を意識しなければなりません。今の社会に何が起きているのか、どう対応しなければならぬのかを考え、自分を高めていくことが求められています。殺伐とした事件の増加やネット社会にまつわる犯罪などを例に社会学を学び、多層的に研究、発表するのが目的です。										
学修到達目標										
社会を営む時代背景やその国の環境などに自分がどう対応したらいいのかを学び、その中で自らの立ち位置を心がける。みんなが心地よく生活し、生きていくためには一人一人の思いやりや気配りが必要なことを知ることで、社会構成員の一人であることを自覚する。										
授業の進め方										
講義は毎回配布するプリントを基に教室でのディスカッションを中心に進めます。グループ討論やクロスロード(分岐点)のほか、受講生全員で創作する「情報モラ10か条」を完成させます。見分を広めるためのアウトキャンパススタディも実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	環境社会学とは何か?	環境といっても、「地域」だけを考えるのではなく、それを支える「人間」や「自然」にまで興味を持って対応する必要があります。授業全体の基本となる環境社会学を幅広い視点で学びます。				思い浮かべる環境社会学のイメージを事前に考えておく。(4時間)				
2	地域環境と民度の関係性	第一回授業で提出したレポートから様々な意見や提案をピックアップし、学生自身が社会の一員として環境社会学をどう捉えているかを探ります。そのうえで、人間としての役割を考えていきます。				新聞のコピーを読んで、事後に感想を書く。(4時間)				
3	ネット社会で変化する社会	日本人は思いやりや気配りのある人種と言われています。しかし、ネット社会の到来で変化してきました。社会の動きに真剣に向き合わなければなりません。ネットで陥りやすい犯罪や危険性を学びます。				ネット関連の事件事故について、一番気になったものを考える。(4時間)				
4	ネット社会の危険性についての研究	現状では、生活や仕事をするうえでネットは欠かせません。しかし、ネットを使った犯罪が増え、反面、人との直接対話が少なくなっています。過激派組織ISやネット犯罪の愚かさを研究します。				安易にネットを使ってないかを見直す。(4時間)				
5	それぞれ違う民度のあり方	グループに分かれ、クロスロード(分岐点)をそれぞれの班で討論します。それをもとに、全体でディスカッションします。				クロスロードでの自分の意見、考え方と人の意見の相違を改めて振り返る。(4時間)				
6	続クロスロード	社会は人それぞれの民度によって安全、安心な暮らしが保たれています。しかし、クロスロードで体験するように、考え方はまちまちです。幅広い民度の意識を持つために、前回に続き話し合いを継続します。				自分の考え方による民度が正しいのかどうかを推量する。(4時間)				
7	学外専門家の特別講演	簡単で便利なネットには様々な落とし穴があります。著作権について詳しい学外専門家を招き、特別講演及び討論会を実施します。				事後に講演会の感想レポートを提出する。(4時間)				
8	(野外実習)場所は未定	地域全体が民度の高い場所を訪ね、地域環境を守るためにどのような戦略が図られているかを体験します。				事後にレポートを書く。9回目に提出する。(4時間)				
9	地球温暖化に見る人類の危機	近年の地球温暖化は異常な速度で進んでいます。今の学生が世の中の中心となり、子供を育てるころには考えられないほど自然環境が変化すると考えられます。異常気象について熟考することは必要不可欠です。				授業でのコピー以外のテーマに沿って、レポート提出する。(4時間)				
10	ネット社会を生き抜くための10か条づくり	ネットが欠かせない現実の中で、自ら犯罪に巻き込まれたり、他人に迷惑をかけるためにはどうしたらいいのかをグループで話し合い、10か条を作成します。				授業終了と同時に、当日の担当はグループ10か条を書いて提出する。(4時間)				
11	各グループの10か条発表	前回作ったグループ10か条を班の代表が発表。それをもとに、受講生全体の10か条を作り上げますので、各グループによるプレゼンが大事になってきます。				全員で作った10か条を自分なりに実践する意識を高める。(4時間)				
12	10か条の絞り込み	各グループから出てきた10か条は相当数に上ります。その中から、受講生による10か条を選択していきます。創作する難しさや楽しさを実感できるはずで。				10か条は常に心掛けておく必要があります。人にも言えるほど反復して覚える。(4時間)				
13	学外専門家の特別講義	受講生が作ったネット社会と民度10か条について、専門家の意見を聴きます。				感想をレポートにまとめて提出する。(4時間)				
14	政治の変化	国を動かすのは「政治」です。ところが政治家そのものが弱体化し、国会で討論すらしっかりできない状況です。民主主義の意義を考えながら政治の大切さを学びます。				これまでの自分と政治の関わりを考え、政治家に求める自分の意見をまとめる。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	講義全体を振り返って総括します。				社会の中で生きていくために必要なテーマを自分なりに見つける。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
毎回プリントまたは資料を配布します。			受講態度：20% 定期試験：50% 課題：30% S:授業内容の理解度、考察力、文章の読解力、書力が秀でている。A:積極的に授業に臨み、課題に対しても自分の意見をしっかりと書ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に対しても自らの主張ができる。C:授業内容を60%ほど理解でき、与えられた課題にも誠実に取り組んでいる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
毎回プリントまたは資料を配布する。			講義ではグループ別に分けた学生の皆さんとのディスカッションを中心に進めますので積極的な参加を期待します。受講票には、名前だけでなくその日の感想や意見を必ず書いて下さい。							

科目名	キャリア入門	学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	UL14101	研究室	S-12	
担当者	上野 隆幸	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-	木曜日2限			
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C									
授業概要										
本授業ではキャリア教育の初歩的段階として、自らのキャリアを考える上で必要となる情報を提供し、併せてこれらの情報を基に「考えてもらう」ことを目的としています。具体的には「自らのキャリアを考える上での情報提供」「実際に自らのキャリアを考える」「就職活動の基礎事項の情報提供」の3点に焦点を絞って展開します。学習到達目標に示す通り、働くことに対する初期ビジョン形成が目的のため、1年次生及び2年次生のための履修とし、教員の許可がない場合の3年次生以降の履修は認めません。										
学修到達目標										
現在の若年者の就職・労働に関する知識を修得し、大学生の就職活動の流れを理解した上で、自らの「働くこと」への初期ビジョンを形成できること。										
授業の進め方										
配布するプリントに沿って、パワーポイントによるスライドにより講義を進めます。毎回の講義においてメソフィアを用いて出席確認と小テストを実施しますのでスマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかを持参して下さい。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	導入 - キャリアとは何か、そしてなぜ重要か -	キャリアという言葉の説明を行うとともに、本講義で扱う内容等について説明します。					「キャリア」とは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
2	企業における人事管理の基盤 - 企業の社員区分制度の概要 -	人事管理の基盤システムの一つである社員区分制度について解説します。					社員区分制度とは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
3	企業における人事管理の基盤 - 社員区分制度の詳細と学歴との関係 -	社員区分制度が学歴別管理とリンクしている点について説明します。					学歴別の賃金カーブについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
4	フリーターとしての働き方 - フリーターのタイプと所得の問題 -	フリーターの現状やタイプを説明した後、フリーターと正社員の生涯所得について説明します。					フリーターのデメリットについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
5	フリーターとしての働き方 - 雇用・能力開発・年金の問題 -	フリーターと正社員の違いについて、雇用の安定や老後など、所得以外の面から比較し、説明します。					国民年金と厚生年金の違いについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
6	産業研究 - どのような産業・業種があるのか -	社会にはどのような産業(業界)があるのかを紹介します。					自らが興味を抱く産業を理由とともに5つ考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
7	職種研究 - どのような職種・仕事があるのか -	社会にはどのような職種(仕事)があるのかを紹介します。					自らが興味を抱く職種を理由とともに5つ考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
8	転職のメリットとデメリット	転職した場合に有利になる点、不利になる点について解説します。					転職した場合に不利になる点について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
9	ライフデザイン - 人生設計 -	人生の節目のイベントを経済的側面からみることで、生涯にどれだけのお金が必要かを解説します。					自らのライフデザインについて考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
10	働く上でのリスク	会社の倒産やリストラ、病気など、働く上でのリスクについて説明します。					企業の人員整理に関する事例を調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
11	大学生の就職活動 - 大学生の就職活動の流れ -	大学生の就職活動の大きな流れについて説明します。					就職活動に関する新聞記事を探し、読んで下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
12	大学生の就職活動 - データでみる大学生の就職活動 -	大学生の就職活動について、就職支援企業の調査結果を基に、その概要を説明します。					企業の採用活動に関する新聞記事を探し、読んで下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
13	松本大学生の就職活動	松本大学生の就職活動をデータを用いて説明します。					就職活動の流れを調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
14	先輩たちから学ぶ就職活動	就職活動を終えた先輩方の経験談を聞きます。					先輩方に対する質問を考えて下さい。講義後、先輩方の就活成功の秘訣を考えて下さい。(4時間)			
15	講義全体のまとめ	これまでの講義内容を簡単にレビューします。					これまでの講義での不明点を確認して下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
プリントを配布します。		小テスト: 55% 出席レポート: 45% 小テストと出席レポートの合計点が90点以上の場合にS、80点以上の場合にA、70点以上の場合にB、60点以上の場合にC、59点以下の場合にDとなります。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「キャリアデザイン入門 1 基礎力編」大久保幸夫著(日経文庫)		実務経験を持つ教員が担当。実務経験の内容: 民間企業において、人事担当者として採用をはじめとする人事施策全般に携わった。都道府県職員として自治体の労働政策立案に携わった。								

科目名	キャリアデザイン (総合)			学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL24102	研究室	W-12
担当者	鈴木 智之			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>大学時代の過ごし方が、社会人としてのキャリアに影響を与えることが、国内外の研究からわかっています。本科目では、それらの理論的背景を前提としながら、自分自身がどのようにキャリアを作っていくか、という実践的な目的に重きを置きます。よって、キャリアに関する理論的理解よりも、自分自身のキャリア形成についての実践的な体感と学びが、本科目の狙いです。理論の講義とワークの実践との往復を通して、自分自身のキャリアを考え、3年次以降の学修の充実につなげます。</p>											
学修到達目標											
<p>(1)キャリアについての基礎知識を習得し、基礎用語を説明できるようになる。 (2)3年次以降、具体的な進路(就職先や進学先など)を考える際に、自分なりの基準を持って判断できるようになる。 (3)自分のキャリアについて、主体的に考えることができるようになる。</p>											
授業の進め方											
<p>講義、個人ワーク、グループワークの討議を組み合わせで進めます。また、単なる実践にならないよう、キャリアに関する理論的解説も毎回行うことで、理解を深めます。レポートは、添削や採点して返却することでフィードバックを行います。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	本科目の概要を説明します。また、キャリアの定義や、なぜキャリアを考える必要があるか、について触れます。最後に、簡単な個人ワークを通して、自己分析を進めます。					ワークを完了するようにしてください。(1時間)				
2	自己理解1	自己分析の手法を解説した上で、自己分析の個人ワークに取り組みます。過去の経験を振り返りながら行います。また、自己分析における他者からの視点についても触れます。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
3	自己理解2	自己分析を行う上で、価値観について着目して、先行研究の理論的解説を行います。その後、個人ワークによって、自己の価値観について考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
4	自己理解3	自己分析を行う上で、職業興味について着目し、先行研究の理論的解説を行います。その後、個人ワークによって、自己の職業興味について考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
5	自己理解4	自己分析を行う上で、レジリエンスについて着目し、先行研究の理論的解説を行います。その後、個人ワークによって、自己のレジリエンスについて考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
6	キャリア形成事例の発表	キャリア形成に関する個人レポートをもとに、グループでディスカッションを行います。また、発表をしてもらいます。					グループでレポートの振り返りをしてください。(1時間)				
7	自己理解5	自己分析を行う上で、人生の節目について着目し、先行研究の理論的解説を行います。その後、個人ワークによって、自己の人生の節目への考え方を考察します。					ワークを完了するようにしてください。(1時間)				
8	自己と社会との接続1	この後に講義がなされる「仕事理解」の前段として、自己と社会との接続について着目し、先行研究の理論的解説を行います。どのようにすれば、良い偶然がキャリアに訪れるか、個人ワークを通して考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
9	自己と社会との接続2	この後に講義がなされる「仕事理解」の前段として、自己と社会との接続について着目し、先行研究の理論的解説を行います。活躍する社会人が、大学生の時に何をしていたか、概観します。					復習をしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
10	仕事理解1	仕事を知る方法について解説を行います。その上で、個人ワークを行い、仕事と自己の特性との接続について考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
11	仕事理解2	前回に続き、仕事を知る方法について解説を行います。その上で、個人ワークを行い、仕事と自己の特性との接続について考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
12	仕事理解3	実際に、社会に存在する仕事を調べてみることを通して、仕事理解を行います。事例を通して、仕事をより深く理解します。					個人レポートを作成してください。(1時間)				
13	自己と社会との接続に関する事例の発表	自己と社会との接続に関する個人レポートをもとに、グループでディスカッションを行います。また、発表をしてもらいます。					グループでレポートの振り返りをしてください。(1時間)				
14	社会人基礎力	社会で必要とされる力としてまとめられている「社会人基礎力」を取り上げ、解説します。また、採用時に企業が重視するものについて、学術研究と企業事例の両面から解説します。					これまでの復習をしてください。(1時間)				
15	講義全体のまとめ	講義全体を振り返ります。					これまでの復習をしてください。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
講義用資料・プリントを配布します。				<p>レポート：60% 出席レポート：40% S:授業内容を高度に理解して、発展的な課題に対応できる。A:授業内容を理解して、応用的な課題に対応できる。B:授業内容をおおよそ理解して、応用的な課題にほぼ対応できる。C:授業内容の6割程度を理解している。</p>							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて指示します。				勉強するというより、やってみる、ということに重きを置きますので、自分のペースで取り組んでください。【実務経験のある教員が担当】経営コンサルティング会社に勤務し、経営・人事指導に関する業務に従事した。							

科目名	キャリアデザイン (総合)		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	UL34103	研究室	非常勤
担当者	濱野 裕貴子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、大学卒業後の自分のキャリアを主体的に考え、それを実現していくための手法を応用的に学んでいくことを目的としています。納得のできる進路を選択するには、自己理解を深めること、社会や職業に対する知識と自分なりの考えを持つこと、またそれらをわかりやすく他者に伝えるスキルを身に付けることなどが重要となります。本講義では、これらの知識やスキルを身に付けるために、これまでの大学生活での経験を振り返り、自己のキャリア形成のための具体的計画を行います。										
学習到達目標										
自己の将来のキャリア形成について向き合い、卒業後の進路選択や目標を実現するための計画を立て、実行に移すためのスキルを身に付けることを目標とします。特に、言語による自己表現、進路選択に伴う就職活動のための情報収集の仕方を学び得るものです。										
授業の進め方										
講義形式を主としながらも、「セルフワーク」や「解説」、さらに「社会人による講演」や「ロールプレイ」などを組み合わせながらアクティブに授業を進めます。また、毎回授業の振り返りを行い、次回の授業でフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	自律的なキャリア形成に向けて(ガイダンス)	本講義の流れやねらい、自己のキャリア形成への向き合い方について説明します。そのうえで、就職活動準備についても概観します。				キャリアデザイン で学んだことを見直し、卒業後の目標について考えて臨んでください(1時間)				
2	自分について深く知る コンピテンシー分析	適性検査の結果を確認し、自身のコンピテンシーを把握します。キャリア形成に役立つ自己分析法のレクチャーに基づき、実際にワークに取り組みます。				自身のコンピテンシー及びワークについて周囲の社会人1名以上と意見交換してください(1時間)				
3	職業世界を知る 産業(業界)・仕事(職種)の理解	日本における産業(業界)や仕事(職種)について概観し、それぞれの調査方法を解説します。				授業内で紹介した情報源に実際に当たり、業界・職種についての理解を深めてください(1時間)				
4	職業世界を知る 企業調査方法の理解	企業調査を行うにあたって確認する項目や参照すべき情報源等について、解説します。				<事後課題> 自身が興味を持っている企業について、詳しく調査を行ってください(1時間)				
5	日本の社会情勢と雇用・採用慣行	近年の日本の社会情勢および雇用・採用慣行を解説します。そのうえで、Webを活用した情報収集の方法について説明します。				授業後、紹介したWebツールを閲覧してください(1時間)				
6	職業世界を知る 就業体験を通じた仕事への理解	インターンシップについて学び、就業意識を高め、進路選択を明確にします。				インターンシップフェア冊子を読み、5社以上の企業研究を行ってください(1時間)				
7	自分について深く知る 強みの把握とPR	ペアワーク(他者との対話)を通して、自己の強みを客観視します。そのうえで、自身の強みを文章化する際のポイントを学びます。				<事後課題> 履歴書フォーマットの自己PR欄を完成させ次週持参してください(1時間)				
8	職業世界を知る 志望意思の把握とPR	社会で求められる、文書でのコミュニケーションについて、履歴書の作成を通して実践的に学びます。				<事後課題> 履歴書フォーマットの志望動機を含めた全ての欄を完成させてください(1時間)				
9	これからの社会におけるキャリア形成	これからの社会においてキャリア形成をしていくにあたり、重要な考え方や情報について解説します。その上で、職業キャリア形成の第一歩としての就職活動において学生に求められることについて説明します。				受講前に、新聞等で現在の社会情勢について調べてください(2時間以上)				
10	職業世界を知る 企業が求める人材の理解	企業の人事担当者から、企業が求める人材像、および大学時代に身につけておいてほしいことなどについて、お話を伺います。				<事後課題> 講演の感想、および自身の成長展望を、400字でまとめてください(1時間)				
11	自分について深く知る 能力	自身の言語面および非言語面に関する「能力」を把握するために、能力適性テスト(SPI)の模擬試験を受験します。				SPIの授業外学修を振り返り、苦手分野の対策を十分に行って臨んでください(1時間以上)				
12	職業世界を知る コミュニケーション	口頭	模擬面接を通して、仕事や就活での口頭コミュニケーション(自己プレゼン)について実践的に学びます。			第7回、第8回の授業を振り返り、自己PRと志望動機の準備をしてください(1時間)				
13	職業世界を知る コミュニケーション	口頭	模擬GDを通して、仕事や就活での口頭コミュニケーション(合意形成)について実践的に学びます。			第12回で指示する事前課題に取り組んで授業に臨んでください(1時間)				
14	自分について深く知る 力の分析と向上対策	能	能力適性テスト模擬試験の結果を振り返り、自身の能力の現状を把握します。試験解説に基づき、さらなる能力向上のための演習に取り組みます。			分野別に弱点を分析し、テキストの復習・基礎教育センターの活用を行ってください(2時間以上)				
15	まとめ	講義内容を振り返り、今後キャリア形成に向けてどのような行動を取っていくか考え、ポートフォリオを作成します。				ポートフォリオの指定箇所を完成させてください(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
レジュメ・資料を配布します。ポートフォリオファイルに綴って活用してください。なお、SPIの授業外学修用テキストとして、「SPI必出問題完全攻略」を配布します(購入は不要です)。		受講態度:30% 課題:40% 出席レポート:30% 課題点は提出期限を遵守(社会人マナーの実践)し、遅れた場合の評価は内容に問わず加点半分とします。 S:職業観を十分養い、自己分析が明確に伴い、他の学生への手本ともなる社会人マナーが身につけている。 A:職業観を養い、自己分析が明確で社会人マナーを理解している。 B:職業観を理解し、自己分析がある程度進み社会人マナーを理解している。 C:職業観を理解し、社会人マナーを理解している。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「マイナビ2021就職活動がまるごと分かる本」(マイナビ出版) 「キャリア心理学ライブデザイン・ワークブック」(ナカニシヤ出版) 「働き方の哲学」(Discover21) ほか		社会に出るための準備をする授業です。主体的に取り組むことが大切です。授業の一環として夏季就職対策講座への参加が必要となります。また、ポートフォリオファイルを配布します。授業の資料などを綴って保管してください。								

科目名	インターンシップ		学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリング	UL34104	研究室	S-12
担当者	上野 隆幸		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
<p>企業・自治体・団体等が実施する5日間のインターンシップに参加し、実際のビジネスの現場に触れてもらいます。またインターンシップ前に事前研修を行い、企業研究やビジネスマナー等について学習してもらいます。インターンシップ終了後は事後研修として自らの経験を振り返ってもらい、その成果や自らの成長を報告会にて発表してもらいます。これらを通じて社会人基礎力の向上を目指します。</p>										
学修到達目標										
<p>事前研修、インターンシップ実習、事後研修を通じて、自らのキャリアについて深く考えるための情報や知識、また社会人としてのマナーやプレゼンテーション等のビジネススキルを身につけている。</p>										
授業の進め方										
<p>事前研修、インターンシップ実習、事後研修の3つに分けて実施します。本講義は前期開講科目ですが、インターンシップ実習は夏季休業中に、事後研修は後期初めに実施します。インターンシップ実習は5日間となります。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	事前研修	インターンシップ実習先の企業等に提出する自己紹介書の自己PRについて、自己分析を実施した上で、自己PR文の作成方法を学びます。				講義内容に従い、自己PR文を作成してください(7時間)				
2	事前研修	インターンシップ実習先の企業等に提出する志望動機について、企業研究を行うとともに、志望動機文の作成方法を学びます。				講義内容に従い、志望動機文を作成してください(7時間)				
3	事前研修	ビジネスマナー、特に身だしなみ挨拶について学びます。				テキストの指示部分を講義前・講義後に熟読して下さい。(6時間)				
4	事前研修	ビジネスマナー、特にメールや電話での対応も含めたコミュニケーションスキルについて学びます。				テキストの指示部分を講義前・講義後に熟読するとともに、課題を作成して下さい。(6時間)				
5	直前研修	インターンシップ中の課題、インターンシップ後の課題について学びます。併せてインターンシップに参加する上での注意点についても説明します。				テキストの指示部分を講義前・講義後に熟読するとともに、課題を作成して下さい。(6時間)				
6	インターンシップ実習	インターンシップの派遣先企業等において、5日間、実際の業務に従事し、「ビジネス」について学びます。				担当した仕事を振り返り、反省を日報に記入し、企業等へ提出してください(5日×2時間=10時間)				
7	事後研修	インターンシップを振り返り、学び得たことを確認します。また報告会向けのPPT資料の作成方法を学びます。				報告会に向けての資料(PPT)を作成し、大学へ提出してください。(6時間)				
8	事後研修	インターンシップを振り返り、学び得たことを確認します。また大学が発行する報告書向けの資料の作成方法を学びます。				報告書向けの資料(WORD)を作成し、大学へ提出してください。(6時間)				
9	インターンシップ報告会への参加	インターンシップ報告会に出席の上、発表またはポスター展示のいずれかの形でインターンシップの成果を報告します。				報告会に向けての資料準備、報告準備を行って下さい(6時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義内で必要に応じてプリント、テキスト等を配布します。				<p>課題：100% P：インターンシップ先での実習、事前研修・直前研修・事後研修への参加、報告会での発表または展示、のすべてがなされ、併せて学修到達目標を達成している。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じてプリント、資料等を配布します。				<p>本授業の性格から、すべての授業に参加することを履修の条件とします。また講義とは別に実施する説明会(4月上旬開催予定)に参加していない場合は履修できません。【主として実践的教育から構成される授業科目】</p>						

科目名	ワークインフォメーション		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	UL44105	研究室	W-29
担当者	畑井 治文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、これから「社会人として、そして労働者として働く」皆さんに対して、働く際に生じる諸問題を克服し、より良い働き方を 実現してもらうための情報を提供していきます。例えば、働くことに関連する法律、仕事と生活のバランスの取り方、社会保険の 仕組み、働くことで生じた諸問題の解決方法、万が一転職や失業した際の手続き、などを扱っていきます。										
学修到達目標										
社会で働く上で、自らを守るために必要な知識を修得することが目標です。その知識を活かしながら、自ら考えて判断し、行動できる力 を身につけることが最終的な目標です。										
授業の進め方										
毎回配布するプリントに沿って講義を進めます。なお、授業内でミニレポートを課すこともあります。授業内で実施した小テストについ ては、添削・返却・解説といった方法でフィードバックをする予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	講義の内容や進め方について説明します。				働く上での不安をあらかじめ考え てきて下さい。プリントを復習し て下さい。(4時間)				
2	日本の労働市場の現状と今 後	日本の労働力人口の推移と今後の労働市場について説明します。				労働力人口減少の問題点について 調べてきて下さい。プリントを復 習して下さい。(4時間)				
3	労働法概論 - 様々な労働 関連法規 -	労働に関わる法律を広く浅く紹介します。				労働に関わる法律について調べ てきて下さい。プリントを復習し て下さい。(4時間)				
4	労働基準法 - 最低賃金 と賃金支払原則 -	労働基準法の「最低賃金」「賃金支払原則」等に関わる扱いについて説 明します。				労働基準法第三章を読んできて下 さい。プリントを復習して下さい 。(4時間)				
5	労働基準法 - 割増賃金 ・平均賃金・賞与 -	労働基準法の残業時の「割増賃金」やその根拠となる「平均賃金」等 について説明します。				労働基準法第三七条・第三八条を 読んできて下さい。プリントを復 習して下さい。(4時間)				
6	労働基準法 - 解雇・労働 時間・休憩時間 -	労働基準法の解雇や労働時間等について説明します。				労働基準法第二章を読んできて下 さい。プリントを復習して下さい 。(4時間)				
7	労働基準法 - 休日休暇 -	労働基準法の休日や休暇について説明します。また、これまでの授業へ の理解を深めるために小テストを実施します。				労働基準法第四章を読んできて下 さい。プリントを復習して下さい 。(4時間)				
8	ワークライフバランスの必 要性	ワークライフバランスの考え方が必要とされる様々な理由について説明 します。				育児休業について調べてきて下 さい。プリントを復習して下さい 。(4時間)				
9	ワークライフバランスの実 際	企業や政府が実施する各種ワークライフバランス施策について解説しま す。				WLB施策について調べた上で整理 をしてきて下さい。プリントを復 習して下さい。(4時間)				
10	労使関係と労働相談	職場でトラブルに遭った際や悩みが大きくなった際の相談窓口等につい て説明します。				ハラスメントに対する公的相談窓 について調べてきて下さい。プリ ントを復習して下さい。(4時間)				
11	社会保険 - 雇用保険・労 災保険 -	法定労働保険である雇用保険と労災保険について説明します。				雇用保険と労災保険について調べ てきて下さい。プリントを復習し て下さい。(4時間)				
12	社会保険 - 厚生年金保険 ・健康保険 -	法定社会保険である厚生年金保険と健康保険について説明します。				厚生年金保険と健康保険について 調べてきて下さい。プリントを復 習して下さい。(4時間)				
13	転職のデメリット - 転職す べきか否か -	終身雇用制度における転職することのデメリットについて説明します。				日本の転職者の現状について調べ てきて下さい。プリントを復習し て下さい。(4時間)				
14	退職・失業の際の手続き -	退職時や再就職時の手続きについて、雇用保険、年金保険、健康保険、 税金を中心に説明します。				退職をする際に必要な諸手続きに ついて調べて下さい。プリントを 復習して下さい。(4時間)				
15	講義のまとめ	講義で扱った事項に関して、再度まとめの説明を行います。また、これ までの授業への理解を深めるために小テストを実施します。				これまでに配布したプリントすべ てを復習して下さい。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義用プリントを配布します。				出席レポート：60% 小テスト：40% S：授業内容を高度に理解して発展問題・課題が解ける。A：授業内容を理解し て応用問題・課題が解ける。B：授業内容をおおよそ理解して応用問題・課題が ほぼ解ける。C：授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「初任者・職場管理者のための労働基準法の本」労務行政研究所編(労務行 政研究所)				【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：自治体のシンクタンクに勤務 し、労働政策の立案に従事。						

科目名	経営学総論 A (総経)		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	KL15001	研究室	W-23
担当者	田中 正敏		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日4限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義は「経営学とは何か?」について学習する。経営学の歴史(産業革命から現在まで)、経営学の資源(「ひと、もの、かね」)、経営資源をどのように動かす(「組織(ひとをどのようにまとめる)」を作り、「戦略(どのような意思決定を行うか)」を立てる)の基礎的な概念と理論について学び、経営的な基礎的素養を身につけます。										
学修到達目標										
<ul style="list-style-type: none"> 経営学の歴史を理解し、これから生きていくうえでの素養を構築することができるようになる。 経営学の概念と理論を理解し、今後の経営環境についてのいろいろな現象について議論できるようになる。 経営学の専門分野について知り、上位年次の経営の配当科目を学習する内容が理解できるようになる。 										
授業の進め方										
大枠は教科書を用いて授業を進める。場合によっては、プリントも配布およびパワーポイントの資料を使用する。講義の時間を利用して、進捗度管理(小テスト、レポート)を行い、評価し、学生に返却(フィードバック)する。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の進め方、学習方法、経営学の歴史(イタリアの会計について)。				経営学の歴史(イタリア)、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
2	経営学の歴史(イギリス)	経営学の歴史(イギリスの産業革命について)。				経営学の歴史(イギリス)、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
3	経営学の歴史(アメリカ)	経営学の歴史(アメリカの独立戦争後について、個人の物欲から精神へ)				経営学の歴史(個人の物欲から精神へ)、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
4	経営学の歴史(アメリカ)	経営学の歴史(アメリカの独立戦争後について、個人から集団へ)				経営学の歴史(個人から集団へ)、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
5	企業論とは何か	企業形態の諸特徴と株式会社制について学習する。				企業形態および株式会社、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
6	経営戦略とは何か	企業成長のための戦略研究の概念およびそのアプローチ(SWOT分析、クロス分析など)について学習する。				戦略研究の概念およびそのアプローチ、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
7	経営管理について	どのような組織作りをすれば人々を動かし、成功裏に経営を進められるかについて学習する。				経営の人づくりと組織作り、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
8	人的資源管理について	企業組織が目標とするために、人をどのように管理すればよいかについて学習する。				人的資源管理、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
9	マーケティングについて	モノやサービスを購入してもらうための諸活動について学習する。				マーケティング、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
10	生産管理について	モノやサービスを効率よく作るためにはどのように計画すればよいかについて学習する。				生産管理、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
11	会計学について	企業活動における経営資源の定量的評価(貸借対照表、損益計算書)について学習する。				会計学、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
12	コーポレートファイナンスについて	企業におけるお金の流れを概略的に把握することを学習する。				コーポレートファイナンス、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
13	管理会計について	経営者が意思決定を行うための資料提供を作成することを学習する。				管理会計、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
14	会社の社会的責任とは何か	会社に求められる社会的責任の考え方、および、会社の社会的責任の背景について学習する。				会社の社会的責任、ノートの要点を整理すること(4時間)。				
15	講義全体のまとめ	講義全体を総括し、内容確認を行う。				今回まで行った講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「データから読み解く経営学」田中正敏著(創成社) ISBN:978-4-7944-2442-6(生協で購入してください。)				定期試験:80% レポート:20% S:基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。A:基本的な目標を十分に達成している。B:基本的な目標を達成している。C:基本的な目標を最低限度達成している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて指示します。				この講義で、時代の流れ、変遷についての見方、考え方を習得するように下さい。						

科目名	観光概論		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	KA15002	研究室	W-11
担当者	丸山 宗志		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本講義では、観光現象の変遷や観光に関する基礎知識を学習することによって、現代社会における観光の意義・役割について理解することを目指します。日本国内におけるマストツーリズムの展開や近年の観光動向などを学びながら、現代観光の位置づけについて理解を深めます。										
学修到達目標										
1. これまでの観光現象の変遷を学ぶことで、現代観光の社会的背景について理解を深める。 2. 観光地・リゾートの形成やその発展/衰退要因について理解を深める。 3. 観光形態の転換とオルタナティブツーリズムの必要性について考察することができる。										
授業の進め方										
配布資料や映像資料を用いて講義進行します。講義中には出席レポートに関わる検討課題を設置、解説することによって講義内容のフィードバックに役立てます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	講義の概要や進め方、評価方法について説明します。					講義の概要や今後の学習計画について確認すること(4時間)			
2	観光の基礎知識	観光を基礎概念や観光の構造・構成要素について学びます。					講義内容をノートにまとめる(4時間)			
3	観光の社会的広がり	国内の観光史を概観しながら、観光推進が求められる社会的・経済的条件について学びます。					講義内容を整理してノートのまとめる(4時間)			
4	観光の社会的広がり	国内の観光史を概観しながら、マストツーリズムの進展や観光活動の普及と拡大について学びます。					講義内容を整理してノートにまとめる(4時間)			
5	観光の社会的広がり	国内の観光史を概観しながら、マストツーリズムの進展がもたらした観光産業の構造について学びます。					講義内容を整理してノートにまとめる(4時間)			
6	観光と地域社会	マストツーリズムの進展以降、観光現象がいかにして日本の地域社会に浸透したのかについて、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理して、マストツーリズムと身近な観光地との関係について調べる(4時間)			
7	観光と地域社会	マストツーリズムの進展以降、観光現象がいかにして日本の地域社会に浸透したのかについて、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理して、マストツーリズムと身近な観光地との関係について調べる(4時間)			
8	前半のまとめ	これまでの講義内容について振り返って要点を整理します。					出題される課題レポートを作成する(4時間)			
9	観光の経済的効果	地域の観光振興に期待される経済効果について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理してノートにまとめる(4時間)			
10	観光による産業転換	地場/基幹産業と観光振興との関係や地域的な役割について考えます。					講義内容を整理してノートにまとめる(4時間)			
11	観光地域論	地域における観光地化の実例について解説します。					講義内容を整理してノートにまとめる(4時間)			
12	観光地域論	地域における観光地化の実例について解説します。					国内において同様に観光地化した他地域の事例について調べる(4時間)			
13	オルタナティブツーリズム	ポストマストツーリズム時代の新たな観光形態(エコツーリズム)について、その理念と実例を学びます。					同様の観光形態がみられる他地域の事例について調べる(4時間)			
14	オルタナティブツーリズム	ポストマストツーリズム時代の新たな観光形態(サステナブルツーリズム)について、その理念と実例を学びます。					同様			
15	まとめ	これまでの総括として全体的な講義内容を振り返ります。必要に応じて講義項目の補足説明をします。					講義をとおして分かりにくかった点や再度説明してほしい点を確認すること(4時間)			
テキスト			成績評価の方法・基準							
講義資料を配布します。			定期試験:60% 課題:20% 出席レポート:20% S:学修到達目標をほぼ完全に達成しており、積極的な姿勢と客観的に考察する視点によって課題に取り組むことができている。A:学修到達目標を十分に達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。B:学修到達目標の基幹部分は達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。C:学修到達目標の60%程度は達成しており、課題に取り組むことができている。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「新現代観光総論」前田勇編著(学文社) ISBN:978-4762027864			「なぜ観光なのか」を意識しながら観光について学ぶとともに、さまざまな旅行経験を積み重ねていってください。若いうちに培った「旅心」はきっと人生を豊かにしてくれます。							

科目名	地域づくり概論			学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	KL15003 TL15003	研究室	W-34
担当者	白戸 洋			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C	~2019年度 地域社会						
授業概要											
この講義は、総合経営学部の必修科目として、今後、経営、観光や福祉・地域などを学んでいくうえで、重要となる「地域」に対する、基本的な考え方や姿勢を育てていくことを目的とします。講義では、毎回レポートを作成し次回の講義でその内容についてフィードバックを行う。											
学修到達目標											
地域とは何かという基本的な概念や地域に対する理解を図る 地域と自らの関係について考え地域社会の主体者としての自分を自覚する 現在の地域の現状を理解するとともにそれを取り巻く国内、あるいは国際的な社会経済システムを明らかにする 今後の地域のあり方を考える											
授業の進め方											
地域に関する基礎知識と事例研究などを組み合わせ配布したプリントによって進めます。またフィールドワークとそのまとめのグループワークも行ないます。さらに毎回の出席レポート提出とそれに対するコメントを通じてフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	地域とは何か ~ 自分からはじめ「地域」	地域の概念を学ぶ					講義に対する学習目標を検討しレポート作成 2時間				
2	むらづくり、まちづくりの背景と求められること	むらづくり、まちづくりの背景と課題・松本駅アルプス口のまちづくり					関連資料を収集 2時間 地域の概念に関するレポート作成 2時間				
3	地域の直面する課題	地域の抱える現代的課題と解決の方向性					関連資料を収集 2時間 地域の現状に関するレポート作成 2時間				
4	女性とまちづくり	地域づくりにおける女性の役割・入山辺地域のまちづくりの事例研究					関連資料を収集 2時間 地域と女性に関するレポート作成 2時間				
5	事例研究 ~ 新村の地域づくりを考える	農村地域の事例として新村の地域づくりを学ぶ					関連資料を収集 2時間 講義テーマに関するレポート作成 2時間				
6	うるさいおじさん、おばさんはいるか? ~ 子ども・若者と地域	子どもや若者が抱える課題と地域における役割を考える					関連資料を収集 2時間 子ども・若者に関する事例を研究 2時間				
7	フィールドワーク・地域の宝物を探そう	対象地域を選定し地域の資源や課題を掘り起し					対象地域に関して事前に情報を収集・フィールドワークの結果を報告書にまとめる 4時間				
8	「豊かさ」の実態 ~ グルメは世界を食い潰す	食糧問題や食糧自給等の現状から豊かさを見直す					関連資料を収集 2時間 食糧問題に関するレポート作成 2時間				
9	君たちは幸せだろうか ~ 子どもから考える豊かさと貧困の構造	子どもをめぐる世界の問題を通じて豊かさと貧困を考える					関連資料を収集 2時間 豊かさと貧困に関するレポート作成 2時間				
10	ソロモン諸島から学ぶ地域と豊かさ	ソロモン諸島の経済変容を通じて豊かさの意味を考える					関連資料を収集 2時間 豊かさの意味に関するレポート作成 2時間				
11	グループワーク 1 ~ 地域の課題を把握する	フィールドワークの結果を踏まえ地域の資源や課題を整理する					グループワークの結果を検証 4時間 次回に向けての論点整理 2時間				
12	グループワーク 2 ~ 地域づくりを提案する	フィールドワークの結果を踏まえ地域づくりについて提言する					グループワークの結果を検証 2時間 グループワークの振り返り 2時間				
13	地元の地域の課題を調査する	修了レポート作成に向けて地元地域について調査を行う					対象地域に関して事前に情報を収集・調査結果を報告書にまとめる 4時間				
14	新しい経済のあり方を考えよう	地域の新しい経済循環やコミュニティビジネスの可能性					関連資料を収集 2時間 新しい経済に関するレポート作成 2時間				
15	よそ者、ばか者、若者 ~ 地域は若者に期待する!!	若者が地域で果たす役割とは					試験に向けて今後自らが同地域にかかわるか検討 4時間				
テキスト				成績評価の方法・基準							
毎回プリントを配布します				出席レポート: 50% レポート: 30% 定期試験: 20% S: 講義内容を活かして地域社会に対して自らのビジョンにもとづき働きかけができる A: 講義内容を十分に理解し地域社会に対する自分なりのビジョンを持つ B: 講義内容を十分に理解し地域社会に関心を持つ C: 講義内容をおおむね理解する							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「松本大生がかかわったまちづくり」白戸ゼミナール編(松本大学出版会)				地域社会の住民の一人である自分自身の問題として主体的な意識と姿勢を持って講義に参加してほしい。【実務経験のある教員が担当】開発コンサルタント企業やNPOで国内外の地域づくりの調査・研究・計画づくり・実施を行った。							

科目名	簿記（基礎）Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	KL15004 TL15004	研究室	W-16	
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日4限、木曜日1限			
関連資格	高一(商業)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記処理能力の向上を目指します。											
学修到達目標											
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通し、基本的な経理能力と高い計算能力を身に着けます。簿記や経営経済系の資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。											
授業の進め方											
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	簿記を学ぶにあたって	簿記の意義 種類 役割 会計期間 簡単な計算問題					簿記とは何かを調査しておく 計算練習プリントを解答する。 2時間				
2	貸借対照表と損益計算書	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					B/S、P/Lとは何か調べておく。 練習問題で利益額を計算してみる 2時間				
3	利潤計算の原理	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					期首、期中、期末、フロ、ストック について調べておく。練習プリ ントを解答する。2時間				
4	仕訳と転記	仕訳 仕訳帳 総勘定元帳 記入方法					仕訳と勘定の関係を調べておく。 転記問題の練習プリントを解答す る。2時間				
5	試算表と決算	試算表の役割 種類 検証機能と限界 決算の意味 締切方法 精算表					試算表とな何か調べておく。 試算表を作成してみる。2時間				
6	簿記一巡の復習	仕訳・転記から試算表・精算表の作成まで まとめ小テスト					練習課題を解き、計算結が一致す るまで繰り返すこと 2時間				
7	現金	現金 出納帳 現金過不足					簿記上の現金とは何か調べておく。 現金過不足の練習プリントを解 答する。2時間				
8	当座預金	当座預金 出納帳 当座借越					当座預金とは何か調べておく。 当座借越についての練習プリント を解答してみる。2時間				
9	小口現金	出納帳 仕訳					小口現金とは何か調べておく。 出納帳の練習プリントを解答して みる。2時間				
10	商品売買	分記法 三分法					分記法について復習しておく。 三分法の練習プリントを解答して みる。2時間				
11	仕入売上1	仕入帳 売上帳 商品有高帳(先入先出法)					商品売買の基本形を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答して おく。2時間				
12	仕入売上2	商品有高帳(平均法)					平均値の計算法を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答する 。2時間				
13	仕訳と計算	期中仕訳 間違えやすい勘定科目 計算ミスについて					これまでの仕訳をすべて復習して おく。仕訳プリントを解答する。 2時間				
14	売掛金 買掛金	掛金元帳 買掛金元帳 売掛金明細表 買掛金明細表					掛けとは何か調べておく。明細表 のプリントを解答する。2時間				
15	総まとめ	簿記一巡 各種仕訳 各種帳簿の作成など まとめ小テスト					全勘定科目を整理しておく。仕訳 、帳簿記入の練習プリントを解答 する。2時間				
テキスト				成績評価の方法・基準							
各クラスごとに指示します。				出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をも って課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。a：授業内容を理解し、積極的 な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。b：授業内容のお およそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。c：授業 の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した 例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)				電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートして もらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参 してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。							

科目名	簿記（基礎）Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	KL15004 TL15004	研究室	非常勤
担当者	吉澤 稔		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。入学時に、簿記会計の3級程度の知識があることを前提に、簿記会計の全体像を中級レベルで講義します。										
学修到達目標										
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に一層精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。										
授業の進め方										
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるよう配慮します。またミニテストを実施し講義内で返却することでフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	簿記一巡の手続きと財務諸表	簿記一巡の手続きと財務諸表のフォーマットの作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
2	現金預金と売掛金1	当座預金の銀行勘定調整表の作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
3	現金預金と売掛金2	クレジット売掛金の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
4	有価証券1	売買目的有価証券と満期保有目的債券の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
5	有価証券2	子会社株式・関連会社株式とその他有価証券の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
6	商品売買	3分法と売上原価対立法				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
7	有形固定資産	割賦購入・修繕と改良・減価償却など				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
8	引当金	貸倒引当金・商品保証引当金・退職給付引当金・売上割戻引当金など				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
9	収益と費用	サービス業における役務収益と役務費用				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
10	株式会社の純資産1	株式会社の設立と開業				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
11	株式会社の純資産2	剰余金の配当および処分・株主資本等変動計算書の作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
12	税金	法人税における課税所得の計算方法・消費税の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
13	リース会計	ファイナンスリース取引とオペレーティング取引				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
14	外貨建取引	外貨建ての営業取引、決済取引および決算日の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
15	連結会計	資本連結における支配獲得時と支配獲得後の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、期末審査時に提出する。(2間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
開講時に指示します。				出席レポート：15% 課題：15% 定期試験：70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社) ISBN:4-502-25980-2 「検定簿記ワークブック2級」渡部裕旦・片山寛・北村敬子著渡部裕旦・片山寛・北村敬子編(株)中央経済社) ISBN:978-4-502-22491-1				高校在学中に商業簿記3級合格者またはそれと同等の実力者のしか受講できません。電卓を持参してください。各自必ず自宅にて計算練習を行ってください。						

科目名	簿記（基礎）Cクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	KL15004 TL15004	研究室	非常勤
担当者	太田 聡		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-			
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることをねらう。簿記会計の全体像を入門レベルで講義する。基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入の原理を解説する。毎回ミニテスト及び課題提出を行うことで学生の理解度を確認し、その結果を講義にフィードバックする。さらに日商および全経簿記3級レベルの問題を利用することで、資格取得に寄与し、実社会でも通用する簿記技法が修得できるよう導く。										
学修到達目標										
日商簿記3級取得を目指す。										
授業の進め方										
基礎用語や基礎概念、基本的な計算方法を解説し、あわせて計算事例を使用しながら進める。特に毎回の講義後半では、学生諸君が自ら計算を行なうことで、計算能力の向上につながるように配慮する。また、下記テキスト(代金概算額3,240円)購入する。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	講義計画、簿記学習上の心構え	講義計画や簿記の資格について				簿記概要の復習 課題問題(1時間)				
2	貸借対照表	資産・負債・資本の性質の学習				問題集対応範囲:1-1~4 課題問題(1時間)				
3	損益計算書	費用と収益の性質の学習。貸借対照表と損益計算書の関係の学習				問題集対応範囲:1-5~9 課題問題(1時間)				
4	仕訳	取引の内容と仕訳の学習				問題集対応範囲:2-1~5 課題問題(1時間)				
5	仕訳帳と総勘定元帳への記入	総勘定元帳の記入方法の学習				問題集対応範囲:2-6~9、3-1~2 課題問題(1時間)				
6	決算整理	合計残高試算表の記入方法の学習				問題集対応範囲:4-1~6 課題問題(1時間)				
7	現金	現金・現金過不足の学習				問題集対応範囲:5-1~2 課題問題(1時間)				
8	預金	当座預金・小切手の学習				問題集対応範囲:5-3~4 課題問題(1時間)				
9	小口現金	小口現金出納帳の学習				問題集対応範囲:5-5~7 課題問題(1時間)				
10	分記法と三分法	分記法と三分法の違い、及び三分法による仕訳の切り方を学習				問題集対応範囲:6-1 課題問題(1時間)				
11	仕入帳、売上帳	補助簿である仕入帳・売上帳の学習				問題集対応範囲:8-1~2 課題問題(1時間)				
12	商品有高帳	先入先出法による商品有高帳の学習				問題集対応範囲:6-2~3 課題問題(1時間)				
13	商品有高帳	移動平均法による商品有高帳の学習				問題集対応範囲:6-4~6 課題問題(1時間)				
14	売掛帳・買掛帳	売掛帳・買掛帳の作成方法を学習				問題集対応範囲:7-1~4 課題問題(1時間)				
15	講義全体のまとめ	簿記一連の流れの復習				第1回~15回の内容を総復習 課題問題(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「初回講義時に指示します」				定期試験:70% 小テスト:15% 課題:15% 定期試験(100点満点)を70点換算、毎回の授業で行う小テストの成績を15点換算、毎回の授業の課題提出状況を15点換算し評価する S:100点~90点 A:89点~80点 B:79点~70点 C:69点~60点 D:60点未満						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考文献は後日指示する。				毎回、計算事例を使用する。電卓を持参し、必ず自ら計算を行なってみること。計算能力を養うために、講義終了後、課題として配布された問題プリントを各自解いて提出すること。						

科目名	簿記（基礎）Dクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	KL15004 TL15004	研究室	W-16
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日4限、木曜日1限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記処理能力の向上を目指します。										
学修到達目標										
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通し、基本的な経理能力と高い計算能力を身に着けます。簿記や経営経済系の資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。										
授業の進め方										
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	簿記を学ぶにあたって	簿記の意義 種類 役割 会計期間 簡単な計算問題					簿記とは何かを調査しておく 計算練習プリントを解答する。 2時間			
2	貸借対照表と損益計算書	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					B/S、P/Lとは何か調べておく。 練習問題で利益額を計算してみる 2時間			
3	利潤計算の原理	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					期首、期中、期末、フロー、ストックについて調べておく。練習プリントを解答する。2時間			
4	仕訳と転記	仕訳 仕訳帳 総勘定元帳 記入方法					仕訳と勘定の関係を調べておく。 転記問題の練習プリントを解答する。2時間			
5	試算表と決算	試算表の役割 種類 検証機能と限界 決算の意味 締切方法 精算表					試算表とな何か調べておく。 試算表を作成してみる。2時間			
6	簿記一巡の復習	仕訳・転記から試算表・精算表の作成まで まとめ小テスト					練習課題を解き、計算結が一致するまで繰り返すこと 2時間			
7	現金	現金 出納帳 現金過不足					簿記上の現金とは何か調べておく。 現金過不足の練習プリントを解答する。2時間			
8	当座預金	当座預金 出納帳 当座借越					当座預金とは何か調べておく。 当座借越についての練習プリントを解答してみる。2時間			
9	小口現金	出納帳 仕訳					小口現金とは何か調べておく。 出納帳の練習プリントを解答してみる。2時間			
10	商品売買	分記法 三分法					分記法について復習しておく。 三分法の練習プリントを解答してみる。2時間			
11	仕入売上1	仕入帳 売上帳 商品有高帳(先入先出法)					商品売買の基本形を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答しておく。2時間			
12	仕入売上2	商品有高帳(平均法)					平均値の計算法を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答する。2時間			
13	仕訳と計算	期中仕訳 間違えやすい勘定科目 計算ミスについて					これまでの仕訳をすべて復習しておく。仕訳プリントを解答する。2時間			
14	売掛金 買掛金	掛金元帳 買掛金元帳 売掛金明細表 買掛金明細表					掛けとは何か調べておく。明細表のプリントを解答する。2時間			
15	総まとめ	簿記一巡 各種仕訳 各種帳簿の作成など まとめ小テスト					全勘定科目を整理しておく。仕訳、帳簿記入の練習プリントを解答する。2時間			
テキスト					成績評価の方法・基準					
各クラスごとに指示します。					出席レポート:30% 小テスト:70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。a:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。b:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。c:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)					電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。					

科目名	簿記（基礎）Eクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	KL15004 TL15004	研究室	W-16	
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日4限、木曜日1限			
関連資格	高一(商業)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記処理能力の向上を目指します。											
学修到達目標											
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通し、基本的な経理能力と高い計算能力を身に着けます。簿記や経営経済系の資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。											
授業の進め方											
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	簿記を学ぶにあたって	簿記の意義 種類 役割 会計期間 簡単な計算問題					簿記とは何かを調査しておく 計算練習プリントを解答する。 2時間				
2	貸借対照表と損益計算書	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					B/S、P/Lとは何か調べておく。 練習問題で利益額を計算してみる 2時間				
3	利潤計算の原理	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					期首、期中、期末、フロ、ストック について調べておく。練習プリ ントを解答する。2時間				
4	仕訳と転記	仕訳 仕訳帳 総勘定元帳 記入方法					仕訳と勘定の関係を調べておく。 転記問題の練習プリントを解答す る。2時間				
5	試算表と決算	試算表の役割 種類 検証機能と限界 決算の意味 締切方法 精算表					試算表とな何か調べておく。 試算表を作成してみる。2時間				
6	簿記一巡の復習	仕訳・転記から試算表・精算表の作成まで まとめ小テスト					練習課題を解き、計算結が一致す るまで繰り返すこと 2時間				
7	現金	現金 出納帳 現金過不足					簿記上の現金とは何か調べておく。 現金過不足の練習プリントを解 答する。2時間				
8	当座預金	当座預金 出納帳 当座借越					当座預金とは何か調べておく。 当座借越についての練習プリント を解答してみる。2時間				
9	小口現金	出納帳 仕訳					小口現金とは何か調べておく。 出納帳の練習プリントを解答して みる。2時間				
10	商品売買	分記法 三分法					分記法について復習しておく。 三分法の練習プリントを解答して みる。2時間				
11	仕入売上1	仕入帳 売上帳 商品有高帳(先入先出法)					商品売買の基本形を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答して おく。2時間				
12	仕入売上2	商品有高帳(平均法)					平均値の計算法を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答する 。2時間				
13	仕訳と計算	期中仕訳 間違えやすい勘定科目 計算ミスについて					これまでの仕訳をすべて復習して おく。仕訳プリントを解答する。 2時間				
14	売掛金 買掛金	掛金元帳 買掛金元帳 売掛金明細表 買掛金明細表					掛けとは何か調べておく。明細表 のプリントを解答する。2時間				
15	総まとめ	簿記一巡 各種仕訳 各種帳簿の作成など まとめ小テスト					全勘定科目を整理しておく。仕訳 、帳簿記入の練習プリントを解答 する。2時間				
テキスト				成績評価の方法・基準							
各クラスごとに指示します。				出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をも って課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。a：授業内容を理解し、積極的 な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。b：授業内容のお およそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。c：授業 の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した 例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)				電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートして もらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参 してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。							

科目名	マーケティング基礎A(総経)		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	KL25005	研究室	W-28
担当者	清水 聡子		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
マーケティングは、企業だけでなく、自治体、大学、病院、公共機関、各種団体などの組織においても重要になってきています。マーケティングを「企業の対市場活動」と限定的に定義して、マーケティング基礎を修得します。										
学修到達目標										
マーケティングに関する知識を修得し、マーケティングの意義や役割について理解するとともに、自分の言葉で自分の考えをまとめ、説明できる。										
授業の進め方										
授業計画に従って、配布プリントを用いて教室にて行います。授業の構成は、前回の授業の復習・フィードバック、今回の授業のポイント、授業の中心部(メイン)、問題提起(来週の予告)と4部構成で行い、アクティブラーニング(発表)を実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	マーケティング基礎で学ぶ内容の全体像を示し、授業の進め方を説明します。				シラバスを読む。わからない用語は調べること。(4時間)				
2	マーケティングとは何か?	マーケティング(Marketing)の概念と基本的役割について考察します。				配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
3	マーケティング・コンセプト	マーケティングの発展とともに変化したマーケティング・コンセプト(Marketing concept)について考察します。				配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
4	ニーズとは何か?	ニーズ(needs)の概念とマズロー(Maslow, A.H.)の欲求5段階説について考察します。				配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
5	製品とサービス	有形財である製品と無形財であるサービスを考察します。				配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
6	マーケティング・ミックス	マッカーシー(McCarthy, E.J.)のマーケティング・ミックス(Marketing mix)について考察します。				配布プリントを読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。(4時間)				
7	マーケティング目標の設定	企業の生存領域(domain)に基づくマーケティング目標の設定について考察します。				配布プリントを読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。(4時間)				
8	マーケティング計画の策定	マーケティング計画の策定方法を考察します。				目標達成のために計画の遂行(planning)を学び、自分の行動に結びつけること。(4時間)				
9	マーケティングと組織	継続的企業体(going concern)として企業が存続するために、マーケティングと組織について考察します。				職部門間や目標、役割の対立が起きた際の対処を考えること。(4時間)				
10	市場機会の分析	市場を定義し、企業を取り巻く外部環境分析、企業内部の分析について考察します。				配布プリントを読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。(4時間)				
11	競争構造の分析	ポーター(Porter, M.E.)の5つの競争要因について考察します。				配布プリントを読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。(4時間)				
12	標的市場と市場細分化	標的市場(Market targeting)と市場細分化(Market segmentation)について考察します。				具体的な事例に当てはめて理解すること。(4時間)				
13	ユニバーサル・デザイン	ユニバーサル・デザイン(Universal Design)について考察します。				ユニバーサル・デザインとバリアフリーとの違いを理解すること。(4時間)				
14	生産財市場と消費財市場	生産財市場(Business market)と消費財市場(Consumer market)について考察します。				生産財市場と消費財市場の違いを理解すること。(4時間)				
15	まとめ	マーケティング基礎で学んだ全体像を示し、総まとめを行います。				今までの復習を行い、実践的な学びとすること。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
プリント・資料の配布をもってテキストに代えます。				定期試験: 100% S: 学修到達目標を十分に達成しており、期待以上に卓越している。A: 学修到達目標を十分に達成しており、期待どおりである。B: 学修到達目標を十分に達成している。C: 学修到達目標を達成している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「基本流通用語辞典改訂版」宮澤永光監修編(白桃書房) 「マーケティングの基礎と潮流」西尾チツル編著編(八千代出版) ISBN: 978-4-8429-1409-1				受講者は授業計画と進み具合にあわせ、新聞や雑誌などから関連した記事を探し出し、常に実際の企業行動との結びつきを考えてください。販売士検定に対応します。						

科目名	情報社会論		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KL25006 TL25008	研究室	W-31
担当者	室谷 心・古川 智史		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	水曜日3限		
関連資格	高一(情報)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>スマホ、タブレット、インターネット、私たちの周りには便利な情報機器がたくさんあります。検索すれば必要な時に必要な情報が自由に得られる素晴らしい時代のように思えます。しかし、実際には、不確かで不必要な情報も一緒になって、あふれんばかりの大量の情報が私たちに襲いかかってきます。多種多様な情報システムが大量の情報を供給する現代社会を、よりよく生きていくために、“情報のあふれる現代社会”というものをしっかりと認識し、情報との正しい付き合い方を身につけましょう。</p>										
学修到達目標										
現代社会の様々な局面を“情報”をキーワードにcriticalに考え、より深く理解しようとみずから行動できるようになる。										
授業の進め方										
講義形式で進めます。また授業理解度の確認のために、適宜クリッカーを使い小テストを行います。その結果を授業にフィードバックさせながら進めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	情報化された現代社会の概説と本授業全体のガイダンス。毎時間のレポート提出方法の説明。					自分を取り巻く情報環境を再確認してみる。(4時間)			
2	ユビキタスネットワーク社会	見守と監視---ユビキタスネットワーク社会。					見守と監視の視点からユビキタス社会の功罪を考える(4時間)			
3	インターネット古代史	インフラストラクチャーの整備---インターネット古代史。					自分の家のネット化の歴史を調べる。(4時間)			
4	暗号	プライバシーか治安維持か---ネットワーク社会における暗号の役割。					公開鍵暗号方式が解決した、暗号の2つの役割を考える(4時間)			
5	認証の技術	ご本人ですか?---なりすましとオレオレ詐欺。					詐欺サイトの例を調べる。(4時間)			
6	メメックス	メメックスは実現したのか---図書館 vs Wikipedia。					バネバー・ブッシュの理想と現在のネット社会を比較する。(4時間)			
7	情報の保管	記録の保管---思い出はいつまでとっておけるか。					自分の家の一番古い記録は何か調べてみる。(4時間)			
8	著作権	著作権と文化---青空文庫とgoogleブック。					TPPと著作権の問題を調べる。(4時間)			
9	情報検索	検索がすべてを決める---ネット検索を信用するか。					自分の情報が、ネット上にどう記載されているか調べる。(4時間)			
10	UD	バリアフリーとユニバーサルデザイン。					万人にやさしいデザインを考える。(4時間)			
11	アクセシビリティ	ユビキタスに格差はないか。					情報の平等化の度合いを考える。(4時間)			
12	ネット動画	Youtube、ニコニコ動画、ポーカロイド					ネット動画とテレビを比較する。(4時間)			
13	クラウド環境	クラウドコンピューティング					気付かずに使っているクラウド環境を明示的に意識し、安全性と危険性をまとめる。(4時間)			
14	BigData	ビッグデータの時代---あなたの好みは読まれています。					行動ターゲティング広告の例を調べる。(4時間)			
15	信じる	この話、あなたは信じますか? 沢山の情報の中で、何を根拠にその話を信じるのだろうか?					死後の世界やオカルトについて、自分自身が信じているかどうか考える。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
学内サーバ上に講義資料を置くので予復習の参考にしてください。					出席レポート:20% 定期試験:80% S:情報社会に関する発展的な問題を考察できる。 A:情報社会に関する応用的な問題を考察できる。 B:情報社会に関する標準的な問題を考察できる。 C:情報社会に関する基礎的な問題を考察できる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
新聞、雑誌、インターネット等全て					情報は探す時代から選ぶ時代になりました。ネットを使えば大量の情報が簡単に手に入ります。でも、それが役に立つ正しい情報だとは限りません。価値のある情報だけを取り出し利用していくのはユーザーの責任です。					

科目名	簿記（展開）Aクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリノ	KL25007 TL25007	研究室	W-16
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記に引き続き、簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。										
学修到達目標										
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。										
授業の進め方										
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	簿記の基礎 確認	BS PL 仕訳の確認 証憑の読み方					簿記の内容を復習しておく 証憑関連の問題を解く。2時間			
2	手形	手形の種類 仕訳 記入帳					手形に関する法律を調べておく。 手形記入帳に記入してみる。 2時間			
3	その他の資産	有価証券 固定資産					有価証券、固定資産とは何か調べておく。 売却損と売却益の場合を整理してみる。2時間			
4	その他の資産と負債1	貸付金 借入金 未収金 未払金					債権・債務とはどのようなものが調べておく。 練習プリントの仕訳問題を解答する。2時間			
5	その他の資産と負債2	立替金 預り金 仮払仮受の処理 商品券					源泉徴収とは何か調べておく。 仕訳プリントを解答する。2時間			
6	その他の取引	資本金 引出金 税金					税金の種類について調べておく。 資本金についての仕訳問題を解答する。2時間			
7	伝票	伝票制度 取引の分解などの方法 推定					伝票とは何か調べておく。3票に記入してみる。2時間			
8	期中取引まとめ	これまでの期中取引のすべてを再確認する まとめ小テスト					これまでの練習プリントを再度解答する。 課題プリントを解く。2時間			
9	決算3	売上原価の計算					3分法の復習をしておく 決算仕訳をやってみる 2時間			
10	決算4	減価償却					固定資産の種類を調べておく。課題プリントを解く。2時間			
11	決算5	見越 繰延					期間対応とは何か調べておく。四つのパターンをすべて仕訳してみる。2時間			
12	決算6	貸倒れ、現金過不足、収入印紙 他					引当金とは何か調べておく。練習課題を解答してみる。2時間			
13	精算表	精算表の作成					精算表とは何か調べておく。 練習伝票とは何か調べておく。 3伝票について記入してみる。2時			
14	決算6	財務諸表の作成					財務諸表の形式について調べておく。 練習プリントで財務諸表を作成してみる。2時間			
15	決算のすべて	期中取引から決算整理までの 全体像の確認 まとめ小テスト					これまでのすべての復習しておく。 練習プリントを解答し、決算の流れを確認する。3時間			
テキスト					成績評価の方法・基準					
簿記論 のものを継続使用します					出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)					電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。					

科目名	簿記（展開）Bクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	KL25007 TL25007	研究室	非常勤
担当者	吉澤 稔		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスワ-			
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。入学時に、簿記会計の3級程度の知識があることを前提に、簿記会計の全体像を中級レベルで講義します。										
学修到達目標										
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に一層精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。										
授業の進め方										
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるよう配慮します。またミニテストを実施し講義内で返却することでフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	簿記一巡の手続きと財務諸表	簿記一巡の手続きと財務諸表のフォーマットの作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
2	現金預金と売掛金1	当座預金の銀行勘定調整表の作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
3	現金預金と売掛金2	クレジット売掛金の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
4	有価証券1	売買目的有価証券と満期保有目的債券の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
5	有価証券2	子会社株式・関連会社株式とその他有価証券の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
6	商品売買	3分法と売上原価対立法				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
7	有形固定資産	割賦購入・修繕と改良・減価償却など				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
8	引当金	貸倒引当金・商品保証引当金・退職給付引当金・売上割戻引当金など				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
9	収益と費用	サービス業における役務収益と役務費用				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
10	株式会社の純資産1	株式会社の設立と開業				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
11	株式会社の純資産2	剰余金の配当および処分・株主資本等変動計算書の作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
12	税金	法人税における課税所得の計算方法・消費税の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
13	リース会計	ファイナンスリース取引とオペレーティング取引				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
14	外貨建取引	外貨建ての営業取引、決済取引および決算日の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
15	連結会計	資本連結における支配獲得時と支配獲得後の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、期末審査時に提出する。(2間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
開講時に指示します。				出席レポート：15% 課題：15% 定期試験：70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社) ISBN:4-502-25980-2 「検定簿記ワークブック2級」渡部裕旦・片山寛・北村敬子著渡部裕旦・片山寛・北村敬子編(株)中央経済社) ISBN:978-4-502-22491-1				高校在学中に商業簿記3級合格者またはそれと同等の実力者のしか受講できません。電卓を持参してください。各自必ず自宅にて計算練習を行ってください。						

科目名	簿記（展開）Cクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	KL25007 TL25007	研究室	非常勤
担当者	太田 聡		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記論の全体像の知識を前提に、株式会社における会計処理を理解することをめざす。ある程度の規模をほこる株式会社を前提にし、そこでの会計のあり方、実際の会計処理について、計算プロセスを含めて講義する。毎回ミニテスト及び課題提出を行い学生の理解度を確認し、その結果を講義にフィードバックする。さらに、必要に応じて日商および全経簿記検定の3級レベルの問題演習を行なうことで、資格取得に寄与し、実社会でも通用する簿記技法が修得できるよう導く。										
学修到達目標										
日商簿記3級取得を目指す。										
授業の進め方										
基礎用語や基礎概念、基本的な計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進める。特に、学生諸君が自ら計算を行なうことで、計算能力の向上につながるよう配慮する。また、下記テキスト(代金概算額3,240円)を購入する。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	手形	受取手形・支払手形の取引、手形記入帳の学習				問題集対応範囲：9-1～9 課題問題(1時間)				
2	固定資産	固定資産の内容と処理方法を学習				問題集対応範囲：11-1～3 課題問題(1時間)				
3	有価証券	有価証券の内容と処理方法を学習				問題集対応範囲：10-1～10-3 課題問題(1時間)				
4	その他の貸借取引	貸付・借入などの処理方法を学習				問題集対応範囲：8-1～2 課題問題(1時間)				
5	その他の貸借取引	預かり・立替などの処理方法を学習				問題集対応範囲：8-3～5 課題問題(1時間)				
6	決算	決算整理の流れ				問題集対応範囲：4-1～6 課題問題(1時間)				
7	決算	貸倒れ・消耗品の決算処理を学習				問題集対応範囲：14-5 課題問題(1時間)				
8	決算	減価償却の決算処理を学習				問題集対応範囲：11-4～5 課題問題(1時間)				
9	決算	売上原価の決算処理を学習				問題集対応範囲：4-6 課題問題(1時間)				
10	決算	費用の決算処理を学習				問題集対応範囲：14-1～7(費用部分) 課題問題(1時間)				
11	決算	収益の決算処理を学習				問題集対応範囲：14-1～7(収益部分) 課題問題(1時間)				
12	決算	8桁精算表の計算方法を学習				問題集対応範囲：17-5 課題問題(1時間)				
13	決算	8桁精算表の計算方法を学習				問題集対応範囲：17-5 課題問題(1時間)				
14	仕訳問題	仕訳問題の論点整理				仕訳問題の復習 課題問題(1時間)				
15	講義全体のまとめ	簿記一連の流れの復習				総合問題の復習 課題問題(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「簿記」で使用したテキストを継続して使用します」				定期試験：70% 小テスト：15% 課題：15% 定期試験(100点満点)を70点換算、毎回の授業で行う小テストの成績を15点換算、毎回の授業の課題提出状況を15点換算し、評価する。 S:100点～90点 A:89点～80点 B:79点～70点 C:69点～60点 D:60点未満						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考文献は後日指示する。				簿記の受講履修が終了した者しか受講できない。計算事例を使用する機会が多い。電卓を持参し、必ず自ら計算を行なってみること。						

科目名	簿記（展開）Dクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	KL25007 TL25007	研究室	W-16	
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限			
関連資格	高一(商業)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
簿記 に引き続き、簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。											
学修到達目標											
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。											
授業の進め方											
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	簿記の基礎 確認	BS PL 仕訳の確認 証憑の読み方					簿記 の内容を復習しておく 証憑関連の問題を解く。2時間				
2	手形	手形の種類 仕訳 記入帳					手形に関する法律を調べておく。 手形記入帳に記入してみる。 2時間				
3	その他の資産	有価証券 固定資産					有価証券、固定資産とは何か調べておく。 売却損と売却益の場合を整理してみる。2時間。				
4	その他の資産と負債1	貸付金 借入金 未収金 未払金					債権・債務とはどのようなものが調べておく。 練習プリントの仕訳問題を解答する。2時間				
5	その他の資産と負債2	立替金 預り金 仮払仮受の処理 商品券					源泉徴収とは何か調べておく。 仕訳プリントを解答する。2時間				
6	その他の取引	資本金 引出金 税金					税金の種類について調べておく。 資本金についての仕訳問題を解答する。2時間				
7	伝票	伝票制度 取引の分解などの方法 推定					伝票とは何か調べておく。3票に記入してみる。2時間				
8	期中取引まとめ	これまでの期中取引のすべてを再確認する まとめ小テスト					これまでの練習プリントを再度解答する。 課題プリントを解く。2時間				
9	決算3	売上原価の計算					3分法の復習をしておく 決算仕訳をやってみる 2時間				
10	決算4	減価償却					固定資産の種類を調べておく。課題プリントを解く。2時間				
11	決算5	見越 繰延					期間対応とは何か調べておく。四つのパターンをすべて仕訳してみる。2時間				
12	決算6	貸倒れ、現金過不足、収入印紙 他					引当金とは何か調べておく。練習課題を解答してみる。2時間				
13	精算表	精算表の作成					精算表とは何か調べておく。 練習伝票とは何か調べておく。 3伝票について記入してみる。2時				
14	決算6	財務諸表の作成					財務諸表の形式について調べておく。 練習プリントで財務諸表を作成してみる。2時間				
15	決算のすべて	期中取引から決算整理までの 全体像の確認 まとめ小テスト					これまでのすべての復習しておく。 練習プリントを解答し、決算の流れを確認する。3時間				
テキスト					成績評価の方法・基準						
簿記論 のものを継続使用します					出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)					電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。						

科目名	簿記（展開）Eクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	KL25007 TL25007	研究室	W-16	
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限			
関連資格	高一(商業)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
簿記 に引き続き、簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。											
学修到達目標											
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。											
授業の進め方											
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	簿記の基礎 確認	BS PL 仕訳の確認 証憑の読み方					簿記 の内容を復習しておく 証憑関連の問題を解く。2時間				
2	手形	手形の種類 仕訳 記入帳					手形に関する法律を調べておく。 手形記入帳に記入してみる。 2時間				
3	その他の資産	有価証券 固定資産					有価証券、固定資産とは何か調べておく。売却損と売却益の場合を整理してみる。2時間。				
4	その他の資産と負債1	貸付金 借入金 未収金 未払金					債権・債務とはどのようなものが調べておく。練習プリントの仕訳問題を解答する。2時間				
5	その他の資産と負債2	立替金 預り金 仮払仮受の処理 商品券					源泉徴収とは何か調べておく。 仕訳プリントを解答する。2時間				
6	その他の取引	資本金 引出金 税金					税金の種類について調べておく。 資本金についての仕訳問題を解答する。2時間				
7	伝票	伝票制度 取引の分解などの方法 推定					伝票とは何か調べておく。3票に記入してみる。2時間				
8	期中取引まとめ	これまでの期中取引のすべてを再確認する まとめ小テスト					これまでの練習プリントを再度解答する。課題プリントを解く。 2時間				
9	決算3	売上原価の計算					3分法の復習をしておく 決算仕訳をやってみる 2時間				
10	決算4	減価償却					固定資産の種類を調べておく。課題プリントを解く。2時間				
11	決算5	見越 繰延					期間対応とは何か調べておく。四つのパターンをすべて仕訳してみる。2時間				
12	決算6	貸倒れ、現金過不足、収入印紙 他					引当金とは何か調べておく。練習課題を解答してみる。2時間				
13	精算表	精算表の作成					精算表とは何か調べておく。 練習伝票とは何か調べておく。 3伝票について記入してみる。2時				
14	決算6	財務諸表の作成					財務諸表の形式について調べておく。 練習プリントで財務諸表を作成してみる。2時間				
15	決算のすべて	期中取引から決算整理までの 全体像の確認 まとめ小テスト					これまでのすべての復習しておく。 練習プリントを解答し、決算の流れを確認する。3時間				
テキスト					成績評価の方法・基準						
簿記論 のものを継続使用します					出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)					電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。						

科目名	中小企業論	学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	KA25008 TL25012	研究室	W-10	
担当者	兼村 智也	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日1限			
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
日本の企業のほとんどを占める中小企業について、その多様性、経済的・社会的役割についてみていくとともに、「小規模」であるであるがゆえに抱える経営上の問題や限界性、また可能性について解説します。										
学修到達目標										
主として大企業との比較から中小企業のもつ特性(強みや弱み)を通じて、卒業後、多くの学生が就職するであろう中小企業についての理解や認識を深める。										
授業の進め方										
配布資料・プリントを参照しながら講義形式で行ないます。5回終了時、10回終了時、15回終了時に小テストを実施することで、それまでの学習のフィードバックを行う。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	中小企業とは何か	期初の1~5回では、中小企業にかかる基礎的学習を行う。1回目では、中小企業の定義、経済全体に占める中小企業の位置づけとそのタイプ、中小企業(経営)にみる特徴などについて学習する。					中小企業の定義や国・地域における位置づけの復習(2時間)			
2	中小企業の役割と存立分野	中小企業が国・地域経済に果たす役割とその存立分野を大企業との比較を交えながら学習する。					中小企業の事業分野とその理由の復習(2時間)			
3	中小企業論にかかる諸学説	これまでの中小企業の評価の変遷を、二重構造論、中堅企業論、ベンチャー企業論、下請構造論などの学説を通じて学習する。					中小企業論の学説の復習(2時間)			
4	中小企業の発展史	戦後の経済発展のなかで中小企業がどのような役割を果たし、自らが成長・発展してきたかについて学習する。					中小企業発展史の復習(2時間)			
5	中小企業政策の変遷	これまでの中小企業政策の変遷をみることを通じて、各時代における中小企業の役割・意義、そして現在の中小企業に求められる方向性について学習する。					中小企業政策の変遷の復習と期初の小テストの学習(4時間)			
6	中小企業と人材	期中の6~10回では中小企業の経営資源についての学習を行う。6回目では人の問題を取り上げ、企業業績との関係、人材確保・育成にかかる課題などについて学習する。期初の小テストも合わせて実施する。					中小企業における人材の役割、その大きさの復習(2時間)			
7	人手不足とダイバーシティ経営	近年直面する人手不足や事業承継などの問題、その対応策として取り組んでいかなければならないダイバーシティ経営について学習する。					近年の人材にかかる諸問題とその要因、対策の復習(2時間)			
8	IT効果と導入の諸問題	ITの導入が生産性向上や販路拡大などにつながる可能性、中小企業の導入実績や阻害要因について学習する。					ITが果たす役割、導入の現状とその要因の復習(2時間)			
9	中小企業の経営と資金調達	中小企業にとって重要な課題である資金調達について、その方法や調達の現状と課題について学習する。					資金調達の種類と中小企業との関係の復習(2時間)			
10	企業間連携とM&A	経営資源が不足する中小企業にとって有効な手立てである企業間連携やM&Aについて、その概要と導入の実態、効果、問題点について学習する。					連携やM&Aの功罪の復習と期中の小テストの学習(4時間)			
11	営業・マーケティング戦略	期末の11~15回では中小企業の成長・競争戦略について学習を行う。11回目では中小企業の営業・マーケティングの必要性やその特質などについて学習する。なお、期中の小テストも合わせて実施する。					営業・マーケティングの重要性と中小企業におけるその特質の復習(2時間)			
12	ブランド戦略	マーケティング上の競争力の源泉の一つとしてブランド戦略があるが、こうした取り組みに成果を収める企業を通じて中小企業のブランド戦略のポイントについて学習する。					ブランド戦略の有効性と限界性の復習(2時間)			
13	新事業開発戦略	販路拡大とともに新事業開発は重要な成長戦略となる。ここでは新事業がどのように生まれ、どのように事業化されるのかについて学習する。					新事業開発の意義と困難さ、その対応の復習(2時間)			
14	多角化戦略	複数の事業を展開し、事業範囲を広げることで成長を図る多角化は特に地方の中小企業においてみられる成長戦略である。その背景と要因について学習する。					多角化の意義と困難さ、その対応の復習と期末の小テストの学習(4時間)			
15	グローバル戦略	中小企業の成長は国内を前提にするのみにとまらず、海外市場を取り込むグローバル戦略がある。この戦略が企業にもたらす意義や利益や課題について学習する。期末の小テストも合わせて実施する。					グローバル化の意義と困難さ、その対応の復習(2時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
特にありません。毎回の授業時に資料・プリントを配布します。		小テスト:100% S:100~90点、A:89~80点、B:79~70点、C:69~60点。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「中小企業の経済学」商工組合中央金庫著商工組合中央金庫編(千倉書房) ISBN:9784805110881 「中小企業マーケティングの構図」田中道雄 他著(同文館出版)		期初・期中・期末のそれぞれに小テスト(34%、34%、32%、合計100%)があります。そのために毎回の復習は必ず実施してください。【実務経験のある教員が担当】内容:民間の力で地域の中小企業政策の立案に携わった。								

科目名	ミクロ経済学 A (総経)			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KA25009	研究室	W-14
担当者	佐藤 嘉晃			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>企業による財・サービスの生産や家計による財・サービスの消費といった経済活動に関する基礎的な理論について講義します。また理論を応用して、家計に税金を課す政策が経済活動に及ぼす影響について議論していきます。</p>											
学修到達目標											
<p>家計・企業の経済活動に関する理論の基礎的な知識を獲得し、市場経済の仕組みを理解することによって、現実の経済に関する諸問題を主体的に分析することができる。</p>											
授業の進め方											
<p>教科書に沿って講義します。また各回において学生同士が講義のテーマに関する題材についてディスカッションを行います。学生からのフィードバックをもとに講義の内容・進展を調整します。</p>											
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	導入	講義の概要を説明します。					教科書の序章の内容を把握する(4時間)。				
2	経済学の目的と方法	経済学が説明の対象とする問題について説明します。					教科書の序章の内容を把握する(4時間)。				
3	合理的行動	経済学における合理的行動の定義について説明します。					教科書の第1章1節の内容を把握する(4時間)。				
4	消費者の選好と無差別曲線	家計の選好に関するモデルについて説明します。					教科書の第1章2節の内容を把握する(4時間)。				
5	最適消費	家計の消費計画の決定について説明します。					教科書の第1章3節の内容を把握する(4時間)。				
6	数理モデルと現実の関係	家計の消費に関するモデルの使い方について説明します。					教科書の第1章4節の内容を把握する(4時間)。				
7	生産関数	企業の生産に関するモデルについて説明します。					教科書の第2章2節の内容を把握する(4時間)。				
8	利潤最大化	企業の生産計画の決定について説明します。					教科書の第2章2節の内容を把握する(4時間)。				
9	費用関数と供給曲線	企業の費用と利潤の関係について説明します。					教科書の第2章2節の内容を把握する(4時間)。				
10	利潤と所得分配	所得格差のモデルについて説明します。					教科書の第2章5節の内容を把握する(4時間)。				
11	市場需要と市場供給	財・サービスの交換が行われる市場について説明します。					教科書の第3章1節の内容を把握する(4時間)。				
12	産業の長期均衡	長期的な市場均衡の特徴について説明します。					教科書の第3章1節の内容を把握する(4時間)。				
13	消費者余剰	消費者が市場での取引によって得られる便益について説明します。					教科書の第3章1節の内容を把握する(4時間)。				
14	部分均衡分析の応用例	家計に税金を課す政策が経済の効率性に及ぼす影響を議論します。					教科書の第3章1節の内容を把握する(4時間)。				
15	総括	講義全体の内容を整理して統一的に説明します。					講義で扱われた教科書の該当章の内容を再度把握する(4時間)。				
テキスト						成績評価の方法・基準					
<p>「ミクロ経済学の力」神取道宏著(日本評論社) ISBN:978-4-535-55756-7 (生協で購入してください。)</p>						<p>レポート:50% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。 C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
講義中に紹介します。						特になし。					

科目名	マクロ経済学（総経）			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	KA25010	研究室	W-14
担当者	佐藤 嘉晃			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
<p>数年の間に好況と不況を繰り返して国内の経済活動の水準が変動する現象（景気循環）について講義します。また国内の経済活動の水準の変動を緩和させる政策（安定化政策）の一つと考えられている財政政策について議論していきます。</p>											
学修到達目標											
<p>景気循環の理論に関する基礎的な知識を獲得し、景気循環の仕組みを理解することによって、現実の経済に関する諸問題を主体的に分析することができる。</p>											
授業の進め方											
<p>教科書に沿って講義します。また各回において学生同士が講義のテーマに関する題材についてディスカッションを行います。学生からのフィードバックをもとに講義の内容・進捗を調整します。</p>											
<p>授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	導入	講義の概要を説明します。					教科書の第1章の内容を把握する（4時間）。				
2	経済成長現象と景気循環現象	日本経済のマクロ経済現象について説明する。					教科書の第5章1節の内容を把握する（4時間）。				
3	需要サイドから分析する景気循環モデル	景気循環の標準的なモデルの特徴について説明します。					教科書の第5章3節の内容を把握する（4時間）。				
4	短期モデルの基本的な考え方	短期的な経済活動を想定するモデルの特徴について説明します。					教科書の第6章1節の内容を把握する（4時間）。				
5	乗数効果のメカニズム	乗数効果と呼ばれるメカニズムにより総生産・総支出・総所得の好循環が生まれることについて議論します。					教科書の第6章2節の内容を把握する（4時間）。				
6	財市場の数量調節	ISモデルと呼ばれる財市場のモデルについて説明します。					教科書の第6章3節の内容を把握する（4時間）。				
7	貨幣市場の数量調節	LMモデルと呼ばれる貨幣市場のモデルについて説明します。					教科書の第6章4節の内容を把握する（4時間）。				
8	IS-LMモデルにおける財政政策と金融政策	IS-LMモデルを用いて財政政策や金融政策の効果を議論します。					教科書の第6章5節の内容を把握する（4時間）。				
9	財政政策の決定・有効な財政政策	財政政策と景気循環の関係について説明する。					教科書の第12章4節の内容を把握する（4時間）。				
10	財政赤字の計測・債務残高の推移	日本の財政赤字や債務残高について概観します。					教科書の第13章1節の内容を把握する（4時間）。				
11	財政の持続可能性	プライマリー・バランスと呼ばれる概念に着目しながら財政赤字の特徴について説明します。					教科書の第13章3節の内容を把握する（4時間）。				
12	財政赤字の影響	財政赤字の原因の違いによって財政赤字が経済に及ぼす影響が変化することについて議論します。					教科書の第13章4節の内容を把握する（4時間）。				
13	リカードの等価命題	減税政策が实体经济に及ぼす影響に関するリカードの等価命題と呼ばれる考え方について説明します。					教科書の第13章5節の内容を把握する（4時間）。				
14	人口減少と社会保障	労働力人口の減少が経済成長率に及ぼす影響の程度を議論します。					教科書の第13章6節の内容を把握する（4時間）。				
15	総括	講義全体の内容を整理して統一的に説明します。					講義で扱われた教科書の該当章の内容を再度把握する（4時間）。				
テキスト						成績評価の方法・基準					
<p>「マクロ経済学〔新版〕」 齊藤誠・岩本康志・太田聡一・柴田章久著（有斐閣） ISBN:978-4-641-05384-7（生協で購入してください。）</p>						<p>レポート：50% 定期試験：50% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B:授業内容のおおそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。 C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>					
参考書						履修上の注意（学生へのメッセージ）					
講義中に指示します。						特になし。					

科目名	社会活動		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	KL25011 TL25017	研究室	W-20
担当者	向井 健・丸山 宗志・今村 篤史		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日4限、木曜日2限		
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義は、地域活動に関わる導入的な講義です。学生の関心に沿ってグループわけをしてすすめていきます。地域社会の中で実践的な活動を行い、地域や社会の在り方について学び考えることを目的とします。										
学修到達目標										
1、地域の中の課題に対して、当事者性をもって考え、その課題の解決に向けた実践を組織できるようになる。 2、地域課題の実践的探求を通して、これから求められる地域のありようを見通すことができるようになる。										
授業の進め方										
本講義では地域活動の企画、運営などを行います。「他者と協同しながら取り組んでみること」(実践)と、「集団的に実践を振り返りみること」(省察)を往還しながら進め、最後に成果を発表します。活動実践報告会の感想はフィードバックをします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	本講義の進め方について説明をします。また社会活動に取り組んでいく上で求められる事柄について説明をします。					ガイダンス内容について復習しておくこと(4時間)			
2	グループづくり	社会活動に取り組んでいくグループをつくります。この時に互いに打ち解けあうことのできる関係づくりを目指します。					社会活動のグループで意見交換をしておくこと(4時間)			
3	日常生活の中の「違和感」や「困りごと」に耳を傾けあう	「違和感」や「困りごと」は、人びとのニーズに根差した活動を生み出す「源泉」であり、「宝物」です。じっくりと、他者の声に耳を傾けあいます。					日常生活の違和感について意見を出すこと(4時間)			
4	地域の課題発見とその整理	聴き取ったことをもとにしながら、地域の課題を出し合って、それを整理しあいます。					地域の課題を発見し整理しておくこと(4時間)			
5	地域の課題が生じるメカニズムを読み解く	抽出された地域課題が、どのような構造をもって私たちの前に現象をしているのか。課題が生じているメカニズムを読み解きあいます。					課題発生メカニズムについて整理しておくこと(4時間)			
6	地域の課題解決のためのアイデアを出し合う	課題解決のためのアイデアを出し合います。					課題解決のためのアイデアを出し合っておくこと(4時間)			
7	課題解決に向けたプロジェクトのテーマ設定	課題解決のためのプロジェクトのテーマ設定を行います。					プロジェクトのテーマについて設定しておくこと(4時間)			
8	課題解決に向けたプロジェクトの立案	専門家があるべき将来像(ブループリント)を描くような「計画」ではなく、多様なアクターが相互に学びあい課題解決の方向性を創造的に導き出していくプロセス重視の計画は如何にしたら可能かを考えます。					プロジェクトの立案を完了させておくこと(4時間)			
9	実施計画の立案	具体的に取り組んでみる実践の実施計画を立ててみます。					実施計画書の作成を完了させておくこと(4時間)			
10	実践をしてみる	実際に実践をしてみます。実践は講義時間外の週末等に行うこともあります。担当の教員の指示に従ってください。					実践をしてみてどうだったかをまとめておくこと(4時間)			
11	実践に内在する「矛盾」の意識化とその省察	必ずしも取り組んだ実践のすべてがうまくいくとは限りません。壁に突き当たった時、実践に内在する「矛盾」を意識化してみても、自分たちが暗黙化してきた認識枠組みを問い直してみましよう。					実践で生じた「矛盾」について整理しておくこと(4時間)			
12	新たな実践モデルの創造	これまで取り組んできた実践とは異なる質をもった新しい実践モデルが創造を目指します。					新しい実践モデルについて提案すること(4時間)			
13	新たな質の実践の展開	新しく産み落された実践モデルを具現化させ、新たな質をもった実践の展開を試みます。					振り返りを通してわかったことを意識し、再度、実践に取り組む準備をすること(4時間)			
14	自分たちが取り組んできた実践の展開過程を整理する	活動実践報告会に向けて、自分たちの取り組んできた実践がどのように展開してきたのか、その軌跡を活動ポートフォリオとしてまとめます。					取り組んできた実践の展開過程を整理すること(4時間)			
15	活動実践報告会：新しく創出された実践の意味を分かち合う	自分たちの取り組んできた実践をまとめて報告をします。そして実践の意味を色々な人と分かち合います。					活動実践報告会の準備を完了させて発表会に臨むこと(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
プリント・資料の配付をもってテキストに代えます。					レポート：50% 課題：50% S：地域活動の中心者として周囲を組織化し、探求姿勢をもって課題に取り組むことができている。A：地域活動の意義を理解して企画作りに参加しており、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：地域活動に積極的に参加し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：地域活動に参加し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
適時、必要な資料を紹介します。					前期中に開催するガイダンスに必ず出席のこと。連絡なき欠席の場合、原則履修を認めない。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：NPOや社団法人において、地域の支えあい体制づくりや地域活性化等の業務に携わった。					

科目名	経営管理論		学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	KA16001	研究室	W-12
担当者	鈴木 智之		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>経営管理とは、組織が利用できる経営資源(人・モノ・金・情報など)を有効活用して、経営計画を達成するための管理活動であり、企業の経営目的を実現するためのさまざまな業務プロセスを管理する活動のことです。経営管理とはどのような機能や意味を持っているのかを解説し、経営管理の基礎的知識を習得します。また、経営管理の意義を実感できるのは経営学の全体像がわかった後であることが多いため、初学者対象という本科目の特性を考えて、経営事例を多数紹介し、意義を感じとってもらいます。</p>										
学修到達目標										
<p>(1)経営管理論の変遷と主要な学説を把握し、説明することができるようになる。 (2)授業で学んだことを、現実の経営問題の把握や解決に応用することができるようになる。</p>										
授業の進め方										
<p>経営管理論は、歴史が古く、また学ぶ内容が多岐に渡ります。その体系的理解のために、前半と後半で総括をし、また小テストで理解の促進と知識の定着を図ります。小テストは、添削や採点して返却することでフィードバックを行います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	経営管理で学ぶ内容を説明します。				講義の要点を復習してください。(4時間)				
2	アメリカの管理論の変遷	アメリカにおける管理論の変遷を概略的に説明します。				科学的管理法について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
3	古典派管理論	テーラーの科学的管理法やファヨールの管理過程論について紹介します。				管理過程論について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
4	フォーディズムの意義	フォーディズムの仕組みとその意義について紹介します。				フォーディズムについて調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
5	人間関係論	経営管理において人間の側面をはじめて扱った人間関係論を紹介し、メイヨーとレスリスパーガーらによるホーンソン実験などを主に解説します。				人間関係論について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
6	行動科学的管理論(1)	人はいかにして動機付けられるか、を対象とする動機付け(モチベーション)理論を紹介し、マズローの欲求階層説、期待理論などを解説します。				モチベーション理論について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
7	行動科学的管理論(2)	リーダーシップ理論について紹介します。資質論・類型論・状況論などを解説します。				リーダーシップについて調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
8	中間総括	初回から前回まで行った講義を総括し、体系的理解を図ります。内容確認のための小テストを行います。				講義の要点を復習してください。(4時間)				
9	近代管理論	バーナードによる組織定義・協働システム・組織均衡論、サイモンの意思決定論などについて概説します。				バーナードの理論について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
10	企業の組織形態(1)	経営組織論について概説します。ライン組織、ファンクショナル組織、ライン・アンド・スタッフ組織の特徴について説明します。				基本的な組織形態について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
11	企業の組織形態(2)	現代の企業において採用されている職能部門制組織、事業部制組織などについて紹介します。マトリックス組織やネットワーク組織、分社化などについても解説します。				様々な組織形態について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
12	ダイバーシティ・マネジメント	人々の多様性を大事にすべきという社会的規範の変化によるダイバーシティ・マネジメントの重要性について解説します。				ダイバーシティについて調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
13	キャリア・マネジメント	バブル崩壊以後、注目されてきたキャリア・マネジメントについて説明します。				キャリアについて調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
14	組織ストレスのマネジメント	昨今、企業において高まっている、社員のメンタルヘルスへの関心を踏まえて、企業におけるストレスの問題とその管理について説明します。				組織ストレスについて調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	全ての回の講義を総括して、体系的理解を図ります。内容確認のための小テストを行います。				小テストの準備をしてください。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義プリントを配布します。				<p>小テスト：80% 出席レポート：20% S：授業内容を高度に理解して、発展的な課題に対応できる。A：授業内容を理解して、応用的な課題に対応できる。B：授業内容をおおよそ理解して応用的な課題にはほぼ対応できる。C：授業内容の6割程度を理解している。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「企業行動にみる経営学」船越克己ほか著(創成社)				<p>前後の週の講義と関連させながら講義を行うので、継続的に出席してください。【実務経験のある教員が担当】経営コンサルティング会社に勤務し、経営・人事指導に従事した。</p>						

科目名	リーダーシップ論	学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KA26002 TL25011	研究室	W-29	
担当者	畑井 治文	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日3限			
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A	B	C							
	総 観									
授業概要										
リーダーシップとは、個人が他の人や集団に社会的影響を与えるプロセスのひとつです。本講義では、リーダーシップを行動特性や環境要因をもとにいくつかのタイプに分類し、それぞれのリーダーシップの特徴について解説していきます。またリーダーに従うメンバーの視点、リーダーがメンバーに対して行うコーチングの視点など、日常生活や学生生活においても活用可能な情報を提供していきます。										
学修到達目標										
代表的なリーダーシップ理論を理解するとともに、各種のケースを学ぶことによって、リーダーシップについての知識や関心を広げられるようになるのはもちろん、自分自身が優れたリーダーになる手がかりを得ることが目標です。										
授業の進め方										
講義用プリントを配布して授業を進めます。教室での講義となりますが、可能な限り、インタラクティブな授業を展開するように心がけます。授業内で実施した小テスト・課題などについては、添削・返却・解説といった方法でフィードバックをする予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標などについて説明します。またリーダーシップを学ぶ意義、リーダーシップを發揮する要素について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、リーダーシップを發揮した経験を整理してきて下さい。(4時間)			
2	リーダーシップ理論の展開	資質アプローチ、行動アプローチという2つの視点から、リーダーシップ研究の流れについて解説します。					今回の内容を復習すると同時に、PM理論について調べてきて下さい。(4時間)			
3	リーダーシップの類型	PM理論などの理論的背景を解説した上で、リーダーシップを行動特性や環境要因をもとにいくつかのタイプに整理します。					今回の内容を復習すると同時に、フィードバックの与え方について考えてきて下さい。(4時間)			
4	日常におけるリーダーシップ	指示を重視するリーダーの行動特性について解説した上で、メンバーに対するフィードバックの与え方、報酬の与え方などの具体的手法を紹介しします。					今回の内容を復習すると同時に、心理的満足度を高めるための手法を考えてきて下さい。(4時間)			
5	日常におけるリーダーシップ	コミュニケーションを重視するリーダーの行動特性について解説した上で、メンバーに対する心理面でのサポート、育成面でのサポートなどの具体的手法を紹介しします。					今回の内容を復習すると同時に、ビジョン型リーダーと思う人物を列挙してきて下さい。(4時間)			
6	変革期におけるリーダーシップ	変革ビジョンを示すリーダーの行動特性について解説した上で、シンボリック行動、変革に伴うメンバーの負担を軽減する方法などの具体的手法を紹介しします。					今回の内容を復習すると同時に、信頼関係を構築するための手法を考えてきて下さい。(4時間)			
7	変革期におけるリーダーシップ	メンバーの自発性を引き出すリーダーの行動特性について解説した上で、メンバーとの信頼関係の構築、組織文化の変革などの具体的手法を紹介しします。					今回の内容を復習すると同時に、自分がどのようなメンバーかを分析してきて下さい。(4時間)			
8	リーダーに従うメンバー(フォロワー)	リーダーとメンバーの関係性を解説した上で、批判的思考、積極的関与という2つの視点をもとに、メンバー(フォロワー)をいくつかのタイプに整理します。					今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)			
9	ケーススタディ(リーダーシップの実践)	映像資料を用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。					小テストを復習すると同時に、相手の話を促す上で必要なポイントを考えてきて下さい。(4時間)			
10	コーチングマネジメント	コーチングのスキルのうち「聞き方の技法」について解説します。メンバーの話をうまく引き出すために、リーダーが取るべき具体的手法を紹介しします。					今回の内容を復習すると同時に、マズローの欲求5段階説について調べてきて下さい。(4時間)			
11	コーチングマネジメント	コーチングのスキルのうち「認め方の技法」について解説します。人々の欲求構造を整理した上で、メンバーの欲求を満たすために、リーダーが取るべき具体的手法を紹介しします。					今回の内容を復習すると同時に、質問と詰問の違いについて考えてきて下さい。(4時間)			
12	コーチングマネジメント	コーチングのスキルのうち「問い方の技法」について解説します。質問のタイプを整理した上で、メンバー自らが答えを見つけられるようになるために、リーダーが取るべき具体的手法を紹介しします。					今回の内容を復習すると同時に、指示・命令と提案の違いについて考えてきて下さい。(4時間)			
13	コーチングマネジメント	コーチングのスキルのうち「提案の技法」について解説します。メンバーが新しい視点を持てるようになるために、リーダーが取るべき具体的手法を紹介しします。					今回の内容を復習すると同時に、コーチングのスキルを実践してみてください。(4時間)			
14	ケーススタディ(コーチングの実践)	映像資料を用いながら、これまでの内容を振り返ります。また数名単位でコーチングのコミュニケーションを体感するためのグループワークを行います。					今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)			
15	講義全体のまとめ	定期試験対策プリントを用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。					小テストを復習すると同時に、定期試験に備えて下さい。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
講義用プリントを配布します。		出席レポート:20% 小テスト:30% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解して発展問題・課題が解ける。A:授業内容を理解して応用問題・課題が解ける。B:授業内容をおおよそ理解して応用問題・課題がほぼ解ける。C:授業内容の6割程度を理解している。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「[新版]グロービスMBAリーダーシップ」グロービス経営大学院編(ダイヤモンド社) 「リーダーシップ」小野善生著(ファーストプレス)		我々の身の回りでもリーダーシップを感じる場面は沢山あるはずですが、本講義で学んだ内容と普段の生活を関連付けるように努めて下さい。そうすることで講義への理解が深まります。								

科目名	人的資源管理（基礎）		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリノ	KL26003	研究室	W-12
担当者	鈴木 智之		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日3限		
関連資格	産業カウンセラー、高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
この講義では「企業の人事管理の現状と今後」、「人事管理に関する法令」を経営と労働者の双方の視点から解説します。特に、人事管理の基盤となる人事制度や労働基準法などの基礎事項を重点的に取り扱います。なお、人的資源管理は、学ぶ内容が多岐に渡ること、また経営学的観点と労働法的観点の両方が含まれることから、理解が細切れにならないよう、前半、後半、全体の計3回の総括を行い、体系的理解がなされるように進めます。また、身近な経営事例を多数紹介します。										
学修到達目標										
(1)組織の一員として人事管理を行う際に必要な基礎的知識、また個人の労働を考える上での基礎的知識を習得する。(自らの身を企業から守るための基礎的知識を習得することも含まれます) (2)企業経営を人的資源の面から考えることができる。										
授業の進め方										
メソフィアで毎回出席確認と適宜小テストを実施しますので、スマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかを持参してください。体系的理解を確認する小テストを行います。小テストは、添削や採点して返却することでフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	人的資源管理とそのフレームワーク	人的資源管理とは何か、経営においてどのように位置づけられるか、について説明します。				人事管理の話題について情報を収集してください。プリントを復習して下さい。(4時間)				
2	社員区分制度	人事制度の基盤である社員区分制度について解説します。				日本の学歴別賃金の違いについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
3	社員格付け制度 その概念と職能資格制度	人事管理の基盤である社員格付け制度に関して、日本の代表的な職能資格制度を解説します。				職能資格制度について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
4	社員格付け制度 職務分類制度と人事制度の複線化	人事管理の基盤である社員格付け制度に関して、アメリカの代表的な職務分類制度を解説します。また、人事制度の複線化についても解説します。				職務分類制度について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
5	労働時間管理 労働時間と関連する法令・用語、所定外労働とその手当	労働時間管理に関して、労働基準法を解説します。また、関連する用語を解説します。さらに、36協定など、時間外労働のための手続と、時間外労働の際の割増賃金について解説します。				労働基準法の第4章を読んで下さい。36協定について調べて下さい。(4時間)				
6	労働時間管理 所定外労働とその手当、年次有給休暇	労働時間管理に関して、前回の続きと年次有給休暇について解説します。				日本の有給休暇について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
7	労働時間管理 その他の休日・休暇と新しい労働時間制度	労働時間管理に関して、休暇制度や柔軟な労働時間制度などについて解説します。				ホワイトカラーエグゼンプションについて調べて下さい。(4時間)				
8	前半の総括と体系的学習	これまでに学んだ内容を再度整理して、体系的な学びにつなげます。また、体系的理解を確認するために、小テストを実施します。				小テストの準備をしてください。(4時間)				
9	賃金管理 労働費用と総額人件費管理、個別賃金管理(昇給)	賃金管理に関して、総額人件費管理の観点から人件費について解説します。また、定期昇給とベースアップについて解説します。				総額人件費管理、定期昇給とベースアップを調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
10	賃金管理 個別賃金管理(昇給、手当、賞与)	賃金管理に関して、前回の続きと、手当と賞与(ボーナス)について解説します。				日本における手当と賞与の動向について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
11	採用管理	企業の採用管理について解説するとともに、学生の就職活動と関連させて説明します。				大学生の就職状況を調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
12	仕事と生活の調和 ワークライフバランス	ワークライフバランスに関して、特に育児関連(育児休業等)に焦点を当てて解説します。				育児休業、短時間正社員制度について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
13	非正社員と外部人材の活用	正社員以外の人材(非正社員・外部人材等)の活用に関して、その背景や課題について解説します。				正社員以外の人材の活用の状況を調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
14	後半の総括と体系的学習	前半の総括講義回の後から、これまでに学んだ内容を再度整理して、体系的な学びにつなげます。また、体系的理解を確認するために、小テストを実施します。				小テストの準備をしてください。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	これまでの講義全体をレビューします。また、全体を通した体系的理解を確認するために、小テストを実施します。				プリントを復習して下さい。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
プリントを配布します。		小テスト:55% 出席レポート:45% S:授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「マネジメント・テキスト人事管理入門(第2版)」今野浩一郎・佐藤博樹著(日本経済新聞社)		【実務経験のある教員が担当】経営コンサルティング会社に勤務し、経営・人事指導に関する業務に従事した。								

科目名	人的資源管理（展開）		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	KA36004	研究室	W-12
担当者	鈴木 智之		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
人的資源管理 では、人的資源管理 で扱った基礎事項以外に展開し、細かく「企業の人事管理の現状と今後」「人事管理に関連する法令」などを学びます。具体的には「配置と異動」「教育訓練」「人事考課」「昇進管理」「福利厚生」「退職金」「企業年金」「退職と解雇」などを学びます。人的資源管理 よりも内容が多岐に渡るため、体系的理解を心がけてください。講義においても、前半、後半、全体の計3回総括を行い、体系的理解がなされるように進めます。また、身近な経営事例を多数紹介します。										
学修到達目標										
(1)組織の一員として人事管理を行う際に必要な応用的知識、また個人の労働を考える上での応用的知識を習得する。(自らの身を企業から守るための応用的知識を習得することも含まれます)										
(2)企業経営を人的資源の面から深く考え、問題と解決策を提示することができる。										
授業の進め方										
メソフィアを用いて毎回出席確認と適宜小テストを実施しますので、スマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかを持参してください。小テストは、添削や採点して返却することでフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	社員格付け制度の概要	人的資源管理 で扱った社員格付け制度をレビューします。				人的資源管理 の職能資格制度を読んで下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
2	配置・異動管理	日本的な配置・異動施策である出向と転籍について解説します。また、会社指令型ではなく、本人希望に基づく異動である社内公募制度・社内FA制度等について解説します。				出向と転籍、社内公募制度・社内FA制度を調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
3	教育訓練管理	日本企業の教育訓練の実際について解説します。				OJTとOff-JTとは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
4	人事考課 ルールと人事考課制度の実際	日本企業における人事考課の特徴と課題について説明します。				日本企業の人事考課における課題について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
5	人事考課 目標管理制度	評価制度としての目標管理制度の特徴と課題について説明します。				目標管理制度について、あらかじめ調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
6	昇進管理	日本企業の昇進管理の特徴と課題について説明します。				日本企業の昇進管理における課題について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
7	前半の総括と体系的学習	これまでに学んだ内容を再度整理して、体系的な学びにつなげます。また、体系的理解を確認するために、小テストを実施します。				小テストの準備をしてください。(4時間)				
8	福利厚生管理 法定福利と法定外福利、退職金制度	社会保険・労働保険等の法定福利厚生と法定外福利厚生について説明します。また、退職金制度について説明します。				社会保険・労働保険と退職金制度を調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
9	福利厚生管理 企業年金制度と確定拠出型年金	企業年金制度と日本の年金制度などを説明します。				401Kとは何かを調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
10	退職管理 雇用調整と解雇	雇用調整や解雇といった、いわゆるリストラ施策について説明します。				整理解雇の4原則とは何かを調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
11	退職管理 定年退職と継続雇用	定年退職や高齢者の継続雇用制度について解説します。				再雇用制度と勤務延長制度の違いを調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
12	労働組合と労使関係	日本の労使関係の歴史を概説するとともに、労働組合について解説します。				ナショナルセンターとは何かを調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
13	労働市場の分析 失業率と有効求人倍率	雇用動向を把握する上で重要な指標となる完全失業率と有効求人倍率について説明します。				完全失業率と有効求人倍率の推移について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)				
14	後半の総括と体系的学習	前半の総括講義の後から、これまでに学んだ内容を再度整理して、体系的な学びにつなげます。また、体系的理解を確認するために、小テストを実施します。				小テストの準備をしてください。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	これまでの講義全体をレビューします。また、全体を通した体系的理解を確認するために、小テストを実施します。				プリントを復習して下さい。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
プリントを配布します。		小テスト:60% 出席レポート:40% S:授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「マネジメント・テキスト人事管理入門(第2版)」今野浩一郎・佐藤博樹著(日本経済新聞社)		【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:経営コンサルティング会社に勤務し、経営・人事指導に関する業務に従事した。								

科目名	日本経済史		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバ'リング	KA36005 TB36048	研究室	W-22
担当者	木村 晴壽		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日1限、火曜日1限		
関連資格	中一(社会)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
日本の歴史を振り返ってみて、経済はどのように発展して現在に至っているのか、言葉を換えると、現代の日本経済はどういう積み重ねの結果としてあるのか。この問いに答えようとするのが、日本経済史です。現代の日本は、世界トップレベルの規模を持つ経済大国になっていますが、そこには「日本的」としか表現のしようがない経済構造があります。細かな現象にとらわれず、日本経済の歴史を大きな流れで把握しようとしたときに、理解できるはず。毎回、前回の内容をフィードバックします。										
学修到達目標										
今年度は、戦後日本の経済を中心に話を進めるので、日本が戦後の混乱を経て高度経済成長を経験し、いわゆる経済大国になった過程、およびその後の低成長期からバブル経済・不況期へと転換する流れを大づかみに理解することが目標となります。										
授業の進め方										
基本的には教員からの説明を主体とした講義形式で進めます。アウトキャンパス等は計画していません。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	講義全体の概要説明	ガイダンスと講義に向けての基礎知識の説明				事前にテキスト1頁を熟読すること(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)				
2	財閥解体	戦後GHQが主導した経済改革の柱である財閥解体を詳述する				テキスト2~3頁を熟読する(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)				
3	集中排除と逆コース	集中排除が、米本国の政策転換で挫折する過程を詳述する				テキスト3~6頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
4	未曾有のインフレーション	戦争直後に日本が経験した驚異的なインフレとその原因を詳述する				テキスト6~8頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
5	金融資本集団の形成	経済復興が金融機関を核に進み、企業集団が形成される過程を詳述する				テキスト8~11頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
6	傾斜生産方式	経済復興の核と位置づけられた傾斜生産方式の内実を詳述する				テキスト11~13頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
7	ドッジライン	インフレを沈静化させるための荒療治、ドッジラインを詳述する				テキスト13~14頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
8	神武景気と高度経済成長	朝鮮戦争から高度経済成長へ、経済に弾みがつく過程を詳述する				テキスト15~19頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
9	好不況の波と岩戸景気	世界的に類例のない高度経済成長の中味を詳述する				テキスト19~22頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
10	いざなぎ景気と景気後退	最後の大型景気がいざなぎ景気とその後の経済原則について詳述する				テキスト22~25頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
11	ニクソンショックとオイルショック	高度経済成長の終焉を決定づけた二つの経済激変について詳述する				テキスト25~28頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
12	金融資本集団の形成	高度経済成長の過程で、どのように企業集団が形成されたかを詳述する				テキスト28~36頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
13	バブル経済と金融界	バブル経済の全貌と、金融界の対応について詳述する				テキスト42~50頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
14	日米経済摩擦	政治問題化した日米経済摩擦の経緯と大店法問題について詳述する				テキスト50~55頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
15	総括	戦後日本の経済動向を総括する				テキスト全体を通読しておくこと(2時間)。事後、授業での総括を復習(2時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「日本経済史」木村晴壽著松本大学総合経営学部編(生協で購入してください。)				レポート:20% 定期試験:80% S:授業内容を十分に理解し、日本の経済発展について解説できる。A:授業内容を理解している。B:授業内容をおおよそ理解している。C:授業内容を6割程度理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「日本経済史」石井寛治著(東京大学出版会) 「経済史入門」塩澤君夫・近藤哲生著(有斐閣新書)等				期末の試験は、かなり難易度を高く設定しているため、普段の講義で集中して理解しようとする姿勢が必要です。						

科目名	企業取引法		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KA36006 TB36050	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
<p>仕事に関する法律として商法があり、特にその中でも商法総則と商行為法に重点を置いて学んでもらいます。これらは、広い商法領域の中で商売に関係した規定が多く、最も基本の部分でもあり、特にビジネス・観光・福祉・地域など、あらゆる職種に密接に関わってくるものです。将来社会人になる上で必ず修得して欲しい法律です。</p>										
学修到達目標										
<p>商法総則と商行為法には企業人のみならず福祉や地域・観光にも関わってくる規定がたくさんあります。仕事に関する法律は、社会人として社会活動をする上で必要不可欠なことです。これらの知識を修得することによって、社会に貢献できるようになることを目的としています。</p>										
授業の進め方										
<p>将来必要となる商売に関する法律を学んでもらうことから、必要に応じて新聞記事などを取り、理解してもらいながら進めていきます。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、商法の意義と商法総則と商行為法の位置づけを学ぶ				事前に商法の特徴を調べる。事後学修として、商法の領域を体系的にまとめる。(4時間)				
2	商人	商法の適用範囲・商人の概念・商行為概念・商人適格について学ぶ				事前学修として、商人について調べる。事後学修として、その法的規定についてまとめる。(4時間)				
3	営業の意義と態様	企業活動の中核とも言える営業に関する法律の規定				事前に、営利活動について調べる。事後学修として、授業内容を整理してまとめる。(4時間)				
4	商号	商号の意義・選定、商号の登記・譲渡、名板貸				事前学修として、商号の意義を学んでおく。事後学修として、商号の活用をまとめる。(4時間)				
5	商業使用人	商業使用人の種類と代理権との関係				事前に商業使用人について調べる。事後学修として、権限について理解する。(4時間)				
6	商業帳簿	商業帳簿の種類と意義および法的規制について				事前に商業帳簿の種類を調べる。授業後どのように規制されているかまとめる。(4時間)				
7	代理商	代理商の種類と役割				事前学修として、代理商とは何かを調べる。授業後、代理商の活用を理解する。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。				事前に今までの復習を行う。事後学修として、理解が不十分であった所を改めて学ぶ。(4時間)				
9	商行為通則	商行為通則の全体像と位置づけ				事前学修として、商行為の内容を調べる。事後学修として、授業内容をまとめる。(4時間)				
10	商人間売買	商法の売買に関する規定の意義と民法の規定との関係				事前に商法の売買規定を調べる。事後学修として、商法と民法を比較してまとめる。(4時間)				
11	消費者保護	消費者保護法を構成する法律、およびクーリング・オフなどの重要規定				事前に消費者問題について調べる。事後学修として、特徴を法律ごとにまとめる。(4時間)				
12	仲立人	他人間の商行為の媒介することの意義と利用形態				事前に仲立人について調べる。事後学修として、利用形態をまとめる。(4時間)				
13	問屋	問屋と準問屋の意義と規定				事前学修として、利用例を調べる。事後学修として、問屋の義務と権利を整理する。(4時間)				
14	その他の営業	物品運送契約・旅客運送契約・運送取扱営業・倉庫取引・場屋取引の特徴と意義				事前学修として、特徴を調べておく。事後学修として特徴と規定を関連づける。(4時間)				
15	保険	保険の意義と損害保険・生命保険の仕組み				事前に保険の種類を調べる。事後学修としてさまざまな規制を保険ごとにまとめる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「新商法入門」國友順市・西尾幸夫ほか著國友順市・西尾幸夫編編(嵯峨野書院) ISBN:4782304455(生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158(生協で購入してください。)</p>				<p>定期試験：90% 出席レポート：10% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展の問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
<p>「商法総則・商行為法」田村諱之輔・平出慶道著(青林書院)</p>				<p>社会人として必要となる法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後に役立ててください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。</p>						

科目名	労働と法（総合経営学部）		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	KA36007 TL36051	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日3限、水曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
仕事に関する法律として労働法があり、これらは、将来社会人になる上で必ず修得して欲しい法律です。労働者としてどのような権利や義務があるのか等、実社会で働く際に役立てていただきたいと思ひます。										
学修到達目標										
本講義を受けることにより、労働上のトラブルに遭わないための予防策、および解決策を学び、労働についての正確な知識を学び、社会人として十分活躍できるようになることを目的とします。										
授業の進め方										
将来必要となる労働に関する法律を講義する。必要に応じて新聞記事などを配り、理解してもらいながら進めていきます。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	労働法とは何か	労働法の基本構造などを学んでもらいます。				事前学修として労働法とは何かを調べる。事後学修としてノートを整理してまとめる。（4時間）				
2	労働者と使用者とは誰か	労働者と使用者とは誰なのかを学んでもらいます。				事前に教科書の内容を整理する。授業後は労働者と使用者の特徴をまとめる。（4時間）				
3	労働法とマルチチュード	マルチチュード、ジェンダー、高齢者、障害者と労働法のかかわりについて説明する。				事前に教科書の内容を整理する。授業後はに各々の特徴をまとめる（4時間）				
4	労働契約の成立と労働条件決定のプロセス	労働契約の基本について説明します。				事前学修として契約の基本について調べる。講義後契約の内容をまとめる。（4時間）				
5	労働者と使用者の権利義務	労働者と使用者の権利義務の具体的内容について説明します。				事前学修として権利義務について調べる。事後学修として両者の関係をまとめる。（4時間）				
6	労働契約内容と個別の変更	人事制度と人事異動について説明します。				事前学修として人事について調べる。事後学修として制度をまとめる。（4時間）				
7	労働契約内容の集団的変更	労働協約、就業規則、企業組織再編等について説明する。				事前学修として調べてる。事後学修として各種規定を整理する。（4時間）				
8	労働契約の当事者の変動	企業の組織変動と労働契約について説明します。				事前に企業の組織変動について調べる。授業後には組織変動についてまとめる。（4時間）				
9	労働契約の終了	解雇、定年、自己都合による退職について学んでもらいます。				事前に各制度を調べる。事後学修として整理してまとめる。（4時間）				
10	賃金に関する規制	最低賃金、賞与、退職金について学んでもらいます。				事前学修として賃金とは何かを調べる。事後学修として各賃金の意義についてまとめる。（4時間）				
11	労働時間規制の基礎	労働時間について説明します。				労働時間の概念について事前に調べる。授業後に適正な労働時間についてまとめる。（4時間）				
12	労働時間規制の現在	フレックスタイム制、裁量労働制、休日、有給休暇等について説明する。				事前に各制度について調べる。事後学修として違いについてまとめる。（4時間）				
13	災害補償	労働災害と補償制度について学んでもらいます。				事前に労働災害について調べる。事後学修として補償制度についてまとめる。（4時間）				
14	団結権と不当労働行為救済制度	団結権の保障と不当労働行為救済制度の内容について説明します。				事前に団結権についてまとめる。授業後には救済制度について整理する。（4時間）				
15	団体交渉権・労働協約・争議権	団体交渉権・労働協約・争議権について説明します。				事前に各権利について調べる。授業後は相互のかかわりについてまとめる。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「労働法の基本」本久洋一・小宮文人編（法律文化社） ISBN:978-4-589-04007-7（生協で購入してください。）プリントを配布します。				定期試験：90% 出席レポート：10% 出席レポート：10% 定期試験：90% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「労働法入門」水町勇一郎著（岩波新書） ISBN：9784004313298				将来必要となる法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生生活および社会生活に役立てて下さい。講義計画に該当する内容をテキストから探し、事前に読んでおいてください。						

科目名	生産管理論		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	KA36008	研究室	W-23	
担当者	田中 正敏		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日4限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
この講義では、まず、経営とは何かについて概観します。次に、生産管理の歴史を述べます。それに基づいて、モノやサービスの製造から販売までのサイクルについて説明します。モノやサービスの管理を行うための手法として、需要予測、在庫管理、生産計画を述べます。また、モノを作る生産計画、プロジェクトの管理、物流管理、サプライチェーン・マネジメントを説明し、さらに、生産管理と情報通信技術との関連について説明します。最後に、今後のオペレーティング・マネジメントの動向を説明します。											
学修到達目標											
モノづくりの流れ、およびオペレーションズの考え方、捉え方の習得											
授業の進め方											
大枠は教科書を用いて授業を進める。場合によっては、プリントも配布およびパワーポイントの資料を使用する。講義の時間を利用して、進捗度管理(小テスト、レポート)を行い、評価し、学生に返却(フィードバック)する。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の進め方、学習方法					生産管理位置付けと経営とは・まとめ(週に4時間必要)				
2	経営学の理解	経営学とは何か					経営とはの習得と生産管理の歴史の準備・まとめ(週に4時間必要)				
3	生産管理の歴史(1)	アメリカ フォード、GMの生産方式					海外の生産方式の習得と国内の生産方式の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
4	生産管理の歴史(2)	トヨタの生産方式およびリーン生産方式					国内の生産方式の習得と製販サイクルの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
5	製販サイクル	生産プロセスの形体、日程計画					製販サイクルの習得と需要予測の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
6	需要予測	移動平均法、指数平滑法など					需要予測の習得と在庫管理の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
7	在庫管理	2ピン方式、定期発注方式、定量発注方式など					在庫管理の習得と工程管理の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
8	工程管理	スケジューリング					工程管理の習得と生産管理の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
9	生産管理(1)	MRP(資材所要量計画)					MRPの習得とJITの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
10	生産管理(2)	JIT(ジャストインタイム)					JITの習得と制約条件の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
11	生産管理(3)	制約理論					制約条件の習得と物流管理の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
12	物流管理	物流の制度や取り決め					物流管理の習得とSCMの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
13	サプライチェーン・マネジメント	概念(定義や用語など)					SCMの習得とITと生産管理の関連性の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
14	生産管理と情報通信技術	IT(情報技術)を駆使した生産管理について					ITと生産管理の関連性の習得と将来像の見地について・まとめ(週に4時間必要)				
15	生産管理の今後の動向	オペレーションズの今後の動向と発展について					今後の動向と発展の習得・まとめ(週に4時間必要)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「データから読み解く経営学」田中正敏著(創成社) ISBN:978-4-7944-2442-6(生協で購入してください。)2005年 予習・復習を積極的に行うこと。					定期試験:80% 出席レポート:20% S:講義中に対して積極的に質問をし、到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる。A:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる。B:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる。C:到達目標値を理解、各回の授業で学んだことを理解できる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義中に連絡する。					この科目は専門基礎科目であり、あとの「マネジメント」の専門応用領域に続くので、できるだけ履修してもらいたい。						

科目名	会社法		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	KA36009 TB36053	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	月曜日3限、水曜日2限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A		B		C				
		総 観								
授業概要										
会社というものは、商売をする上で取引主体となるものです。それ故に法律は様々な条文を用いて厳格に規定しています。本講義では、株式会社を中心に会社法の骨組を学んでいただきます。最初は会社の種類などの基本的な事を学んでもらい、次いで株式会社の株式や機関について、そして会社が設立されてから解散・清算に至るまでを講義します。										
学修到達目標										
本講義を受けることによって、将来自分が就職したい会社がどのように規定されているのかを理解し、地域社会の貢献および企業への貢献に寄与できるようになることを目的としている。										
授業の進め方										
本講義では教科書と六法を中心に講義室で行いますが、必要に応じて判例・新聞記事などの補助教材を随時使用します。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、会社法の意義と商法上の位置づけ				事前に会社法とはどのような法律が調べる。講義後、位置づけを体系的にまとめる。(4時間)				
2	会社制度1	会社の法律上の意義として法人性・社団性・営利性				事前学修として、会社の意義について調べる。事後学修として、会社の特徴をまとめる。(4時間)				
3	会社制度2	株式会社・合名会社・合資会社・合同会社の特徴				事前学修として、会社の種類を調べる。事後学修として、違いについて比較検討する。(4時間)				
4	会社法総論	会社法の沿革と会社法総則として商号・商業使用人・営業・登記の規定				事前学修として、会社法の変遷を調べる。事後学修として、総則内の規定をまとめる。(4時間)				
5	株式会社の設立	株式会社の設立の仕方、定款の作成、設立の態様、設立についての責任				事前にどうしたら株式会社が作れるか調べる。講義後、手続きと諸規定をまとめる。(4時間)				
6	株主	株主の地位と権利、株主平等の原則				事前に株主とは何かを調べる。事後学修として、株主の諸権利についてまとめる。(4時間)				
7	株式	株式の意義、株式の種類、株式の消却・併合・分割・無償割当て				事前に株式の意義を調べる。事後学修として、個々の違いについて整理してまとめる。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。				事前に今までの復習を再度行う。講義後、理解が不十分であった所を改めて学ぶ。(4時間)				
9	株式会社の機関1	株主総会の意義と役割				事前に株主総会の事例を調べる。講義後、株主総会の権限についてまとめる。(4時間)				
10	株式会社の機関2	取締役会・監査役・会計監査人などの機関の意義				事前に株式会社にある機関を調べる。事後学修としてそれぞれの機関の役割をまとめる。(4時間)				
11	新株の発行	新株の発行のプロセスと目的、そして法的規制				事前に、会社の資金調達方法を調べる。講義後、多様化するプロセスをまとめる。(4時間)				
12	株式会社の計算	株式会社の計算として、計算規定の目的、計算書類の内容と手続きの詳細				事前に計算書類の内容を調べる。事後学修として、プロセスと規定をまとめる。(4時間)				
13	組織の再編・変更1	組織の再編・変更である事業譲渡と合併の意義・種類・制限・手続きの概要				事前学修として、組織の再編・変更の種類を調べる。事後学修として、規定を整理する。(4時間)				
14	組織の再編・変更2	組織の再編・変更である会社分割・株式交換・組織変更の意義・種類・制限・手続きの概要				事前学修として各制度の基礎をまとめる。事後学修として、比較検討してまとめる。(4時間)				
15	解散・清算	倒産後の処理についてどのような種類があるか学ぶ				事前学修として、倒産とは何かを調べる。事後学修として、各種制度の違いをまとめる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「会社法概論」國友順市ほか著國友順市編編(嵯峨野書院) ISBN:978-4-7823-0566-9(生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158(生協で購入してください。)				定期試験:90% 出席レポート:10% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨んでください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。						

科目名	労働安全衛生法（総合経営学部）		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	KA36010	研究室	非常勤	
担当者	松田 裕成		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格	産業カウンセラー				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度（読替科目）								
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、まず労働安全衛生法が社会に対してどのような役割を担った法律であるのかについて、世の中の動向や関連する報道等を紹介しながら解説します。次に、労働基準法など労働安全衛生法と関連する法律との関係性について解説し、法律が定義する主な用語について講義します。そのうえで、事業者の講ずべき措置や確立すべき安全衛生管理体制等、事業者が果たすべき法的な義務並びに労働者の法律上の権利及び義務について講義を進めます。											
学修到達目標											
細かな知識の丸暗記は必要ありませんが、労働安全衛生法の大枠をつかみ、この法律の目的をしっかりと理解できるようにすることを目標とします。											
授業の進め方											
講義は指定したテキストを用います。法律科目なので法律用語や専門用語が頻繁に出てきますが、講義の中ではそれらの意味や定義はテキストに示されたものを用います。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	法体系を理解する	法体系の中の労働法 労働法体系の中の労働安全について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
2	事業場と業種	業種は事業場単位で個別に、事業者と労働者 事業者の責務と労働者の責務について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
3	労働災害防止計画	政府が作る基本対策、計画の公表と変更、中高年齢労働者の安全対策について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
4	安全衛生管理体制その1	全体像、衛生管理者、安全管理者、産業医について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
5	安全衛生管理体制その2	作業主任者の選任、下請混在事業場での安全管理体制、安全委員会等について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
6	労働者の危険と健康障害を防止するために	事業者がすべきこと、建設業における救護措置について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
7	機械等及び有害物に関する規制	危険な作業をする機械等に関する規制、有害物質に関する規制、有害物質の譲渡、提供について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
8	派遣労働者の安全衛生	派遣労働者の安全衛生はどうなっているのか、派遣元・派遣先の責任について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
9	安全衛生教育	安全衛生教育の目的、能力向上教育、教育の時間と費用について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
10	健康の保持増進のための措置	健康診断は会社の義務か、健康診断の時間と費用、自発的健康診断 職場のメンタルヘルスケアについて講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
11	快適な職場環境の形成のための措置	快適な職場とは、職場環境推進計画の認定制度、VDTの作業時間と作業管理について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
12	安全衛生管理計画等	安全衛生改善計画の作成、労働安全コンサルタントと労働衛生コンサルタント、厚生労働大臣などへの届出について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
13	事業者の責任等	事業者の四重責任、違反行為に対する罰則 安全配慮義務について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
14	近年の法制度改革	法改正のあった部分を、フォローします。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
15	まとめ	全体をもう一度見直し、法体系をつかみます。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。（4時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「「ここからはじまる早わかり労働安全衛生法」」近藤恵子・小林浩志・中山寛之著（東洋経済新報社） ISBN:978-449227058（生協で購入してください。）					定期試験：80％ 小テスト：20％ S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60％程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
なし					総合経営学部の学生諸君にとって、将来の職場の安全衛生は、密接にかかわる事柄です。快適な環境の中で働くことを考える人は是非受講して下さい。						

科目名	所得税法		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KA26011	研究室	W-16
担当者	田中 浩		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>「所得税」は個人の収入に対して課される税金です。これは、所得税が誰しもが避けて通ることができない税金であること意味しています。この講義は、所得税の専門用語や基本的な仕組みを理解した上で、実際に生活において、どのような形で所得税が課されるのかを網羅的に取り上げ、所得税に関する基本的な知識を習得します。</p>										
学修到達目標										
<p>所得税の基本的仕組みを理解し、その課税・納税方法について、そのポイントを説明できるようになることが目標です。多様多岐にわたる所得税について基本となる用語や概念を把握することも目標です。</p>										
授業の進め方										
<p>所得税の専門用語や基本概念、仕組み等を順に講義し、全体像を概観します。あわせて実際の納税事例、ニュース記事、判例など取り上げます。さらに個別およびグループワークによって論点を整理する機会を設けることで、理解を深めることを目指します。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	税金・所得税の大まかな流れを確認する				税金の種類を調べておく 課題問題(4時間)				
2	所得税の概要	課税所得や計算期間、納税義務者など所得税の基本概要を学習する				課税所得について調査する。 納税義務者について整理する。 (4時間)				
3	10種類の所得	10種類の所得の内容と特徴を学習する				10種類とは何か調べておく。練習 問題プリントを解く。 (4時間)				
4	利子所得・配当所得・不動産所得	利子所得・配当所得・不動産所得の内容と計算方法を学習する				利子所得について調査する。 不動産所得の計算をしてみる (4時間)				
5	事業所得	事業所得の内容と計算方法を学習する				事業所得について調査する。 課題問題・配布プリントを解答して みる				
6	事業所得	事業所得の内容と計算方法を学習する				事業所得の例外について調査する。 所得を計算してみる (4時間)				
7	給与所得	給与所得の内容と計算方法を学習する				給与所得について調べておく。 給与所得を計算してみる (4時間)				
8	退職所得・山林所得・譲渡所得	退職所得・山林所得・譲渡所得の内容と計算方法 小テスト				山林とは何か調べておく。 退職所得の特性について確認して いおく。				
9	一時所得・雑所得・課税標準	一時所得・雑所得の内容と計算方法、課税標準の求め方				雑所得とは何か調べておく。課税 標準について整理してみる。 (4時間)				
10	所得控除	雑損控除・医療費控除・社会保険料控除などの計算方法				控除とは何か調べておく。 控除額について整理してみる。 (4時間)				
11	所得控除	寡婦控除・寄付金控除・基礎控除の計算方法				寡婦控除とは何か調べておく。 寄付金控除額について整理して みる。(4時間)				
12	所得控除	扶養控除の計算方法				扶養の概念について調べておく。 実際の問題を解答してみる (4時間)				
13	税率・税額控除・源泉徴収	税率・税額控除・源泉徴収の計算方法				税率について調査しておく。 全体像を再度整理してみる。 (4時間)				
14	年末調整	年末調整の計算方法				扶養控除申告書について調べて おく。年末調整について整理して みる。				
15	確定申告	確定申告書の構造 全論点の復習 小テスト				確定申告について調べておく。 その全体像を復習し整理しておく。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義開始時にプリントを配布します				<p>出席レポート：30% 小テスト：70%</p> <p>S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「スタンダード所得税法」佐藤英明著(弘文堂)				<p>課題を解き、その後ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。またメソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。</p>						

科目名	金融論		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリノ	KB26012	研究室	非常勤
担当者	橋本 要人		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義は、金融の仕組みについて、現実の動きを念頭におきながら「生きた知識」として習得し、日本の金融面の特徴について理解を深めることを目的とします。日本の金融システムは、近年、大きく変貌してきました。とりわけ、2013年以降は、安倍内閣の経済政策の下での金融緩和政策が内外の注目を集めています。こうした動きも踏まえ、日本の金融システムや金融政策などについて解説します。										
学修到達目標										
新聞・ネットの金融関連記事が理解できる程度の金融動向や考え方の基本を習得し、基本的な金融知識を基に金融面から政治・経済情勢を観る目を養うことを目指します。										
授業の進め方										
教室での講義を原則とし、プロジェクターや配布資料等に基づいて講義を行います。また、必要に応じて講義内容に関連したその時々のトピック(金融常識と思われる時事問題)も資料を配布や提出されたレポートをベースにディスカッションも行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス、金融取引の意義	授業概要、学習目標、授業の進め方のほか、金融取引の意義(テキスト第1章1.)について考えます。授業外学修は週に4時間必要。				経済入門で金融について学んだ内容を復習し、自分が関心のある金融問題を探してください。				
2	金融制度	金融取引の円滑な実現を支えるための仕組みや組織、さらにはそれらに関わるルールや規制を学びます。併せて、金融資産(商品)の特徴についても観ます。				テキスト第1章2.審査と履行確保、3.金融取引の様式。授業外学修は週に4時間必要。				
3	決済機構と貨幣	決済とは何かを考え、銀行間の資金決済の仕組みを理解します。また参考図書(1)で日本の決済システムを広く概観します。				テキスト第2章1.決済機構と貨幣および参考図書(1)。授業外学修は週に4時間必要。				
4	信用創造メカニズム	信用創造の仕組み、ハイパワードマネーの意味、マネーストック概念を学びます。				テキスト第2章2.信用創造のメカニズム。授業外学修は週に4時間必要。				
5	銀行危機の可能性	バブル崩壊後の銀行危機を振り返りながら、銀行危機について考えます。またそれらを未然に防ぐための方策についても考えます。				テキスト第2章3.銀行危機の可能性。授業外学修は週に4時間必要。				
6	金融政策の目標	日本銀行法の目的規定を理解し、その意味を考えます。参考図書(1)を利用します。必要部分はコピーを配布します。				テキスト第3章1.金融政策の目標および参考図書(1)。授業外学修は週に4時間必要。				
7	金融政策の実際	参考図書(1)も利用しながら、日本銀行のオペレーション、操作目標、金利コントロールなどの理論面を学びます。またアベノミクスで利用されている非伝統的金融政策(詳細は9回目)についても触れます。				テキスト第3章2.金融政策の実際および参考図書(1)。授業外学修は週に4時間必要。				
8	金融政策の効果	金融政策の有効性を確保する条件は何か、現代経済学の理論面に触れながら考えます。短期金利の操作を通じて利回り曲線に影響を与える仕組みも学びます。				テキスト第3章3.金融政策の効果。授業外学修は週に4時間必要。				
9	日本銀行のバランスシート	日本銀行バランスシートは第7回講義後配布しますので、アベノミクス前後の比較について第8回講義までにレポート提出してもらいます。それをベースに一緒に考えます。				日本銀行のバランスシートを見て、そこから分かることをレポートします。事前事後に4時間必要				
10	資産価格とバブル	金融監督規制の理論編。ミクロ経済学的なフレームワークを使って、金融活動への政府関与の目的、モラルハザードと政府の失敗、新しい金融規制の概要、について説明します。				テキスト第4章資産価格とそのバブル。授業外学修は週に4時間必要。				
11	日本の企業統治	このところ日本の経営への変革として新聞紙上を賑わせている企業統治について、金融市場面から考えます。新聞やインターネットで「コーポレート・ガバナンス」について確認しておいてください。				テキスト第5章日本の企業統治。授業外学修は週に4時間必要。				
12	金融機能の分解と高度化	金融革新の進展、デリバティブ、証券化の動きについてみていきます。そしてそれらに潜むリスクについても考えます。				第6章金融機能の分解と高度化。授業外学修は週に4時間必要。				
13	金融規制監督	自己資本規制とセーフティネット、資本市場ルール、金融危機後の規制監督を具体的にみていきます。				テキスト第7章金融規制監督。授業外学修は週に4時間必要。				
14	電子仮想通貨ビットコイン	2014年2月ビットコイン最大の取引所であるマウントゴックス社の事件をベースにお金、金融、銀行といった金融のコアの要素を考えます。FINTECについても考えます。				参考図書(2)を利用します。授業外学修は週に4時間必要。				
15	フリーディスカッション	第14回講義時までに「本講義で学んだことについて」提出されたレポートをもとに、フリーディスカッションを行います。				「本講義で学んだことについて」レポートを提出してもらいます。授業外学修は週に4時間必要。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「現代の金融入門」池尾和人著(ちくま新書) ISBN:978-4-480-06529-2(生協で購入してください。) 基本的にテキストに沿って進めますが、それ以外の話題は下記の参考書や新聞・ネット等の金融経済記事を読むことを薦めます。必要に応じ、関連資料のコピーを配布します。				定期試験:60% 出席レポート:40% S:授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組みレポートを作成できる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組みレポートを作成できる。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組みレポートを作成できる。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組みレポートを作成できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新しい日本銀行 その機能と業務」日本銀行金融研究所編(有斐閣) 「国際金融の世界」佐久間浩司著(日経文庫)				日頃から金融経済の動きに関心を持ち、新聞・ネット等の金融経済関連記事を読む習慣を身につけてください。 質問には、オフィスアワーで回答します。						

科目名	法人税法		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	KA26013	研究室	W-16
担当者	田中 浩		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日4限、木曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
法人税は企業にかかる税金であり、社会人として企業に就職した場合、職場で必ず必要となる税法です。また、国家の財政上も重要な位置を占めますし、国家の産業政策とも重要な関わりがあるため、国の財政や産業政策を知るためにも法人税法を学ぶ必要があります。本講義では、法人税法の基本的な仕組みを理解したうえで、実際の企業活動において、どのような法人税が課税されるのかを網羅的に取り上げ、法人税法に関する基礎的な知識を習得します。										
学修到達目標										
法人税の基礎的な仕組みを理解し、法人税の課税方法について、そのポイントを説明できるようになることが目標です。また、納税者、財源調達など様々な観点から自らの考えをまとめたり、より詳しい内容について調査するために税法や通達などに精通することも目指します。										
授業の進め方										
講義形式により、法人税法の仕組み、課税所得の計算を概観します。また必要に応じて、実際の計算や具体的な判決、ニュース記事等を取り上げます。さらに、各自でポイントを整理することで、明確な理解を得る機会を作ります										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ		内容				事前事後学修			
1	法人税法の基礎	その1	ガイダンスを行い、税金の根拠、意義と種類、徴税方式、課税原則など法人税法に必要な不可欠な基本事項を確認します。				身近にある税金について調べておくこと。基本用語の定義を復習しまとめておくこと。4時間			
2	法人税法の基礎	その2	法人税法の性格、納税義務者、事業年度、同族法人など法人税法の原則的な事項を学びます。				法人税法とはどのようなものか調査しておくこと。同族会社について調べる。4時間			
3	所得金額の算定		所得とは何か、益金、損金に算入される範囲はどのようなものか、所得金額の算出について学びます。				益金・損金と収益・費用の相違を調べておく。配布する計算問題を解く。4時間			
4	認識基準		収益の認識基準について、原則的思考方を学び、請負、資産の譲渡などを学びます。また費用についても原則と確定していない場合など特殊な案件について学びます。				収益の認識基準を調べておくこと。実務の問題点を調査する。4時間			
5	益金とその特例	資産関係 その1	割賦販売、工事収益、受取配当金、評価益、還付金など、特例およびその他の益金について学びます。また棚卸資産の評価について原則的方法を学びます。				棚卸資産の記帳方法を復習しておくこと。みなし配当について研究すること。4時間			
6	資産関係その2		有価証券について意義と範囲、譲渡損益等について学びます。また減価償却資産に関して、償却方法や耐用年数について学びます。				減価償却の意義を調べておくこと。除却に関して研究しておくこと。4時間			
7	資産関係その3		リース取引について原則と留意点について学びます。また、繰延資産について、その意義、損金算入額および限度額について学びます。				繰延資産とは何か調べておくこと。リースの区分について調べる。4時間			
8	損金について	その1	損金の具体的な内容について、役員賞与について使用人、役員、使用人兼役員等の定義を学んだ上で、税法上の原則を学びます。小テスト				事前に配布するプリントを熟読しておくこと。計算事例を解いてみる。4時間			
9	損金について	その2	損金の具体的な内容について、寄付金と交際費を取り上げ、その意義、課税要件、基本的考え方、損金不算入の場合等について学びます。				寄付金とは何か調べておくこと。配布する課題プリントを解いておくこと。4時間			
10	損金について	その3	損金について、租税公課、評価損について棚卸資産、有価証券、固定資産、繰延資産、さらに貸倒れを取り上げ、それぞれについて原則的な方法を学びます。				貸倒れの計算方法を調べておくこと。有価証券の評価損について、調査すること。4時間			
11	損金について	その4	損金について、生命保険料、損害保険料等、諸会費や負担金、その他の営業費用、圧縮記帳などを取り上げ、それぞれについて原則的な方法を学びます。				保険の種類について調べておくこと。圧縮記帳について論述できるように整理しておくこと。4時間			
12	損金について	その5	引当金についての基本的考え方を踏まえた上で、特に貸倒引当金の計算方法を学びます。さらに有価証券の取り扱いを学びます。				貸倒引当金の事例を解けるようにし、有価証券に関する課税問題を整理しておくこと。4時間			
13	その他の課税問題	その1	特定同族会社、用途秘匿金への課税問題、さらに連結納税制度について範囲と適用手続き、個別規定との関わりを概観します。				連結会計制度について調べておくこと。税額計算の論点を整理しておくこと。4時間			
14	その他の課税問題	その2	国際取引について、外国法人、タックスヘイブン対策などを概観します。グループ法人課税については制度意義と中小企業の特例を、企業組織再編の課税問題として資産所と資産譲渡や未処理欠損の問題を学びます				タックスヘイブンとは何か調査しておくこと。合併等について整理しておくこと。4時間			
15	その他の問題	総まとめ	申告手続きとして、確定申告等、修正申告、不服申立て、納付、還付などを概観します。さらに、今日的課題として復興税制や投資促進税制などを学びます。法人税全体の復習を行います。小テスト				申告手続きについて調べ、今日の課題について一つを選び調査すること。4時間			
テキスト			成績評価の方法・基準							
講義時にオリジナルテキストを配布します。			出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「法人税の理論と事務」山本守之著(中央経済社)			課題を解き、その後ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。またメソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。							

科目名	簿記原理		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	KA26014	研究室	W-16
担当者	田中 浩		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日1限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
簿記の基本的なシステムと具体的な手続きについて、取引開始から期中取引、決算まで、すべての記帳・計算方法の原理を学びます。簿記「簿記」で学んだ内容を復習しつつ、より応用的な中身も含め学びます。										
学修到達目標										
簿記の典型的な事案について、その基本原理にさらに習熟し、その意味合いや利用方法をまなび、さらに短時間で処理する経験を積むことで、事務経理職に要求される基本的能力(会計リテラシー)を身に着けます。										
授業の進め方										
取引・計算事例の一つ一つを取り上げ、それに関する基本問題を計算方法、帳簿記入の仕方を解説し、簿記の原理を説明します。次により発展的な問題を、さらに例外的な事案等についても取り扱います										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	簿記の全体像 簿記検定について	簿記の全体像の復習 簿記検定の基本的な構成 仕訳と簿記一巡 試算表作成				簿記一巡について調べておくこと。配布する仕訳問題を解答してやること 4時間				
2	試算表の作成	取引項目別のデータを処理する 重複取引を見抜く				取引項目別のデータがどのように表記されるか調べておく 重複と取引について整理する 4時間				
3	試算表の作成	日付データからの試算表作成 掛明細表の作成				試算表と掛明細表の形式を調べておく、問題を解き、掛け残高の金額が一致することを見る 4時間				
4	決算整理仕訳	決算事項の理解と計算を行い、全決算仕訳を行う				棚卸表とは何かを調べておく。練習プリントの仕訳を解答し提出する。				
5	精算表の作成	簡単な6桁精算表を確実に短時間で作成する				精算表の各種形式について調べておく。精算表を作成してしてみる 4時間				
6	精算表の作成	決算整理事項における難解な指示の場合				未収未払など、複雑な計算について調べておく。練習プリントを解答してみる				
7	精算表の作成	穴埋めや推定部分のある精算表の場合				決算整理事項をすべて見ておく。練習プリントを解答してみる。 4時間				
8	財務諸表の作成	報告式財務諸表の形式 試算表の推定、決算整理と財務諸表				報告式財務表とは何か調べておく。推定問題の練習プリントを解答してみる。				
9	伝票	一部現金取引の二つの処理 日計表の作成 小テスト				伝票制度とは何か調べておく。日計表の練習プリントを解答し提出する。				
10	帳簿処理	小口現金出納帳 商品有高帳 掛元帳などの帳簿を学ぶ				帳簿の種類を調べておく。各帳簿の練習プリントを解答してみる。 4時間				
11	帳簿処理 他	手形記入帳 補助簿の選択 勘定振替締切 訂正仕訳などを学ぶ				帳簿の締め切りについて調べておく。訂正仕訳の練習プリントを解答してみる。				
12	仕訳	典型的な仕訳問題を学ぶ				現金から掛けまでの仕訳を調べておく。練習プリントを解答してみる。				
13	仕訳	大量の仕訳問題を正確に短時間で処理する				手形から引出金までの仕訳を調べておく。難解な仕訳の解答プリントを熟読しておく。				
14	補充 発展的な問題	逆進推定の決算書作成 訂正仕訳 資本計算				決算書の形式を確認しておく。資本計算の練習問題を解答してみる。				
15	総まとめ	すべての学習項目の総復習 誤りやすい事項 より発展的な内容について 小テスト				全5問にどのような形式があるかして。練習プリントを解答してみる。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義前にプリントを配布します。(詳細は講義初回に説明します)				出席レポート:30% 小テスト:70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)				「簿記受験対策」と同時履修して下さい。課題を解き、その後ディスカッションを行い、その結果をレポート提出。メソフィア・プリントによる小テストを実施(スマホ等必要)。レポート等につき適時フィードバックします。						

科目名	上級簿記論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	KA26015	研究室	W-16
担当者	田中 浩		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
日本商工会議所主催簿記検定等において、実際に出題された問題を中心に、その基本的な考え方、処理のポイント、学問的な重要点等重要点等を学びます。各授業において、テーマを定め、講義全体を受講することで、簿記検定に関する全項目を学びます。										
学修到達目標										
仕訳、帳簿記入、計算問題など各パターンに習熟し、限られた時間のなかで、正確に解答できるようになることで、高度な事務処理能力を養い、簿記検定3級の問題が常に完答できるようになることが目標です。										
授業の進め方										
簿記・簿記 によって学習した(または今学習中である)簿記の方法に基づいて、本講義では、過去の検定問題を中心に、限られた時間で解答するには、どのような注意が必要かについて、実例に取り組みながら実践的な観点で学びます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	簿記の全体像 簿記検定について	簿記の全体像の復習 簿記検定の基本的な構成 仕訳と簿記一巡 試算表作成				簿記一巡について調べておくこと。配布する仕訳問題を解答してやること 4時間				
2	試算表の作成	取引項目別のデータを処理する 重複取引を見抜く				取引項目別のデータがどのように表記されるか調べておく 重複と取引について整理する 4時間				
3	試算表の作成	日付データからの試算表作成 掛明細表の作成				試算表と掛明細表の形式を調べておく、問題を解き、掛け残高の金額が一致することを見る 4時間				
4	決算整理仕訳	決算事項の理解と計算を行い、全決算仕訳を行う				棚卸表とは何かを調べておく。練習プリントの仕訳を解答し提出する。				
5	精算表の作成	簡単な6桁精算表を確実に短時間で作成する				精算表の各種形式について調べておく。精算表を作成してしてみる 4時間				
6	精算表の作成	決算整理事項における難解な指示の場合				未収未払など、複雑な計算について調べておく。練習プリントを解答してみる				
7	精算表の作成	穴埋めや推定部分のある精算表の場合				決算整理事項をすべて見ておく。練習プリントを解答してみる。 4時間				
8	財務諸表の作成	報告式財務諸表の形式 試算表の推定、決算整理と財務諸表				報告式財務表とは何か調べておく。推定問題の練習プリントを解答してみる。				
9	伝票	一部現金取引の二つの処理 日計表の作成 小テスト				伝票制度とは何か調べておく。日計表の練習プリントを解答し提出する。				
10	帳簿処理	小口現金出納帳 商品有高帳 掛元帳などの帳簿を学ぶ				帳簿の種類を調べておく。各帳簿の練習プリントを解答してみる。 4時間				
11	帳簿処理 他	手形記入帳 補助簿の選択 勘定振替締切 訂正仕訳などを学ぶ				帳簿の締め切りについて調べておく。訂正仕訳の練習プリントを解答してみる。				
12	仕訳	典型的な仕訳問題を学ぶ				現金から掛けまでの仕訳を調べておく。練習プリントを解答してみる。				
13	仕訳	大量の仕訳問題を正確に短時間で処理する				手形から引出金までの仕訳を調べておく。難解な仕訳の解答プリントを熟読しておく。				
14	補充 発展的な問題	逆進推定の決算書作成 訂正仕訳 資本計算				決算書の形式を確認しておく。資本計算の練習問題を解答してみる。				
15	総まとめ	すべての学習項目の総復習 誤りやすい事項 より発展的な内容について 小テスト				全5問にどのような形式があるかして。練習プリントを解答してみる。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義前にプリントを配布します。(詳細は講義初回に説明します)				出席レポート:30% 小テスト:70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)				必ず簿記原理と同時履修すること。課題を解き、その後ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。メソフィア・プリントによる小テストを実施(スマホ等必要)。レポート等につき適時フィードバックします。						

科目名	会計学		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KA36016	研究室	W-16
担当者	田中 浩		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、株式会社の会計について、基本的な内容を学びます。特に3つの財務諸表の一つ一つについて全項目を扱うことで、財務諸表をすべてを知るとともに、それを分析する手法についても学びます。商法、金融商品取引法、法人税法、企業会計原則によってどのような規定があるかについて、具体的に学びます。										
学修到達目標										
講義を通じて、会計学の基礎用語の意味と現行法規を理解し、さらに財務諸表の概略が読み解けるようになります。										
授業の進め方										
基本的な用語・ルールをスライドを使って解説します。 また、選択式問題や正誤問題を使うことで理解を深めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	株式会社会計の全体像	株式会社会計について 簿記と会計学の関係 会計学の体系				会計学について調査しておく。 課題プリントを解く 4時間				
2	会計の有用性と法律	グローバル化と企業情報 会計情報の使用目的と法律 企業会計原則				企業会計原則を熟読する 課題プリントを解く 4時間				
3	財務諸表の体系	B/S P/L そのたの財務諸表の形式と意義				財務諸表の体系調べておく。財務諸表の形式について整理する。 4時間				
4	貸借対照表1	流動資産の定義、分類基準、細目				流動固定分類について調べておく。 各細目について整理する。 4時間				
5	貸借対照表2	固定資産の定義、分類基準、細目				固定資産について調べておく。分類基準について整理する。 4時間				
6	貸借対照表3	資産の評価、負債および株主資本の定義、分類基準、細目、評価				評価基準について調べておく。資本の内容について整理する。 4時間				
7	損益計算書1	形式、営業利益の意味、計算方法と費目				損益計算の原理について調べておく。 五つの利益概念にういて整理する。				
8	損益計算書2	経常利益の意味、純利益の種類、計算方法と費目				損益計算原則を熟読しておく。 法人税について復習する。 4時間				
9	キャッシュフロー計算書1	キャッシュの意義と計算書の有用性、構造 小テスト				現金とは何か調べておく。 黒字倒産について調査する。 4時間				
10	キャッシュフロー計算書2	キャッシュフロー計算書の3区分と費目、株主資本変動計算書の構造				実際のCFを熟読する。 3区分の中身を整理する。 4時間				
11	会計倫理	企業不祥事とその会計上の問題点、実例 諸法規				エンロン事件について調べておく。 我が国の事例について調査し、課題を提出する。				
12	貸借対照表の読み方	流動比率、固定比率など経営分析指標の有効性				B/Sの形式を確認しておく。 数値計算をやってみる。 4時間				
13	損益計算書の読み方	各種利益率 回転率など経営分析指標の有効性				P/LのB/Sの形式を確認しておく。 数値計算で指標の有効性を確認する。				
14	その他の問題	合併 時価評価 国際会計、会計原則再論				M&Aの種類について調べておく。 連続意見書等を整理する。 4時間				
15	全体のまとめと今後の課題	会計学の主要論点展望 管理会計の関わりなどの発展的内容 小テスト				主要論点を整理しておく 経営分析データを取り扱ってみる 4時間				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義時においてオリジナルテキストを配布する。				出席レポート：30% 小テスト：60% レポート：10% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務諸表論」武田隆二著(中央経済社) 「新現代会計入門」伊藤邦雄著(日本経済新聞社)				課題を解き、その後ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。またメソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。						

科目名	管理会計	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KA36017	研究室	W-16
担当者	田中 浩	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格	高一(商業)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
管理会計の基本的考え方と技法、基本用語、その意味を説明します。また、計算事例も使って、管理会計の実際の手続きを一つ一つ解説します。									
学修到達目標									
管理会計の基本的な事案を理解し、枠組みを掴むこと、さらに一つ一つの手続きをマスターすることを目的にします。									
授業の進め方									
基礎概念、基本的な用語を解説します。最も単純な計算事例から解説します。次に例示、穴埋め問題などを使用します。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	ガイダンス	会計学の体系				管理会計について調べておく 簿記、財務会計との関係を整理する			
2	原価とは	原価の範囲、分類				身近な原価について調査しておく 。原価分類について整理する。			
3	受注企業の場合	個別原価計算				受注生産の特徴を調査しておく。 原価計算表を作ってみる。 4時間			
4	見込み生産の場合1	総合原価計算の基礎				見込み生産の特徴を調査しておく 。平均法の原価計算表を作ってみる。			
5	見込み生産の場合2	さまざまな総合原価計算 ABC				見込み生産の種類を調査しておく 。工程別の原価計算表を作ってみる			
6	原価管理	標準原価計算の基礎				コストマネジメントについて調べておく。 標準原価			
7	利益管理	直接原価計算の意義と実際				全部原価計算の問題点を調べておく。 固定費調整をやってみる。 4時間			
8	原価分類	コストビヘイビアとFV分解 小テスト				原価態様について調べておく。 分解の計算をやってみる。 4時間			
9	利益予測	損益分岐点分析 目標利益の算定 安全余裕率				損益分岐点について調べておく。 目標利益を計算してみる。 4時間			
10	事例研究	管理会計の事例を取り上げ、企業経営全体との関わりを捉える				企業評価論など企業全体を数値化する手法について調査し、整理する。 。課題を提出する。4時間			
11	その他の計算方法	品質原価計算 セグメント別業績評価				セグメントとは何か調べておく。 Qコストについて整理する。 4時間			
12	意思決定会計1	基礎概念 増分原価 計算方法				原価の基礎概念を調べておく。 プリントの問題を解答してみる 4時間			
13	意思決定会計1	時間価値 意思決定の事例				意思決定論の全体像を調査する 課題の計算問題を解答する 4時間			
14	企業全体との関わり	原価企画 バランススコアカード				原価の特性について調査する LCIについて整理する 4時間			
15	まとめ	管理会計発達史 小テスト				管理会計の全体の流れを時系列で整理しておく。近年の傾向について整理する。			
テキスト		成績評価の方法・基準							
講義開始時に教材を配布します		出席レポート：30% 小テスト：60% レポート：10% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「管理会計・事例による解説と研究」伊藤博著(実教出版) 「コストマネジメント」伊藤嘉博著(日本経済新聞社) 「管理会計」岡本清他著(国元書房)		課題を解き、その後ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。またメソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。							

科目名	ファイナンス			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KA36018	研究室	W-14
担当者	佐藤 嘉晃			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
人々が家計や企業の一員として日々行っている金融取引について講義します。また人々が金融取引を行う際に直面するさまざまな問題について議論していきます。											
学修到達目標											
数々の金融取引に関する基礎的な知識を獲得し、それらの仕組みを理解することによって、現実の金融取引に関する諸問題を主体的に分析することができる。											
授業の進め方											
教科書に沿って講義します。また各回において学生同士が講義のテーマに関する題材についてディスカッションを行います。学生からのフィードバックをもとに講義の内容・進捗を調整します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	導入	講義の概要を説明します。					教科書の第1章の内容を把握する(4時間)。				
2	金融取引と金融機関・金融市場：概観	金融取引・金融機関・金融市場・金融資産について説明します。					教科書の第1章の内容を把握する(4時間)。				
3	金融資産の評価	現在価値の概念や利回りについて説明します。					教科書の第2章の内容を把握する(4時間)。				
4	貯蓄と資産選択	家計の貯蓄と資産選択に関わる意思決定について説明します。					教科書の第3章の内容を把握する(4時間)。				
5	ポートフォリオ構築の方法	リスクやリターンの計算方法について説明します。					教科書の第4章1節の内容を把握する(4時間)。				
6	効率的フロンティアと最適なポートフォリオ	最適なポートフォリオの特徴について説明します。					教科書の第4章2節の内容を把握する(4時間)。				
7	企業の実物投資	NPVの計算や利子率と投資の関係について説明します。					教科書の第5章の内容を把握する(4時間)。				
8	企業の資金調達	企業の資金調達方法について説明します。					教科書の第6章の内容を把握する(4時間)。				
9	企業の財務戦略とガバナンス	企業の財務戦略とコーポレート・ガバナンスについて説明する。					教科書の第7章の内容を把握する(4時間)。				
10	リスク・ヘッジと金融資産	金融資産を用いたリスク・ヘッジの方法や仕組みについて説明する。					教科書の第8章の内容を把握する(4時間)。				
11	金融市場の役割	金融市場の基本的な役割について説明する。					教科書の第9章1節の内容を把握する(4時間)。				
12	市場のマイクロ・ストラクチャと流動性の創出	市場のマイクロ・ストラクチャについて説明する。					教科書の第9章2節の内容を把握する(4時間)。				
13	市場のアノマリー	市場のアノマリーと呼ばれる現象やバブルについて説明する。					教科書の第9章2節の内容を把握する(4時間)。				
14	金融制度と規制	金融取引や金融機関への規制について説明する。					教科書の第11章の内容を把握する(4時間)。				
15	総括	講義全体の内容を整理して統一的に説明します。					講義で扱われた教科書の該当章の内容を再度把握する(4時間)。				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「金融経済学入門」清水克俊著(東京大学出版会) ISBN:978-4-13-042148-5(生協で購入してください。)						レポート:50% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。 C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
講義中に指示します。						特になし。					

科目名	流通総論			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	KA16019	研究室	W-28
担当者	清水 聡子			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日2限		
関連資格	高一(商業)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>私たちは日常生活の中で、近郊の田畑や工場で生産されるものだけではなく、国内各地、あるいは外国から運ばれる商品などをスーパーマーケットやコンビニエンス・ストア、通信販売などで購入し、消費します。この生産と消費の間の流通について、仕組みや役割について学習します。</p>											
学修到達目標											
<p>現代の流通と取引に関する基礎的な知識を修得し、流通の意義や役割について理解するとともに、流通に関する課題や問題意識を持ち、自分の言葉で自分の考えをまとめ、説明できる。</p>											
授業の進め方											
<p>講義計画に従って、配布プリントを用いて教室にて行います。授業の構成は、前回の授業の復習・フィードバック、今回の授業のポイント、授業の中心部(メイン)、問題提起(来週の予告)と4部構成で行い、アクティブラーニング(発表)を実施します。</p>											
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	流通総論で学ぶ内容の全体像を示し、授業の進め方を説明します。					シラバスを読み、流通に関する事例を研究すること。(4時間)				
2	流通とは何か	流通の概念と基本的役割について考察します。					流通とは何かを考察すること。(4時間)				
3	流通業者の役割	流通活動を担う流通業者の概念、卸売業者と小売業者の区分について考察します。					流通業者はどのような役割を担っているかを考察すること。(4時間)				
4	小売業の主要形態(1)	小売店舗の有無と販売形態について考察します。					小売業とはどのような役割を担うかを考察すること。(4時間)				
5	小売業の主要形態(2)	小売業の経営形態 - チェーンと商業集積 - について考察します。					小売業の経営形態について考察すること。(4時間)				
6	卸売業の位置づけ	卸売の社会的役割と機能、卸売機構の構造について考察します。					卸売業の役割について考察すること。(4時間)				
7	商品と流通	商品の概念と商品分類の意義について考察します。					具体的な商品を1つ取り上げ、商品の概念と商品分類について考察すること。(4時間)				
8	小売業の店頭活動	インスタ・マーチャンダイジングの諸要素について考察します。					インスタ・マーチャンダイジングについて調べる。(4時間)				
9	ブランドとは何か	小売業者の商品開発力とPB戦略について考察します。					具体的なブランドを1つ取り上げ、ブランドの役割について調べる。(4時間)				
10	小売業の販売・仕入・在庫管理	小売業の販売、仕入形態、品揃え計画、在庫管理について考察します。					小売業の販売・仕入・在庫管理について調べる。(4時間)				
11	販売員とは何か	小売業における販売員の現状と管理について考察します。					販売員の役割を考察すること。(4時間)				
12	消費者取引とは何か	消費者取引、消費者取引に関連する法律、諸課題を考察します。					消費者取引について調べる。(4時間)				
13	ネット・ショップの現状	ネット・ショップの現状と課題について考察します。					今までの復習を行い、流通の課題を考えること。(4時間)				
14	地域流通事情	地域流通の現状と課題について考察します。					今までの復習を行い、地域流通の課題を考えること。(4時間)				
15	まとめ	流通総論で学んだ全体像を示し、日本の流通の課題を考察します。					今までの復習を行い、日本の流通の課題を考えること。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
プリント・資料の配布をもってテキストに代えます。					<p>定期試験：80% 課題：20%</p> <p>講義内容に沿った新聞記事を探し、発表することを必須課題とします。S:学修到達目標を十分に達成しており、期待以上に卓越している。A:学修到達目標を十分に達成しており、期待どおりである。B:学修到達目標を十分に達成している。C:学修到達目標を達成している。</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「基本流通用語辞典改訂版」宮澤永光監修著(白桃書房)					<p>受講者は授業計画と進み具合にあわせ、新聞や雑誌などから関連した記事を探し出し、常に実際の企業行動との結びつきを考えてください。販売士検定に対応します。</p>						

科目名	マーケティング戦略		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	KA26020	研究室	W-28	
担当者	清水 聡子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限			
関連資格	高一(商業)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
企業は多くの製品やサービスを市場に投入します。企業が成長し、存続し続けるためには、消費者に受け入れられ、購入される必要があります。必修科目であるマーケティング基礎をもとに、企業のマーケティング戦略について事例を交えながら学びます。											
学修到達目標											
マーケティング戦略に関する実践的、応用的な知識を修得し、マーケティング・マネジメントの意義や役割について理解するとともに、自分の言葉で自分の考えをまとめ、説明できる。											
授業の進め方											
授業計画に従って、配布プリントを用いて教室にて行います。授業の構成は、前回の授業の復習・フィードバック、今回の授業のポイント、授業の中心部(メイン)、問題提起(来週の予告)と4部構成で行い、アクティブラーニング(発表)を実施します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	マーケティング戦略で学ぶ内容の全体像を示し、授業の進め方を説明します。					シラバスを読み、マーケティング基礎を復習すること。(4時間)				
2	マーケティング情報システム	マーケティング情報システムとマーケティング調査について考察します。					配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
3	製品戦略	製品計画(product planning)について考察します。					配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
4	製品開発	製品開発(product development)とアンゾフ(Ansoff, H.I.)の製品市場マトリックスについて考察します。					配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
5	製品ライフサイクル	製品ライフサイクル(product life cycle)とロジャース(Rogers, E.M.)の製品の普及過程と採用者類型について考察します。					採用者類型のうち自分自身はどれに当てはまるか考えること。(4時間)				
6	ブランド戦略	ブランド(Brand)戦略とブランドの果たす役割について考察します。					配布プリントを読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。(4時間)				
7	価格戦略	価格(Price)決定に影響を与える要因について考察します。					配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
8	価格決定	価格設定の方法について考察します。					計算方法を学び、数字を扱うことに慣れること。(4時間)				
9	新製品の価格設定戦略	上澄み吸収価格設定(Market-skimming pricing)と市場浸透価格設定(Market-penetration pricing)について考察します。					配布プリントを読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。(4時間)				
10	チャンネル戦略	マーケティング・チャンネル(Marketing channel)戦略について考察します。					配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
11	チャンネルの機能	マーケティング・チャンネル(Marketing channel)の機能について考察します。					配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
12	チャンネル政策	伝統的マーケティング・チャンネルと垂直的マーケティング・システムについて考察します。					配布プリントを読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。(4時間)				
13	プロモーション戦略	プロモーション(Promotion)戦略について考察します。					配布プリントを読み、わからない用語は調べること。(4時間)				
14	プロモーション・ミックス	企業のトータル・マーケティング・コミュニケーション・プログラムであるプロモーション・ミックス(Promotion mix)について考察します。					配布プリントを読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。(4時間)				
15	まとめ	マーケティング戦略で学んだ全体像を示し、総まとめを行います。					今までの復習を行い、実践的な学びとすること。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
プリント・資料の配布をもってテキストに代えます。				定期試験：100% S:学修到達目標を十分に達成しており、期待以上に卓越している。A:学修到達目標を十分に達成しており、期待どおりである。B:学修到達目標を十分に達成している。C:学修到達目標を達成している。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「基本流通用語辞典改訂版」宮澤永光監修著(白桃書房) 「マーケティングの基礎と潮流」西尾テツル編著(八千代出版) ISBN: 978-4-8429-1409-1				マーケティング基礎を受講した学生を対象に、授業を展開します。授業計画と進み具合にあわせ、実際の企業行動との結びつきを考えましょう。販売士検定に対応します。							

科目名	経営組織論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	KA26021	研究室	非常勤
担当者	葛西 和廣		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
企業の経営において組織は不可欠です。組織は単なる人々の集まりではなく、目的を達成するために組織化された集団です。本講義では組織の今日的課題である変革を目指すにあたり、組織をどのように考えればよいかに焦点を当て、理論やいくつかの枠組みについて学習します。										
学修到達目標										
経営組織論の概念枠組と用語を用いて、組織における個人と集団の行動や、現代社会における経営組織の活動の背後にある意味を理解し、説明することができる。組織における個人と集団の活動や、現代社会における経営組織の活動を深く理解するための本質的な「問い」を、主体的に見いだすことができる。										
授業の進め方										
各講義に関連した資料を配布して授業を行います。また複数回のレポート提出を実施し、添削して返却することでフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	講義のねらいと進め方についての説明と導入講義。				シラバスを読み、授業内容・到達目標などを確認する。講義後は要点を整理すること(4時間)。				
2	経営組織とは何か	経営組織に関する様々な基礎概念について説明する。				組織の定義について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
3	時代の変遷と組織変革	戦後から現在までの日本における経済的変化を4つに区分し、区分別に組織がどのように変化してきたかを学ぶ。				日本の経営について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
4	ITの発達と組織制度	ITの発達による組織の変化とその対応策について学ぶ。				ITに歴史的変遷について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
5	現代の組織戦略(1): フラット型組織	「組織のフラット化」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				フラット型組織について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
6	現代の組織戦略(2): カンパニー制組織、持株会社	「カンパニー制組織や持株会社」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				持株会社について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
7	M&A	「M&A」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う				M&Aについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
8	中間総括	初回から前回まで行った講義を総括し、内容確認を行う				授業内容を復習し、まとめておく。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
9	アウトソーシング	「アウトソーシング」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				アウトソーシングについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
10	ERPシステム	「組織におけるERP導入」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				ERPシステムについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
11	役員制度の改革	「役員制度の変革」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				従来の役員制度について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
12	ネットワーク型ビジネスシステム	「ネットワーク型ビジネスシステム」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				ネットワーク型ビジネスシステムについて調べる。講義後は要点を整理すること(4時間)。				
13	ネットワーク型組織	「ネットワーク型組織」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				ネットワーク型組織について調べてくる。講義後は要点を整理すること(4時間)。				
14	人事システムの変革	「組織における人事システムの変革」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				人事システムの変遷について調べてくる。講義後は要点を整理すること(4時間)。				
15	講義全体のまとめ	講義全体を総括し、内容確認を行う。				これまでの授業の振り返りとまとめを行う。講義後は要点を整理すること(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
(別途、指示します。)				定期試験: 80% レポート: 20% S: 基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。A: 基本的な目標を十分に達成している。B: 基本的な目標を達成している。C: 基本的な目標を最低限度達成している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「ネットワーク社会の情報と戦略」金山茂雄ほか著(創成社) ISBN: 4794421788				言葉や知識は現実を明確に表現する道具なので、経営組織論を学ぶ場合も、企業経営の現実や事例と結びつけて言葉や知識を身につけることが大事である。						

科目名	経営戦略論		学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリング	KL36022	研究室	非常勤
担当者	葛西 和廣		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>会社は経営環境の変化に応じて会社の行動を変更し、時々の方針のもとで、機敏に行動しなければなりません。経営理念は会社がゴーイング・コンサーンとして長期的に存続するための、いわばバックボーンのようなものです。本講義では、数多くある経営戦略手法の中から、基本パターンをピックアップして、環境分析、成長戦略、競争戦略などの流れに沿って説明し、経営戦略の知識を習得します。</p>										
学修到達目標										
<p>経営戦略論の基礎概念をしっかりと身につけその後の専門科目の学習に生かせるようになること、具体的なケーススタディを基にしてそこから経営戦略論の基礎理論に整理して理解出来るようになることを学習達成目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>各講義に関連した資料を配布して授業を行います。また複数回のレポート提出を実施し、添削して返却することでフィードバックを行います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	講義のねらいと進め方についての説明と経営戦略の概略に関する講義				経営理念について調べておく。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
2	経営戦略とは何か	経営戦略とはいかなるプロセスを経て作成されるのかを学ぶ。				経営戦略とは何かについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
3	業界環境分析、内部環境分析、市場調査手法	「業界環境分析と内環境分析」に関する手法と「市場調査」に関する手法に関する説明および事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				経営環境分析について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
4	企業ドメイン	「企業ドメイン」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				企業ドメインについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
5	企業の成長ベクトル	「企業の成長ベクトル」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				企業の成長要因について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
6	多角化戦略	「多角化戦略」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				多角化戦略について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
7	PPM	「PPM」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				PPMについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
8	中間総括	初回から前回まで行った講義を総括し、内容確認を行う。				これまでの授業内容をおさらいしてくる。事後学習は試験内容を整理すること(4時間)。				
9	ビジネススクリーン、撤退戦略	「ビジネススクリーン」および「撤退戦略」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				撤退戦略などについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
10	成長戦略の具体的展開	「成長戦略」の具体的事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				企業成長の具体的施策を調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
11	競争5要因分析	「競争5要因分析」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				競争5要因分析について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
12	市場細分化、ポジショニングマップ	「市場細分化」および「ポジショニングマップ」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				市場細分化などについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
13	競争3基本戦略	「競争3基本戦略」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				競争3基本戦略について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
14	競争地位別4戦略	「競争地位別4戦略」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				競争地位別4戦略について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
15	講義全体のまとめ	講義全体を総括し、内容確認を行う。				これまでの授業内容をおさらいしてくる。事後学習は試験内容を整理すること(4時間)。				
テキスト			成績評価の方法・基準							
(別途、指示します。)なし			<p>定期試験：80% レポート：20% S: 基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。A: 基本的な目標を十分に達成している。B: 基本的な目標を達成している。C: 基本的な目標を最低限度達成している。</p>							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「ネットワーク社会の情報と戦略」金山茂雄ほか著(創成社) ISBN: 9784794421784			言葉や知識は現実を明確に表現する道具です。経営戦略を学ぶ場合も、経営の現実や事例と結びつけて言葉や知識を身につけることが大事です。							

科目名	サービスマーケティング		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバ'リング	KA36023 TA36011	研究室	W-17
担当者	益山 代利子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	木曜日2限、木曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
世界経済成長の牽引力がサービス部門にシフトし、GNPや労働人口に占めるサービス分野の割合は拡大しているにもかかわらず、日本のサービスビジネスは製造業との比較において生産性の低さやグローバル化の遅れが目立っているとされています。本講義では、サービス企業の成功例を吟味しながら、サービス産業に求められるマーケティング理論を体系的に学び、身近なサービスの現場に照らし合わせて考える能力を養います。										
学修到達目標										
サービスの特徴を理解した上で、サービスの経営を体系立てて考えるための一般的な理論と方法を習得すること。										
授業の進め方										
テキストと参考資料を基にすすめます。講義の形式は主にスライドを使用しますが、内容に応じてビデオも併用します。授業の中でグループ討議やグループワークなども実施します。提出課題については講義の中で振り返りを行い各自へのフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	サービス・マーケティングの概要	サービスの経営や販売に関して、サービス・マーケティングの学問領域ではどのような課題を扱うかを説明します。				テキスト第1章、第2章を読む。(4時間)				
2	サービスとは何か	商品としてのサービス、サービス商品の特徴をモノ製品と比較して考えます。				テキスト第3章、第4章を読む。(4時間)				
3	サービスの分類と構成要素	サービス商品の構成要素と分類の仕方について学びます。				テキスト第5章、第8章を読む。「特徴的なサービス商品」に関するレポート作成(4時間)				
4	サービス・エンカウンター設計	サービス商品の特徴を理解した上で、サービス・エンカウンター(接遇)の設計方法について整理します。				テキスト第6章、第7章を読む。(4時間)				
5	サービスの品質	サービスの品質の重要性、特徴、基準、顧客満足と顧客価値の関係について学びます。				テキスト第9章を読む。(4時間)				
6	サービス・マーケティング・ミックス	サービス・マーケティング・ミックスの特徴、内容、顧客価値の実現とサービス組織についての考え方を整理します。				テキスト第10章、第11章を読む。(4時間)				
7	サービス・マーケティング・ミックス:サービス商品開発	サービス商品開発について学びます。グループワークを用いて、実在企業のサービス商品について考えます。				企業のサービス商品について調査し、レポートを書く。(4時間)				
8	サービス・マーケティング・ミックス:流通	サービス商品の流通、立地条件について学びます。				企業のサービス商品の流通について調査する。(4時間)				
9	サービス・マーケティング・ミックス:販売促進	サービス商品のプロモーション手法について学びます。				企業のサービス商品の販売促進方法について調査する。(4時間)				
10	サービス・マーケティング・ミックス:価格	サービス商品の価格設定の手法について説明します。				企業のサービス商品の価格について調査する。(4時間)				
11	サービス・マーケティング・ミックス:人材	人材育成やモチベーション理論などを踏まえたインターナル・マーケティングについて説明します。				企業の従業員研修や労働意欲維持に関する取組について調査し、レポートを書く。(4時間)				
12	サービス・マーケティング・ミックス:物的環境・サービス・デリバリー・シス	サービスの空間デザインとサービスを提供する過程について説明します。				テキスト第12章を読む。(4時間)				
13	サービス・プロフィット・チェーン	サービスの利益構造、顧客満足度、顧客ロイヤルティの関係について説明します。				テキスト第13章を読む。(4時間)				
14	苦情対応と顧客ロイヤルティ	苦情対策と顧客ロイヤルティ、リレーションシップ・マーケティングについて学びます。				テキスト第14章を読む。(4時間)				
15	サービス・マーケティングと顧客価値創造	まとめ				資料確認、試験対策 (4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「サービスマーケティング第2版」近藤隆雄著(生産性出版) ISBN:978-4-8201-1949-4(生協で購入してください。)				課題:30% 定期試験:70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける、他の学生の前で発表できる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって内容に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよるを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「コトラーのプロフェッショナル・サービス・マーケティング」フィリップ・コトラー他著(ピアソン・エデュケーション)				【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:米国のリゾート&テーマパーク運営会社やスウェーデンの通信会社に勤務し国際的な視野に基づくサービスの経営に携わった。						

科目名	ITビジネス論			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KA36024	研究室	W-32
担当者	小林 俊一			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	高一(情報)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
ITビジネスの発展は、非常にめざましいものがあります。「インターネットで買えないものはない」「インターネットで出来ないことはない」と言われるようになってきています。ITビジネスで利用されているサービスや、技術について学習することを目的とします。アフィリエイト、ドロップショッピングなど、現状で誰でも手軽にできるITビジネスについても学習します。また、ITビジネスに不可欠な独自ドメインの取得やレンタルサーバーの利用、キーワード連動型広告、SEO対策などについても学習を行います。											
学修到達目標											
ITビジネスを理解することが目標です。ITビジネスのサービスや技術を理解することが目標となります。また、ドロップショッピングを使った簡単なネットショップを作成できるようになることも目標としています。											
授業の進め方											
ITビジネスを、コンピュータとインターネットを使いながら学習します。ITビジネスを体験的に理解するために、コンピュータ教室を利用して授業を行います。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンスを行います。	ITビジネス論の授業内容について説明します。電子商取引とは何か、電子マネーについても説明します。					電子商取引、電子マネーを復習します。(4時間)				
2	eマーケットプレイス、インターネット調達など	eマーケットプレイス、インターネット調達、インターネットマーケティングなどについて解説します。					eマーケットプレイス、インターネット調達を復習して下さい。(4時間)				
3	ネット広告に関する学習	インターネット広告、Yahooリスティング広告、googleアドワーズ広告、google AdSenseなどについて学習します。					ネット広告について、復習します。(4時間)				
4	ネットショップについて説明します。	ネットショップとドロップショッピングについて説明します。					ネットショップについて、復習します。(4時間)				
5	ネットショップを作成してみます。	ドロップショッピングを使って、簡単なネットショップを作成してみます。					ネットショップについて、復習します。(4時間)				
6	レンタルサーバについて	レンタルサーバについて説明します。無料レンタルサーバを借りて、前に作成した自分のお店をサーバにアップロードしてテストしてみます。					レンタルサーバについて復習します。(4時間)				
7	ネットショップと独自ドメインについて説明します。	ネットショップと独自ドメインについて説明します。独自ドメインの取得の仕方について、体験的に学習します。					独自ドメインについて、復習します。(4時間)				
8	セカンドライフ、アフィリエイトとブログなどについて	セカンドライフ、アフィリエイトとブログなどについて説明します。セカンドライフのビデオを見ます。アフィリエイトについて、体験的に学習します。					アフィリエイトについて復習します。(4時間)				
9	アクセス解析、SEO対策について	Webアクセス解析とは何かについて説明します。また、SEO対策について説明します。googleについてのSEOに関するビデオを見ます。					アクセス解析、SEO対策について、復習します。(4時間)				
10	インターネットショップで成功している会社	amazon、楽天、Yahooショッピングなどについて、説明します。amazonについてのビデオを見ます。					インターネットショップで成功している会社を復習します。(4時間)				
11	トレーサビリティ、RFID、FMSについて	トレーサビリティ、RFID、FMSについて説明します。					トレーサビリティ、RFID、FMSを復習します。(4時間)				
12	クリック・アンド・モルタル、POSシステム、FSPなどについて	クリック・アンド・モルタル、POSシステム、FSPなどについて説明します。					クリック・アンド・モルタル、POSシステムを復習します。(4時間)				
13	データマイニングなどについて	データマイニングと、ネットビジネスについて説明します。					データマイニングを復習します。(4時間)				
14	クラウドコンピューティング、EDIなどについて	クラウドコンピューティング、システムインテグレーション、EDIなどについて、説明します。					クラウドコンピューティングを復習します。(4時間)				
15	講義のまとめ	ITビジネス論の授業のまとめを行います。					配布資料を復習します。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
プリントを配布します。				課題：30% 定期試験：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「ITビジネスの原理」尾原 和啓著(NHK出版) ISBN:4140816244				【実務経験のある教員が担当】内容：コンピュータ製造会社に勤務しソフトウェアの研究開発、自治体のマルチメディア情報センターで、情報ネットワークシステムの構築管理、コンピュータシステムの構築管理の業務に携わった。							

科目名	オペレーションズリサーチ		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KA36025	研究室	W-23
担当者	田中 正敏		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
経営・経済は複雑な問題が絡んでいるので、いろいろな考えを考慮に入れて対処していかなければなりません。このとき、経営者や意思決定者は勘や過去の経験で意思決定を行うと、多大な被害を被る可能性が大きくなります。そこで、この授業では、それらの問題を経営科学の問題として、モデルの定式化およびその解法を教授します。具体的な題材をテーマにモデルの構築、解析、評価を行います。										
学修到達目標										
モデル化と定量的評価の習得。										
授業の進め方										
大枠は教科書を用いて授業を進める。場合によっては、プリントも配布およびパワーポイントの資料を使用する。講義の時間を利用して、進捗度管理(小テスト、レポート)を行い、評価し、学生に返却(フィードバック)するように行う。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	経営科学の歴史および学問の位置付け				経営科学の歴史の習得と算数・数学の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
2	グラフ, 数学	グラフ, 数学関連の定義と用語説明				グラフ, 数学の習得と情報関連の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
3	情報関連	情報関連の定義と用語説明				情報関連の習得と経済・経営関連の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
4	経済・経営関連	経済・経営関連の定義と用語説明				経済・経営関連の習得と意思決定の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
5	意思決定	静的な場合の意思決定(最適化理論)				静的な意思決定の習得と意思決定の応用の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
6	意思決定の応用(1)	線形計画法、輸送計画法、PERT法など				LP, PERTの習得と意思決定の応用の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
7	意思決定の応用(2)	在庫管理法、MRP、スケジューリング法				MRP, SK法の習得とゲーム理論の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
8	戦略的意思決定	動的な場合の意思決定(ゲーム理論)				ゲーム理論の習得と生産・消費関数の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
9	戦略的意思決定の応用(1)	消費者行動・生産者行動				生産・消費関数の習得と情報の非対称性の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
10	戦略的意思決定の応用(2)	情報の非対称性(保険の場合)				情報の非対称性の習得と資格の非対称性の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
11	戦略的意思決定の応用(3)	情報の非対称性(資格の場合)				資格の非対称性の習得とSCMの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
12	戦略的意思決定の応用(4)	サプライチェーン・マネジメント(契約理論)				SCMの習得とSCMコーディネーションの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
13	戦略的意思決定の応用(5)	サプライチェーン・コーディネーション				SCMコーディネーションの習得とWin-Win関係の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
14	戦略的意思決定の応用(6)	消費者と販売者のWin-Win関係				Win-Win関係の習得と将来像の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
15	ORの将来展望	オペレーションズリサーチの将来展望				将来像の習得・まとめ(週に4時間必要)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「データから読み解く経営学」田中正敏著(創成社) ISBN:978-4-7944-2442-6(生協で購入してください。) 予習・復習をしっかりと行うこと			定期試験:80% 出席レポート:20% S:講義中に対して積極的に質問をし、到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる。A:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる。B:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる。C:到達目標値を理解、各回の授業で学んだことを理解できる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「サプライチェーンマネジメント入門」松川、中島、武田、田中著 ISBN:978-4-254-27016-7C3050			ものごとを論理的思考で考えてもらいたい。							

科目名	社会調査論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KL36026 TL36010	研究室	W-18	
担当者	林 昌孝		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワー	月曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義は、社会現象をデータの収集と分析により明らかにする、社会調査について学びます。調査研究しようとする対象の設定や調査方法、得られたデータの整理と検討についての基礎理論を説明し、分析・検討の方法について学びます。基礎統計学の続編に位置します。											
学修到達目標											
アンケートの調査により得られたデータを適切な方法で表現したり、仮説検定ができる。											
授業の進め方											
講義用テキストを配布して授業を進めます。教室での講義とパソコンでの実習・演習をおこないながらフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	受講条件の確認をおこない、進め方について説明をします。					シラバスを読んで質問等をまとめてきてください。資料を配布します(4時間)。				
2	社会調査の目的と種類	社会調査の目的と種類について説明します。					テキスト(社会調査の目的と種類)を読んできてください(4時間)。				
3	数値データ表現	量的調査とデータ表現について説明します。					テキスト(数値データ表現)を読んできてください(4時間)。				
4	カテゴリデータ表現	質的調査とデータ表現について説明します。					テキスト(カテゴリデータ表現)を読んできてください(4時間)。				
5	社会調査の進め方	社会調査の進め方と整理の方法について説明します。					テキスト(社会調査の進め方と整理)を読んできてください(4時間)。				
6	データ表現演習	いろいろなデータの表現方法について演習形式で学びます。					テキスト(データ表現演習)を読んできてください。確認問題があります(4時間)。				
7	標本調査に関する理論	母集団と標本調査に関する理論について説明します。					テキスト(母集団と標本調査に関する理論)を読んできてください(4時間)。				
8	推定と検定の基礎理論	推定と検定の基礎理論について説明します。					テキスト(推定と検定の基礎理論)を読んできてください。確認問題があります(4時間)。				
9	確率分布と検定理論	いろいろな確率分布と検定の対応について説明します。					テキスト(確率分布と検定理論)を読んできてください(4時間)。				
10	t分布による検定	t分布による検定方法について説明します。					テキスト(t分布による検定)を読んできてください(4時間)。				
11	カイ二乗分布による検定	カイ二乗分布による検定について説明します。					テキスト(カイ二乗分布による検定)を読んできてください(4時間)。				
12	標本数が異なる異なる場合の検定	標本数が異なる異なる場合の検定について説明します。					テキスト(標本数が異なる異なる場合の検定)を読んできてください(4時間)。				
13	分散分析とF分布の理論	分散分析とF分布の理論について説明します。					テキスト(分散分析とF分布の理論)を読んできてください。確認問題があります(4時間)。				
14	発展分野	社会調査の発展分野について説明します。					資料配布しますので読んできてください(4時間)。				
15	課題とまとめ	各自が社会調査を実際に行って結果の検討をおこないます。					課題と確認問題があります(4時間)。				
テキスト		成績評価の方法・基準									
講義用テキスト及びプリントを配布します。		定期試験：70% 出席レポート：30% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
2年配当科目「基礎統計学テキスト」林昌孝編著(松本大学)適時紹介します。		本科目は「基礎統計学」「情報処理」の知識を基礎にしています。また、パソコン教室を利用するため履修者制限する場合があります。企業での実務経験を活かした内容です。									

科目名	起業論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパ'リング	KA36027	研究室	W-10
担当者	兼村 智也		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>ヒトに誕生や成長、老化、そして死があるように、企業や事業にも創業や起業、成長や発展、そして退出や廃業といった「ライフサイクル」がある。このライフサイクルにはそれぞれに特徴や、乗り越えるべき課題があり、特に成長(戦略)のためには然るべき取り組み(戦術)が必要になる。本講座では国内企業のほとんどを占め、地域経済とのつながりも深い中小企業(の事業)のライフサイクルを通じて、これらの点について解説していく。</p>										
学修到達目標										
<p>企業や事業のライフサイクルについての知識を習得できる。ライフサイクルのなかで企業や事業を捉え、その時点での立ち位置を認識し、相対的に評価できる。今後の展望、そして来るべき課題を予測できる。課題への対応策についての知識を習得できる。</p>										
授業の進め方										
毎回の授業の冒頭で、前回授業のフィードバックを行う。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、中小企業・事業とは何か	中小企業・事業とは何かについて学習する。				テキスト第1章(pp.1-35)を事前に読んでおくこと(2時間)				
2	開業活動の動向と開業を活性化・停滞させる要因	開業活動の動向と開業を活性化・停滞させる要因について学習する。				テキスト第2章(pp.37-62)を事前に読んでおくこと(2時間)				
3	開業の経済的意義と開業企業・起業者の実像	開業の経済的意義と開業企業・起業者の実像について学習する。				テキスト第2章(pp.63-87)を事前に読んでおくこと(2時間)				
4	中小企業の成長	中小企業の成長について学習する。				テキスト第3章(pp.89-100)を事前に読んでおくこと(2時間)				
5	成長の決定要因	成長の決定要因について学習する。				テキスト第3章(pp.100-117)を事前に読んでおくこと(2時間)				
6	中小企業の組織	中小企業の組織について学習する。				テキスト第4章(pp.119-132)を事前に読んでおくこと(2時間)				
7	中小企業の人材	中小企業の人材について学習する。				テキスト第4章(pp.133-156)を事前に読んでおくこと(2時間)				
8	イノベーションと研究開発	イノベーションと研究開発について学習する。				テキスト第5章(pp.157-167)を事前に読んでおくこと(2時間)				
9	中小企業の研究開発戦略	中小企業の研究開発戦略について学習する。				テキスト第5章(pp.168-176)を事前に読んでおくこと(2時間)				
10	企業間連携・ネットワーク	企業間連携・ネットワークについて学習する。				テキスト第6章(pp.177-187)を事前に読んでおくこと(2時間)				
11	水平連携と垂直的連携	水平連携と垂直的連携について学習する。				テキスト第6章(pp.187-208)を事前に読んでおくこと(2時間)				
12	退出・廃業とその分類	退出・廃業とその分類について学習する				テキスト第7章(pp.222-234)を事前に読んでおくこと(2時間)				
13	退出・廃業の要因	退出・廃業の要因について学習する。				テキスト第7章(pp.222-234)を事前に読んでおくこと(2時間)				
14	中小企業の金融	中小企業の金融について学習する。				テキスト第8章(pp.235-294)を事前に読んでおくこと(3時間)				
15	ケーススタディとまとめ	ケーススタディについて学習する。				14回の際に配布する資料を事前に読んでおくこと(2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「本庄裕司著『テキスト ライフサイクルから見た中小企業論』安田武彦、高橋徳行、忽那憲治、本庄裕司著(同友館) ISBN:9784496043765(生協で購入してください。)				定期試験:80% レポート:20% S:100~90点、A:89~80点、B:79~70点、C:69~60点。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「企業の一生の経済学:中小企業のライフサイクルと日本経済の活性化」橋木俊昭、安田武彦編著(ナカニシヤ出版) ISBN:978479501210				事前学習は行っている前提で授業を進めます。授業では担当教員が実務経験のなかで知りえた得た具体的な事例などを交えながら、テキストの「行間」を埋める解説を行います。						

科目名	ビジネスシミュレーション		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	KA36028	研究室	W-23
担当者	田中 正敏		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
マネジメントゲーム(MG)というビジネスシミュレーションゲームを習得することで、戦略的意思決定能力、データ分析能力、レポート作成能力を養うことを目的としています。このマネジメントゲーム(MG)では、製造業における戦略的意思決定能力(交渉、駆け引きなど)を育てます。実習を行うために、まず、準備段階として、人事管理、組織・戦略、オペレーションズ、マーケティング、ファイナンス・会計、意思決定の各々の演習を机上で行います。										
学修到達目標										
意思決定の習得(代替案と意思決定)										
授業の進め方										
シミュレーション実験を行う前に、机上でのEXCELを使用した演習の講義を7、8回行う。その後、机上での価格設定モデル(独占、複占、寡占)を行う。最後に、シミュレーション実験・演習後のレポート作成を行う指導、および、フィードバックをする。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	ビジネスシミュレーションのねらい・進め方				シミュレーションの習得とMGゲームの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
2	ビジネスシミュレーションの構成、評価	マネジメントゲームの説明				MGゲームの習得と意思決定の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
3	人事管理	アンケート調査の演習問題およびその解決方法				アンケート調査法の習得とグループマッピングの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
4	組織・戦略	戦略グループ・マップの演習問題およびその解決方法				グループマッピングの習得とTOCの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
5	オペレーションズ(1)	TOCの演習問題およびその解決方法				TOCの習得とMRPの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
6	オペレーションズ(2)	MRPの演習問題およびその解決方法				MRPの習得と利益拡大の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
7	マーケティング	利益拡大の演習問題およびその解決方法				利益拡大の習得と設備投資の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
8	会計	設備更新の演習問題およびその解決方法				設備投資の習得と投資の可否の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
9	ファイナンス	投資の可否の演習問題およびその解決方法				投資の可否の習得と確率論的な意思決定の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
10	意思決定(1)	テーマパークの天候の演習問題およびその解決方法				確率論的な意思決定の習得と決定論的な意思決定の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
11	意思決定(2)	医療機器の販売計画の演習問題およびその解決方法				決定論的な意思決定の習得とMGの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
12	マネジメントゲーム(1)	経営シミュレーションの実習(価格決定法:独占の場合)				MGの習得とデータ収集法の考え方・まとめ(週に4時間必要)				
13	マネジメントゲーム(2)	経営シミュレーションの実習(価格決定法:複占の場合)				MGの習得とデータ収集法の考え方・まとめ(週に4時間必要)				
14	マネジメントゲーム(3)	経営シミュレーションの実習(価格決定法:寡占の場合)				MGの習得とデータ収集法の考え方・まとめ(週に4時間必要)				
15	レポート作成	損益分岐点の求め方、それに基づいての意思決定				レポートのまとめ方の習得(週に4時間以上必要)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「データから読み解く経営学」田中正敏著(創成社) ISBN:978-4-7944-2442-6(生協で購入してください。)				定期試験:80% 出席レポート:20% S:講義中に対して積極的に質問をし、到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる。A:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる。B:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる。C:到達目標値を理解、各回の授業で学んだことを理解できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義中に連絡する。				ものごとを論理的思考で考えてもらいたい。この科目は経営学の総合的な科目であるので、できるだけ経営全般の基礎および応用の科目を修得しておくことが望ましい。						

科目名	宅建特講		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KA26029	研究室	
担当者	各教員		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
宅地建物取引士資格試験は、毎年20万人以上が申し込む人気の国家資格です。不動産業に携わる人ばかりでなく、金融関係や保険関係でも不動産に関わる専門知識を要するセクションでは、宅建の知識が業務に深く関わることもあり、高い需要を誇っています。本講義では権利関係、宅建業法、法令上の制限、その他の分野について基礎的な内容を理解することが出来るよう指導します。										
学修到達目標										
宅建士試験に合格すること										
授業の進め方										
基本的には教科書を用いて授業を進めますが、必要に応じて事例などのプリントも配布して使用します。レポートなどは添削して返却することで、フィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業のねらいと進め方についての説明と導入講義				今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
2	宅建業・取引主任者・営業保証金と保証協会	宅建業、取引主任者、営業保証金、保証協会について学習します				予習はテキストのpp.1-71まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
3	業務上の規制と媒介契約・報酬額の制限	業務上の規制と媒介契約、報酬額の制限について学習します。				予習はテキストのpp.72-107まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
4	「自ら売主」の「8つの制限」・重要事項説明書と37条書面・監督処分と罰則	「自ら売主」の「8つの制限」、重要事項説明書と37条書面、監督処分と罰則について学習します。				予習はテキストのpp.107-166まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
5	都市計画法・建築基準法・国土利用計画法	都市計画法、建築基準法、国土利用計画法について学習します。				予習はテキストのpp.170-265まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
6	宅地造成等規制法・農地法・土地区画整理法とその他の法令	宅地造成等規制法、農地法、土地区画整理法、その他の法令について学習します。				予習はテキストのpp.250-306まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
7	住宅金融支援機構、公示価格、不動産の鑑定評価の方法など	住宅金融支援機構、公示価格、不動産の鑑定評価の方法などについて学習します。				予習はテキストのpp.545-580まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
8	制限行為能力者、意思表示	制限行為能力者、意思表示について学習します。				予習はテキストのpp.307-340まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
9	代理、時効	代理や時効について学習します。				予習はテキストのpp.341-369まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
10	物権変動、抵当権	物権変動と抵当権について学習します。				予習はテキストのpp.370-410まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
11	売買契約、賃貸借契約・借地借家法	売買契約や賃貸借契約、借地借家法について学習します。				予習はテキストのpp.411-456まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
12	債権の譲渡・消滅、連帯債務・保証債務	債権譲渡・消滅、連帯債務・保証債務について学習します。				予習はテキストのpp.457-480まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
13	その他の契約・不法行為、相続	その他の契約・不法行為や相続について学習します。				予習はテキストのpp.481-521まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
14	建物区分所有法、不動産登記法	建物区分所有法や不動産登記法について学習します。				予習はテキストのpp.482-525まで学習し、今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
15	講義全体のまとめ	講義全体を総括し、内容確認を行う。				今回実施した講義内容を復習しておくこと(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「2019年度版 スッキリわかる宅建士」中村喜久夫著(TAC出版)(生協で購入してください。)(生協で購入してください。)				出席レポート:50% 小テスト:50% S:基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。A:基本的な目標を十分に達成している。B:基本的な目標を達成している。C:基本的な目標を最低限度達成している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて指示します。				余計な知識は混乱のもとになります。合格に必要な知識だけを身につけることが必要です。そのためには、テキストを繰り返し読み、身につけた知識を使いこなして、どんどん問題を解くようにしてください。						

科目名	職業指導論	学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	KL26030	研究室	W-12
担当者	鈴木 智之	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日3限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C					
授業概要									
学校と社会の円滑な接続を図るためには、学生の職業観・勤労観を育むとともに、職業に関する知識や技能を身に付けさせることが必要不可欠です。また、それらに加えて、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力を育てることも大切になってくるでしょう。本講義では、職業指導(進路指導・キャリア教育)の基礎的な理論や実践的な技術について解説していきます。									
学修到達目標									
職業指導(進路指導・キャリア教育)の基礎的な理論や実践的な技術を学ぶことによって、職業指導についての知識や関心を広げようになるのはもちろん、中学生や高校生が進路選択という大きな課題に直面した際、教師として具体的な支援ができるようになることが目標です。									
授業の進め方									
基本的には講義用プリントを配布して授業を進めます。各回とも教室での講義となりますが、授業内容に応じて一部ディスカッションも取り入れていきます。小テストや試験は、添削や採点して返却することでフィードバックを行います。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標などについて解説します。また職業指導の定義、職業指導の概念の広がりについて解説します。					今回の内容を復習すると同時に、代表的な職業分類について調べてきて下さい。(4時間)		
2	職業の語義と種類	職業の要素について解説した上で、総務省や厚生労働省の職業分類体系をもとに、多種多様な職業の種類を紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、職業選択理論について調べてきて下さい。(4時間)		
3	職業指導(進路指導・キャリア教育)の基礎理論	職業選択理論、構造理論、発達理論など、職業指導にかかわる代表的な基礎理論について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、昨今の求人倍率の推移について調べてきて下さい。(4時間)		
4	産業構造・就業構造の変化	日本の産業構造の変化、それを受けた就業構造の変化について解説します。また昨今の労働市場の動向を整理しながら、企業の採用意欲の方向性なども紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、いわゆる「七五三現象」について調べてきて下さい。(4時間)		
5	若年者の職業意識とキャリア行動	職業指導の対象となる「若年者」が抱く職業意識、それを踏まえたキャリア行動について解説します。職業指導の円滑化を図る上で、「若年者」への理解を深めることは必要不可欠なポイントです。					復習すると同時に、高卒で就職を希望する学生の割合を調べてきて下さい。(4時間)		
6	高校におけるキャリア教育と職業指導	キャリア教育を進める際の組織や運営方法について解説した上で、高校における職業指導の流れや留意点なども紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、キャリアカウンセリングの目的を調べてきて下さい。(4時間)		
7	キャリアカウンセリングの理論と技法	キャリアカウンセリングの導入の背景、キャリアカウンセリングの目的・機能・プロセスについて解説します。					今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)		
8	中間のまとめ	これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。					小テストを復習すると同時に、企業で行われているMB0について調べてきて下さい。(4時間)		
9	企業で行われているキャリア開発支援	企業で行われているキャリア開発支援の取り組みを題材にしながら、若年者のキャリア行動を促すための手法について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、労働関連の法律の種類について調べてきて下さい。(4時間)		
10	職業指導の際に知っておくべき法律	若年者が職業選択を進めていく上で、さらには実際に職業生活を過ごしていく上で知っておくべき法律について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、フリーターに関連する情報を収集してきて下さい。(4時間)		
11	ケーススタディ(若年者のフリーターの実態)	若年者の「フリーターの実態」に焦点をあて、収入、雇用の安定、能力開発などの側面から非正規労働者が抱える問題について解説します。また国が進めている若年者支援の施策なども紹介します。					復習すると同時に、若年者の離転職に関連する情報を収集してきて下さい。(4時間)		
12	ケーススタディ(若年者の離転職の実態)	若年者の「離転職の実態」に焦点をあて、離転職が多い理由、離転職のその後について整理した上で離転職を防ぐための手法を解説します。					今回の内容を復習すると同時に、ドイツで行われている見習制を調べてきて下さい。(4時間)		
13	欧米諸国のキャリア開発支援	学校生活から職業生活への移行タイプを整理した上で、欧米諸国におけるキャリア開発支援の取り組みについて解説します。					今回の内容を復習すると同時に、適性診断の種類について調べてきて下さい。(4時間)		
14	自己理解・適性診断の手法	自己理解の意義と目的について解説した上で、ワークシートを用いながら実際に自己理解を行います。また自己理解を進める上で参考となる適性診断の手法なども紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)		
15	講義全体のまとめ	定期試験対策プリントを用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。					小テストを復習すると同時に、定期試験に備えて下さい。(4時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
講義用プリントを配布します。		出席レポート:20% 小テスト:30% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解して発展問題・課題が解ける。A:授業内容を理解して応用問題・課題が解ける。B:授業内容をおおよそ理解して応用問題・課題がほぼ解ける。C:授業内容の6割程度を理解している。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「キャリア開発と職業指導 大学・高校のキャリア教育支援」伊藤一雄・佐藤史人・堀内達夫編(法律文化社)		教師の立場はもちろん、自分自身の進路を考える上でも良いきっかけを与えてくれるはずです。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:国家資格キャリアコンサルタントを保有し、キャリア相談業務に従事した。							

科目名	情報倫理		学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	KL16031	研究室	W-31	
担当者	室谷 心		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスター	月曜日2限			
関連資格	高一(情報)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
皆さんはネットワークに囲まれた情報化社会に暮らしています。この情報にあふれた社会で、"正しく"暮らしていく方法を考えます。それが倫理です。どうするのが"正しい"判断なのか、それを考えていくのが倫理です。											
学修到達目標											
情報にあふれた社会の利便性と危険性を理解し、安全かつ便利に暮らしていくことを考えられるようになる。											
授業の進め方											
"情報"の絡んだ現代的な話題をとりあげ、特徴と問題点を解説します。答えのない問題を考え、悩みましょう。クリッカーを利用した小テストを毎時間行い、皆さんの理解度を授業にフィードバックさせます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	ガイダンス 情報倫理では何を問題とするか					身の回りのネット問題を拾い出す(4時間)				
2	スマホはコミュニケーションを変えたか	生活の中でのスマホの働きを改めて考えて見ましょう					生活の中での、スマホとSNSの役割を考える(4時間)				
3	情報モラル	ネット社会の危険を考える。被害者にも加害者にもならないために					実際のトラブル事例を調べる(4時間)				
4	メディアはメッセージである	マクルーハンのメディア論 新旧メディアの対立と棲み分け					インターネット批判を集めてみる(4時間)				
5	サイバースケード	サイバースケードと模倣 ネット上の意見形成					ネット炎上の動きを見る(4時間)				
6	ネットショップのおススメについて	協調フィルタリングと行動ターゲティング広告					協調フィルタリングの例を探す(4時間)				
7	グーグル検索	グーグルのランキングとグーグル八部					グーグル八部の例を調べる(4時間)				
8	4つの力	ローレンスの「人の行為を制約する4つの力」					4つの力の具体例を調べる(4時間)				
9	アーキテクチャー	環境管理型権力と規律訓練型権力					環境管理型権力の例を探す(4時間)				
10	6つの影響力	チャルディーニの影響力					6つの影響力の実例を調べる(4時間)				
11	デマの要因	デマの要因と認知的不協和					デマの具体例を探す(4時間)				
12	フェイクニュース	フェイクニュースとalternative factsとpost-truth					トランプ大統領と安倍首相の発言を考える(4時間)				
13	テロリストの作り方	ISはいかに若者をテロリストに誘うか					実際に起こった例を調べる(4時間)				
14	家族を取り戻す方法	テロ集団から家族を取り戻す方法					成功例と失敗例を探す(4時間)				
15	まとめ	全体の講義のまとめ					第1回から第14回の講義までの復習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
指定テキストはありません。適宜プリントや資料を配布します。授業にあわせて、インターネットや図書館で調べてください。				定期試験：90% 出席レポート：10% S:情報社会における倫理に関する発展的な問題を考察できる。 A:情報社会における倫理に関する応用的な問題を考察できる。 B:情報社会における倫理に関する標準的な問題を考察できる。 C:情報社会における倫理に関する基礎的な問題を考察できる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
なし				インターネットという身近なメディアに、どのような可能性や危険性が伴うのかを意識しながら受講してください。							

科目名	コンピュータ概論		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KL26032	研究室	W-23
担当者	田中 正敏		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日4限		
関連資格	高一(情報)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
インターネットが発達してきている現代においては、文字だけでなく、音声、画像もデジタル化されて、それらの情報がインターネットを通じて世界中とやり取りされています。この授業では、情報の表現方法、コンピュータの仕組み(ハードウェアとソフトウェア)、データベース、ネットワークおよび通信のセキュリティなどの基本的なことを理解できるようになることを目指します。特に、計算問題から理解度を高めていきます。										
学修到達目標										
コンピュータ基礎理論および計算法の習得										
授業の進め方										
大枠は教科書を用いて授業を進める。場合によっては、プリントも配布およびパワーポイントの資料を使用する。講義の時間を利用して、進捗管理(小テスト、レポート)を行い、評価し、学生に返却(フィードバック)するように行う。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の進め方、ねらい				計算法の習得とデータ・表記の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
2	データ・情報の表記	データ変換やP進数の計算方法				データ・情報の表記の習得と論理計算の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
3	論理計算	和、差、積、商など				論理計算の習得と論理式・集合演算の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
4	論理式と集合演算	利用方法				論理式と集合演算の習得とCPU性能の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
5	CPU性能(1)	MIPS値と平均命令実行時間の計算方法				MIPS値と平均命令実行時間の習得とクロック周波数の考え方の準備				
6	CPU性能(2)	クロック周波数を用いた計算方法				クロック周波数の習得と実行メモリアクセスの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
7	実行メモリアクセス	実行メモリアクセス時間の計算方法				実行メモリアクセスの習得と磁気ディスクの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
8	磁気ディスク(1)	磁気ディスクの記憶容量の計算方法				磁気ディスクの記憶容量の習得とアクセス時間の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
9	磁気ディスク(2)	アクセス時間の計算方法				アクセス時間の習得とマルチプログラミングの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
10	マルチプログラミング	マルチプログラミングの処理時間の計算方法				マルチプログラミングの習得とコンピュータ処理時間の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
11	コンピュータ処理時間	レスポンスタイム、ターンアラウンドタイム				コンピュータ処理時間の習得と信頼性の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
12	信頼度計算と意味	MTBFとMTTRおよびシステム稼働率				信頼度計算と意味の習得と非同期方式の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
13	非同期方式の利用率	非同期方式の利用率の計算方法				非同期方式の利用率の習得と符号化の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
14	符号化	符号化の意味、使い方				符号化の習得と日程計画の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
15	日程計画	スケジューリング、PERT				日程計画の習得・まとめ(週に4時間必要)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
自作テキストを使用する。				定期試験：80% 出席レポート：20% S:講義中に対して積極的に質問をし、到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる。A:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる。B:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる。C:到達目標値を理解、各回の授業で学んだことを理解できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業中に連絡する。				コンピュータ計算は基本的には加減乗除ですので地道に計算してください。ITパスポート試験に対応します。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：建材会社に勤務、システム開発部門にてネットワーク開発に携わった。						

科目名	情報とビジネス		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KL26033	研究室	W-23	
担当者	田中 正敏		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日4限			
関連資格	高一(情報)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
21世紀を迎え、IT(Information Technology:情報技術)は企業のみならず、社会全般にますます大きな影響を及ぼしつつあります。ここ数年、インターネットに代表されるITの発展とその活用は、さまざまな局面において変化の速さを演出しています。これに対応するためには、まず、ITの知識や動向を把握し、さらに、それがビジネスでどのように生かされ、人間社会にどのような影響を与えるのか検討していくことを教授します。											
学修到達目標											
社会におけるコンピュータの位置付けの習得											
授業の進め方											
大枠は教科書を用いて授業を進める。場合によっては、プリントも配布およびパワーポイントの資料を使用する。講義の時間を利用して、進捗管理(小テスト、レポート)を行い、評価し、学生に返却(フィードバック)する。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業ののねらい・進め方(情報化社会とその特徴)					情報処理の考え方の習得と企業活動の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
2	企業活動	財務諸表、損益分岐点、作業計画、パレート図、業務フロー					企業活動の習得と法務の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
3	法務	知的財産権、個人情報保護法、労働基準法、企業の規範など					法務の習得と経営戦略マネジメントの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
4	経営戦略マネジメント	SWOT分析、PPM、顧客満足度、CRM、SCMなど					経営戦略マネジメントの習得と技術戦略マネジメントの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
5	技術戦略マネジメント	技術開発戦略の意義、目的など					技術開発戦略の習得とビジネスインダストリーの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
6	ビジネスインダストリー	電子商取引、POSシステム、情報家電や組込みシステムの特徴・動向					ビジネスインダストリーの習得とシステム戦略の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
7	システム戦略	意義と目的および目標、作業改善、問題解決の考え方					システム戦略の習得とシステム企画の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
8	システム企画	業務条件定義、見積書、RFP、提案書の流れ					システム企画の習得とシステム開発技術の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
9	システム開発技術	要求定義、設計、レビュー、開発、テストおよび保守					システム企画の習得とソフトウェア開発管理技術の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
10	ソフトウェア開発管理技術	ウォータフォールモデル、スパイラルモデルなど					ソフトウェア開発管理技術の習得とソフトウェアマネジメントの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
11	プロジェクトマネジメント	意義、目的、考え方、プロセス、手法					プロジェクトマネジメントの習得とサービスマネジメントの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
12	サービスマネジメント	ITSMの意義、目的、考え方					サービスマネジメントの習得とシステム監査の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
13	システム監査	内部統制、ITガバナンスの意義、目的、考え方					システム監査の習得とコンピュータ構成要素の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
14	コンピュータ構成要素	構成、記憶媒体の種類と特徴、入出力インターフェースの種類と特徴					コンピュータ構成要素の習得とマルチメディアの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
15	マルチメディア	JPEG、MPEG、MP3など、符号化の特徴、情報の圧縮と伸長、メディアの特徴					マルチメディアの習得・まとめ(週に4時間必要)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「ITパスポート合格教本」[単行本](ソフトカバー) 令和2年 岡崎裕史著(技術評論社) ISBN:9784297109974 (生協で購入してください。)				定期試験:80% 出席レポート:20% S:講義中に対して積極的に質問をし、到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる。A:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる。B:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる。C:到達目標値を理解、各回の授業で学んだことを理解できる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
講義中に連絡する。				この科目は「情報システム論」「コンピュータ概論」を合わせて履修してもらいたい。国家試験の「ITパスポート」を網羅しています。(実務経験のある教員が担当)内容:建材会社に勤務、システム開発部門にてネットワーク開発。							

科目名	マルチメディア論		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバ`リング	KL26034	研究室	W-31	
担当者	室谷 心		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア`	水曜日3限			
関連資格	高一(情報)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
<p>コンピュータは絵や音、動画など多彩な形式のデータのプレイヤーであり、マルチメディアデータを使ったコミュニケーションツールです。この授業では、人間同士のコミュニケーションの媒体であるマルチメディアデータの基礎知識を学びます。情報の受け手である人間のセンサー性能や分析能力を意識しながら、パソコンで絵や音楽、動画データなどマルチメディアデータを扱う代表的なアプリケーションを体験し、基本的な知識と技能を身につけましょう。</p>											
学修到達目標											
マルチメディアデータを使ったコミュニケーションの特徴を理解する。											
授業の進め方											
パソコンでの具体的なデータの扱いを実演しながら講義を進めます。クリッカーを利用した小テストを毎時間行い、皆さんの理解度を授業にフィードバックさせます。実技を伴う授業を数回行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	情報とは	ガイダンス：コミュニケーションと人間の五感の限界。					人間の五感とそれを使ったコミュニケーションを復習する。(4時間)				
2	情報量	情報の量を測る、数える。					ビットやバイトの計算練習。(4時間)				
3	光と色	色度図と光の三原色の関係、人間の限界。					三原色の関係を作図する。(4時間)				
4	画像のデジタル化	画像データの基本、標準化と量子化。					画像データのファイルサイズの計算練習。(4時間)				
5	ドロー系とペイント系	いろいろなデータ形式、ドロー系とペイント系の違いとデジタル画像データの一般論。					画像データの違いをまとめる。(4時間)				
6	jpeg vs gif	jpeg vs gif と Animation GIF の作成。実技を伴う。					GIF animation を作る。(4時間)				
7	音	音とは、その正体と人間の限界について。振動と波動について理解する。					うなりや木霊の実例を探す。(4時間)				
8	サウンドデータ	パソコンでの音データの取り扱いとサウンドエディターでの実際。実技を伴う。					お気に入りの曲のサビの部分を取り出す。(4時間)				
9	MIDI	MIDIデータ入門。MIDIは音ではなく演奏である。					MIDIのデータを作ってみる。(4時間)				
10	Vocaloidの歌声	Vocaloid 初音ミクを例に、MIDIの新しい流れを考える。					お気に入りのVocaloidを探す。(4時間)				
11	データ圧縮	データ圧縮の基本を理解する。					データ圧縮と展開の練習。(4時間)				
12	動画データ	動画データ入門。実技を伴う。					動画の編集練習。(4時間)				
13	5感の残り	触覚の利用、嗅覚、味覚は？					触覚や味覚、嗅覚を使ったコミュニケーションを考える。(4時間)				
14	情報弱者	情報弱者とデジタルデバイド。					身の回りのデジタルデバイドの例を見つける。(4時間)				
15	まとめ	情報理論はコミュニケーションである。					授業全体を見直し試験に備える。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
なし。シラバスや講義の予告を参考に各自図書館やインターネットで補いながら予習し、講義内容をよく復習すること。学内LAN上に置いてある講義資料を参考にすること。			課題：20% 定期試験：80% S:マルチメディアコミュニケーションに関する発展的な問題を考察できる A:マルチメディアコミュニケーションに関する応用的な問題を考察できる B:マルチメディアコミュニケーションに関する標準的な問題を考察できる C:マルチメディアコミュニケーションに関する基礎的な問題を考察できる								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし			実演を交えながらの講義です。手書きノートのみ持ち込み可の試験を行います。教室の前の方に座り、しっかりノートを取ってください。								

科目名	プログラミング論		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ`リ`ン`グ	KL26035	研究室	W-32
担当者	小林 俊一		必修選択	選択	科目種別	講義	オィスアワ`	火曜日3限		
関連資格	高一(情報)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>小規模なプログラムを作成することで、実際にプログラミングができるようになることを目標にします。身の回りにある色々なものが、プログラムを使って動く時代になっています。この講義では、プログラムの基本的な事項について学びます。工業製品などの広い分野で、開発用に利用されているプログラミング言語のC言語を利用して、プログラミングについて学習を行います。プログラミングの基礎を、しっかりと身につけることを目標とします。また、代表的なアルゴリズムについても、学習を行います。</p>										
学修到達目標										
<p>サンプルプログラムを作成することで、実際に小さい規模のプログラムが作成できるようになることを目標とします。プログラムとは何か、プログラミングとは何かについて基礎から学び理解することを目標とします。これからの時代を生き抜くのに必要といわれているプログラミングの基礎知識を身につけることを目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>コンピュータを利用しながら、C言語のプログラムを自分で入力しながら学習を行います。プログラム作成に必要な基本的なことから中心に学習を進めます。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスを行います。	ガイダンスを行います。プログラムとは何かを説明します。プログラミングについても学習します。					配布資料を復習して下さい。(4時間)			
2	プログラムの基本を学習します。	プログラムの基本的なことを学習します。授業で利用するC言語についても解説します。					プログラムの基本の内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
3	アルゴリズムの考え方について学習します。	アルゴリズムの考え方と、具体的な処理系の使い方を学習します。					アルゴリズムの考え方の内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
4	コンパイラの使い方を学習します。	C言語コンパイラの使い方を学習します。					コンパイラの使い方の内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
5	変数と型、式と演算について学習します。	変数と型、式と演算について学習します。実際に動く小さなサンプルプログラムをテキストエディタを使って入力して、プログラムを動かしてみます。					変数と型、式と演算の内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
6	条件分岐、繰り返しについて学習します。	条件分岐、繰り返しについて学習します。実際に動く小さなサンプルプログラムをテキストエディタを使って入力して、プログラムを動かしてみます。					条件分岐、繰り返しの内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
7	配列について学習します。	配列について学習します。サンプルプログラムの作成をしながら、体験的に学習します。					配列の内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
8	ループと配列を使ったプログラムを作成します。	ループと配列を使ったサンプルプログラムを入力して、動かしながら学習を行います。					ループと配列を使ったプログラムの内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
9	プログラム作法や書法について学習します。	プログラム作法や、プログラム書法について学習します。					プログラム作法や書法の内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
10	データ構造とアルゴリズムについて学習します。	データ構造とアルゴリズムとは何かについて学習します。実際にサンプルプログラムを作成しながら学びます。					データ構造とアルゴリズムの内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
11	ソートについて学習します。	ソートについて、サンプルプログラムを使いながら学習します。					ソートの内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
12	お店で使えるような簡単なプログラムを学習します。	お店で使えるような簡単なプログラムを学習します。					お店で使えるような簡単なプログラムの内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
13	条件処理を使った簡単なプログラムの作成します。	条件処理を使った簡単なプログラムの作成します。if文の使い方を学習します。					条件処理を使った簡単なプログラムの内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
14	配列とループと条件処理を使ったプログラムを作成します。	配列とループと条件処理を使ったプログラムを作成します。					配列とループと条件処理を使ったプログラムの内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
15	講義のまとめをします。	プログラミング論の講義のまとめを行います。					講義のまとめの内容を予習し復習して下さい。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
プリントを配布します。必要に応じて、参考書やインターネットなどで補って下さい。					<p>課題：25% 定期試験：75%</p> <p>S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
<p>「やさしいC 第5版」高橋麻奈著(ソフトバンククリエイティブ) ISBN: 978-4797392586 「新・明解C言語 入門編」柴田望洋著(ソフトバンククリエイティブ)</p>					<p>【実務経験のある教員が担当】内容：コンピュータ製造会社に勤務しソフトウェアの研究開発、自治体のマルチメディア情報センターで、情報ネットワークシステムの構築管理、コンピュータシステムの構築管理の業務に携わった。</p>					

科目名	C Gの基礎			学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	KL26036	研究室	非常勤
担当者	松澤 みわ子・永田 綾子			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
近年、情報媒体を用いて企業等は様々な戦略を展開しており、Webなどにその工夫が凝らされています。この講義では、そうした経営戦略上欠かせない情報伝達手段のひとつであるコンピュータ・グラフィックについて理解を深めます。前半は2次元画像の補正やコラージュの基本技法を、後半は3次元CGのモデリングについて学んでいきます。											
学修到達目標											
2次元CGソフトの「Photoshop Elements」を使ったポストカードやWebコンテンツの制作と3次元CGソフトの「Shade」を用いた3D画像の生成の両方ができるようになることを目指します。											
授業の進め方											
本講義はコンピュータ教室での実習となります。毎回、新しい機能に取り組み、その理解度を確認するために、必ず小テストを受けてください。また、CG制作に関する総合的な課題も出ますので各自、オリジナル作品の制作作業に積極的に取り組んでください。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法についてCG画像の種類やCGソフトの特徴について紹介					シラバスの内容を確認し、講義全体の流れを理解すること(1時間)				
2	Photoshop機能 フォトレタッチ	PhotoshopElementsの基本操作、およびデジタル写真の画質調整や修正に関する演習を行います。					左記内容に関する小テストが出るので、指示通り加工して提出する(1時間)				
3	Photoshop機能 画像の合成、フィルター	デジタル写真のトリミングや合成方法に関する演習を行います。また、写真にさまざまな特殊効果を設定する方法を紹介します。					左記内容に関する小テストが出るので、指示通り加工して提出する(1時間)				
4	Photoshop機能 描画ツール	PhotoshopElementsの豊富な描画ツール(ブラシ、グラデーション、シェイプ)などに関する演習を行います。					左記内容に関する小テストが出るので、指示通り加工して提出する(1時間)				
5	Photoshop機能 文字、GIFアニメーション	画像と文字を組み合わせたり、マスク処理について紹介します。また、Web用コンテンツとして利用可能なGIFアニメーションに関する演習を行います。					左記内容に関する小テストが出るので、指示通り加工して提出する(1時間)				
6	Photoshop実践演習	これまで学んだ様々な機能を駆使して本格的な2次元CG作品を仕上げます。					演習内容に従ってCG制作手順を確認する(1時間)				
7	Photoshop実践演習	Photoshopの最終回です。これまで学んだ様々な機能を駆使してオリジナルの2次元CG作品を仕上げます。					演習内容に従ってCG制作手順を確認し、2次元CG課題を期日までに提出すること(4時間)				
8	Shade機能 モデリング体験	Shadeの起動と画面構成、ウィンドウ操作、オブジェクト操作について確認します。次に実際に立体物を作成し、それをイメージ画像として生成していくまでの各ステップを体験します。					左記内容に関する小テストが出るので、指示通り加工して提出する(1時間)				
9	Shade機能 平面形状の作成と立体化	モデリングの基本となる平面形状の作成方法を学びます。そして、それを立体化する掃引、回転の2つの方法を学びます。					左記内容に関する小テストが出るので、指示通り加工して提出する(1時間)				
10	Shade機能 ブーリアン・モデリング	複数の立体同士を組み合わせることでさらに別の形状を作成するのがブーリアンモデリングです。形状同士で穴を開けたり、埋めたりする演習を行います。					左記内容に関する小テストが出るので、指示通り加工して提出する(1時間)				
11	Shade機能 自由曲面の作成	より複雑なモデリングを行うための方法として用意されている自由曲面を利用したモデリング方法の演習を行います。					左記内容に関する小テストが出るので、指示通り加工して提出する(1時間)				
12	Shade機能 表面材質・背景設定	形状に色や反射、屈折などリアルな質感を与える作業が表面材質の設定です。また、形状に背景を設定するなどの演習を行います。					左記内容に関する小テストが出るので、指示通り加工して提出する(1時間)				
13	Shade機能 カメラ・ライティング設定	作成した形状をイメージ画像として出力する前に、カメラアングルやどんな照明を利用するか決めます。カメラと光源に関する演習を行います。					左記内容に関する小テストが出るので、指示通り加工して提出する(1時間)				
14	Shadeモデリング実践演習	これまで学んだ様々な機能を駆使して本格的な3次元CG作品を仕上げます。					演習内容に従ってCG制作手順を確認する(1時間)				
15	Shadeモデリング実践演習	Shadeの最終回です。これまで学んだ様々な機能を駆使してオリジナルの3次元CG作品を仕上げます。					演習内容に従ってCG制作手順を確認し、3次元総合課題を期日までに提出すること(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
講義ごとに、プリントを配布します。欠席者は情報センターまでプリントを取りに来てください。そして、プリントに記載されている小テストを必ず受けてから、次回授業にのぞんでください。					課題:50% 小テスト:50% S:小テストの理解度が十分にあり、授業内の演習をさらに発展させた卓越した作品が作れる A:小テストの理解度が8割程度あり、授業内演習よりも大幅に高度な作品が作れる B:小テストの理解度が7割程度あり、授業内演習よりもやや高度な作品が作れる C:小テストの理解度が6割程度あり、授業内演習と同レベルの作品が作れる						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「できるPhotoshop Elements 10」樋口 泰行著できるシリーズ編集部編編(インプレスジャパン) ISBN:978-4-8443-3111-7 「Shade 13 ガイドブック」shadewriters著(株式会社BNN新社)					CGソフトごとに操作の癖があり、慣れるまでは苦労すると思いますが、クリエイティブな作業に興味があればとても楽しい実習ばかりです。過去に配布されたプリントも毎回すべて持参の上、講義に臨んでください。						

科目名	マルチメディア活用論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	KA26037	研究室	W-31
担当者	室谷 心		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限		
関連資格	高一(情報)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
マルチメディアデータを作成して、情報発信できるようになる。 マルチメディア論で学んだ知識を生かし、実際にマルチメディアデータを活かしたアプリの作成を行う。表現力豊かなスマホアプリを作りましょう。										
学修到達目標										
絵、音、振動などいろいろなメディアを使ってユーザー訴えかけるアプリの開発ができる。										
授業の進め方										
個別のメディアを使った表現技法や、効果についての講義を行い、さらに具体的な応用演習としてJavaScriptを使ってスマホのアプリを作ります。クリッカーを利用した小テストを毎時間行い、皆さんの理解度を授業にフィードバックさせます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	本授業のガイダンスとマルチメディア論の復習。				マルチメディア論の復習(4時間)				
2	開発環境	パソコン上での開発環境の説明と、簡単な動画の作成。				静止画と動画の関係を復習する(4時間)				
3	オブジェクト指向	オブジェクト指向の考え方と、クラスの活用 スプライトを使って、オブジェクト指向プログラミングの基本概念を学ぶ				オブジェクト指向プログラミングの基本概念の復習(4時間)				
4	オブジェクト指向その2	オブジェクト(スプラウト)にプロパティーやメソッドを追加する				オブジェクト指向プログラミングの基本概念の演習(4時間)				
5	マウスに反応	マウスに反応させるイベントドリブンな動作と+移動範囲の制限				色々なパターンで、マウスに反応させる(4時間)				
6	スプライト同士の関係付け	他のスプラウトのプロパティーに応じた動きをさせる。 タッチパネルへの対応。				スプライト同士が関係を持つプログラムを作成(4時間)				
7	ハイブリッド開発環境の利用	スマホアプリ作成のためのハイブリッド開発環境を導入する				自分のスマホで動かしてみる(4時間)				
8	加速度センサー	加速度センサーの活用				自分のスマホで、加速度センサーの反応を見る(4時間)				
9	接触判定と効果音	mp3 データの導入とオブジェクト間の接触判定				音の取り入れ方の演習(4時間)				
10	増殖	クラスとクラスの継承				クラスを継承したオブジェクトを動かす(4時間)				
11	乱数	乱数の活用				新しいシナリオで乱数を利用して作ってみる(4時間)				
12	乱数の活用その2	乱数の発展的活用				さらに新しいシナリオで乱数を利用して作ってみる(4時間)				
13	カメラの利用	スマホ内蔵カメラの活用				スマホカメラをコントロールする(4時間)				
14	触覚の利用	振動のコントロール				スマホの振動機能を活用したアプリを作る(4時間)				
15	まとめ	色々なメディアを活かしたアプリの作成し、マルチメディア活用技術をおさらいする				オリジナルアプリを作ってスマホで動かす(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
プリントを配布します。 授業で使うスライドを、学内サーバー上においておきます。				定期試験：80% 課題：20% S:マルチメディアデータの扱いに関する発展的な問題を考察できる。 A:マルチメディアデータの扱いに関する応用的な問題を考察できる。 B:マルチメディアデータの扱いに関する標準的な問題を考察できる。 C:マルチメディアデータの扱いに関する基礎的な問題を考察できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				色々な形式のデータを使った自由な表現法を身に付け、クリエイティブな"作者"になりましょう。						

科目名	情報活用論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	KA26038	研究室	W-31
担当者	室谷 心			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>政府が積極的に利用を進めるオープンデータや、インターネット技術によって利用可能となった様々なデータを問題解決に活用するためには、データから“意味”を引き出す必要があります。大量のデータに埋もれることなくデータの持つ意味を適切に取り出すための、統計処理や可視化、テキストマイニングといった様々な技法を身に付けましょう。</p>											
学修到達目標											
<p>情報化された現代社会を適切に把握するために、必要なデータを入手し適切に加工し、現象をデータに基づいて論理的に考えられるようになる。</p>											
授業の進め方											
<p>テキストやプリントを読みながら実際のデータを扱い、技法の理解を進めます。理解度を確認する小テストを行い、結果をフィードバックさせて、授業理解度の向上を図ります。</p>											
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	この授業の基本的方針の説明。データ活用例の紹介					配布資料を読み、次週に備える。(4時間)				
2	基本ツール	Excel と Python の基本的な使い方を練習します					Excel と Pythonに関する配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
3	データから仮説を作る	データを理解するために、散布図や相関に基づき仮説を立てます					散布図と相関に関する配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
4	データに親しむ(1)	実際のデータを入手する					実データ収集に関する配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
5	データに親しむ(2)	映画「マネーボール」の世界を検証する					マネーボールを見て、配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
6	データを見る(1)	データからいろいろなグラフを作る					データからグラフを作成するための配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
7	データを見る(2)	代表値を考える					代表値とは何かという配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
8	データを見る(3)	分布とその広がりを考える					分布関数や分散に関する配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
9	データを加工する(1)	実際のデータからいろいろな経済指数を出す					経済指数についての配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
10	データを加工する(2)	実際のデータから動的比率や静的比率を出す					動的比率や静的比率に関する配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
11	データを加工する(3)	実際のデータから貧困問題を考える					貧困問題についての配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
12	関係性を読み解く(1)	データから、物事の間関係を考える 相関について					相関と因果についての配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
13	関係性を読み解く(2)	データから、物事の間関係を考える 因果推論					因果推論に関する配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
14	関係性を読み解く(3)	データから、物事の間関係を考える ベイジアンネットワーク					ベイジアンネットワークに関する配布プリントや関連図書を読み理解を深める。(4時間)				
15	授業のまとめ	本授業でに学んだ技法を復習する					授業全体を振り返り、試験に備える。				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「なし」 なし					<p>定期試験：70% 課題：30% 課題とは発表や討論などの授業への参加度と毎回の課題提出です。 S:与えられたテーマに関する発展的な問題を考察できる A:与えられたテーマに関する応用的な問題を考察できる B:与えられたテーマに関する標準的な問題を考察できる C:与えられたテーマに関する基礎的な問題を考察できる</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「なし」 なし					自分で実際に手を動かして、本物のデータサイエンティストになりましょう。						

科目名	情報システム論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	KA26039	研究室	W-23
担当者	田中 正敏		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日4限		
関連資格	高一(情報)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
情報技術の進歩によって、社会がコンピュータとの依存度がますます高くなってきています。そのとき、コンピュータ同士の情報がどのようにネットワークで結ばれているのでしょうか、また、効率よくデータを送るためには、データの構造がどのようにすれば良いのでしょうか。この講義では、ネットワークおよびデータベースについて習得させることを目的としています。										
学修到達目標										
データベースおよびネットワークの習得										
授業の進め方										
大枠は教科書を用いて授業を進める。場合によっては、プリントも配布およびパワーポイントの資料を使用する。講義の時間を利用して、進捗管理(小テスト、レポート)を行い、評価し、学生に返却(フィードバック)するように行う。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	講義の進め方・ねらい				情報システムの考え方の習得とネットワークの基本的準備・まとめ(週に4時間必要)				
2	ネットワーク(1)	通信の基本(プロトコル・OSI参照モデル)				プロトコル・OSI参照モデルの習得と回線交換・蓄積交換の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
3	ネットワーク(2)	通信の基本(回線交換・蓄積交換、コネクションとコネクションレス)				回線交換・蓄積交換の習得とIPアドレス、ホストアドレスの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
4	ネットワーク(3)	通信とIPアドレス、ネットワークアドレスとホストアドレス				通信とIPアドレスの習得とサブネットマスクの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
5	ネットワーク(4)	サブネットマスク、ARP、ブリッジ・ルータ・リピータ				サブネットマスク、ブリッジ、ルータ等の習得、UDP・TCPの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
6	ネットワーク(5)	コンピュータ内の通信、ポート番号、UDP・TCP				ポート、UDP・TCPの習得とルーティングの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
7	ネットワーク(6)	ルーティング、プロトコル、テーブル				ルーティングの習得とデータベースの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
8	データベース(1)	概念、定義と基本用語				概念、定義の習得とE-Rの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
9	データベース(2)	E-Rモデル				E-Rモデルの習得と正規化の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
10	データベース(3)	正規化の意味と作成方法				正規化の習得とSQLの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
11	データベース(4)	SQL[設計]				SQLの習得と更新・追加・削除の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
12	データベース(5)	SQL[更新・追加・削除]				更新・追加・削除の習得・まとめ(週に4時間必要)				
13	ネットワーク(7)	ネットワークの演習問題と解説				ネットワークの演習問題の習得・まとめ(週に4時間必要)				
14	データベース(6)	データベースの演習問題と解説				データベースの演習問題の習得・まとめ(週に4時間必要)				
15	情報化社会	コンピュータの将来的な技術				コンピュータの将来的な技術の習得・まとめ(週に4時間必要)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「ITパスポート合格教本[単行本](ソフトカバー) 令和2年」岡崎裕史著(技術評論社) ISBN:9784297109974 (生協で購入してください。)				定期試験:80% 出席レポート:20% S:講義中に対して積極的に質問をし、到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる。A:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる。B:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み、各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる。C:到達目標値を理解、各回の授業で学んだことを理解できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義中に連絡する。				この科目は「情報システム論」「コンピュータ概論」を合わせて履修してもらいたい。国家試験の「ITパスポート」を網羅しています。【実務経験のある教員が担当】内容:建材会社に勤務、システム開発部門にてネットワーク開発に携わった。						

科目名	情報ネットワーク論			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KL36040	研究室	W-32
担当者	小林 俊一			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日3限		
関連資格	高一(情報)			履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A B C									
授業概要											
<p>絵・図・写真・動画などを使いながら、楽しくわかりやすくインターネットの仕組みや技術を学びます。スマホ・タブレット・パソコンなどで、毎日ネットを使いこなしている、その中身がどうなっているのかは、わからないことだらけです。もちろん、仕組みがわからなくても使えますが、仕組みを知ること、もっとうまい使い方、楽しい使い方、効率的な使い方などができるようになります。現代人にネットは不可欠です。ネットをより深く知ることは、今後の生活をより豊かにしてくれるはずですよ。</p>											
学修到達目標											
<p>インターネットなどのネットワークの基本を、理解することを目標とします。YouTubeなどの動画の仕組み、メールが届く仕組み、SNSの仕組み、ネットショップの仕組みなど、ネットワークに関係する様々な身の回りにある便利な技術を理解することも目標とします。ネットに関するコンピュータ技術についても理解することを目標としています。</p>											
授業の進め方											
<p>基本的には、教科書を用いて授業を進めます。教科書のみではなく、毎回プリントも配布して使用します。情報ネットワーク技術の理解を深めるためPC教室を利用します。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンスを行います。	情報ネットワーク論のガイダンスを行います。ネットワークの学習とは何かについて解説します。					配布資料を復習して下さい。(4時間)				
2	ネットワークの基礎知識を学習します。	プロトコルとは何かについて学習します。LANとインターネットについても学習します。さらに、サーバとネットワークサービスについても学習します。					ネットワークの基礎知識の内容を予習、復習して下さい(4時間)				
3	インターネットに接続するにはどうするかを学習します。	インターネットに接続するには、どうすればいいかを学習します。回線業者とISPの役割についても学習します。さらに、ADSLの仕組み、FTTHの仕組み、インターネットの歴史についても学習します。					インターネットに接続するにはどうするかの内容を予習、復習して下さい(4時間)				
4	TCP/IPについて学習します。	ネットワークアーキテクチャとOSI参照モデルについて学習します。回線交換方式と、パケット交換方式についても学習します。さらに、TCP/IPのプロトコルについても学習します。					TCP/IPの内容を予習、復習して下さい(4時間)				
5	TCP/IPでコンピュータや機器を認識する仕組みを学習します。	TCP/IPの各レイヤについて学習します。ポート番号についても学習します。さらに、IPアドレス、グローバルIP、プライベートIPについても学習します。IPアドレスのクラスについても学習します。					TCP/IPでコンピュータや機器を認識する仕組みの内容を予習、復習して下さい(4時間)				
6	LANで使われる技術について学習します。	ネットワークトポロジとは何かについて学習します。LANとWANについても学習します。ゲートウェイとは何かについて学習します。ルーティングについても学習します。					LANで使われる技術の内容を予習、復習して下さい(4時間)				
7	LANで使われるネットワークサービスについて学習します。	ファイル共有、プリンタ共有、グループウェアについて学習します。DHCPサービス、ディレクトリサービス、NATについて学習します。VPN、無線LANの仕組みを学習します。					LANで使われるネットワークサービスの内容を予習、復習して下さい(4時間)				
8	ネットワークサービスの仕組みについて学習します。	ウェブサービスの仕組みを学習します。メールを届けるSMTPや、メールを受け取るためのPOPサービスについても学習します。ファイル転送サービスFTPについても学習します。					ネットワークサービスの仕組みの内容を予習、復習して下さい(4時間)				
9	ネットワークサービスについて学習します。	時刻を合わせるための仕組みのNTPサービスを学習します。ウェブの仕組みとウェブアプリケーションについて学習します。また、ウェブページを自動生成するためのCMSについても学習します。					NTPサービスの内容を予習、復習して下さい(4時間)				
10	ネットワークで使われるサービスについて学習します。	検索サイトの仕組みを学習します。動画配信サービスについても学習します。さらに、ブログの仕組みを学習します。クラウドコンピューティングについても学習します。					検索サイトの仕組みの内容を予習、復習して下さい(4時間)				
11	ネットワークセキュリティについて学習します。	ネットワークセキュリティについて学習します。ファイアウォールについて学習します。DNSについても学習します。ウイルスとウイルス対策システムについても学習します。					ネットワークセキュリティの内容を予習、復習して下さい(4時間)				
12	ネットワークを守るための技術を学習します。	コンテンツフィルタリングについて学習します。ユーザの情報漏洩を防ぐための方法についても学習します。さらにSSLについても学習を行います。					ネットワークを守るための技術の内容を予習、復習して下さい(4時間)				
13	ネットワークの構築と管理について学習します。	ルーティングについて具体例を示しながら、学習を行います。ネットワーク構築に必要な機器についても学習を行います。					ネットワークの構築と管理の内容を予習、復習して下さい(4時間)				
14	ネットワーク用のサーバや機器、ケーブルなどについて学習を行います。	実際にネットワークを作成する場合に必要なサーバや、機器、ケーブルなどについての学習を行います。					ネットワーク用のサーバの内容を予習、復習して下さい(4時間)				
15	講義全体のまとめを行います。	講義全体のまとめを行います。					講義全体のまとめの内容を予習、復習して下さい(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
プリントを配布します。必要に応じて、参考書やインターネットなどで補って下さい。		<p>課題：20% 定期試験：80%</p> <p>S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
講義の中で、適宜指示します。		【実務経験のある教員が担当】内容：コンピュータ製造会社に勤務しソフトウェアの研究開発、自治体のマルチメディア情報センターで、情報ネットワークシステムの構築管理、コンピュータシステムの構築管理の業務に携わった。									

科目名	地理情報活用論			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KL36041	研究室	W-21
担当者	古川 智史			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、まず地理情報システム(GIS)の概要およびWebGISの利活用について学びます。次に、フリーGISソフト「MANDARA10」を使用し、地理空間情報をもとに主題図の作成、分析方法を学びます。最後に、履修者が設定したテーマについて、GISを用いた総合的な分析を行います。											
学修到達目標											
GISの利活用について理解を深める。 GISソフト上で、適切な表現方法を用いて、統計データを地図化できる。 GISソフトで作成した主題図を的確に読み取ることができる。											
授業の進め方											
テキスト、配付資料をもとに講義を進めます。GISソフトを用いた実習では、各回の内容に関する課題の提出を求めます。提出された課題は評価を付して返却することで、フィードバックします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	本講義の概要等について説明するとともに、地図の利活用を巡る動向を紹介しします。					配付資料をもとに復習すること。身近なGISの利用例を探してみる(4時間)				
2	地理情報システムの展開	地理情報システムの概要を説明し、その歴史的な展開を概観します。					配付資料をもとに復習すること(4時間)				
3	WebGISの概要と活用	WebGISの概要について説明し、様々なWebGISを利用します。					WebGISの利活用の在り方について考える(4時間)				
4	GISと主題図(1): MANDARA10の基本操作	MANDARA10の仕組みと基本操作について学びます。					MANDARA10の操作方法を復習する(4時間)				
5	GISと主題図(2): 白地図の作成と投影法	MANDARA10上での白地図の作成方法と、投影法について学びます。					MANDARA10での白地図の作成方法および各種投影法について復習する(4時間)				
6	GISと主題図(3): 都道府県別データを使った主題図	都道府県別のデータを用いて、MANDARA10上で主題図を作成します。					都道府県別データを用いた主題図を作成し、考察を加える(4時間)				
7	GISと主題図(4): 市区町村別データを使った主題図	市区町村別のデータを用いて、MANDARA10上で主題図を作成します。					市区町村別データを用いた主題図を作成し、考察を加える(4時間)				
8	GISと主題図(5): 国別データを使った主題図	国別のデータを用いて、MANDARA10上で主題図を作成します。					国別データを用いた主題図を作成し、考察を加える(4時間)				
9	GISと主題図(6): 国土数値情報	国土数値情報のデータをMANDARA10上で地図化します。					国土数値情報のデータを用いた主題図を作成し、考察を加える(4時間)				
10	GISと主題図(7): ジオコーディング	緯度経度情報を取得し、MANDARA10上で点データを地図化します。					点データを用いた主題図を作成し、考察を加える(4時間)				
11	GISと主題図(8): メッシュデータ	メッシュデータをダウンロードし、MANDARA10上で地図化します。					メッシュデータを用いた主題図を作成し、考察を加える(4時間)				
12	GISと主題図(9): 小地域データ	国勢調査の小地域データをダウンロードし、MANDARA10上で地図化します。					国勢調査の小地域データを用いた主題図を作成し、考察を加える(4時間)				
13	総合実習(1): テーマ設定と分析のデザイン	最終レポートのテーマを設定し、どのような分析を行うか、考えます。					テーマ設定と統計の利用可能性について整理する(4時間)				
14	総合実習(2): GISを用いたデータ分析	各自が設定したテーマについて、統計データ等を収集し、GIS上で分析し考察します。					GISを用いたデータ分析についてまとめる(4時間)				
15	総合実習(3): レポートの作成と発表	分析結果をまとめて作成したレポートの内容を発表します。					レポートおよび発表資料を作成する(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「フリーGISソフトMANDARA10入門 かんたん!オリジナル地図を作る」 谷 謙二著(古今書院) ISBN:9784772281188(生協で購入してください。)					課題:40% レポート:60% S:積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A:積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B:与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C:与えられた課題に取り組み、授業内容の60%程度を理解している。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「MANDARA10パーフェクトマスター フリーGISソフト」 谷 謙二著(古今書院) ISBN:9784772281195 その他、講義中に適宜紹介します。					パソコン、表計算ソフトの基本的な操作ができること。パソコン機器等の都合上、履修者数を制限する場合があります。						

科目名	C A D演習		学年学期	3・4年前期	単位数	1	ナバリング	KA36042	研究室	非常勤	
担当者	松澤 みわ子		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-				
関連資格	高一(情報)				履修条件	(集中講義となります)					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)								
			A	B	C						
授業概要											
建築、機械、土木、電気・電子、アパレルなど様々な分野で利用されているCAD(Computer Aided Design)は、簡略なイメージ図を作成するものではなく、尺度を設定して正確な図面を作成するためのアプリケーション・ソフトです。本講義ではCADソフトの特徴を理解するとともに、代表的なCADソフト「AutoCAD」を用いた図面作成の方法を学びます。											
学修到達目標											
CADソフトに備わる様々な基本機能を知り、適切な尺度で図面を描けるようになることが目標です。小さな1つ1つの図面を何層にも積み重ねるレイヤー構造によって、最終的に複雑な図面ができあがるプロセスを体感してください。											
授業の進め方											
講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。作図、画層(レイヤー)、寸法記入などCAD独特の機能を実際に操作しながら進めていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	CADの概要やCADシステムの特長の紹介、JISによる製図の基本要件などについて解説を行います。					配布プリントを見ながら、CADシステムの特長について復習しておく(1時間)				
2	AutoCadによる作図法	AutoCadの画面構成や画面表示の変更方法について操作しながら確認します。					配布プリントを見ながら、AutoCad画面構成について復習しておく(1時間)				
3	AutoCadによる作図法(続き)	作図コマンドを使った基本オブジェクトの作成方法や、座標指定、ポリラインなどについて学びます。					配布プリントを見ながら、作成コマンドについて復習しておく(1時間)				
4	AutoCadによる作図法(続き)	修正コマンドを使ったオブジェクトの削除・移動・複写、オフセット、フィレットなどについて学びます。					配布プリントを見ながら、修正コマンドについて復習しておく(1時間)				
5	AutoCadによる作図法	CADソフトの特徴でもある画層(レイヤー)の作成、コントロール方法について学びます。					配布プリントを見ながら、画像について復習しておく(1時間)				
6	AutoCadによる作図法(続き)	図面に対する文字記入や寸法線の記入方法について学びます。					配布プリントを見ながら、文字記入と寸法記入について復習しておく(1時間)				
7	AutoCadによる作図法(続き)	新規図面作成の手順を確認し、図枠や尺度設定の方法を学びます。					配布プリントを見ながら、図枠と尺度設定について復習しておく(1時間)				
8	AutoCadによる作図(続き)	家具の「椅子」を題材にここまで学んだ様々な機能を復習しながら、2次元図面を各自で完成させます。					この図面は中間課題のため、完成できない場合は時間外に作業を行うこと(2時間)				
9	図面作成・コマンド演習	線分作成、絶対座標入力、相対座標入力など					スムーズな操作ができるよう第1回～第8回までの復習を行っておく(1時間)				
10	図面作成・コマンド演習(続き)	円、円弧、楕円、オブジェクトスナップなど					スムーズな操作ができるよう第1回～第8回までの復習を行っておく(1時間)				
11	図面作成・コマンド演習(続き)	スプライン、ポリゴン、文字記入、寸法記入など					スムーズな操作ができるよう第1回～第8回までの復習を行っておく(1時間)				
12	図面作成・コマンド演習(続き)	ハッチング、複写、オフセット、配列複写、ミラー、フィレットなど					スムーズな操作ができるよう第1回～第8回までの復習を行っておく(1時間)				
13	CAD課題制作演習	住宅の「平面図」を題材にここまで学んだ様々な機能を復習しながら、2次元図面を各自で完成させます。					この図面は最終課題のため、完成できない場合は時間外に作業を行うこと(1時間)				
14	CAD課題制作演習(続き)	課題制作の続きの作業を行います。					この図面は最終課題のため、完成できない場合は時間外に作業を行うこと(1時間)				
15	CAD利用のまとめと今後の展開について	各自が作成した図面の課題について考えます。また、今後のCAD利用の方向性についても学習します。					印刷結果を見ながら、課題抽出を行うこと(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
講義内で、プリントを配布します。			出席レポート：50% 課題：50% S:授業内のCAD操作をさらに発展させ、正確で卓越した図面作成ができる A:授業内のCAD操作を8割程度理解し、正確な課題図面の作成が行える B:授業内のCAD操作を7割程度理解し、ほぼ正確な課題図面の作成が行える C:授業内のCAD操作を6割程度理解し、ある程度正確な課題図面の作成が行える								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「はじめて学ぶAutoCAD LT 作図・操作ガイド」鈴木孝子著(株式会社ソーテック社) ISBN: 978-4-88166-792-7			AtucoCadは現在、学生であれば無償で入手できるソフトです。操作に精通するには長い時間が必要となりますので、興味のある方はぜひダウンロードをお勧めします。								

科目名	データベース論		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	KA36043	研究室	W-31
担当者	室谷 心		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日2限		
関連資格	高一(情報)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
会社に入るときと使う"リレーショナルデータベース"の基礎概念を理解し、アクセスの基本操作とSQLを使ったデータベース操作を自在にできるようになりましょう。アクセスを使った関係データベース取り扱いの具体例から始め、関係データベースの基本的な操作に慣れた後にSQL命令とリレーショナルデータベースの基礎概念についての講義を行います。データベースの構築、更新、運用、管理に必要な知識と技術を身に付けましょう。										
学修到達目標										
マイクロソフトのアクセスを使って、一連のデータベースマネジメント作業ができるようになる										
授業の進め方										
現場の例題を多く扱いながら講義を進めていく。クリッカーを利用した小テストを毎時間行い、皆さんの理解度を授業にフィードバックさせます。さらにパソコンを使っての具体的な演習も適宜行う。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	データベースの概要と本授業の進め方について。アクセスの使い方。					アクセスの例題。(4時間)			
2	データベースって何	データベースとDMSの概要。					身近なデータベースの例を考える。(4時間)			
3	アクセス入門1	代表的なデータベースマネジメントシステム(DMS)であるマイクロソフト社のアクセスを使った表の関連付けと抽出。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
4	アクセス入門2	代表的なデータベースマネジメントシステム(DMS)であるマイクロソフト社のアクセスを使った表の関連付けとレポートの作成。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
5	SQL1	SQLの基本文法と、SQLを使ったクエリーの作成法。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
6	SQL2	表の定義とビュー定義。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
7	SQL3	Where句で条件を付ける。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
8	SQL4	複数の表からデータを取り出す。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
9	SQL5	集約関数とGroup by、Order by。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
10	SQL6	副問い合わせ。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
11	SQL7	データの更新、挿入、削除。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
12	データの正規化	関係演算と正規化について学び、データを第三正規型に分解にできるようになりましょう。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
13	正規化の実際	アクセスを使った正規化演習。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
14	データベースのスキーマ	データベースの3スキーマを学びます。					授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)			
15	まとめ	総合演習とまとめ。					授業全体を復習し試験に備える。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
特にありません。必要に応じてプリントを配布するので適宜各人で補ってください。学内サーバ上に講義資料を置くので、予復習に利用してください。					レポート:20% 定期試験:80% S:データベースに関する発展的な問題を考察できる。 A:データベースに関する応用的な問題を考察できる。 B:データベースに関する標準的な問題を考察できる。 C:データベースに関する基礎的な問題を考察できる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「やさしく学ぶデータベース」高橋麻奈著(翔泳社) 「60時間でエキスパートAccess」(実教出版)					データベースは会社に入るときと使います。松本大学は、学生なら誰でも自分のパソコンにアクセスをインストールできるライセンスを持っています。自分のパソコンでも練習しましょう。					

科目名	応用プログラミング論		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	KA36044	研究室	W-32
担当者	小林 俊一		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日3限		
関連資格	高一(情報)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>プログラミングの基礎と応用を、楽しく学びます。自分でプログラムを入力しながら自然に知識が身につきます。パソコンやスマートフォンだけでなく、私たちの生活を快適にしてくれる便利な機械には、今ではプログラムが組み込まれていることが一般的になっています。自分が使っているアプリやソフトの中身がどうなっているかを知ることができます。この講義では、プログラミング言語としてC言語とC++言語を利用します。ソフトウェア開発の分業化や大規模化に対応できる素養を養います。</p>										
学修到達目標										
<p>簡単なプログラムを自分で楽しく作って、実行できるようになることを目的とします。プログラミングの基本的な作り方を学びます。オブジェクト指向の考え方の基本を学び、オブジェクト指向言語で書かれた簡単なプログラムを理解することも目的とします。</p>										
授業の進め方										
<p>C言語とC++言語を使って、プログラムを作っていきます。サンプルプログラムを用いて講義を行い、パソコンを使いながらプログラムを作成します。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス。プログラム、プログラミングとは何かを解説します。	応用プログラミング論の講義で、どのような内容を学ぶのかについて解説します。プログラムとは何か、どのように使われているか、プログラミングとは何かについて解説します。				講義で配布した資料を復習してください。(4時間)				
2	授業で利用するC言語、C++言語の基本的な使い方を解説します。	授業で利用するプログラミング言語のC言語、C++言語の基本的な使い方を解説します。なぜ、C言語、C++言語を使うのか、どのようなメリットがあるのかについても解説します。				講義で配布した資料を読み、C言語、C++言語の基本について復習して下さい。(4時間)				
3	C言語、C++言語の変数、式と演算、制御構造について解説します。	C言語、C++言語の変数、式と演算、制御構造について解説します。実際にC言語、C++言語のサンプルプログラムをテキストエディタで入力して、変数とは何か、式と演算、基本的な制御構造を解説します。				講義で配布した資料を読み、変数、式と演算、制御構造を復習して下さい。(4時間)				
4	C言語、C++言語の配列、関数について	C言語、C++言語の配列、関数について解説します。実際にC言語、C++言語のサンプルプログラムをテキストエディタで入力して、配列と関数に関して解説します。				講義で配布した資料を読み、配列、関数を復習して下さい。(4時間)				
5	C言語、C++言語のデータ構造とアルゴリズムについて	C言語、C++言語のデータ構造とアルゴリズムについて解説します。実際にC言語、C++言語のサンプルプログラムをテキストエディタで入力して、データ構造とアルゴリズムに関して解説します。				講義で配布した資料を読み、データ構造とアルゴリズムを復習して下さい。(4時間)				
6	サンプルプログラムの作成	5回目までに学習した内容を復習するために、簡単なサンプルプログラムの作成します。コンパイラの使い方、デバッグの仕方についても学びます。				課題として、簡単なプログラムの作成をして頂きます。(4時間)				
7	構造体とポインタ、動的メモリー管理、リスト構造について	構造体とポインタ、動的メモリー管理に関して、解説します。また、その応用としてリスト構造についても解説します。				動的メモリー管理、リスト構造について復習して下さい。(4時間)				
8	構造体とポインタを使ったサンプルプログラムの作成	7回目の講義で学習した内容を理解するために、サンプルプログラムを提示して、実際にテキストエディタを使って入力し、コンパイラでコンパイルして動かしてみます。				構造体とポインタについて復習して下さい。(4時間)				
9	リスト構造を使ったサンプルプログラムの作成	リスト構造を理解するために、小さなサンプルプログラムを作成してみます。				リスト構造について復習して下さい。(4時間)				
10	C++言語を使って、オブジェクト指向を説明します。	オブジェクト指向クラスの作り方と使い方を説明します。				オブジェクト指向を復習して下さい。(4時間)				
11	クラスを利用したサンプルプログラムの作成をします。	オブジェクト指向クラスの使い方を理解するために、サンプルプログラムを入力して、コンパイルし動かしてみます。				オブジェクト指向クラスの使い方を復習して下さい。(4時間)				
12	C++言語のオブジェクト指向の機能を解説します。	C++言語のオブジェクト指向の機能であるコンストラクタ、オーバーローディング、メッセージ、ポリモルフィズムを解説します。				C++言語のオブジェクト指向の機能を復習して下さい。(4時間)				
13	サンプルプログラムの作成を行います。	12回目の講義で学習した内容を理解するために、サンプルプログラムを提示して、実際にテキストエディタを使って入力し、コンパイラでコンパイルして動かしてみます。				コンパイラでコンパイルを復習して下さい。(4時間)				
14	プログラミングに関する書法、作法を学習します。	プログラミングに関する書法や作法について学習します。実際に、サンプルプログラムを入力して、プログラム作法の重要性について解説します。				プログラミングに関する書法や作法を復習して下さい。(4時間)				
15	講義のまとめを行います。	応用プログラミング論の講義で学習した内容をまとめます。まとめとしてのサンプルプログラムを入力し、理解を深める予定です。				講義で配布したプログラムを復習して下さい。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
プリントを配布します。必要に応じて、各自参考書やインターネットなどで補って下さい。			<p>課題：25% 定期試験：75%</p> <p>S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「新版 明解C++ 入門編」柴田 望洋著(ソフトバンククリエイティブ) ISBN: 978-4797394634			【実務経験のある教員が担当】内容：コンピュータ製造会社に勤務しソフトウェアの研究開発、自治体のマルチメディア情報センターで、情報ネットワークシステムの構築管理、コンピュータシステムの構築管理の業務に携わった。							

科目名	データ分析		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	KA36045	研究室	W-12	
担当者	鈴木 智之		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限			
関連資格	高一(情報)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
データを分析し、情報として利用するための統計学の基礎理論を学び、その上でソフトウェアを操作して、実際にデータ分析を行います。専門研究や卒業研究だけではなく、教育現場、企業実務などの仕事の場面においても、データ分析は重要です。数学やプログラミングやエクセルが苦手な人でも、受講には全く問題ありません。理解や興味を促進するために、実務で実際に用いられるようなデータや、大学生にとって身近なデータを事例として提示するようにして進めます。											
学修到達目標											
(1)データ分析に関する統計学の基礎知識を習得する。 (2)データ分析を行うためのソフトウェア操作技能を習得し、出力結果を読み取って、情報として利用できるようになる。 なお、世界的フリーソフトウェアのRを用いて、その操作技能を習得する(環境によってソフトウェア変更あり)。											
授業の進め方											
講義と実習を組み合わせ進めます。パーソナルコンピュータとソフトウェアを利用可能な環境で実習を行います。レポートは、添削や採点して返却することでフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	講義の概要説明とソフトウェアのインストール、利用方法の概要説明を行います。また、成長率などの比率データについて学びます。					ソフトウェアを触って慣れておいてください。(4時間)				
2	尺度の判定と代表値	データ分析にまず必要とされる尺度判定に関する講義を行います。また代表値について、度数分布とともに学びます。簡単な実習を行います。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
3	分散と標準偏差	データの分布や散らばりについて学びます。実習を通して、その計算方法について学びます。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
4	散布図と相関係数	データの散らばりを可視化する方法について学びます。また、相関係数の算出について、実習を通して学びます。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
5	クロス集計表と検定	カテゴリカル変数における集計表の役割と、偏りの検定について学びます。実習を通して、集計表を作成し、検定まで行います。検定の考え方にまず慣れることを優先し、次回以降に検定理論の説明を行います。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
6	母集団と標本	統計的仮説検定の基礎となる母集団と標本の考え方について学びます。理論と事例を通して学びを深めます。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
7	統計的仮説検定	統計的仮説検定の考え方について、理論と事例を通して学びます。なぜ、統計的仮説検定が必要なのか、について理解します。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
8	2つの平均値の比較	t検定について学びます。実際に、t検定を実行し、検定結果の意味についても学びます。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
9	分散分析	t検定との違いについて、まず説明します。その上で、分散分析のうち、一元配置分散分析を中心に実習を行います。また、検定結果の意味についても学びます。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
10	単回帰分析	まず、回帰分析の基礎について説明します。その上で、単回帰分析について、実習を行います。結果の解釈についても学びます。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
11	重回帰分析	単回帰分析との違いについて、まず説明します。ダミー変数についても学びます。その上で、重回帰分析について、実習を行います。結果の解釈についても学びます。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
12	因子分析	次元集約法について、まず理論を説明します。その上で、実習を行います。結果の解釈についても学びます。					プリントの復習をしてください。(4時間)				
13	事例実習1	データを与えた上で、データ分析をして、適切な結果を導いてもらう、実習を行います。レポートとして提出してもらいます。					実習の続きをしてください。(4時間)				
14	事例実習2	データを与えた上で、データ分析をして、適切な結果を導いてもらう、実習を行います。レポートとして提出してもらいます。					実習の続きをしてください。(4時間)				
15	講義のまとめ	レポートの解説をします。					講義全体の復習をしてください。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
資料・プリントを配布します。			出席レポート：40% レポート：60% S：授業内容を高度に理解して、発展的な課題に対応できる。A：授業内容を理解して、応用的な課題に対応できる。B：授業内容をおおよそ理解して応用的な課題にはほぼ対応できる。C：授業内容の6割程度を理解している。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
必要に応じて指示します。			講義間の連続性が極めて高く、欠席すると追いつくのが大変なので、毎回出席してください。【実務経験のある教員が担当】経営コンサルティング会社に勤務し、経営に関するデータ分析業務に従事した。								

科目名	ITパスポート特講		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KA26046	研究室	W-23
担当者	田中 正敏		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスター	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
学生諸君の中には経営が理解できて、そのうえ、情報部門に自分の将来の進路を真剣に考えている学生に対して、情報関係の資格取得の援助のための講義を行います。将来の就職活動にも生かした講義であります。										
学修到達目標										
国家試験ITパスポートの取得を目指す。										
授業の進め方										
授業は演習問題を解くことを主に考えている。過去のITパスポートの問題を解き、学生にフィードバックを行い、経営および情報関連の知識の理解度を深めていく。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、ねらいについて				ITパスポートの習得の意義についてと企業活動の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
2	企業活動	損益分岐点, 財務諸表, PDCA等				企業活動の習得と法務の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
3	法務	知的財産権, コンプライアンス, 労働者派遣法等				法務の習得と経営戦略の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
4	経営戦略	PPM, SWOT分析, SCM, コアコンピタンス等				経営戦略の習得とシステム開発の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
5	システム開発(1)	ソフトウェア開発手法, プロジェクトマネジメント等				開発手法の習得とサービスマネジメントの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
6	システム開発(2)	サービスマネジメント, システム監査等				サービスマネジメント, システム監督の習得と開発技術の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
7	開発技術(基礎)	二進数, 集合, 情報量, 確率・統計等				開発技術(基礎)の習得とハードの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
8	開発技術(ハード)	データ構造, CPUおよびその周辺装置, OS等				ハードの習得とソフトの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
9	開発技術(ソフト)	マルチメディア: 動画, 静止画等				ソフトの習得と表計算の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
10	表計算(1)	比較, ループ, 相対参照, 絶対参照等				比較, 相対・絶対参照の習得と関数, 抽出, 選択の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
11	表計算(2)	関数, 選択, 抽出等				関数, 抽出, 選択の習得とRDBの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
12	データベース	RDB(リレーショナル・データベース)の考え方等				RDBの習得とネットワークの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
13	ネットワークの概要	プロトコル, 回線方式, 構造等				プロトコルの習得とLAN, WAN, 伝送速度の考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
14	ネットワークの手法	LAN, WAN, 伝送速度等				LAN, WAN, 伝送速度の習得とセキュリティの考え方の準備・まとめ(週に4時間必要)				
15	セキュリティ	リスク管理, 暗号等				セキュリティの習得・まとめ(週に4時間必要)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
第1回目の講義にて連絡を行う。				定期試験: 80% レポート: 20% S: 講義中に対して積極的に質問をし, 到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み, 各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる。A: 到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み, 各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる。B: 到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み, 各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる。C: 到達目標値を理解, 各回の授業で学んだことを理解できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「令和2年ITパスポート合格教本」岡嶋裕史著(技術評論社) ISBN: 9784297109974				ビジネスマンにとって必要不可欠な経営と情報の基本的な知識を身につけよう。ITパスポート試験に対応します。【実務経験のある教員が担当】内容: 建材会社に勤務, システム開発部門にてネットワーク開発に携わった。						

科目名	上級情報処理			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	KA36047	研究室	W-32
担当者	小林 俊一			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本講義は、「基本情報技術者試験」を受験する学生向けの試験対策講座となっています。本講義の受講者は、「基本情報技術者試験」を受験することを前提としています。この講義は、基本情報技術者として必要な基礎知識を身に付け、基本情報技術者として活躍していくことができるようにすることを目的としています。この授業では、「基本情報技術者試験」を受験することが可能なレベルの応用力を身に付けることを最終目標としています。</p>											
学修到達目標											
「基本情報技術者試験」を受験することが可能なレベルの応用力を身に付けることを目標としています。											
授業の進め方											
<p>実践的な試験対策とするために、試験対象分野の講義と試験問題の演習を交互に行いながら授業を進めます。基本情報技術者試験の理解を深めるためPC教室も利用します。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンスを行います。基本情報技術者試験についても解説します。	上級情報処理の講義のガイダンスを行います。基本情報技術者試験の試験内容についても、説明を行います。					配付資料を復習して下さい。(4時間)				
2	n進数と基底変換について学習します。	「n進数」の扱いに慣れるための学習をします。よく使われるn進数を学習します。また、基底変換についても学習します。					テキストの第1章の予習と復習を行います。(4時間)				
3	2進数の計算と数値表現について学習します。	2進数の足し算と引き算について学びます。また、シフト演算と、2進数のかけ算、割り算について学びます。さらに、小数点を含む数の表し方についても学習します。					テキストの第2章の予習と復習をします。(4時間)				
4	コンピュータの回路について学習します。	コンピュータの回路について学習します。論理回路について学習します。そのための基礎として、論理演算やベン図についても学習をします。					テキストの第3章の予習と復習をします。(4時間)				
5	デジタルデータの表現の仕方について学習します。	ビットとバイトによるデジタルデータの表現の仕方について学習します。					テキストの第4章の予習と復習をします。(4時間)				
6	CPUについて学習します。	コンピュータのCPUと5大装置について学習します。					テキストの第5章の予習と復習をします。(4時間)				
7	機械語のアドレス指定方式について学習します。	機械語のアドレス指定方式について学習します。即値アドレス、直接アドレス、間接アドレスなどについて学習します。					テキストの第5章の予習と復習をします。(4時間)				
8	CPUの性能評価について学習します。	CPUの性能評価について学習します。クロック周波数、MIPSなどを学びます。CPUの高速化技術についても、学習します。					テキストの第5章の予習と復習をします。(4時間)				
9	コンピュータのメモリについて学習します。	コンピュータのメモリの種類について学習します。また、主記憶装置と高速化手法についても学習します。					テキストの第6章の予習と復習をします。(4時間)				
10	ハードディスクとその他の補助記憶装置を学習。	ハードディスクの構造と、記憶方法について学習します。					テキストの第7章の予習と復習をします。(4時間)				
11	RAIDについて学習します。	RAIDと、その他の補助記憶装置を学習します。					テキストの第7章の予習と復習をします。(4時間)				
12	その他のハードウェアを学習します。	入力装置、ディスプレイ、プリンタについて学習します。					テキストの第8章の予習と復習をします。(4時間)				
13	基本ソフトウェアについて学習します。	OSの仕事、ジョブ管理について学習します。					テキストの第9章の予習と復習をします。(4時間)				
14	タスク管理などについて学習します。	タスク管理、実記憶管理などについて学習します。					テキストの第9章の予習と復習をします。(4時間)				
15	講義全体のまとめを行います。	講義全体のまとめを行います。					テキストの復習を行います。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「キタミ式イラストIT塾 基本情報技術者 令和02年」きたみ りゅうじ著(技術評論社) ISBN:978-4297110215 (生協で購入してください。)						課題:30% 定期試験:70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
講義で適宜指示します。						【実務経験のある教員が担当】内容:コンピュータ製造会社に勤務しソフトウェアの研究開発、自治体のマルチメディア情報センターで、情報ネットワークシステムの構築管理、コンピュータシステムの構築管理の業務に携わった。					

科目名	カウンセリング理論		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	KL16048	研究室	W-19
担当者	矢崎 久		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスター	月曜日5限、火曜日3限		
関連資格	産業カウンセラー				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2019年度 カウンセリング理論と技法					
授業概要										
カウンセリングとはなにか、その基本姿勢、主要な理論と技法の概要を学びます。										
学修到達目標										
カウンセラーに求められる基本姿勢、カウンセリングと相談・アドバイス・コンサルテーションの違い、対象範囲、効果、主要な理論と技法、来談者中心療法の理論と方法、人間性心理学の概要を理解している。										
授業の進め方										
講義ごとに課す記述式の課題は今回の講義冒頭で回収、課題の内容を確認した後に受講者に講評をフィードバックすることにより、学びの確認と定着になるような工夫をします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	対人援助	カウンセリングとはなにか(相談・アドバイス・コンサルテーションとの違い)				事前:テキスト -1,2項講読(2時間)事後:1,2再読、課題レポート作成(2時間)				
2	自己成長	カウンセリングとはなにか(指示的・非指示的、心理療法との違い)				事前:テキスト -1項講読(2時間)事後:1項再読、課題レポート作成(2時間)				
3	カウンセリングの原理	カウンセリングの原理(適用範囲、効果、限界、カウンセリングプロセス)				事前:テキスト -1,2,3項講読(2時間)事後:1,2,3項再読、課題レポート作成(2時間)				
4	傾聴の姿勢	傾聴する				事前:テキスト -1,2項講読(2時間)事後:1,2項再読、課題レポート作成(2時間)				
5	共感的理解	カウンセリングの基本姿勢(傾聴・共感的理解・ラポールの形成)				事前:テキスト -2,3項講読(2時間)事後:2,3項再読、課題レポート作成(2時間)				
6	人間性心理学とは	クライアントの尊重と来談者中心療法				事前:テキスト -3項講読(2時間)事後:3項再読、課題レポート作成(2時間)				
7	精神力動とは	精神分析理論によるカウンセリング				事前:テキスト -1項講読(2時間)事後:1項再読、課題レポート作成(2時間)				
8	パーソナリティとは	特性因子論によるカウンセリング				事前:テキスト -2項講読(2時間)事後:2項再読、課題レポート作成(2時間)				
9	学習理論と行動主義とは	学習理論と行動主義、学習・行動理論によるカウンセリング				事前:テキスト -4項講読(2時間)事後:4項再読、課題レポート作成(2時間)				
10	自己理論とは	自己理論、自己理論によるカウンセリング				事前:テキスト -1,2,3項講読(4時間)事後:1,2,3項再読、課題レポート作成(4時間)				
11	集団のちから	グループダイナミクス、グループカウンセリング				事前:テキスト -9項講読(2時間)事後:9項再読、課題レポート作成(2時間)				
12	家族システム	家族システム、家族カウンセリング				事前:テキスト -8項講読(2時間)事後:8項再読、課題レポート作成(2時間)				
13	技法を統合する	技法の統合、統合的カウンセリング				事前:テキスト -11項講読(2時間)事後:11項再読、課題レポート作成(2時間)				
14	人生と仕事	キャリアカウンセリング、産業カウンセリング				事前:テキスト -5項講読(2時間)事後:5項再読、課題レポート作成(2時間)				
15	クライアントの尊重と支援	カウンセリング理論と技法のまとめ				事前:テキスト再講読(6時間)事後:まとめ(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「カウンセリングの話」平木典子著(朝日新聞社) ISBN:978-4-02-259844-8(生協で購入してください。)		課題:20% 小テスト:30% 定期試験:50% 課題レポート提出(14回)、小テスト(中間試験)および期末試験を総合して成績を判定します。出席しているだけでは単位取得はできません。 成績評価基準「S」:課題レポート提出、中間試験成績のすべてが90%以上 「A」: 80%以上 「B」: 70%以上 「C」: 60%以上								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「臨床心理学入門」岩壁茂・福島哲雄・伊藤絵美著(有斐閣) ISBN:978-4-641-22003-4		課題を通して適性(カウンセリング心理学の学修姿勢および意欲)を問います。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:病院の精神科及び心療内科で臨床心理士として業務に携わった。								

科目名	臨床心理学			学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	KL16049	研究室	W-19
担当者	矢崎 久			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日5限、火曜日4限		
関連資格	産業カウンセラー					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
心理臨床とはなにか、パーソナリティ理論の基礎、障害と疾患、診断と治療、臨床の課題について学びます。											
学修到達目標											
カウンセリング初学者として身につけて欲しいパーソナリティ理論、発達と課題、精神の障害および疾患、見立てと治療の概要を理解している。											
授業の進め方											
1. レポート形式の課題(学修内容の定着促進、理解状況の確認および修正事項のフィードバックを含む)を適宜課します。 2. 1年前期開講科目「カウンセリング理論と技法」を一定以上の成績で履修終了していることが本講義の履修要件となります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	社会と心理学、臨床心理学	ガイダンス、社会と心理学、臨床心理学					事前: テキスト序章1, 2項講読(2時間) 事後: 1, 2項再読、ノートまとめ(2時間)				
2	臨床心理学とはなにか	臨床心理学の歴史、社会とこころの問題、臨床心理学の役割					事前: 1章1, 2, 3, 4項講読(2時間) 事後: 1, 2, 3, 4項再読、ノートまとめ(2時間)				
3	心理的問題の理解と方法	こころのアセスメント、アセスメント方法					事前: 2章1, 2項講読(2時間) 事後: 1, 2項再読、ノートまとめ(2時間)				
4	心理的問題の理解と方法	正常と異常、主要な精神疾患					事前: 2章3項講読(2時間) 事後: 3項再読、ノートまとめ(2時間)				
5	心理的問題の理解と方法	主要な精神疾患、診断、治療、回復					事前: 2章3項講読(2時間) 事後: 3項再読、ノートまとめ(2時間)				
6	ヒューマンリスティックアプローチ	心理学への疑問、来談者中心療法、ゲシュタルト療法、実存療法					事前: 5章1, 2, 3, 4, 5項講読(2時間) 事後: 1, 2, 3, 4, 5項再読、ノートまとめ(2時間)				
7	ヒューマンリスティックアプローチ	各療法のプロセス、新たな展開と今後の課題					事前: 6章1, 2, 3, 4, 5, 6項講読(2時間) 事後: 序章~6章再読、まとめ(6時間)				
8	精神力動的アプローチ	精神分析とはなにか、精神分析的アプローチのプロセス					事前: 4章1, 2, 3, 4, 5項講読(2時間) 事後: 1, 2, 3, 4, 5項再読、ノートまとめ(2時間)				
9	認知行動アプローチ	行動心理学と行動療法、認知療法と認知行動療法					事前: 7章1, 2, 3, 4, 5項講読(2時間) 事後: 1, 2, 3, 4, 5項再読、ノートまとめ(2時間)				
10	認知行動アプローチ	外的・内的相互作用、自動思考、認知と行動の変容、現状と今後の展望					事前: 8章1, 2, 3, 4, 5項講読(2時間) 事後: 1, 2, 3, 4, 5項再読、ノートまとめ(2時間)				
11	統合的アプローチ	心理療法と学派、心理療法の統合、生物-心理-社会的アプローチ					事前: 9章1, 2, 3, 4項講読(2時間) 事後: 1, 2, 3, 4項再読、ノートまとめ(2時間)				
12	サイコセラピー	ケース(事例)とアプローチ、3つのアプローチを比較する					事前: 10章1, 2, 3, 4項講読(2時間) 事後: 1, 2, 3, 4項再読(2時間) 事後: ノートまとめ(2時間)				
13	臨床心理学の研究	臨床と科学的研究、研究方法					事前: 11章1, 2, 3, 4項講読(2時間) 事後: 1, 2, 3, 4項再読、ノートまとめ(2時間)				
14	資質と成長のプロセス	心理療法家を目指す、求められる資質と成長のプロセス					事前: 12章1, 2, 3項講読(2時間) 事後: 1, 2, 3項再読、ノートまとめ(2時間)				
15	臨床心理学と関連資格	学習と経験、専門家としての訓練、関連する資格					事前: 12章1, 2, 3項講読(2時間) 事後: 7章~12章再読、まとめ(6時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「臨床心理学入門」岩壁茂・福島哲夫、伊藤絵美著(有斐閣) ISBN: 978-4-641-22003-4 (生協で購入してください。)					レポート: 30% 定期試験: 70% 出席状況、参加姿勢、中間試験および期末試験を総合して成績を判定します。ただ出席しているだけでは単位取得はできません。 成績評価基準 「S」: 中間試験、期末試験成績のすべてが90%以上 「A」: " 80%以上 「B」: " 70%以上 「C」: " 60%以上						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「パーソナリティの心理学」岡田康伸・藤原勝紀ほか著(有斐閣) ISBN: 978-4-641-07244-2					事例や映像教材を併用してわかりやすい講義を目指します。 【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容: 病院の精神科及び心療内科で臨床心理士として業務に携わった。						

科目名	パーソナリティ理論			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KL26050	研究室	W-19
担当者	矢崎 久			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日5限、火曜日3限		
関連資格	産業カウンセラー					履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
パーソナリティの定義、遺伝と環境、類型論、特性論、力動・構造論、学習理論、行動理論、自己理論、システム論、認知論、発達と変化について学びます。											
学修到達目標											
パーソナリティとはなにか、社会への適応と不適応について、葛藤とクライアントの生きづらさについて、さらにパーソナリティの主要理論を理解している。											
授業の進め方											
受講者全員が担当パートのレジュメ作成と発表、発表に関するフロア(受講者)との質疑応答状況、これらを総合した私からのフィードバックなどを総合して全員参加となる講義を目指します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	パーソナリティとは何か	ガイダンス、担当箇所の割り振り					事前:第1章全体講読(4時間)事後:レポート準備(1時間)				
2	パーソナリティとは何か	パーソナリティとは					事前:第1章1項講読(2時間)事後:レポート作成(2時間)				
3	パーソナリティとは何か	パーソナリティ形成に働く要因					事前:第1章2項講読(2時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
4	パーソナリティとは何か	パーソナリティの理解					事前:第1章3項講読(2時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
5	理論を学ぶ	類型論					事前:第2章全体講読、第2章1項講読(4時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
6	理論を学ぶ	精神分析理論					事前:第2章2項講読(2時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
7	理論を学ぶ	ロジャーズ					事前:第2章3項講読(2時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
8	理論を学ぶ	トランスパーソナル心理学					事前:第2章4項講読(2時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
9	発達とパーソナリティ	発達の現代的意義(ライフサイクル)					事前:第3章全体、第3章1項講読(4時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
10	発達とパーソナリティ	自我形成の過程(乳児期、幼児期、児童期、青年期)					事前:第3章2項講読(2時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
11	発達とパーソナリティ	自己実現(成人期、老年期)					事前:第3章3項講読(2時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
12	パーソナリティと心理療法	パーソナリティと心理療法の目標					事前:第4章全体、第4章1項、第4章2項講読(6時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
13	パーソナリティと心理療法	心理アセスメント					事前:第5章全体、第5章1項~6項講読(4時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
14	パーソナリティと心理検査	心理検査と臨床活用(検査の概要、知能検査、精神症状検査)					事前:第6章全体、第7章全体講読(4時間)事後:発表レジュメ整理(1時間)				
15	攻撃性と甘えのパーソナリティ	攻撃性と甘え、境界例、障害					事前:第8章全体、第9章全体講読(4時間)事後:テキスト再読、発表全レジュメ再読(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「パーソナリティの心理学」岡田康伸・藤原勝紀ほか著(有斐閣) ISBN:978-4-641-07244-2(生協で購入してください。)						課題:70% 定期試験:30% 成績評価基準 「S」:レジュメ作成、発表と質疑への応答、期末試験のすべてが90%以上 「A」: 80%以上 「B」: 70%以上 「C」: 60%以上					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「心理療法ハンドブック」乾吉佐・氏原寛ほか編(創元社) ISBN:4-422-11326-7 講義「心理療法」のテキストです。なし						発表用レジュメを作成する過程から、調べる、まとめる、発表するといった力が涵養されてゆくと考えています。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:病院の精神科及び心療内科で臨床心理士として業務に携わった。					

科目名	産業・組織心理学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KL26051	研究室	非常勤
担当者	小林 健洋		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	産業カウンセラー				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
この講義は、一般社団法人日本産業カウンセラー協会が主催する「産業カウンセラー養成講座」に準拠した内容になっています。産業・組織心理学を中心に、産業カウンセラーの役割と活動や倫理、産業界における働く人のメンタルヘルスやキャリアについて集中講義形式で学びます。										
学修到達目標										
産業カウンセラー資格取得を目指し、産業カウンセラーに求められる知識習得を目標とします。										
授業の進め方										
講義形式を基本としてすすめ、適宜グループ討議等を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス/産業カウンセラーとは	【テキスト第7章】産業カウンセラーとは何、について学び、産業カウンセラーが産業界で果たす役割、具体的な活動内容について学びます				事前に指定テキストP118~138を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
2	産業界におけるカウンセリングの歩み	【テキスト第8章】産業カウンセリングの源流から、米国や日本でのように発展してきたかを学びます				事前に指定テキストP139~154を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
3	コンプライアンスと倫理	【テキスト第23章】産業カウンセラーが、専門職として目指すべき理想と、守るべきルールについて学びます				事前に指定テキストP728~747を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
4	コンプライアンスと倫理	【テキスト第23章】産業カウンセラー倫理綱領に沿って、実際に起こりうるエピソードをもとにグループ討議を行います				事前に指定テキストP748~の「倫理綱領」を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
5	職場における人間関係開発・職場環境改善への支援	【テキスト第20章】職場における人間関係開発や職場環境改善に関する支援活動について学びます				事前に指定テキストP626~655を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
6	職場におけるメンタルヘルス対策への支援	【テキスト第21章】労働災害の防止、事業者の法的責任、労働者の心の健康の保持増進のための指針、職場復帰、過重労働対策、職場環境の改善、自殺対策等について学びます				事前に指定テキストP656~689を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
7	職場におけるメンタルヘルス対策への支援	【テキスト第21章】メンタルヘルス対策における産業カウンセラーの具体的な役割と活動、メンタルヘルス相談に関する基礎的な知識・技術および留意点について学びます				事前に指定テキストP689~693を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
8	職場におけるメンタルヘルス対策への支援	【テキスト第21章】職場で起こりうる事例を通して、産業カウンセラーとしてどのように職場のメンタルヘルスケアについてかかわっていくかについて学びます				事前に指定テキストP626~693に目を通し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
9	産業組織の心理学	【テキスト第14章】産業組織の心理学とは何か、組織の中で働く意欲とコミットメントについて学びます				事前に指定テキストP382~402を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
10	産業組織の心理学	【テキスト第14章】グループ・ダイナミックス、産業組織の実態を調査する方法について学びます				事前に指定テキストP402~419を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
11	キャリア形成への支援	【テキスト第22章】キャリアの理解とキャリア形成への支援、キャリア形成支援における産業カウンセラーの役割について学びます				事前に指定テキストP694~706を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
12	キャリア形成への支援	【テキスト第22章】キャリア理論、キャリア形成支援のプロセスについて学びます				事前に指定テキストP707~727を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
13	社会福祉関連法	【テキスト第19章】社会保障制度の歴史と枠組み、日本における主要な社会保障制度について、メンタルヘルス対策にかかわる法制度について学びます				事前に指定テキストP591~625を熟読し、事後は講義内容を復習してください(4時間)				
14	総合演習	この講義で学んだことを活かしながら、企業内での事例を通して、産業界の中で働く人をどのようにサポートしていくかを学びます				事前に第13回までの講義で学んだ内容を復習してから臨んでください(4時間)				
15	まとめ	この講義で学んだことをグループ討議で共有し、疑問点は質疑応答を通して解消し、知識の定着を目指します				レポートの題材を得られるように終了後に講義内容を復習してください				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「産業カウンセリング 産業カウンセラー養成講座テキスト」一般社団法人日本産業カウンセラー協会編(別途、指示します。) 講義初日に教室で購入していただきます。				小テスト:40% レポート:60% 小テストはテキストをしっかりと読み、講義を聞けば回答できる問題です。集中講義中に、計4回出題します。それぞれの正答率から点数を出します。レポートは具体性(=自分の頭で考えた内容)を重視します。テキストやWebコンテンツからの引用が多い場合は評価が低くなります。レポートは最終回に出題します。それぞれの合計点で評価します。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新版カウンセリング心理学」渡辺三枝子著(ナカニシヤ出版) 「新版カウンセリングの話」平木典子著(朝日新聞社) 「新版キャリアの心理学」渡辺三枝子編(ナカニシヤ出版)				産業カウンセラー資格取得を希望する学生は、この講義のほか、指定科目の履修が必要です。事例を使った演習が多いので、テキストは事前に目を通してください。						

科目名	心理療法	学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	KL26052	研究室	W-19
担当者	矢崎 久	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスター	月曜日5限、火曜日4限		
関連資格	産業カウンセラー			履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
心理療法とは、「来談者からの依頼・要請に応じて、一定の構造化された枠組みに基づいて、ある治療理論と技法を使って、来談者の問題点の修正・改善・解決・解消などに導く職業的な役割関係や方法」(心理療法ハンドブック、創元社、2005年)と定義されています。本講義では、臨床場面で用いられる療法についての歴史、理論と技法の基礎、および対象と実践領域について学びます。									
学修到達目標									
カウンセリングにおいて、あるいは心理療法としてのカウンセリングにおいて外すことのできな理論および技法を理解している。									
授業の進め方									
理解を助けるための映像教材の併用と療法の実践を学ぶための演習を適宜おこないます。また、理解度を確認するための賞テストをおこない、その結果のフィードバックをおこなうことで双方向型の講義となるように進めます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	心理療法の歴史	ガイダンス、心理療法総論(心理療法の歴史・教育と訓練・倫理・現状と課題)				事前:第 章全体講読(4時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
2	来談者中心療法	人間の尊重とヒューマニスティックアプローチ				事前:第 章全体、1項講読(4時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
3	来談者中心療法	共感的理解、自己一致(純粋性)、受容(尊重、配慮)				事前:第 章1項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
4	精神分析	抑圧と症状、精神の発達、防衛機制、自由連想法				事前:第 章2項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
5	交流分析	ストローク理論、時間の構造化理論、人生態度、構造分析と構え、分析				事前:第 章19項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
6	行動療法	新行動S-R理論、応用行動分析理論、社会学習理論、認知行動療法理論				事前:第 章4項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
7	認知療法	自動思考とスキーマ、認知モデル(ABCモデル)				事前:第 章9項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
8	認知行動療法	症状と認知変数、自動思考とスキーマ、推論の誤り				事前:第 章10項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
9	催眠療法	暗示催眠、リラックス催眠、イメージ催眠				事前:第 章11項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
10	自律訓練法	標準練習と公式、ストレスとリラクゼーション				事前:第 章11項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
11	内観療法	集中内観と日常内観、外面的治療構造と内面的治療構造				事前:第 章15項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
12	家族療法	家族というシステム、学派とアプローチ				事前:第 章5項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
13	エンカウンター・グループ	非構成的グループ、構成的グループ、具体的方法				事前:第 章24項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
14	グループ療法1	グループダイナミクス、グループの目的・進め方・サイズ・形態・構成、体験				事前:第 章28項講読(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)			
15	グループ療法2	グループ体験、分かち合い				事前:第 章全体、第 章28項再読(6時間) 事後:テキスト全体再読、まとめ(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「心理療法ハンドブック」乾吉佑・氏原寛・亀口憲治・成田善弘・東山紘久・山中康裕編(創元社) ISBN:4-422-11326-7(生協で購入してください。)		小テスト:50% 定期試験:50% 小テスト(中間試験)と定期試験を総合して成績を判定します。 成績評価基準 「S」:小テスト、期末試験のすべてが90%以上 「A」: " 80%以上 「B」: " 70%以上 「C」: " 60%以上							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
なし		積極的な質疑を歓迎します。 【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:病院の精神科及び心療内科で臨床心理士として業務に携わった。							

科目名	心理学	学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	KL26053	研究室		
担当者	各教員	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C									
授業概要										
心理学は科学であることを中心テーマに、心理学の総合的包括的な内容を学ぶとともに、その研究法の基礎について実習を通して学びます。関連する心理学についての課題図書を読み、ディベートをすることで内容の深い理解を目指します。一般に考えられている心理学に対する誤解を解くことが授業の目的です。										
学修到達目標										
心理学が科学的な学問であることを知り、その基本的な研究手法を理解する。決められた期間内に新書レベルの本を3冊読み、その内容の要約と、関連する意見文を書けるようになる。										
授業の進め方										
実習とディベートを中心とする授業とします。知識の習得は、各自が教科書と課題図書を読むことで、行なうこととして、その理解を深めるために授業では実習を行ないます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業のやり方について説明します。					シラバスをよく読んできてください。(4時間)			
2	心って不思議	客観的に存在を証明できない「人間の心」について、科学的に研究しようとする心理学という学問について学びます。次回提出する「読後レポート」の書き方について実習を通して学びます					教科書の第0章第1章を読んで内容をまとめる。(4時間)			
3	ディベートの実習	批判的思考力を育てるためにディベートについて実習で学びます。					課題図書『ザ・ディベート』を読み、要約と意見文を書いた読後レポートを提出する。(4時間)			
4	実験で試す	実験 目の錯覚について実験を通して学びます。					教科書の第2章を読んで内容をまとめる。(4時間)			
5	課題図書 ディベート	課題図書 からテーマを選びディベートします。					課題図書『ザ・ディベート』読後レポートの最終締め切り。(4時間)			
6	行動を調べる	実験 「こめかみ鏡映書字」について実験を通して学びます。					教科書の第3章を読んで内容をまとめる。(4時間)			
7	課題図書 ディベート	課題図書 からテーマを選びディベートします。					課題図書『チビクロこころ』を読み、要約と意見文を書いた読後レポートを提出する。(4時間)			
8	中間試験	講義前半について理解度を調べ、理解の足りないところを補います。					教科書第3章までと課題図書について復習する。(4時間)			
9	計算して確かめる	実験 統計的検定法を使って超能力があるかどうかを確認します。					教科書第4章を読み、内容をまとめる。(4時間)			
10	課題図書 ディベート	課題図書 からテーマを選びディベートします。					課題図書『チビクロこころ』読後レポートの最終締め切り。(4時間)			
11	対人関係を学ぶ	実験 囚人のジレンマゲームによって対人関係について学びます。					教科書第5章を読み、内容をまとめる。(4時間)			
12	課題図書 ディベート	課題図書 からテーマを選びディベートします。					課題図書『おどろきの心理学』を読み、要約と意見文を書いた読後レポートを提出する。(4時間)			
13	公共心を学ぶ	実験 寄付ゲームによって公共心について学びます。					教科書「付録」を読み、まとめる。(4時間)			
14	課題図書 ディベート	課題図書 からテーマを選びディベートします。					課題図書『おどろきの心理学』読後レポートの最終締め切り。(4時間)			
15	まとめ	実験 潜在意識の測定。まとめと後半の理解度テストを行ない、理解不足について補講します。					教科書後半と課題図書 について復習する。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「チビクロこころ：中学生高校生のための心理学入門」森まりも著(北大路書房) ISBN:978-4762821400(生協で購入してください。)レポート課題対象となる図書は別途指示する。		定期試験：100% S：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の3つ以上において優れた成果を示した。A：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の2つ以上において優れた成果を示した。B：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習において優れた成果を示した。C：課題すべてを基準レベルで達成した。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「ザ・ディベート」茂木秀昭著(ちくま新書) ISBN:978-4480058928 読後レポート課題図書とします。必ず購入してください。 「おどろきの心理学」妹尾武治著(光文社新書) ISBN:978-4334039042		本を読んだレポートとディベートがあります。レポート提出者のみディベート参加を認めます。								

科目名	カウンセリング演習			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	KL36054	研究室	非常勤
担当者	窪田 明美			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-			
関連資格	産業カウンセラー					履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
産業カウンセラーの資格取得を目的とし、産業カウンセラー養成講座に準拠した内容になっています。カウンセリングという行為は、専門的で高度なコミュニケーションの一形態です。社会の中で、人と関わって生きていく私たちは「コミュニケーション」を欠かすことができません。この講義では、カウンセリングにおいて絶対要件となる「傾聴」と、お互いを尊重し対等な関係づくりに必要な「コミュニケーション」について学び、一人の人間として他者との良好な関係性を築いていくために必要な知識とスキルを学びます。											
学修到達目標											
次の5つを目標とします。 カウンセリングにおけるコミュニケーションとその活用を理解する。 傾聴の基本的態度を理解する。 カウンセラーの基本的態度を理解する。 傾聴技法を理解する。 カウンセリング・プロセス理論を理解する。 カウンセリング・プロセスの各段階におけるクライアントの状態とカウンセラーの関わりを理解する。											
授業の進め方											
講義形式を基本として進め、併せて、個人/グループ演習を行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	コミュニケーションとはなにか	コミュニケーションとはなにか。カウンセラーに必要なコミュニケーションのありかたを学びます。					テキスト420から431ページを事前に読む。(4時間)				
2	人間関係を形成・調整するコミュニケーション	人間関係を形成し調整するためのコミュニケーションのありかたを学びます。					テキスト431から441ページを事前に読む。(4時間)				
3	他者に影響を与えるコミュニケーション	人間関係における他者との関係づくりに影響を与えるコミュニケーションとはを学びます。					テキスト446から456ページを事前に読む。(4時間)				
4	カウンセリングの基本	カウンセリングとは何かを中心に産業カウンセリングを学ぶものが理解しておきたい基本的な事柄を学びます。					テキスト2から3ページを事前に読む(4時間)				
5	傾聴の意義と効果	傾聴の意義、傾聴がもたらすものを学びます。					テキスト24から32ページを事前に読む。(4時間)				
6	傾聴の基本的態度	カウンセラーに必要な人間観とカウンセラーとクライアントの関係をどのように築いていくかを学びます。					テキスト32から35ページを事前に読む。(4時間)				
7	傾聴の基本的態度	カウンセラーが身に付けるべき基本的態度(受容、共感、自己一致)とはどのようなものであるかを学びます。					テキスト35から39ページを事前に読む。(4時間)				
8	傾聴技法	カウンセリングにおける技法の場面構成、かわり行動、観察とはどのようなかを学びます。					テキスト39から42ページを事前に読む。(4時間)				
9	傾聴技法	カウンセリングにおける技法のカウンセラーの応答様式を学びます。					テキスト43から47ページを事前に読む。(4時間)				
10	傾聴技法	カウンセリングにおける技法のカウンセラーの応答対象を学びます					テキスト47から49ページを事前に読む。(4時間)				
11	傾聴技法	傾聴技法をグループワークにより体験学習します。					傾聴についてのミニレポートを在宅学習。(4時間)				
12	カウンセリングのプロセス	カウンセリング・プロセスの視点。プロセスの各段階とマネジメントを学びます。					テキスト54から62ページを事前に読む。(4時間)				
13	カウンセリングのプロセス	カウンセリング・プロセスの実際を教材映像にて学びます。					カウンセリング・プロセスについてのミニレポートを在宅学習。(4時間)				
14	カウンセリング・プロセスと傾聴	カウンセリング・プロセス面接をグループワークにより体験学習します。					体験学習のまとめに取り組み(4時間)				
15	まとめ	学習のふりかえりとまとめを行いません。					テキストや資料を使い授業全体の振り返りとまとめを行うこと。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「産業カウンセラー養成講座テキスト」一般社団法人日本産業カウンセラー協会編(別途、指示します。)					受講態度:50% レポート:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新版 カウンセリングの話」平木典子著(朝日新聞社) 「新版 カウンセリング心理学」渡辺三枝子著(ナカニシヤ出版)					レポート提出の期限厳守し、理由なき遅刻・欠席が270分未満であることが授業の条件です。						

科目名	心理アセスメント		学年学期	4年前期	単位数	1	ナバリング	KL46055	研究室	W-19
担当者	矢崎 久		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日5限、火曜日3限		
関連資格	産業カウンセラー				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
「産業カウンセリング特講 B」として、精神医学の基本、心理アセスメント、こころのメカニズムの基本について集中講義形式で授業をおこないます。										
学修到達目標										
来談者(クライアント)のこころの状態を測定する方法、ストレスとストレッサー、心身反応、正常と異常、精神疾患・精神障害の基礎知識、メンタルヘルスの確保と増進に関する基礎知識を理解している。										
授業の進め方										
座学(理論)および体験(技法)を適宜組み合わせる授業を進めます。また、理解度確認レポートの内容を踏まえた個別面談をおこなうなどのフィードバックをおこなうことで、双方向型の講義となるように進めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	人間の身体とこころ	ガイダンス, 人間の生物学的側面と心理的側面、神経系の基礎知識				事後: 心理アセスメント配付資料講読(6時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
2	人間の身体とこころ	脳の構造と機能、こころと身体の危機				事前: メンタルヘルス配布資料講読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
3	外界の認知	感覚器官と認知、認知の機能、認知の一致と不一致、防衛機制				事前: 認知心理学配布資料講読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
4	ストレスと回復性	ストレスとストレッサー、ストレス障害、回復性				事前: ストレスとレジリエンス配布資料講読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
5	正常と異常	正常とはどのような状態か、異常とはどのような状態か				事前: 精神障害とその分類配付資料講読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
6	こころの適応と不適応	精神障害の基礎知識				事前: 精神障害とその分類配付資料再読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
7	メンタルヘルス相談の知識	来談者に関する留意点、対応能力、休職と復職、精神疾患・精神障害の知識 1(精神科講師講義)				事前: 面接法配付資料講読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
8	精神疾患・精神障害の知識	精神疾患・精神障害の知識 2、こころの健康と職場のメンタルヘルス活動(精神科講師講義)				事前: 精神医学配付資料講読(4時間)事後: 資料作成、ノートまとめ(2時間)				
9	観察法	自然観察法、組織的観察法、実験的観察法				事前: 観察法配付資料講読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
10	面接法	訪問面接と来談面接、個人面接と集団面接、非構造化・半構造化・構造化面接				事前: 面接技法配付資料講読(4時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
11	心理検査法	質問紙法とは何か、種類と特徴、検査の実際(エゴグラム)				事前: 心理検査法配布資料(質問紙法)講読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
12	心理検査法	投影法よは何か、種類と特徴、検査の実際(バウムテスト)				事前: 心理検査法配付資料(投影法)講読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
13	心理検査法	作業検査法とは何か、種類と特徴、検査の実際(クレペリン)				事前: 心理検査法配付資料(作業法)講読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
14	心理検査法	その他の検査法、種類と特徴、検査の実際(箱庭)				事前: 心理検査法配付資料(箱庭療法)講読(2時間)事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
15	心理検査法	その他の検査法、種類と特徴、検査の実際(コラージュ)				事前: 配布全資料再読、コラージュ法講読(6時間)事後: 配布全資料再読、まとめ(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
適宜、プリントを配布します。				レポート: 50% 定期試験: 50% 講義内の試問、課題レポート内容を総合して成績を判定します。 成績判定基準 「S」: レポート提出、定期試験のすべてが90%以上 「A」: " 80%以上 「B」: " 70%以上 「C」: " 60%以上						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				一つでこころのすべてが測定できるテストなどありません。テストの実施、解釈、判定には慎重でなければなりません。【実務経験のある教員が担当】病院の精神科及び心療内科で臨床心理士として業務に携わった。						

科目名	法学A(総経)		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	KL16056	研究室	W-33	
担当者	増尾 均		必修選択	必修	科目種別	講義	オイスカー	月曜日4限、木曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
現代社会は多くの法律によって規律されていますが、個々の法領域ではさまざまな問題が生じています。本講義では、特に身近な法律を取り上げ、その法律の果たす役割と機能だけでなく、それぞれの法領域が抱えている諸問題を学んでもらいます。											
学修到達目標											
社会のさまざまな問題の現状と法律を学び、問題を法的に解決できる能力を身につけ社会の発展に寄与できるようになることを目的としています。											
授業の進め方											
本講義は、テキストを中心に講義室で行いますが、必要に応じてプリントを配布したり、その時々で話題となっている事件を講義材料として扱うこともあります。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、法律を学ぶ意義、各種法律の位置づけ					事前に法律の種類を調べ、事後には位置づけを理解する(4時間)				
2	法律とは	法律と似ている自然法則・宗教・道徳との違いを学ぶ。					事前にルールとは何かを考えてまとめる。事後学修として、違いを整理して理解する。(4時間)				
3	法源	成文法と不文法の種類と特徴					事前学修として、法源の種類を調べる。事後学修として、それぞれの特徴を体系的に学ぶ。(4時間)				
4	法の適用	法律をどのように適用するか、どのように解釈するか					事前に適用する上での問題点を考えてまとめる。事後学修として、法的対応を理解する。(4時間)				
5	契約の自由	契約自由の原則と契約の種類					事前に使用したことのある契約をリスト化する。事後に各契約の違いを整理する。(4時間)				
6	損害賠償	損害賠償の範囲・手続きなどを具体的に学ぶ					事前にどのような場面で利用できるか考えておく。事後に法制度を整理してまとめる。(4時間)				
7	カードの仕組み	我が国のカードの種類と仕組み・法律上の問題点					事前学修として、カードの種類を調べる。事後学修として、現行法制度を理解する。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。					事前に今までの復習を再度行う。事後学修として、理解が不十分であった所を学ぶ。(4時間)				
9	自己破産制度	自己破産の意義と手続き					事前に人はどうして自己破産するか調べる。事後学修として、制度についてまとめる。(4時間)				
10	夫婦と法	結婚と離婚を中心に夫婦に関する法律を学ぶ					事前に夫婦間で起きるトラブルをまとめておく。事後にはさまざまな法制度を理解する。(4時間)				
11	親子と法	親子に関する法律を学ぶ					事前に親子間で起きるトラブルをまとめておく。事後学修として、法的規制を整理する。(4時間)				
12	交通事故	交通事故における刑事上の責任・民事上の責任・行政上の責任について					事前にどのような責任がかかるか考えておく。講義後、整理して理解する。(4時間)				
13	我が国の裁判制度	刑事裁判と民事裁判の特徴と手続き					事前に両者について調べる。事後学修として、特徴や違いなどを整理してまとめる。(4時間)				
14	裁判員制度	国民が参加する裁判員制度の内容と国民の行うこと					事前に裁判員制度を調べる。事後学修として、裁判員の仕事を理解する。(4時間)				
15	国際法の基礎	国際慣習法と条約の役割について実例をもとに学ぶ					事前学修として、国際法とは何かを調べる。事後学修として、具体例を調べて理解する。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「フンステップ法学」目崎哲久ほか著目崎哲久・國友順市編(嵯峨野書院) ISBN:978-4-7823-0551-5(生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158(生協で購入してください。)					出席レポート:10% 定期試験:90% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展の問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「法律学への誘い」伊藤眞著(有斐閣) ISBN:4-641-02784-6					身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立ててください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、事前に読んでおいてください。						

科目名	契約法		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	KL26057	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本講義では債権法総論を中心に授業をし、各論の不法行為も合わせて行います。民法は大別すると財産法と家族法に分けることができます。財産法には、民法総則・物権法・債権法総論・債権法各論があります。この中で債権法総論には契約・保証・損害賠償など社会生活の中で多用されている制度があることから、これを重点的に行います。										
学修到達目標										
本講義を受けることにより、トラブルに遭わないための予防策、ならびにトラブルに遭ってしまった場合の速やかな解決方法を学び、企業人として社会の発展に寄与することができるようになることを目的とします。										
授業の進め方										
基本的には教科書と六法を用いて講義室で授業を行います。しかし、教科書と六法のみではなく、必要に応じて判例・新聞記事などのプリントも配布して使用します。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方・契約法を学ぶ意義				事前に民法の中の契約法の位置づけを調べる。事後学修として、体系的にまとめる。(4時間)				
2	特定物債権と不特定物債権	特定物債権と不特定物債権の特徴				事前に両債権の外郭を理解しておくこと。事後学修として、詳細に比較検討すること。(4時間)				
3	危険負担	特定物債権と不特定物債権の危険負担の違い				事前に危険負担の意味を調べて理解すること。講義後、両者の違いを把握すること。(4時間)				
4	金銭債権と利息債権	金銭債権と利息債権の問題点と法的諸規制				事前学修として、変遷を調べておく。事後学修として、法的規制をまとめる。(4時間)				
5	強制履行	直接強制・代替執行・間接強制の要件と効果				事前に履行を強制するかまとめる。事後学修として各強制的利用限界をまとめる。(4時間)				
6	債務不履行の種類	債務不履行の意義・要件				事前に債務不履行が生じる場面を調べる。事後学修として、体系的に整理して理解する。(4時間)				
7	債務不履行の効果	債務不履行の手続きと損害賠償				事前に損害賠償の内容を調べておくこと。事後学修として、整理してまとめること。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。				事前に今までの復習を再度行う。事後学修として、理解が不十分であった所を学ぶ。(4時間)				
9	債権者代位権と債権者取消権	責任財産の保全という視点から債権者代位権と債権者取消権を学ぶ				事前に2制度の概要を理解しておく。事後学修として、制度の要件と効果をまとめる。(4時間)				
10	分割・不可分債権関係・連帯債務	多数当事者の債権関係として、分割・不可分債権関係・連帯債務の制度を学ぶ				事前に各制度の概要を理解する。事後学修として、担保的機能を中心に理解を深める。(4時間)				
11	保証債務・連帯保証	担保的機能の強い保証債務と連帯保証の特徴と留意点				事前に担保的機能を調べる。事後学修として、制度の違いを整理する。(4時間)				
12	弁済・代物弁済・供託	債権の消滅原因としての弁済・代物弁済・供託の機能				事前に各制度の特徴を調べる。事後学修として、各制度の違いを比較しまとめる。(4時間)				
13	相殺・更改・免除・混同	債権の消滅原因としての相殺・更改・免除・混同の機能				事前に各制度の特徴を調べる。事後学修として、各制度の違いを比較しまとめる。(4時間)				
14	一般の不法行為	民法709条の要件と効果				事前に損害賠償について調べる。事後学修として、債務不履行の効果と比較する。(4時間)				
15	特殊な不法行為	特殊な不法行為として位置づけられている諸制度の要件と効果				事前に条文に従い種類を整理しておくこと。事後学修として、効果をまとめる。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「プリメール民法3債権総論」大島和夫・高橋眞・玉樹智文・山田希著 著(法律文化社) ISBN:978-4-589-03625-4 (生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158 (生協で購入してください。)			出席レポート:10% 定期試験:90% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「債権総論」水辺芳郎著(法律文化社)			身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立ててください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。							

科目名	行政法		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	KL26058 TB26044	研究室	非常勤	
担当者	松田 清		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
			総 観								
授業概要											
この講義では行政法の基本的な知識を得るための概説を行います。入門レベルのテキストを理解して、その後により大部な教科書や判例集を読む際に役に立つように講義を位置づけています。併せて説得力、理解力を高めるための国語力＝論理的思考力を高める訓練も行います。											
学修到達目標											
行政法の基本的知識を習得し、行政や政策を理解する法的枠組みを通して行政の活動や政策について理解できる。											
授業の進め方											
指定テキストを使用し、適宜プリント等を配布します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	ガイダンス、行政法とは何か					第1章を読む(4時間)				
2	行政法総論	行政行為					第1章を読む(4時間)				
3	行政法総論	行政機関とは					第1章を読む(4時間)				
4	行政法総論	行政行為					第1章を読む(4時間)				
5	行政事件訴訟法	取消訴訟					第2章を読む(4時間)				
6	行政事件訴訟法	当事者訴訟					第2章を読む(4時間)				
7	国家賠償と補償	正当な補償、国家賠償法					第3章を読む(4時間)				
8	国家賠償と補償	公権力の行使					第3章を読む(4時間)				
9	行政不服審査法	行政上の不服申立て					第4章を読む(4時間)				
10	行政不服審査法	審理の手続き					第4章を読む(4時間)				
11	行政不服審査法	不服申立					第4章を読む(4時間)				
12	行政手続法	処分					第5章を読む(4時間)				
13	行政手続法	行政指導					第5章を読む(4時間)				
14	情報公開法	方法、制度					第6章を読む(4時間)				
15	まとめ	行政法の全体像					講義内容の振り返り(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「なるほど行政法」山本浩司著(中央経済社) ISBN:978-4-502-98700-7 (生協で購入してください。)				定期試験:90% 出席レポート:10% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「なし」				行政法を理解する前提として、法学、日本国憲法、契約法、地域行政、地方自治の講義は履修しておいてください。それらの知識なしにいきなり行政法の講義を理解するのは大変困難です。							

科目名	家族法			学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	KB26059 TB26035	研究室	W-33
担当者	増尾 均			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限、水曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
		総 観									
授業概要											
我が国には非常に多くの法律がありますが、その中でも民法は社会生活をする上で最も身近な暮らしに関することを規律した法律です。本講義では民法の中の家族法を学んでいただきます。具体的には夫婦や親子の関係を規定する親族法と相続や遺言を規定する相続法です。いずれも社会生活のみならず家庭生活の中でも多用されています。											
学修到達目標											
家族法の諸制度を学び、家庭内でのトラブルを回避するための法的予防策ならびにトラブルに遭遇してしまった場合の法的早期解決方法を習得し、地域人として家庭の平穏と地域の発展に寄与することを目的とします。											
授業の進め方											
基本的には教科書と六法を用いて授業を進めます。しかし、教科書と六法のみではなく、必要に応じて判例・新聞記事などのプリントも配布して使用します。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、家族法の意義と民法の中の位置づけ					事前に民法とはどのような法律か調べる。講義後、家族法の位置づけをまとめる。(4時間)				
2	親族法総説	親族法の沿革、親族法の特徴					事前学修として、身分法について調べる。事後学修として、現親族法との比較検討をする。(4時間)				
3	婚姻の成立と効果	婚姻成立のための実質的要件と形式的要件、地位と財産上の効果について					事前学修として、婚姻の条件を調べる。事後学修として、各規定を整理する。(4時間)				
4	離婚の成立	離婚制度の沿革、離婚の種類と要件、有責主義と破綻主義について学ぶ					事前に離婚の条件を調べる。事後学修として、有責主義と破綻主義についてまとめる。(4時間)				
5	離婚の効果	離婚による財産上の効果と子に関する効果					事前に離婚によって夫婦はどうか調べる。講義後、財産と法的効果を整理する。(4時間)				
6	親子	実親子と養親子、それぞれの問題点と法規制					事前に親子間の問題を調べる。事後学修としてそれぞれの問題と規制を整理する。(4時間)				
7	親権	親権および身上監護と財産管理の意義と内容					事前に親権について調べる。事後学修として、親権と監護権との関係についてまとめる。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。					事前に今までの復習を再度行う。講義後、理解が不十分であった所を改めて学ぶ。(4時間)				
9	後見制度	未成年後見、成年後見・補佐・補助の意義と制度の概要					事前学修として、後見とは何かを調べる。事後学修として、各制度の違いをまとめる。(4時間)				
10	相続法総説	相続法の沿革旧法との比較					事前に昔の相続はどうであったか調べる。事後学修として、現行法との比較検討をする。(4時間)				
11	相続人	相続人の範囲と順位、相続権の剥奪、代襲相続					事前に誰が相続できるか調べる。事後学修として、各制度を整理してまとめる。(4時間)				
12	相続の効力	相続分と遺産分割					事前に遺産をどう分けるか考える。講義後、相続分について整理する。(4時間)				
13	相続の承認と放棄	単純承認・限定承認・相続の放棄について手続きと規定を学ぶ					事前学修として、相続の種類を調べる。事後学修として、それぞれの特徴をまとめる。(4時間)				
14	遺言	遺言の各種方式と遺贈の意義と要件					事前学修として、遺言の種類を調べる。事後学修として、各制度の特徴を整理する。(4時間)				
15	遺留分	遺留分の概要と算定					事前に遺留分の意義を調べる。事後学修として、計算ができるように練習する。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「プリメール民法5家族法」千藤洋三・床谷文雄・田中通裕・辻朗著(法律文化社) ISBN:978-4-589-03595-0(生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158(生協で購入してください。)						出席レポート:10% 定期試験:90% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「ハイブリッド民法5 家族法」半田吉信・鹿野菜穂子・佐藤啓子・青竹美佳著(法律文化社) ISBN:9784641009158						身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立ててください。講義計画に該当する内容を読んでおいてください。					

科目名	生活環境論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	KB26060	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日3限、火曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
持続可能な社会の実現のためには、私たち一人ひとりが生活と環境との関わりを理解し、環境に配慮したライフスタイルと環境問題を解決するために必要な行動力を身につけることが求められています。本講義では、良好な生活環境を確保するための基本三原則「低炭素社会、循環型社会及び自然共生社会」と各分野の関係性を整理し、持続可能な社会づくりに関して私たちが果たすべき役割と具体的な取組みを学びます。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育特講」に相当。)											
学修到達目標											
良好な生活環境を確保と持続可能な社会を実現するために必要な知識を学び、また、社会を構成するすべてのメンバーの役割は何かを考え、実践する能力を身につける。											
授業の進め方											
スライドなどの視聴覚教材を利用しながら講義を進めます。授業に関係する施設に出かけ、理解を深めます。4~5名のグループを編成し、データ、資料を収集して発表資料を完成させます。最終回でその成果をグループごとに発表し、相互に評価します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	生活環境論とは	良好な生活環境を維持する為に、低炭素社会、循環型社会及び自然共生社会の中に潜む様々な問題点を説明します。また、授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。					シラバスの理解と授業の内容を振り返り、ノートにまとめる。(4時間)				
2	暮らしと環境問題とのつながり	環境問題と市民の関わりについて説明し、環境問題の解決において市民が果たすべき役割について学びます。					身の回りで起きている生活環境の異変について調査する。(4時間)				
3	循環型社会の構築について	循環型社会を構築する為の基礎となる日本の廃棄物処理に関する法制度について説明します。					日本の廃棄物処理に関する法制度について調査し、廃棄物の定義等を理解する。(4時間)				
4	低炭素社会の構築について	日本における、地球温暖化によるとされる異常気象の現状と、それに伴う生活環境への影響について説明します。					日本における異常気象の発生状況について調査する。(4時間)				
5	自然共生社会の構築について	現在の日本雷鳥に代表されるような、様々な野生生物種の減少問題や、現在のニホンジカに代表されるような、様々な野生生物の生息数の増加及び被害状況(鳥獣被害)について説明します。					身近に発生している野生生物(動物・植物・昆虫等)の減少について調査する。(4時間)				
6	里山里海の生態系サービス	自然の恵みとその創出のメカニズムについて説明し、共生・循環型の生活について学びます。					配布資料をもとに身の回りの生態系サービスについて調査する。(4時間)				
7	里山の保全再生と地域循環共生圏	地域循環共生圏が求められる背景と、具体的な事例をもとに持続可能な地域づくりの事例を説明します。確認テストを実施し、添削後、返却します。					事前に「環境基本計画」について調べ、基本とすべき原則についてノートにまとめる。(4時間)				
8	公害問題と教育	高度経済成長期に発生した公害問題を説明し、加害・被害の構造を持つ公害における「補償」と被害の拡大について考えます。					配布資料をもとに日本の公害問題について事前に調べる。(4時間)				
9	日本のエネルギー政策	一人ひとりのライフスタイルや環境・経済などの広い視点から、原子力発電に伴う様々な問題について議論します。					配布資料をもとに日本のエネルギー政策について事前に調べる。(4時間)				
10	福島第一原子力発電所事故とは何か	放射能の影響を受けた地域では、子どもが外で遊ばせることさえ、躊躇されることがあります。福島原発事故後の生活環境の変化について考えます。					東日本大震災や福島第一原子力発電所事故から「何を学ぶのか」について考える。(4時間)				
11	原発事故後の自然体験活動	地域を構成する場所や人の変化に着目し、一人ひとりが安心して安全な社会をつくっていく担い手になるための自然体験学習の可能性について議論します。					配布資料をもとに福島県内の自然体験活動の現状について事前に調べる。(4時間)				
12	消費者としての市民	環境配慮の社会の進展に合わせて、私たち消費者がどのような視点で商品を選び購入するかについて学びます。					地域住民として環境問題への取組みについて考え、発表に向けて資料収集・分析を行う。(4時間)				
13	消費者としての市民 ディスカッション&プレゼン準備1	一人ひとりのライフスタイルや環境・経済などの広い視点から、「地域」単位で私たち一人ひとりができることを考えます。					地域住民として環境問題への取組みについて考え、発表に向けて資料収集・分析を行う。(4時間)				
14	消費者としての市民 ディスカッション&プレゼン準備2	「地域」に住む住民としての環境問題への取組みについて考え、一人ひとりが協力し合う手立てについて議論します。					地域住民として環境問題への取組みについて考え、発表に向けて資料収集・分析を行う。(4時間)				
15	持続可能な社会の構築について プレゼン発表と講評	「地域」の視点から、「持続可能な社会」に向けた仕組みと実践について発表し合い相互に評価します。教員、ゲスト講師による評価、講評を受けます。					地域にとって望ましい環境を持続する為に、今何をすべきか、何が出来るのかを考える。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
別途指示します。				受講態度：60% レポート：40% 受講態度は、プレゼンテーション、グループディスカッション、受講票の内容等を評価に加味します。S：内容を高度に理解し、実社会での出来事と地球規模の課題を関連付け、批判的な視点を持ちながら、正確に文章で表現することができる。A：探求姿勢を持って課題に取り組み、内容を正確に理解し、各要素を関連付けた視点で、正確に文章で表現することができる。B：内容をおおむね理解し、要素を関連付けた視点で、文章化できる。C：授業の内容を6割以上理解し、自分の意見を文章化できる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。				小グループによる活動を中心とした授業形式であるため休みがちまたは予習をさぼりがちな人は班員に多大な迷惑が生じますので、欠席と未予習に対しては厳しい評価をします。							

科目名	消費者行動論			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KB36061	研究室	W-28
担当者	清水 聡子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
私たちは消費者として、さまざまな製品やサービスを選択し、購入します。消費者行動論では、消費者行動の内容を把握し、消費者の意思決定の過程について学びます。											
学修到達目標											
消費者行動に関する基礎的、発展的な知識を修得し、自らの消費者行動を理解するとともに、自分の言葉で自分の考えをまとめ、説明できる。											
授業の進め方											
授業計画に従って、配布プリントを用いて教室にて行います。授業の構成は、前回の授業の復習・フィードバック、今回の授業のポイント、授業の中心部(メイン)、問題提起(来週の予告)と4部構成で行い、アクティブラーニング(発表)を実施します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	消費者行動論で学ぶ内容の全体像を示し、講義の進め方を説明します。					シラバスを読む。消費者行動論の全体像を把握する。(4時間)				
2	消費者とは何か	消費者の概念を理解し、消費者行動について考察します。					自らの消費者行動に対する課題を見つける。(4時間)				
3	消費者ニーズと消費者の反応	消費者ニーズの考え方を理解し、自らの消費者ニーズを考察します。					自らの消費者ニーズに対する反応を考える。(4時間)				
4	マーケティング・リサーチ(1)	マーケティング・リサーチの機能を理解し、企業の視点から消費者行動を考察します。					事例研究を行う。(4時間)				
5	マーケティング・リサーチ(2)	マーケティング・リサーチの種類とデータの収集方法を考察します。					事例研究を行う。(4時間)				
6	消費者行動分析(1)	ライフサイクル分析を理解し、自らのライフサイクルと製品ライフサイクルを比較します。					自らのライフサイクルを考察し、まとめる。(4時間)				
7	消費者行動分析(2)	社会的側面の分析を理解し、影響因子を考察します。					消費者行動で影響を受けている社会的因子を考える。(4時間)				
8	消費者行動分析(3)	ライフスタイル分析を理解し、自らのライフスタイルを考察します。					自らのライフスタイルを考察し、まとめる。(4時間)				
9	消費者問題と消費者政策	消費者問題の推移と消費者政策を考察します。					自らの消費者行動の中から消費者問題を考える。(4時間)				
10	消費者の権利と責任	消費者が消費生活をするうえでの基本的権利と責任を考察します。					消費者の権利と責任を意識し、自らの消費者行動を考える。(4時間)				
11	コンシューマリズムとは何か	コンシューマリズム(消費者主義)とコンシューマムーブメント(消費者運動)の概念を考察します。					消費者としての主体的立場を自覚し、消費者行動を考える。(4時間)				
12	消費者教育とは何か	必要される消費者教育はどのようなものかを考察します。					賢い消費者となるために必要な教育とは何かを考える。(4時間)				
13	消費者満足とは何か	商品やサービスの消費によって形成される消費者満足の概念を理解し、自らの消費者行動を考察します。					満足、不満足の体験をまとめ、消費者満足について考える。(4時間)				
14	消費者と法	消費者に関係する法律として消費者基本法を中心に考察します。					受動的な消費者から主体的な消費者になるために必要なことを考える。(4時間)				
15	まとめ	消費者行動論で学んだ全体像を示し、消費者行動の課題を考察します。					今までの復習を行い、消費者行動の課題を考える。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
プリント・資料の配布をもってテキストに代えます。					定期試験：100% S:学修到達目標を十分に達成しており、期待以上に卓越している。A:学修到達目標を十分に達成しており、期待どおりである。B:学修到達目標を十分に達成している。C:学修到達目標を達成している。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「消費者行動論体系」田中洋著(中央経済社) 「消費者行動論」平久保伸人著(ダイヤモンド社)					マーケティング基礎、マーケティング戦略を受講した学生を対象に、授業を展開します。授業計画と進み具合にあわせ、新聞や雑誌などから関連した記事を採り出し、常に自らの消費者行動を考えてください。						

科目名	生活福祉論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパ'リング	KB36062	研究室	非常勤
担当者	亀井 智泉		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
福祉イコール高齢者介護ではありません。福祉制度の背景にある歴史的背景や社会的要因、理念を学び、その制度が目指す社会の在り方について考えます。一方で、私たちひとりひとりが生活の当事者として、家族・近隣・地域・社会とどのようにつながり、支えあっているのか、また、社会は私たちの生活とどのようにつながっているのかを理解します。今後我が国の基幹産業ともなる福祉についての学びです。学生諸君のキャリア形成にも生かせる内容にしていきたいと思います。										
学習到達目標										
生活の当事者としての視点から大きな意味での「福祉」を理解すること。基本的人権と「生活の中の福祉」について理解し、しあわせな生活とよりよい地域づくりのために福祉が果たす役割について、自分の言葉で論じることができるようになること。										
授業の進め方										
ICF(国際生活機能分類)をモノサシに、自分たちの生活を測っていきましょう。スライドや動画、グループワーク等を取り入れて、「聞くだけ」ではない講義を進めます。講義後のミニレポートをもって出席表とします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	「しあわせな生活」とは何かを一緒に考えながら、講義の目指すところを共有します。				自らの子ども時代・成人期・老年期におけるリスクを三つずつリストアップする。4時間				
2	私たちの生活と福祉	生活とは何かを考え、ライフサイクル(生活周期)と福祉について考えます。				自分の卒業後の人生を描いてくること。4時間				
3	社会福祉とは一理念と歴史	社会福祉の理念と歴史を学びます				講義にて配布する事例に基づき、過去と現在の福祉の理念の比較をしてきてください。4時間				
4	社会福祉とは一法体系と制度	社会福祉の法体系と実際の制度について学びます				レポート 障がい者差別解消法の設立経緯と理念について1000字程度にまとめる。4時間				
5	社会福祉の担い手 行政と実施機関	前学年で制度を支える社会福祉の担い手がどこにいてどんな仕事をしているのかを学びます				福祉に携わるしごとにはどんなものがあるかを調べてきてください。4時間				
6	社会福祉の担い手 施設と専門職・市民	社会福祉の担い手の専門分化と、一般の市民が担う福祉の在り方について学びます。				レポート ボランティア体験について。4時間				
7	社会福祉の財政と費用負担	社会福祉にかかるコストとその負担の仕組みと、「ソーシャルキャピタル」をキーワードに社会福祉の費用対効果について考えます。特に、災害との復旧復興について事例をもとに考えます。				レポート 社会福祉の職場とそこで働く職種についてのレポート。4時間				
8	自助・互助・共助・公助	よりよい生活を継続して行うために自分がやるべきこと・家族がやるべきこと・近所の人とやるべきこと・社会でやるべきことを考えます。できればグループワークで考えてみましょう。				7回目講義終了時に配布する事例に基づき、支援マップを作成する。4時間				
9	地域生活と福祉 こども・貧困・女性	実際の事例を基に身近な生活の問題としてICFの図をもとにこどもと女性、貧困を考えます。				配布する事例を読み、支援マップを作成する。4時間				
10	地域生活と福祉 障害児者	変化してきた「障害」の概念の理解を目指します。障がいを持つこどもと家族、成人した障害者の生活を支える福祉について複数の事例を基に学びます。				ICFの図と解説について熟読理解しておくこと。4時間				
11	地域生活と福祉 高齢者	高齢者福祉は現在の社会福祉の中で大きなウエイトを占めています。身近な高齢者の事例を基に、この地域ならではの高齢者福祉をも考えましょう。				レポート 時分はどんな高齢者になりたいか。4時間				
12	医療・教育・福祉・地域住民の連携	地域の医療、教育、地域住民と福祉の連携について、事例を通して学び、多職種の役割と関係を図示する方法(支援マップ)を学びます。				レポート 講義後に配布する事例について、支援マップと人権についてのレポートを作成する4時間				
13	社会福祉と人権	社会福祉の果たす大きな役割の一つに社会的に弱い立場にある人の人権擁護があります。支援する「優しい」福祉と同時にある「たたかう」福祉の在り方について考えます。				「児童虐待防止法」「障害者虐待防止法」についての事例を自分で探してくる。4時間				
14	地域福祉計画と私たちの生活	中核都市になろうとしている松本市の福祉の現状に「自分なら何ができるか」を具体的に考えます。				自分の住む市町村の福祉の課題を探してくる。4時間				
15	まとめ 自分を取り巻く社会と福祉	自分の「しあわせな生活」のために必要なことと、それを守るために誰が何をしてくれるのか。自助・互助・共助・公助と人権擁護の視点から整理して、自分のしあわせな生活とよりよいまちづくりをつなげよう。				この講義で行うグループワークに振り返ってのレポートを課します。4時間。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「コミュニティ・エンパワメントの技法 当事者主体の新しいシステムづくり」安梅勲江 編著(医歯薬出版株式会社) ISBN:4-263-23462-6 適時プリントも配布します。				受講態度:20% 課題:30% レポート:30% 出席レポート:20% 受講態度は「真面目に出席して静かに聴く」だけでなく、授業初めの質問票への記入、グループワークでの積極性も評価します。S:人権・当事者意識・福祉の関連性の把握ができ、グループワークでも的確な発言ができる。A:積極的な授業態度と、学習内容について自分の言葉に置き換えて正しく表現できる。B:各回の目標達成のために真摯に臨み、授業での学びについて正しく表現できる。C:到達目標について真摯に取り組み、各回の授業での学びを表現できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「子ども白書(毎年刊行)」(本の泉社) ISBN:978-4-7807-1233-9 「自治が育つ学びと協働 南信州・阿智村」岡庭 一雄・細山 俊男・辻 浩 編(自治体研究社) ISBN:978-4-88037-676-9				生活マネジメントの科目として位置づけられています。諸君のキャリア形成についても考える内容なので、医療・福祉・教育・地域づくりに興味がある学生はとくに当事者意識を持って受講すること。						

科目名	フードマネジメント			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	KB36063	研究室	S-06
担当者	矢内 和博			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	金曜日1限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
現代社会では、食糧不足と肥満問題といった相矛盾する問題を抱えています。そして食料に関する格差はますます広がりがつつあります。本講義では、食に関する基礎的な知識と食をめぐる環境の変化について学びます。そのうえで今後の食のマネジメントについて考えます。											
学修到達目標											
食に関心、興味を持ち、新しい食品の開発について学び、自分で新商品を企画できるようになることを目標とします。また、商品開発は新しいアイデアを出す事だけでなく、原材料調達、製造ラインの構築、包装形態のデザインおよび設計、流通、販売など多岐にわたる業務です。食品学、栄養学、食品衛生学、食品加工学を基礎として学びながら、商品企画ができるようになることを目標とします。											
授業の進め方											
配布プリントを用いて講義を行います。また、商品企画として、新商品企画書を作成してもらいます。また、その企画書を元に商品ポップを作成します。また、試食会や簡単な食品加工実習もあわせて実施します。講義の最後の回ではプレゼンテーションを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	後期試験にプレゼンテーションを実施します。プレゼンテーションの課題に沿って、必要な項目について講義します。講義内容、進め方についてガイダンスを行います。					プリントを配布します。今後、これを教科書として使用します。予習復習をしてください。(4時間)				
2	世界の食糧事情	日本の食糧事情は豊かだと思われそうですが、食糧不足の危機も近づいているともいわれています。日本における食糧事情と海外からの食品の輸入について講義します。					ノートをしっかり取り、授業後にまとめる作業をしてください。(4時間)				
3	フードマネジメントとは	フードマネジメントの意義について講義します。					ノートをしっかり取り、授業後にまとめる作業をしてください。(4時間)				
4	食と栄養の科学	食品が消化吸収され栄養素としてどのような働きをするかを解説します。また、健康に寄与する食と栄養の関係について講義します。					ノートをしっかり取ってください。食べ物の消化吸収について復習しましょう。(4時間)				
5	世の中に流通する食品	食品はどのように流通され、消費者へ届くのか?農産物、畜産物、水産物等に分けて解説します。					ノートをしっかり取ってください。食品流通の重要性と課題について考えましょう。(4時間)				
6	食品製造の現状	調理加工品の需要は今後ますます増加すると思われま。よって、簡便に利用できる食品においしさを付加させ、価格も安いことが売れる条件になります。日本の食品製造の現状について解説します。					ノートをしっかり取ましよう。加工食品の利便性について考えましよう。(4時間)				
7	商品開発	おやきをテーマに、商品開発を行います。おやきについてその歴史、作り方について解説します。					ノートをしっかり取りましよう。長野県の食文化にをあげてみましよう。(4時間)				
8	商品開発	各自で開発したいおやきを考え、商品設計を行います。					ノートをしっかり取りましよう。自分が食べたいおやきを考えてましよう。(4時間)				
9	商品開発	おやきを試作します。おやきを包む作業を習得します。					ノートをしっかり取りましよう。おやきづくりの楽しさと課題について検討ましよう。(4時間)				
10	商品開発	おやきを試作します。具材、生地を変えて包む作業を習得します。					ノートをしっかり取りましよう。おやきづくりで感じたことをまとめてましよう。(4時間)				
11	商品開発	商品設計したおやきが具体的に作れるかを再検討し、商品の見直しを行います。					自分の考えた商品がどう売れるのかを考えてまとめてましよう。(4時間)				
12	商品開発	前回の見直しに基づき、自分で考えたおやきの試作を行います。作業工程、材料の配合、出来上がりについて検討します。					おやきの設計図を作り、現実的に商品化できるか考えてましよう。(4時間)				
13	商品開発	販売促進用の媒体(ポップ)を作成します。媒体の書き方について学びます。また、アンケート調査の準備を行います。大学内で需要のあるおやきについて調査します。					媒体の重要性について、小売店を視察して考えてましよう。(4時間)				
14	商品開発	ポップを完成させます。また、アンケート調査の集計を行い、その結果に基づき、必要であれば商品設計を再度見直します。					ポップの完成度を最大限に考察してましよう。(4時間)				
15	まとめ	プレゼンテーションの準備をします。					ノート、テキストのチェックを行い、試験に備えてください。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
プリントを配布します。		課題:70% 受講態度:30% 授業評価は、商品企画書、プレゼンテーション、商品POPの評価(70%)と受講態度(30%)で行います。課題に取り組む姿勢や実習への参加状況において、積極的に取り組み、課題を克服する姿勢を評価します。定期試験は実施しません。それらの合計を100%とし、評価については80~100%をA,70~79%をB,60~69%をC、60%未満をD評価とします。成績上位数名をS評価とします。									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
その都度提示します。		生活マネジメントの科目として位置づけられています。食品をプロデュースするための実践的な学びも取り入れていきたいと思ひます。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:食品会社に勤務し、商品の研究開発に携わった。									

科目名	ファイナンシャルプランニング		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバ'リング	KB16064	研究室	W-21
担当者	古川 智史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本講義は、ファイナンシャルプランニングに必要な経済、金融、法規、税制関連の基礎知識の習得を目標とします。将来、社会人になった時に必要とされる実学として学習するとともに、3級ファイナンシャル・プランニング技能検定の合格も目指します。										
学修到達目標										
ファイナンシャルプランニングに必要な経済、金融、法規、税制関連の基本的な知識を理解し、説明できる。 3級ファイナンシャル・プランニング技能検定の合格に必要な知識・スキルを習得する。										
授業の進め方										
テキストに沿って授業を進めますが、解説等については適宜ノートをとるようにしてください。受講者には毎回コメントシートの提出を求めます。そのうち主な意見・質問に対して、次回の授業の冒頭でフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	ファイナンシャルプランニングおよび本講義の概要について説明します。				各自の将来像を考え、またファイナンシャル・プランニング技能検定を調べてください(4時間)				
2	ライフプランニングと資金計画(1)	ライフプランニングについて解説します。				テキストのうちFP、ライフプランニングに関する内容を予習・復習してください(4時間)				
3	ライフプランニングと資金計画(2)	社会保険(医療、介護、雇用)について解説します。				テキストのうち社会保険に関する内容を予習・復習してください(4時間)				
4	ライフプランニングと資金計画(3)	社会保険(年金)について解説します。				テキストのうち年金に関する内容を予習・復習してください(4時間)				
5	リスク管理(1)	生命保険について解説します。				テキストの「リスク管理」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
6	リスク管理(2)	損害保険について解説します。				テキストの「リスク管理」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
7	金融資産運用(1)	金融の仕組みについて解説します。				テキストの「金融資産運用」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
8	金融資産運用(2)	株式投資、投資信託などについて解説します。				テキストの「金融資産運用」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
9	タックスプランニング(1)	日本の税の仕組みについて解説します。				テキストの「タックスプランニング」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
10	タックスプランニング(2)	所得税とその計算方法について解説します。				テキストの「タックスプランニング」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
11	不動産(1)	不動産にかかる法規について解説します。				テキストの「不動産」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
12	不動産(2)	不動産にかかる税について解説します。				テキストの「不動産」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
13	相続・事業承継(1)	相続と相続税について解説します。				テキストの「相続・事業承継」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
14	相続・事業承継(2)	贈与と贈与税について解説します。				テキストの「相続・事業承継」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
15	総括	これまでの内容を振り返り、講義全体を総括します。				テキスト全体を復習してください(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「19・20年版 最短合格 3級FP技能士」きんざいファイナンシャル・プランナーズ・センター編著(きんざい) ISBN:978-4-322-13623-4(生協で購入してください。)				定期試験:100% S:積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。 A:積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。 B:与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。 C:与えられた課題に取り組み、授業内容の60%程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義中に紹介します。				電卓を持参してください。わからないことはそのままにせず、講義終了後やオフィスアワーで質問するなどしてください。						

科目名	ファイナンシャルプランニング		学年学期	1年後期	単位数	2	ナバ'リング	KB16065	研究室	W-21
担当者	古川 智史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本講義は、ファイナンシャルプランニングの内容をベースとして、ファイナンシャルプランニングに必要な金融、保険、税金、不動産等の内容について解説します。										
学修到達目標										
金融、保険、税金、不動産、相続関連の知識を身につけ、2級ファイナンシャル・プランニング技能検定の合格を目指します。										
授業の進め方										
テキストに沿って授業を進めますが、解説等については適宜ノートをとるようにしてください。受講者には毎回コメントシートの提出を求めます。そのうち主な意見・質問に対して、次回の授業の冒頭でフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	ファイナンシャルプランニングの概要および講義の進め方等について説明します。				ファイナンシャル・プランナーの資格について調べること(4時間)				
2	ライフプランニングと資金計画(1)	「ライフプランニングと資金計画」のうち、社会保険、年金を中心に解説します。				テキストの「ライフプランニングと資金計画」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
3	ライフプランニングと資金計画(2)	「ライフプランニングと資金計画」のうち、住宅、教育資金を中心に解説します。				テキストの「ライフプランニングと資金計画」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
4	リスク管理(1)	「リスク管理」のうち、生命保険を中心に解説します。				テキストの「リスク管理」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
5	リスク管理(2)	「リスク管理」のうち、損害保険を中心に解説します。				テキストの「リスク管理」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
6	金融資産運用(1)	「金融資産運用」のうち、債券投資、株式投資を中心に解説します。				テキストの「金融資産運用」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
7	金融資産運用(2)	「金融資産運用」のうち、投資信託、外貨建商品を中心に解説します。				テキストの「金融資産運用」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
8	タックスプランニング(1)	「タックスプランニング」のうち、所得税を中心に解説します。				テキストの「タックスプランニング」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
9	タックスプランニング(2)	「タックスプランニング」のうち、住民税、法人税、消費税を中心に解説します。				テキストの「タックスプランニング」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
10	不動産(1)	「不動産」のうち、不動産にかかる取引、法律を中心に解説します。				テキストの「不動産」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
11	不動産(2)	「不動産」のうち、不動産にかかる税金を中心に解説します。				テキストの「不動産」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
12	相続・事業承継(1)	「相続・事業承継」のうち、贈与税、相続税を中心に解説します。				テキストの「相続・事業承継」前半部分を予習・復習してください(4時間)				
13	相続・事業承継(2)	「相続・事業承継」のうち、財産評価を中心に解説します。				テキストの「相続・事業承継」後半部分を予習・復習してください(4時間)				
14	実技試験問題	各分野の実技試験問題のポイントを解説します。				テキストの実技試験問題に関する部分を予習・復習してください(4時間)				
15	総括	これまでの内容を振り返り、講義全体を総括します。				テキスト全体を復習してください(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「最短合格 2級FP技能士」きんざいファイナンシャル・プランナーズ・センター編著(きんざい)(生協で購入してください。) 2020年6月頃発行予定				定期試験:100% S:積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。 A:積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。 B:与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。 C:与えられた課題に取り組み、授業内容の60%程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義中に紹介します。				電卓を持参してください。わからないことはそのままにせず、講義終了後やオフィスアワーで質問するなどしてください。						

科目名	コミュニティビジネス		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	KC26066 TB26033	研究室	W-34
担当者	白戸 洋		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	金曜日3限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
コミュニティ・ビジネスとは、住民の行なう事業にビジネスの手法を取り入れることで、事業の継続性を図り、地域の課題を解決するものです。講義では、コミュニティ・ビジネスを理解し、実際のコミュニティ・ビジネスの事業について、事例研究を行います。特に近年課題とされている高齢者の買い物支援問題についてとりあげます。講義の後半ではグループ別に実際のコミュニティ・ビジネスの構想を行うために、ディスカッションやフィールドワークなどを行います										
学修到達目標										
コミュニティ・ビジネスの意義や理論的な枠組みなど基本的な概念について理解するとともに、地域の課題を踏まえたコミュニティ・ビジネスの事業の提案を行うことができる										
授業の進め方										
講義はプリントに沿って進め、毎回課題について自分の意見を提起する小レポートを作成してもらい次回の講義でフィードバックを行います。様々なテーマについて課題レポートを作成し、修了レポートとしてコミュニティ・ビジネスを提案してもらいます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	イントロダクション	講義の概要と進め方・コミュニティ・ビジネスを学ぶとは				講義において何を学びたいかについて検討 2時間				
2	コミュニティ・ビジネスの基礎を学ぶ	コミュニティ・ビジネスの背景				コミュニティ・ビジネスの背景に関してポイントを整理する 4時間				
3	コミュニティ・ビジネスの基礎を学ぶ	コミュニティ・ビジネスの定義				コミュニティ・ビジネスの定義に関してポイントを整理する4時間				
4	コミュニティ・ビジネスの基礎を学ぶ	コミュニティ・ビジネスの意義				コミュニティ・ビジネスの意義に関して内容を復習する 4時間				
5	コミュニティビジネスとは何か	コミュニティビジネスとは何かについてワークショップで考える				ワークショップを踏まえて事例研究を通じて内容を復習する 4時間				
6	コミュニティ・ビジネスの現状	コミュニティ・ビジネスの現状について				コミュニティ・ビジネスの現状に関してポイントを整理する 4時間				
7	コミュニティ・ビジネスの課題	コミュニティビジネスをめぐる課題を学ぶ				課題に関してポイントを整理する2時間 事例研究を通じて内容を復習する 2時間				
8	コミュニティ・ビジネスの種を見つける	コミュニティビジネスのプロセスを学ぶ				プロセスに関してポイントを整理する 2時間 事例研究を通じて内容を復習する 2時間				
9	コミュニティ・ビジネスの事例研究	コミュニティ・ビジネスの具体的な事例の紹介				講義のテーマに沿った事例を探しコミュニティ・ビジネスの意義を整理する 4時間				
10	コミュニティ・ビジネスを構想する コミュニティ・ビジネスのアイデア	コミュニティビジネスのアイデアをグループ・ディスカッションで検討				ディスカッション結果を整理し次回のディスカッションに向けての提案等を検討する 4時間				
11	コミュニティ・ビジネスを構想する フィールドワーク	コミュニティビジネスの構想に向け地域に出て地域課題や資源を調査する				対象となる地域について資料収集を行いフィールドワークの結果を整理する 6時間				
12	コミュニティ・ビジネスを構想する 課題を考える	コミュニティビジネスの構想に向け地域の課題を明らかにする				講義内容を踏まえて提案シートの作成 4時間				
13	コミュニティ・ビジネスを構想する 事業の提案	事業企画書を作成する				講義内容を踏まえて提案シートを見直し修正して作成 4時間				
14	コミュニティ・ビジネスを構想する 事業の提案	事業を提案する				関連する地域社会の課題について調べ結果を整理する 4時間				
15	未来を創造するコミュニティ・ビジネス	今後の地域社会でコミュニティビジネスが果たすべき役割を考える				講義全体を振り返り定期試験や修了レポート作成に向け自分の考え方を整理する 4時間				
テキスト				成績評価の方法・基準						
プリントを配付します。				レポート：40% 出席レポート：50% 定期試験：10% S:講義内容を活かして具体的なコミュニティ・ビジネスを実行できる A:講義内容を十分に理解し実現性のあるコミュニティ・ビジネスを提案できる B:講義内容を十分に理解しコミュニティ・ビジネスを提案できる C:講義内容を概ね理解し要件を満たしたコミュニティ・ビジネスを提案						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「実践コミュニティ・ビジネス」細野助博編(中央大学出版) 細野助博監修 「松本大生がかかわったまちづくり」白戸ゼミナール編(松本大学出版会)				受け身で講義に参加することは不可能で、自分が考えること、実践につなげることが講義では問われます。【実務経験のある教員が担当】実務の内容：開発コンサル企業やNPOで地域づくりやコミュニティ・ビジネスの調査・企画・実施を担当した。						

科目名	地域産業論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	KL26067	研究室	W-10
担当者	兼村 智也			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	木曜日2限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
地域で生活する人々の雇用や所得を生み、また税金を通じて公共サービスを行う財源にもなる地域産業の重要性、その仕組みや現状、問題などについて皆さんが生活する長野県の産業、具体的には製造業、建設業、サービス業などを個別産業を取り上げながら解説していきます。											
学修到達目標											
授業を通じて地域における各産業への理解を深めるとともに、新聞やニュースで取り上げられる経済・産業指標や用語についての理解を深める。											
授業の進め方											
配布資料をもとに、必要に応じてスライドを活用しながら講義形式で行ないますが、ビデオ視聴やゲスト講演者による授業(終了後にレポートを作成・提出)する授業も各1回ずつ行います。また毎回授業の最初に前回学習のフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス及び産業、経済の基礎知識・用語	代表的な経済、産業指標の紹介とその読み方について解説します。					産業、経済の基礎知識・用語の復習(2時間)				
2	建設業	地域のなかで果たしてきた建設業の役割と現在、取り巻く環境と今後の課題について解説します。					業界構造や地域経済との関連の復習(2時間)				
3	製造業の特徴と食料品製造業	製造業とは何か、そのなかで食料品製造業を取り上げ、地域における同産業の現状と課題について解説します。					全産業における製造業の役割・特性の復習(2時間)				
4	製造業(加工組立産業)	製造業の中心である加工組立産業を取り上げ、その内容、また地域における同産業の現状と課題について解説します。					加工組立産業の役割・特性の復習(2時間)				
5	製造業(グローバル化とニッチ化)	加工組立産業にみられるグローバル化とニッチ化の動向について、その背景と意味について解説します。					グローバル化、ニッチ化企業にみられる特性の復習(2時間)				
6	流通業(卸売業)	流通業とは何か、そのなかで卸売業について取り上げ、地域における同産業の現状と課題について解説します。					卸売業の役割・特性の復習(2時間)				
7	流通業(小売業)	我々の日常生活に密接する小売業を取り上げ、その内容、また地域における同産業の現状と課題について解説します。					小売業の役割・特性の復習(2時間)				
8	流通業の実態	激しい競争が続く流通業に関するビデオを視聴することで、その実態に対する認識を高める。					レポート作成と提出(2時間)				
9	サービス業	第三次産業のなかの流通業を除くサービス業を取り上げ、地域における同産業の現状と課題について解説します。					サービス業の役割・特性の復習(2時間)				
10	サービス業(飲食業)	サービス業のなかでも特に日常生活の市場と密接につながり、また出店・閉店の激しい飲食業を取り上げ、地域における同産業の現状と課題について解説します。					飲食業の役割・特性の復習(2時間)				
11	成長産業の現状と課題	高齢化社会到来に伴い注目・期待が集まる介護産業・医療機器産業を取り上げ、地域における同産業の現状と参入にむけての課題について解説します。					介護・医療機器産業にかかる問題点・課題の復習(2時間)				
12	成長産業の現状と課題	再生可能エネルギーへの注目・期待が集まるなか、地域における環境・エネルギー産業を取り上げ、同産業の現状と参入にむけての課題について解説します。					環境・エネルギー産業にかかる問題点・課題の復習(2時間)				
13	ゲスト講師による講演	地域産業を担う中核的企業の経営者、業界団体の関係者をお招きし、当該産業の実態について、お話を伺う。					レポート作成と提出(2時間)				
14	長野県企業の現況と今後の方向性	各産業を担う長野県企業の現況をみることで、企業経営の視点から今後の産業の方向性についてみてみる。					地域企業の現状・経営課題の復習(2時間)				
15	本講義の総括	これまでの講義内容をレビューしながら、補足説明などを加え、本講義の総括とする。					試験対策を含めた、重要事項の確認(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
特にありません。毎回の授業時にプリント・資料を配布します。					定期試験：70% 出席レポート：30% S：100～90点、A：89～80点、B：79～70点、C：69～60点。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「創生 長野経済」長野経済研究所著(信濃毎日新聞社) 「ながの経済」東京商工リサーチ著					多くの学生が希望する県内就職にも役立つ知識・理解を深める機会になると思いますので前向きに受講して下さい。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：民間シンクタンクで、地域の中小企業政策の立案に携わった。						

科目名	観光産業論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	KC26068	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限、火曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
観光関連企業が経営していく上での現状や課題について観光関連企業や観光地から具体的に把握し、各観光業界と観光地の経営戦略を考えます。前半に観光関連産業の経営について、後半は観光地に焦点を当て地域での観光産業について学びます。様々な観光産業、観光地の経営戦略を理解することが到達目標です。											
学修到達目標											
観光関連産業の特徴や収益構造を理解するとともに、観光地における顧客満足度を高めてリピーターを増やすための取組や経営戦略について考えることが出来るようになることを目指します。											
授業の進め方											
独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。レポートの内容は授業時にフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。					自分自身で体験した観光施設について感動した要因を整理する(4時間)				
2	観光行動と顧客満足度	観光地への訪問意欲などの観光行動について統計データから概観し、観光地における顧客満足度について解説します。					自分自身で観光地において満足度が高くなる要因を整理する(4時間)				
3	観光経営の状況と動向	「観光をめぐる経営状況と現在の動向について」および「観光関連産業の経営状況と戦略」について解説します。					観光経営の状況と動向について学修する(5時間)				
4	旅行会社1	旅行会社の商品、収益構造や旅行業者数の推移などの基本的な情報をおさえ、旅行業界の現在(いま)を学びます。					主要旅行業者の取扱額を調べる(4時間)				
5	旅行会社2	競争激化する業界での経営戦略について、人気のある旅行会社の事例を説明し、今後の業界の経営戦略について解説します。					人気のある旅行会社についてその要因を調べる(4時間)				
6	宿泊関連施設1 旅館と民宿	人気のある旅館とは、今後の旅館経営戦略について効果ある施策を解説します。					人気のある旅館についてその要因を調べる(4時間)				
7	宿泊関連施設2 ホテル	ホテル業界の発展史、市場規模や顧客満足度を高めるための施策やサービスマインドを解説します。					人気のあるホテルの要因を調べる(4時間)				
8	空港・航空会社1	航空機の特長や航空事業の特徴について。旅行産業の成熟化や海外個人旅行(FIT)の誕生とその背景について解説します。					航空業と航空運賃の区別について学修する(4時間)				
9	空港・航空会社2	地方空港の経営戦略について。格安航空会社(LCC)の経営戦略について解説します。					地方空港の経営戦略とLCCについて学修する(4時間)				
10	博物館	博物館(科学博物館、歴史博物館、美術館、植物園、動物園・水族館等を含む)が地域を活性化するためのポイントと経営戦略を解説します。					博物館が地域を活性化させるための施策について学修する(4時間)				
11	動物園・水族館	旭山動物園がなぜ上野動物園より人気があるのか。具体例を解説し顧客満足度を高めるための施策を学びます。					旭山動物園の行動展示について復習する(4時間)				
12	テーマパーク	テーマパークの発展史、事業特性や経営戦略について解説します。					テーマパーク訪問時に体験した顧客満足度についてまとめておく(4時間)				
13	温泉観光地	観光地における産業の経営状況と戦略について。温泉地・温泉街の活性化に向けての地域経営戦略について解説します。					温泉観光地における地域観光振興策と経営戦略を学修する(4時間)				
14	教育旅行	遠足や校外学習、新入生を対象にしたオリエンテーション合宿などを含むさまざまな学校の教育旅行の取組みを紹介し、体験を通じた学びと産業の広がりを解説します。					地域の教育旅行誘致による活性化について学修する(4時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめと、これからの観光産業のあり方として観光まちづくりについて解説します。					観光産業における顧客満足度を高めるための施策を学修する(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
講義ごとに概要を説明したレジメを配ります。					レポート:30% 定期試験:70% S:授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。 A:授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。 B:授業内容をおおそ理解し探究心、提案力がある。 C:授業内容をおおそ理解し、探究心、提案力が60%程度である。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし					授業中に発表してもらった場合もあるので常に問題意識を持って授業に出席して欲しい。講義計画に該当する内容を、新聞、ニュース、書物などから探し読んでおいて下さい。						

科目名	非営利組織論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KC36069	研究室	W-34
担当者	白戸 洋		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
この講義は、総合経営学部の必修科目として、今後、経営、観光や福祉・地域などを学んでいくうえで、重要となる「地域」に対する、基本的な考え方や姿勢を育てていくことを目的とします。講義では、毎回レポートを作成し次の講義でその内容についてフィードバックを行う。										
学修到達目標										
地域とは何かという基本的な概念や地域に対する理解を図る 地域と自らの関係について考え地域社会の主体者としての自分を自覚する 現在の地域の現状を理解するとともにそれを取り巻く国内、あるいは国際的な社会経済システムを明らかにする 今後の地域のあり方を考える										
授業の進め方										
本講義は、地域に関する基本的な内容に関する講義と事例研究などを組み合わせ配布したプリントに沿って進めます。またフィールドワークを行い、その成果のまとめ、地域の将来構想づくりをテーマにしたグループワークも行ないます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	地域とは何か ~ 自分からはじめ「地域」	地域の概念を学ぶ				講義に対する学習目標を検討しレポート作成 2時間				
2	むらづくり、まちづくりの背景と求められること	むらづくり、まちづくりの背景と課題・松本駅アルプス口のまちづくり				関連資料を収集 2時間 地域の概念に関するレポート作成 2時間				
3	地域の直面する課題	地域の抱える現代的課題と解決の方向性				関連資料を収集 2時間 地域の現状に関するレポート作成 2時間				
4	女性とまちづくり	地域づくりにおける女性の役割・入山辺地域のまちづくりの事例研究				関連資料を収集 2時間 地域と女性に関するレポート作成 2時間				
5	事例研究 ~ 新村の地域づくりを考える	農村地域の事例として新村の地域づくりを学ぶ				関連資料を収集 2時間 講義テーマに関するレポート作成 2時間				
6	うるさいおじさん、おばさんはいるか? ~ 子ども・若者と地域	子どもや若者が抱える課題と地域における役割を考える				関連資料を収集 2時間 子ども・若者に関する事例を研究 2時間				
7	フィールドワーク・地域の宝物を探そう	対象地域を選定し地域の資源や課題を掘り起し				対象地域に関して事前に情報を収集・フィールドワークの結果を報告書にまとめる 4時間				
8	「豊かさ」の実態 ~ グルメは世界を食い潰す	食糧問題や食糧自給等の現状から豊かさを見直す				関連資料を収集 2時間 食糧問題に関するレポート作成 2時間				
9	君たちは幸せだろうか ~ 子どもから考える豊かさと貧困の構造	子どもをめぐる世界の問題を通じて豊かさと貧困を考える				関連資料を収集 2時間 豊かさと貧困に関するレポート作成 2時間				
10	ソロモン諸島から学ぶ地域と豊かさ	ソロモン諸島の経済変容を通じて豊かさの意味を考える				関連資料を収集 2時間 豊かさの意味に関するレポート作成 2時間				
11	グループワーク 1 ~ 地域の課題を把握する	フィールドワークの結果を踏まえ地域の資源や課題を整理する				グループワークの結果を検証 4時間 次回に向けての論点整理 2時間				
12	グループワーク 2 ~ 地域づくりを提案する	フィールドワークの結果を踏まえ地域づくりについて提言する				グループワークの結果を検証 2時間 グループワークの振り返り 2時間				
13	地元の地域の課題を調査する	修了レポート作成に向けて地元地域について調査を行う				対象地域に関して事前に情報を収集・調査結果を報告書にまとめる 4時間				
14	新しい経済のあり方を考えよう	地域の新しい経済循環やコミュニティビジネスの可能性				関連資料を収集 2時間 新しい経済に関するレポート作成 2時間				
15	よそ者、ばか者、若者 ~ 地域は若者に期待する!!	若者が地域で果たす役割とは				試験に向けて今後自らが同地域にかかわるか検討 4時間				
テキスト		成績評価の方法・基準								
毎回プリントを配布します		出席レポート：50% レポート：30% 定期試験：20% S:講義内容を活かして地域社会に対して自らのビジョンにもとづき働きかけができる A:講義内容を十分に理解し地域社会に対する自分なりのビジョンを持つ B:講義内容を十分に理解し地域社会に関心を持つ C:講義内容をおおむね理解する								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「松本大生がかかわったまちづくり」白戸ゼミナール編(松本大学出版会)		地域社会の住民の一人である自分自身の問題として主体的な意識と姿勢を持って講義に参加してほしい。【実務経験のある教員が担当】開発コンサルタント企業やNPOで国内外の地域づくりの調査・研究・計画づくり・実施を行った。								

科目名	国際経営論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパ'リング	KC36070	研究室	W-10
担当者	兼村 智也		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
長野県には海外に拠点を持つ企業が実に300社にのぼります。もはや経営は国内にとどまらず海外まで拡大していますが、そこには「国境」があるため国の仕組み・制度も違ふし、その国の優位点も違えば、従業員の行動も違ってきます。本講義では、企業が海外で経営する際に生じる違いと、その背景、求められる経営のあり方などについて解説します。										
学修到達目標										
日本国内での経営と対比させながら、国際経営のユニークな点についての理解・関心を深める。										
授業の進め方										
毎回プリントは配布、それを参照しながら講義形式で行います。また5回終了時、10回終了時、15回終了時に小テストを実施することで、それまでの学習のフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	国際化の進展と日本	期初の1~5回では国際経営論にかかる基礎的学習を行う。1回目では国際化する事業活動を維持・発展させる国際経営の具体的活動、輸出・輸入、ライセンス契約、直接投資等の形態を学習する。				国際経営の活動や進出形態の復習(2時間)				
2	多国籍企業の参入形態	国際経営の主体である多国籍企業は様々なビジネスを展開しているが、その方法を分類し、理解する。				多国籍企業のビジネス方法の復習(2時間)				
3	多国籍企業の経営学説	企業がグローバルなビジネスを展開できる要因、海外直接投資とライセンスを選択する理由などについて学説より学習する。				多国籍企業の学説の復習(2時間)				
4	国際経営とリスク	多国籍企業がどのようなリスクを認知して活動しているのかを学ぶ。				多国籍企業のリスクの復習(2時間)				
5	多国籍企業と文化	企業文化、社会文化を含め、文化という多面的なものを学説を中心に検討する。				文化に関する学説に関して復習と期初の小テストの学習(4時間)				
6	多国籍企業の知識と技術	知識をいかに管理し、新たな知識を創造するかに関する経営学の知識理論を学ぶ。それによって競争優位の源泉を確認する。なお期初の小テストも合わせて実施する。				配布資料の復習(2時間)				
7	技術移転のサブシステム	技術移転に関連して、産業立地の競争優位、多国籍企業内部の研究・開発者ネットワークと空間的距離、技術移転と不可分のグローバル人材等について学習する。				技術移転の復習(2時間)				
8	多国籍企業とM&A	M&Aのメリット、行う前に必要な活動は何か。M&Aでは企業の価格をどう算定するのか。行った後に収益性が下がったときにはどのような処理が必要かについて解説する。				M&Aとは何か、その意義と企業対応の復習(2時間)				
9	グローバル競争	多国籍企業が世界各国で活動するときの組織運営パターンについて学ぶ。				組織運営パターンについて復習(2時間)				
10	国際技術移転と新興国企業	IT産業の事例を取り上げ、事業環境の変化の側面から、東アジア企業の急成長の要因・背景について解説する。				国際技術移転の復習と期中の小テストの学習(4時間)				
11	新興国企業の学習と組織能力	東アジア企業における能力形成の問題を解説する。なお期中の小テストも合わせて実施する。				新興国企業の復習(2時間)				
12	新興国企業の台頭と日本企業の対応	東アジア企業の台頭に対して、日本企業はどのように対応してきたのか。この典型である半導体産業の事例をもとに解説する。				新興国企業の復習(2時間)				
13	国際経営と外国為替レート	円高・円安など為替レートの変動がどのような理由によって起こるのかについての学説を説明する。				外国為替レートの復習(2時間)				
14	国際化と日本的人事慣行	わが国の人事慣行の特徴、日本的職務観、さらに人事管理をとりまく社会経済的環境との関連を解説する。				人材育成の問題点・課題の復習と期末の小テストの学習(4時間)				
15	組織管理の国際潮流	ダイバーシティ・マネジメント、企業の社会的責任、企業倫理等について学習する。なお期末の小テストも合わせて実施する。				組織管理の復習(2時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
特にありません。必要に応じて、授業時にプリントを配布します。		小テスト:100% S:100~90点、A:89~80点、B:79~70点、C:69~60点。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「国際経営」原田順子・洞口治夫 編著(放送大学教育振興会) ISBN:9784595314322		期初・期中・期末のそれぞれに小テスト(34%、34%、32%、合計100%)があります。そのために毎回の復習は必ず実施してください。【実務経験のある教員が担当】内容:中国上海で日系貿易会社で国際ビジネスに携わった。								

科目名	文化産業論（総経）			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	KC36071	研究室	W-21
担当者	古川 智史			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C	2018年度～						
授業概要											
本講義では、まず、文化産業が注目されるようになった背景を概観した上で、文化産業の経済的な特徴などを整理します。次に、個別の産業を取り上げ、その成り立ちや構造、近年の動向をみていきます。そして、文化やコンテンツを活用した地域活性化の試みを紹介し、その可能性について考えます。											
学修到達目標											
文化産業の経済的な特徴について説明できる。 文化産業に含まれる個別の産業の構造、動向について理解する。											
授業の進め方											
レジュメをもとに講義を進めますが、数回グループワークを実施する予定です。受講者には、毎回コメントシートの提出を求めます。また第6・11回に小テストを実施し、採点・返却してフィードバックします。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	本講義の概要等について説明します。					「文化産業」に含まれる産業を取り上げ、調べる（4時間）				
2	文化産業の特徴（1）	文化産業の概念について整理するとともに、それを巡る議論を概観します。					配付資料、各自のノートをもとに、文化産業の概念について整理する（4時間）				
3	文化産業の特徴（2）	文化産業の経済的な特性について理解を深めます。					配付資料、各自のノートをもとに、文化産業の経済的な特性について整理する（4時間）				
4	文化産業の特徴（3）	文化産業にかかる制度について理解を深めます。					配付資料、各自のノートをもとに、文化産業にかかる制度について整理する（4時間）				
5	アニメーション産業（1）	日本のアニメーション産業の成り立ち、構造について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、アニメーション産業の成り立ち等について整理する（4時間）				
6	アニメーション産業（2）	近年のアニメーション産業の動向について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、アニメーション産業の動向等について整理する（4時間）				
7	映画産業（1）	日本の映画産業の成り立ち、構造について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、映画産業の成り立ち、構造について整理する（4時間）				
8	映画産業（2）	近年の映画産業の動向について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、映画産業の動向等について整理する（4時間）				
9	テレビ放送業（1）	日本のテレビ放送業の成り立ち、構造について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、テレビ放送業の成り立ち、構造について整理する（4時間）				
10	テレビ放送業（2）	近年のテレビ放送業の動向について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、テレビ放送業の動向等について整理する（4時間）				
11	広告産業（1）	日本の広告産業の成り立ち、構造について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、広告産業の成り立ち、構造について整理する（4時間）				
12	広告産業（2）	近年の広告産業の動向について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、広告産業の動向等について整理する（4時間）				
13	文化・コンテンツと地域活性化（1）	「文化」を活用した地域振興の展開について、事例をもとに理解を深めます。					「文化」を活用した地域振興の事例を調べ、自身の考えをまとめる（4時間）				
14	文化・コンテンツと地域活性化（2）	「コンテンツ」を活用した地域活性化の試みを紹介し、その可能性について考えます。					「コンテンツ」を活用した地域活性化の事例を調べ、自身の考えをまとめる（4時間）				
15	総括	これまでの内容を振り返り、講義全体の総括をします。					配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）				
テキスト						成績評価の方法・基準					
毎回レジュメを配付します。						受講態度：30% 定期試験：70% 「受講態度」では、調べ学習などの事前学習、コメントシートの提出状況およびその内容、小テストの結果を総合的に評価します。 S：積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A：積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B：与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C：与えられた課題に取り組み、授業内容の60%程度を理解している。					
参考書						履修上の注意（学生へのメッセージ）					
講義中に紹介します。						質問には、講義終了後やオフィスアワーで対応します。					

科目名	自然地理			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	KL36072 TL36029	研究室	非常勤
担当者	柳町 晴美			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
自然地理に関する知識を深めることを目的とします。気候に関連した内容を中心に、気候の地域差をもたらす要因、グローバルスケールの気候、日本の気候、長野県の気候、身近な松本平の気候へと気候の特徴を考察します。地域によって気候は多様であるとともに、共通性もあること、気候は人間生活にどのように影響するのか、逆に、人間活動が環境を改変し、ヒートアイランド現象や地球温暖化をもたらしたことが、気候と地形の関係について学びます。											
学修到達目標											
気候の地域差をもたらす要因、地球温暖化などの気候に関連した現在直面する環境問題、気候と地形との関係について説明できるようになること。											
授業の進め方											
自然地理に関する講義を展開します。自然と人間との関わりについてのレポートを作成し発表してもらいます。ほぼ毎回、授業内容に関する小テストを実施します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス、地図に関する基礎知識	自然地理に関する講義概要、学修到達目標、講義の進め方、授業計画、成績評価の方法などについて説明します。地理の学習上の基本ツールである地図について、様々な例を紹介しします。					自然地理とは何か調べ予習して下さい。紹介する資料により地図について復習して下さい。4時間				
2	気象、気候、風土	基本的な用語、気象、気候、風土などについて解説します。					配布教材等で気象、気候等について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
3	気候の地域差をもたらす要因	気候の地域差はどうして生じるのかを考えます。					配布資料等で気候の地域差について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
4	世界の気候1 大気大循環	世界の気候の特徴を大気大循環(風系)から見ていきます。					配布資料等で大気大循環について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
5	世界の気候2 気候区分	同じ特徴を持つ地域に世界を区分する世界の気候区分について紹介しします。					配布資料等で世界の気候区分について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
6	日本の気候1 日本の気候の特徴	日本の気候はどのような特徴を持っているのか解説します。					配布資料等で日本の気候の特徴を予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
7	日本の気候2 季節区分	日本の季節毎の特徴的な気圧配置と季節区分について解説します。					配布資料等で日本の季節区分等について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
8	日本の気候3 気候区分	同じ特徴を持つ地域に日本を区分する日本の気候区分について紹介しします。					配布資料等で日本の気候区分について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
9	長野県の気候	長野県の気候はどのような特徴を持っているのか解説します。					配布資料等で長野県の気候について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
10	気候と地形1 古気候と地形	古気候、地形に古気候が反映されているか解説します。					配布資料等で古気候と地形について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
11	気候と地形2 現在の気候と地形	現在の気候が地形に影響するのか解説します。					配布資料等で現在の気候と地形について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
12	地球温暖化とは	地球温暖化について気候データを用いて解説します。					配布資料等で地球温暖化の概要について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
13	地球温暖化の影響	地球温暖化はどのような影響をもたらすのか解説します。					配布資料等で地球温暖化の影響について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
14	ヒートアイランド現象	ヒートアイランド現象とは何かに関して解説します。					配布資料等でヒートアイランドについて予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
15	レポート発表、補足、まとめ	作成したレポートを発表してもらいます。講義全体を再考します。					レポート発表の準備をして下さい。世界の自然地理について復習してください。4時間				
テキスト					成績評価の方法・基準						
プリントを配布します。8回目までの内容は、参考書「やさしい気候学」、10・11回目は、参考書「自然地理学」には含まれています。他の回は、気象庁、環境省、IPCCなどのサイトで公表されている資料を参考にしてください。					レポート:20% 定期試験:40% 小テスト:30% 発表10%。S:授業内容を高度に理解し、探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容について他分野でも十分活用できる。卓越した発表を行い授業に貢献している。A:授業内容を十分理解し、熱心に課題に取り組み、授業内容を援用した思考ができる。発表を行い授業に積極的に参加している。B:授業内容を概ね理解し、課題に誠実に取り組んでいる。発表を行い理解を深める努力をしている。C:授業内容を60%程度理解し、課題に取り組んでいる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「やさしい気候学 第4版」仁科 淳司著(古今書院) ISBN:978-4-7722-8511-7 「自然地理学(第5版)」松原彰子著(慶應義塾大学出版会) ISBN:978-4-					高校で地理を学ばなかった学生も理解できる内容としますが、高校レベルの地理は社会人として必要な常識的な内容を含んでいます。是非この機会に地理を勉強しましょう。						

科目名	地域経済論（総経）			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	KC36073	研究室	W-21
担当者	古川 智史			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格	高一(商業)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C	～2017年度 地域金融事情						
授業概要											
グローバル化や人口減少、少子高齢化など、地域経済を取り巻く環境は大きく変化しています。本講義では、まず地域経済を巡る現状を概観した上で、具体的な事例に基づいて地域経済の実態にアプローチします。そして、地域経済を巡る政策の展開を概観します。以上のステップを通じて、地域経済に対する理解を深めます。											
学修到達目標											
地域経済へのアプローチの仕方、そのための基礎的な概念を説明できる。 地域経済で起きている現象、課題を的確に捉えるとともに、より広域的な視点から位置づけることができる。											
授業の進め方											
レジュメをもとに講義を進めますが、グループワーク（数回）、エクスクーション（松本市内）を実施する予定です。受講者には、毎回コメントシートの提出を求めます。また第6・11回に小テストを実施し、採点・返却してフィードバックします。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	地域経済の捉え方を概説するとともに、本講義の概要について説明します。					「地域」概念について整理する（4時間）				
2	地域経済へのアプローチ	いくつかの事例をもとに地域経済へのアプローチ方法について考えます。					地域経済へのアプローチについて整理する（4時間）				
3	地域経済を巡る現状	マクロ的な視点に立って地域経済の動向を把握します。					統計資料から「東京」のシェアを調べる。近年の地域経済の動向について整理する（4時間）				
4	大都市経済	東京の産業構造の変化、東京一極集中などを取り上げます。					東京の産業構造の変化などについて整理する（4時間）				
5	地方都市のいま	具体的な事例を取り上げながら、地方都市の産業構造の変化などについて理解を深めます。					事例をもとに、地方都市の産業構造の変化などについて整理する（4時間）				
6	モノづくりと地域経済（1）	製造業の立地調整と地域経済の関係などを取り上げます。					工場の新設・移転・閉鎖の事例を調べる。立地調整と地域経済の関係について整理する（4時間）				
7	モノづくりと地域経済（2）	グローバル化の中で産業集積地域がどのように変化してきたのか、具体的な事例をもとに理解を深めます。					「集積」概念を調べる。グローバル化と産業集積地域の変容について整理する（4時間）				
8	モノづくりと地域経済（3）	地場産業地域の実態について、事例を取り上げながら理解を深めます。					「地場産業」の事例を調べる。地場産業地域の変容について整理する（4時間）				
9	商業と地域経済（1）	地域経済における商業の動向、大型小売店舗の店舗展開などを取り上げます。					「大店法」、「大店立地法」を調べる。大型店の出店地域の変化を整理する（4時間）				
10	商業と地域経済（2）	商店街の衰退問題と活性化に向けた取り組みなどについて理解を深めます。					商店街の現状について調べる。商店街の活性化について考える（4時間）				
11	農業と地域経済（1）	農業のグローバル化と農産物産地の変容を取り上げます。					輸入農産物について調べる。国内産地の変容について整理する（4時間）				
12	農業の地域経済（2）	農村地域がどのように変化してきたのか、また近年の新たな動きについて取り上げます。					過疎地域について調べる。農村地域の変容についてまとめる（4時間）				
13	観光と地域経済	観光地域を取り上げ、その形成過程と現状について理解を深めます。					事例をもとに、観光地域の変容について整理する（4時間）				
14	地域経済と政策展開	日本における地域政策の展開などを概観します。					戦後日本の地域経済にかかる政策展開について整理する（4時間）				
15	総括	これまでの内容を振り返りながら、本講義を総括します。					配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
毎回、資料を配付します。					受講態度：30％ 定期試験：70％ 「受講態度」では、調べ学習などの事前学習、コメントシートの提出状況およびその内容、小テストの結果を総合的に評価します。 S：積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A：積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B：与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C：与えられた課題に取り組み、授業内容の60％程度を理解している。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
講義中に適宜紹介します。					質問には、講義終了後やオフィスアワーで対応します。						

科目名	アジア経済論			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	KC36074	研究室	W-10
担当者	兼村 智也			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
多くの日本企業や長野県企業がビジネスチャンスを探求めて進出するアジアの経済について、その基本知識と世界経済のなかで位置づけ、発展の歴史・背景についてみていき、日本の企業とアジアがどのように結びつき、それが日本やアジアの発展につながっているのかを解説します。											
学修到達目標											
今後、ますます関係が強くなるのが確実なアジア諸国について経済面での基礎知識や関心を深める。											
授業の進め方											
配布資料を参照しながら講義形式で行ないますが、時間中にビデオをみて終了後にそのレポート提出する授業も1回行います。また毎回、授業の最初に前回学習のフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	アジア諸国の概略	地図と写真を利用したアジア諸国の概要説明					特になし。				
2	アジアとは何か?	世界経済に占めるアジアの位置づけ、アジアの成長はなぜ可能(回復)になったのか?					世界経済に占めるアジアの大きさ、その成長要因の復習(2時間)				
3	アジア経済の基礎	農業国での発展の限界、工業化による発展プロセス					産業高度化と経済発展の関連の復習(2時間)				
4	台湾・香港の経済発展	両国の発展プロセス、輸出志向工業化政策について					輸出志向工業化政策とは何か、その意味の復習(2時間)				
5	NIEs経済の発展と韓国	NIEs経済成長の特徴と韓国経済発展のプロセス					韓国経済発展の要因と日本が果たした役割の復習(2時間)				
6	ASEANの経済発展	ASEANとは何か、発展の特徴や要因					ASEAN諸国の発展に果たした外資系企業の役割の復習(2時間)				
7	ASEAN経済が直面する課題	中所得国(中進国)の農と各国の取り組み					中進国が陥る低迷要因の復習(2時間)				
8	技術移転と技術形成の能力	技能形成の三類型とその難易度、技術移転の発展段階論					技術とは何か、その移転プロセスの復習(2時間)				
9	中国の経済発展	計画経済の形成と貧民国の工業化、改革開放の始まり					中国経済発展に果たした政策の役割の復習(2時間)				
10	中国経済と外資政策	中国経済発展に果たした外資(企業)の役割					中国経済発展に果たした外資企業の役割の復習(2時間)				
11	ASEANにおける華人経済	華人、華人経済圏とは何か、現代華人企業の特徴					ASEANにおける華人の発生理由と経済的位置づけの大きさの復習(2時間)				
12	インドの経済発展	インド経済成長の特徴、持続的成長に向けての課題					インドの経済成長要因について中国との対比の復習(2時間)				
13	インドの市場と産業発展	サービス部門主導型発展、工業部門の新たな台頭					インド経済のもつ特異性とその理由の復習(2時間)				
14	ASEAN後発国の経済発展	カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムの経済発展					後発ASEANの現状と課題の復習(2時間)				
15	本講義の総括	これまでの講義内容のレビュー・総括ならびに関連ビデオの視聴					試験対策を含めた重要事項の確認(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
特にありません。毎回の授業時にプリント・資料を配布します。					定期試験：100% S：100～90点、A：89～80点、B：79～70点、C：69～60点。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「開発経済学入門」渡辺利夫著(東洋経済新報社)					授業時に学んだ一般常識にもつながる知識(用語)や考え方をしっかり身につけてください。						

科目名	専門研究	学年学期	3年前期	単位数	1	ナバ'リング	KL36075	研究室		
担当者	各教員	必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C									
授業概要										
地域デザインは非常に幅が広い分野です。地域活性化、コミュニティビジネス、地域における人材育成など、その例を挙げればキリがありません。そしてどのような進路を選択しても、必ず皆様に関係してくるテーマです。皆様がどこで生活をしていても、皆様の身の回りには地域の存在しているからです。専門研究では数名グループ単位で地域デザインの実践活動に携わると共に、地域における課題を解決するために必要な調査活動を行っていきます。なお、これは専門研究 の一例です。										
学修到達目標										
地域デザインに関わる知識を習得すると同時に、実践活動や調査活動を進める際に求められる情報収集力、創造力、コミュニケーション力、リーダーシップなどを身につけることが目標です。										
授業の進め方										
教室での講義だけでなく、数名のグループ単位で地域デザインの実践活動に携わるとともに、地域における課題を解決するために必要な調査活動を行っていきます。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	専門研究の進め方についてガイダンスを行います。					専門研究のスケジュールを確認すると同時に、地域に関する興味関心を整理してきて(4時間)			
2	地域デザインについて考える(1)	地域デザインに関連する研究論文を輪読し、地域の現状と課題の捉え方、地域の問題解決へのアプローチなどを学びます。					事前に配布する資料を熟読してきてください。また発表担当者は発表用資料を準備してきて(4時間)			
3	地域デザインについて考える(2)	地域デザインに関連する研究論文を輪読し、地域の現状と課題の捉え方、地域の問題解決へのアプローチなどを学びます。					事前に配布する資料を熟読してきてください。また発表担当者は発表用資料を準備してきて(4時間)			
4	地域デザインについて考える(3)	地域デザインに関連する研究論文を輪読し、地域の現状と課題の捉え方、地域の問題解決へのアプローチなどを学びます。					事前に配布する資料を熟読してきてください。また発表担当者は発表用資料を準備してきて(4時間)			
5	地域デザインについて考える(4)	地域デザインに関連する研究論文を輪読し、地域の現状と課題の捉え方、地域の問題解決へのアプローチなどを学びます。					事前に配布する資料を熟読してきてください。また発表担当者は発表用資料を準備してきて(4時間)			
6	ファシリテーションについて学ぶ(1)	活動計画の検討、実践活動を進める際に有用なファシリテーションの技術について解説します。					事前に配布する資料を熟読してきてください。日常生活の中で実践してみてください(4時間)			
7	ファシリテーションについて学ぶ(2)	活動計画の検討、実践活動を進める際に有用なファシリテーションの技術について解説します。					事前に配布する資料を熟読してきてください。日常生活の中で実践してみてください(4時間)			
8	活動計画の検討(1)	数名のグループ単位で活動対象地域においてどのような実践活動を取り組んでいくかを検討します。なお活動地域でのフィールドワークを伴います。					活動計画の素案を作成してきてください。得られた知見を整理しておいて下さい(4時間)			
9	活動計画の検討(2)	数名のグループ単位で活動対象地域においてどのような実践活動を取り組んでいくかを検討します。なお活動地域でのフィールドワークを伴います。					活動計画の素案を作成してきてください。得られた知見を整理しておいて下さい(4時間)			
10	実践活動(1)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。					活動内容を記録しておいてください。次回の実践活動への準備をしておいてください。(4時間)			
11	実践活動(2)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。					活動内容を記録しておいてください。次回の実践活動への準備をしておいてください。(4時間)			
12	実践活動(3)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。					活動内容を記録しておいてください。次回の実践活動への準備をしておいてください。(4時間)			
13	実践活動(4)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。					活動内容を記録しておいてください。次回の実践活動への準備をしておいてください。(4時間)			
14	実践活動(5)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。					活動内容を記録しておいてください。次回の実践活動への準備をしておいてください。(4時間)			
15	実践活動の中間報告	実践活動の中間報告を行います。実践活動を通じて明らかになってきた、各地域における課題を再整理します。					中間報告での指摘事項を踏まえて、活動計画の修正作業に取り組んで下さい。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
適時、必要な資料を配付します。		レポート: 50% 課題: 50% S: 授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A: 授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B: 授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C: 授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
適時、必要な資料を配付します。		指導の関係上、上記の授業計画を大幅に超える授業回数となることが予想されます。地域における実践活動、補講などに関しては、柔軟に対応することが求められます。自分自身のために勉強してみたいという、心意気のある学生を歓迎します。								

科目名	専門研究	学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	KL36076	研究室		
担当者	各教員	必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C									
授業概要										
地域デザインは非常に幅が広い分野です。地域活性化、コミュニティビジネス、地域における人材育成など、その例を挙げればキリがありません。そしてどのような進路を選択しても、必ず皆様に関係してくるテーマです。皆様がどこで生活をしていても、皆様の身の回りには地域の存在しているからです。専門研究では数名グループ単位で地域デザインの実践活動に携わると共に、地域における課題を解決するために必要な調査活動を行っていきます。【これは、専門研究の一例です。】										
学修到達目標										
地域デザインに関わる知識を習得すると同時に、実践活動や調査活動を進める際に求められる情報収集力、創造力、コミュニケーション力、リーダーシップなどを身につけることが目標です。										
授業の進め方										
教室での講義だけでなく、数名のグループ単位で地域デザインの実践活動に携わるとともに、地域における課題を解決するために必要な調査活動を行っていきます。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	社会調査の手法について学ぶ(1)	社会調査手法、定量調査について解説します。					事前に配布する定量調査の資料を熟読してきてください。(4時間)			
2	社会調査の手法について学ぶ(2)	社会調査手法、定量調査について解説します。					事前に配布する定量調査の資料を熟読してきてください。(4時間)			
3	調査活動の計画(1)	各地域における課題の解決を目指して、アンケート調査、ヒアリング調査、フィールドワークなど必要な調査活動を計画します。					調査活動の計画案を作成してください。指摘事項を踏まえて計画案を修正して下さい(4時間)			
4	調査活動の計画(2)	各地域における課題の解決を目指して、アンケート調査、ヒアリング調査、フィールドワークなど必要な調査活動を計画します。					調査活動の計画案を作成してください。指摘事項を踏まえて計画案を修正して下さい(4時間)			
5	実践活動、調査活動の推進(1)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。また各地域における課題を解決するために必要な調査活動を進めます。					調査活動結果の整理を進めてきてください。(4時間)			
6	実践活動、調査活動の推進(2)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。また各地域における課題を解決するために必要な調査活動を進めます。					調査活動結果の整理を進めてきてください。(4時間)			
7	実践活動、調査活動の推進(3)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。また各地域における課題を解決するために必要な調査活動を進めます。					調査活動結果の整理を進めてきてください。(4時間)			
8	実践活動、調査活動の推進(4)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。また各地域における課題を解決するために必要な調査活動を進めます。					調査活動結果の整理を進めてきてください。(4時間)			
9	実践活動、調査活動の推進(5)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。また各地域における課題を解決するために必要な調査活動を進めます。					調査活動結果の整理を進めてきてください。(4時間)			
10	報告書の作成(1)	報告書のまとめ方を解説します。実践活動の概要、調査活動の分析結果のポイントなどを踏まえながら、報告書の作成指導を行います。					指導をもとに報告書の作成を進めてきてください。(4時間)			
11	報告書の作成(2)	実践活動の概要、調査活動の分析結果のポイントなどを踏まえながら、報告書の作成指導を行います。					指導をもとに報告書の作成を進めてきてください。(4時間)			
12	報告書の作成(3)	実践活動の概要、調査活動の分析結果のポイントなどを踏まえながら、報告書の作成指導を行います。					指導をもとに報告書の作成を進めてきてください。(4時間)			
13	報告書の発表(1)	実践活動の概要、調査活動の分析結果をまとめた報告書を発表します。また、その発表内容について相互に検討します。					結果を踏まえて報告書の修正を進めてきてください。(4時間)			
14	報告書の発表(2)	実践活動の概要、調査活動の分析結果をまとめた報告書を発表します。また、その発表内容について相互に検討します。					結果を踏まえて報告書の修正を進めてきてください。(4時間)			
15	講義全体のまとめ	講義全体を振り返ります。また四年次の卒業研究に関するガイダンスを行います。					最終版の報告書を仕上げ、提出準備を進めてきてください。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
適時、必要な資料を配付します。		レポート：50% 課題：50% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
適時、必要な資料を配付します。		指導の関係上、上記の授業計画を大幅に超える授業回数となることが予想されます。地域における実践活動、補講などに関しては、柔軟に対応することが求められます。自分自身のために勉強してみたいという、心意気のある学生を歓迎								

科目名	卒業研究			学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	KL46077	研究室	
担当者	各教員			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学生年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本科目は、本学部に入学した以降、学修したすべての内容をふまえ、受講生各自が最も興味があるテーマを取り上げ、卒業論文作成していきます。なお、これは卒業研究の一例です。											
学修到達目標											
卒業論文を書き上げることです。同時に、研究テーマの見つけ方、参考文献・資料の探し方、論文の書き方、資料の分析方法なども身につける											
授業の進め方											
受講生各自が卒業論文を完成させるように指導していきます。各自の研究テーマにより進め方が各々異なりますが、一人ひとりテーマに合わせて指導していきます。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション - 卒業研究のスケジュール確認	卒業論文の提出締切、卒業論文発表会までのスケジュールの確認などを行います。					スケジュールについて熟知すること。(4時間)				
2	研究テーマの選定(1)	各自、卒業研究論文のテーマを選定していきます。					入学以降、各自受講した科目を振り返る。テーマを選定していくこと。(4時間)				
3	研究テーマの選定(2)	各自、卒業研究論文のテーマを選定していきます。					入学以降、各自受講した科目を振り返る。テーマを選定していくこと。(4時間)				
4	研究テーマの選定(3)	各自、卒業研究論文のテーマを選定していきます。					入学以降、各自受講した科目を振り返る。テーマを選定していくこと。(4時間)				
5	資料の収集(1)	各自、選定して研究テーマに基づき、図書館、インターネットなどを活用し、資料・データを収集していきます。					各自、テーマに応じて資料を進める。(4時間)				
6	資料の収集(2)	各自、選定して研究テーマに基づき、図書館、インターネットなどを活用し、資料・データを収集していきます。					各自、テーマに応じて資料を進める。(4時間)				
7	卒業研究論文の作成(1)	資料に基づき、章立てに取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
8	卒業研究論文の作成(2)	資料に基づき、章立てに取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
9	卒業研究論文の作成(3)	資料に基づき、章立てに取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
10	卒業研究論文の作成(4)	収集した資料に基づき、概要の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
11	卒業研究論文の作成(5)	収集した資料に基づき、概要の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
12	卒業研究論文の作成(6)	収集した資料に基づき、概要の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
13	卒業研究論文の作成(7)	収集した資料に基づき、概要の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
14	卒業研究論文の作成(8)	収集した資料に基づき、序論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
15	卒業研究論文の作成(9)	収集した資料に基づき、序論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
各自の研究テーマに合わせてできる限りの資料を提供します。				課題：100% 卒業研究論文の完成度：50%、論文提出：50%、S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
各自の研究テーマに合わせてできる限りの資料を提供します。				卒業論文は4年間の大学生活の集大成です。4年間の授業をふまえ、がんばって卒業研究論文を完成してください。							

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	KL46078	研究室	
担当者	各教員			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要 本科目は、本学部に入学した以降、学修したすべての内容をふまえ、受講生各自が最も興味があるテーマを取り上げ、卒業論文作成していきます。卒業研究の続きです。なお、これは卒業研究の一例です。											
学修到達目標 卒業論文を書き上げることです。同時に、研究テーマの見つけ方、参考文献・資料の探し方、論文の書き方、資料の分析方法なども身につける											
授業の進め方 受講生各自が卒業論文を完成させるように指導していきます。各自の研究テーマにより進め方が各々異なりますが、一人ひとりテーマに合わせて指導していきます。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	卒業研究論文の作成(10)	収集した資料に基づき、本論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
2	卒業研究論文の作成(11)	収集した資料に基づき、本論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
3	卒業研究論文の作成(12)	収集した資料に基づき、本論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
4	卒業研究論文の作成(13)	収集した資料に基づき、結論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
5	卒業研究論文の作成(14)	収集した資料に基づき、結論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
6	卒業研究論文の作成(15)	収集した資料に基づき、結論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
7	卒業研究論文完成・提出(1)	完成した論文を熟読し、誤字・脱字などの校正を行う。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。提出する。(4時間)				
8	卒業研究論文完成・提出(2)	完成した論文を熟読し、誤字・脱字などの校正を行う。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。提出する。(4時間)				
9	卒業研究論文完成・提出(3)	完成した論文を印刷し、担当教員に提出します。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。提出する。(4時間)				
10	卒業研究論文発表資料作成(1)	パワーポイントを利用し、卒業研究論文の発表のための資料を作成し、発表練習を行います。					卒業研究論文発表資料の作成。(4時間)				
11	卒業研究論文発表資料作成(2)	パワーポイントを利用し、卒業研究論文の発表のための資料を作成し、発表練習を行います。					卒業研究論文発表資料の作成。(4時間)				
12	卒業研究論文完成・提出(3)	パワーポイントを利用し、卒業研究論文の発表のための資料を作成し、発表練習を行います。					卒業研究論文発表資料の作成。(4時間)				
13	卒業研究のまとめ(1)	完成した卒業研究論文を受講生と3年の専門研究生の前で、発表し、論文の完成度を高めていきます。					卒業研究論文の校正を行う。完成度を高める。(4時間)				
14	卒業研究のまとめ(2)	完成した卒業研究論文を受講生と3年の専門研究生の前で、発表し、論文の完成度を高めていきます。					卒業研究論文の校正を行う。完成度を高める。(4時間)				
15	卒業研究のまとめ(3)	完成した卒業研究論文を受講生と3年の専門研究生の前で、発表し、論文の完成度を高めていきます。					卒業研究論文の校正を行う。完成度を高める。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
各自の研究テーマに合わせてできる限りの資料を提供します。				課題：100% 卒業研究論文の完成度：50%、論文提出：50%、S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
各自の研究テーマに合わせてできる限りの資料を提供します。				卒業論文は4年間の大学生活の集大成です。4年間の授業をふまえ、がんばって卒業研究論文を完成してください。							

科目名	公務員特講	学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリノ	KC37001 TL37007	研究室	非常勤	
担当者	櫻井 義彦	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A	B	C	総 観						
授業概要										
公務員上級職試験対策として、独学が難しいとされる憲法、民法、行政法の専門科目および一般教養科目を、基礎からしっかり理解し、実戦力まで習得できるよう解説します。とくに法律専門科目をはじめて学が初学者に対しても分かりやすく解答の出し方を詳解し、確実に得点を挙げる解答力を養成します。										
学修到達目標										
公務員試験の出題の特徴を多角的に理解することが基本的な目標です。さらに、各法律科目の頻出する制度的意義を十分に理解することによって、出題者の意図をすばやく見極め、知識だけに頼らない正確な判断能力を養うことが最終目標です。										
授業の進め方										
講義は教室において、テキストと事前配布資料の問題を中心に基本事項を概説し、その後、事前に指定しておいた問題の答え合わせを行い、問題の傾向について解説をします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス。 公務員上級職の職種と試験 制度について。	授業概要 学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。公務員採用試験の概要および展望、試験準備の要領と注意点などを紹介し ます。					事前に受験ガイドを読む。事後志 望職種を定める。(4時間)			
2	憲法 基本原理と包括的 基本権	日本国憲法の理念および原理を詳解し、憲法の制度的特色を理解します 。とくに包括的基本権は新しい人権の根拠となっていますので、事例を 交えて解説します。					事前にテキストP58を読む。事後 間違えた問題を復習する。類似過 去問にあたる。(4時間)			
3	憲法 自由権と社会権	憲法が規定する人権の種類と特徴を解説し、人権の識別がすばやくでき る判断力を習得します。とくに消極的権利と積極的権利の区別は重要で す。					テキストのP56を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
4	憲法 違憲立法審査制度	法令審査基準と理論を判例を通じて解説します。判例の趣旨を正確に見 極める判断力を養い、択一問題を確実に解答する理解力を習得します。					テキストP78を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
5	憲法 議院内閣制	憲法の統治規定の中でも議院内閣制の問題は出題率が高いので、国会と 内閣の関係や国会の地位について過去の出題と判例を踏まえて解説しま す。					テキストP70,74111を事前に読む 。 授業中間間違えた問題を復習する。			
6	憲法 司法制度	司法権の独立、三審制、訴訟の種類など裁判制度の基本を理解し、三権 分立の中での裁判所の意義と司法権の限界について学習します。					テキストP76を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
7	民法 代理権の諸問題	代理における無権代理、表見代理などの問題を中心に解説します。とくに 相続と絡ませた出題が多いので、過去問を中心にいくつかのパリエー ションを習得します。					テキストP111を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
8	民法 契約時のトラブル 意思の不存在と瑕疵のあ る意思	契約の重要な要素である意思表示の問題を、民法規定に沿って整理し、 法律関係がどのように変化するかを解説します。とくに94条 の類推適 用の事例を習得します。					テキストP110を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
9	民法 不動産物権変動と 対抗要件	不動産売買を中心に所有権の移転の問題や対抗要件の成否について詳解 します。また、相続や時効に関連して所有権がどのように移るかを判例 に沿って整理します。					テキストP113を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
10	民法 地上権、借地権、 抵当権	いわゆる担保物件の諸権利の特徴を解説します。なかでも抵当権が重要 ですので、その他の担保物件との違いを比較しながら、抵当権による担 保制度を理解していきます。					テキストP115を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
11	民法 売買に関する問題 危険負担と売主担保責任	動産と不動産の売買について、所有権や危険負担の移転の問題や売買の 瑕疵の問題における債務不履行と瑕疵担保の違いを判例と通説を比較して 解説します。					テキストP120を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
12	民法 債務不履行と契約 解除	契約解除の原因について、債務不履行を中心に法律関係を解説します。 ここは不法行為と損害賠償請求権にもかかってくるので立体的に法的効 果を理解していきます。					テキストP121を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
13	行政法 行政行為の概念 と効力	行政行為(処分)の性質を解説しながら、その他の行政庁の行為との識 別ができるようにします。さらに、効力の要件や瑕疵のある行政行為に ついて学び、行政法とは何かを理解します。					テキストP84を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
14	行政法 抗告訴訟と訴え の利益	行政事件訴訟の種類と要件、とくに訴えの利益について解説します。こ のテーマは、憲法の違憲判決の問題と直結しているため、典型的な判例 に沿って理解します。					テキストP100を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
15	行政法 国家賠償法	公務員の不法行為について、どのような場合に国家が賠償責任を負うか また民間人の行為でも国家賠償の可能性はあるか、など過去の出題に 沿って判例をもとに詳解します。					テキストP97を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「2021年度 地方上級・国家一般職 大卒程度 公務員試験総合問題集」 L&L総合研究所編(新星出版社) ISBN:978-4-405-01792-4(生協で購入して ください。)		定期試験:50% 受講態度:50% 成績評価基準 S:授業内容を高度に理解するとともに、探求姿勢をもって積極的に課題に取り 組み、授業で示した例題の発展問題が解ける。 A:授業内容を十分理解し、授業で示した問題は完全に解ける。 B:授業内容をほぼ理解し、授業で示した問題の80%程度が解ける。 C:授業内容をある程度理解し、授業で示した問題の60%程度が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「スーパー過去問ゼミ 憲法・民法・行政法」(実務教育出版)		公務員および各種資格試験に対応します。いずれも過去問をどれくらい解いた かが合格の鍵です。分からないところは質問に応じますので、各自積極的に過 去問を繰り返し解いていくことを期待します。								

科目名	公務員特講		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパリング	KC37002 TL37008	研究室	非常勤
担当者	櫻井 義彦		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格						履修条件				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	総 観					
授業概要										
公務員上級職試験対策として、憲法、民法、行政法の法律科目と一般教養科目について、前期の基礎知識をもとに問題演習と解説を行います。また、後期からは経済原論も加えて過去の頻出問題の徹底研究と択一問題の識別の仕方や選択肢の見極め方など、速く正確に解くテクニックを習得します。										
学修到達目標										
公務員試験の出題パターンを整理し、理解することが基本的な目標です。さらに、過去の頻出問題の傾向を徹底的に研究することで、出題者の意図を瞬時に見極め、確実に得点を挙げる実戦力を養うことが最終目標です。										
授業の進め方										
講義は教室において、教科書を中心に基本事項を解説しながら進め、適宜に過去問題をプリントして問題演習を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス。 公務員試験の最近の傾向。 経済原論とはなにか。	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。公務員試験の最近の傾向や択一問題に対する心構えについて、さらに、経済原論についての出題傾向について解説します。					テキストの試験ガイドを事前に読む。授業の経済用語を復習して類似過去問にあたる。(4時間)			
2	ミクロ経済 消費行動理論	限界効用と予算線から最適消費量を求める問題や代替効果と価格効果の違いから消費者行動を予測分析する問題を学習します。					テキストのP162を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
3	マクロ経済 フローとストック	マクロ経済モデルについての理解の前提として、国民所得(GDP)とは何か、需要および供給とはどのような関係にあるのかを解説します。					テキストのP172を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
4	マクロ経済 デフレギャップとインフレギャップ(45度分析)	45度分析図から完全雇用国民所得における需要と供給のギャップを求める問題の解法を解説します。これは公務員試験では必須問題の1つですので、用語や考え方をしっかりと理解します。					テキストのP172を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
5	マクロ経済 乗数理論(45度分析)	前回と同じく、公務員試験頻出問題です。マクロ経済モデルを使って、民間投資や政府支出および増減税が国民所得に具体的にいくら増減をもたらすかを計算する問題の解法を詳解します。					テキストのP173を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
6	マクロ経済 財政・金融政策(IS-LM分析)	マクロ経済三本柱の最後は、IS-LM分析の問題解法を解説します。財市場と貨幣市場の動向が、利子率と所得によってどのように変化し、財政・金融政策がどのように機能するか、を理解します。					テキストのP174を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
7	憲法 政教分離の原則(20条)	憲法20条の信教の自由の中でも、第3項の政教分離の原則についてそのリーディングケースとなった判例と条文の解釈について解説します。					テキストのP62を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
8	憲法 表現の自由(21条)とプライバシー権	人権の中で最も重要とされる表現の自由と個人のプライバシーの衝突矛盾について、最高裁はどのような調整を行ったかについて解説し、人権相互の調整はどのような考え方によるのかを学習します。					テキストのP64を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
9	憲法 職業選択の自由(22条)	経済的自由権の中でも、とくに営業の自由を中心に、他人の人権との整合性を判例に沿って理解します。ここはとくに判例の知識が問われますので、重要判例を整理しながら詳解していきます。					テキストのP67を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
10	憲法 生存権(25条)	このテーマは、社会福祉政策の中心的人権であり、いわば公務員という職業の基盤をなすものなので、過去出題率はかなり高いです。自由権との違いを比較しながら、判例に基づいて解説します。					テキストのP69を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
11	憲法 国会、内閣、裁判所(統治論)	三権分立および日本の統治システムの問題を解説します。ここは公民程度の知識で十分ですので、いろいろな出題パターンになれるよう過去問を中心に進めていきます。					テキストのP70~76を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
12	民法 債権者代位権と詐害行為取消権	債権者代位権および詐害行為取消権の要件、客体、範囲、効果についてそれぞれの法律行為の要点を整理します。さらに、両者の相違点についてはよく出題されるのでその点もふまえて解説します。					テキストのP117を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
13	民法 抵当権と物上代位権	抵当権の性格を他の担保物権と比較しながら解説します。また、抵当権と物上代位権の行使の様態や法定地上権の成否など過去問を使って出題形式を習得します。					テキストのP116を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
14	民法 夫婦関係と親子関係	婚姻、離婚、内縁関係ならびに嫡出子と非嫡出子、認知、特別養子制度の各項目について要件と効果を整理して、それぞれの性格を解説します。					テキストのP125~127を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
15	民法 相続	法定相続人と相続の承認や放棄、遺言と法定遺留分の関係について、我が国の相続制度の要点を整理し、さらに、共同相続における登記と第三者の法的関係など他の民法条項にも関連する問題を詳解します。					テキストのP128を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「2021年度 地方上級・国家一般職 大卒程度 公務員試験総合問題集」L&L総合研究所編(新星出版社) ISBN:978-4-405-01792-4(生協で購入してください。)		定期試験:50% 受講態度:50% 成績評価基準 S:授業内容を高度に理解するとともに、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、授業で示した例題の発展問題が解ける。 A:授業内容を十分理解し、授業で示した問題は完全に解ける。 B:授業内容をほぼ理解し、授業で示した問題の80%程度が解ける。 C:授業内容をある程度理解し、授業で示した問題の60%程度が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「スーパー過去問ゼミ(各科目)」(実務教育出版) 「20日間で学ぶ 政治・経済の基礎」(実務教育出版)		公務員および各種資格試験に対応します。いずれも過去問をどれくらい解いたかが合格の鍵です。分らないところは質問に応じますので、各自積極的に過去問を繰り返し解いていくことを期待します。								